

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事
須坂橋（上下線）

設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

【 図 面 目 録 】

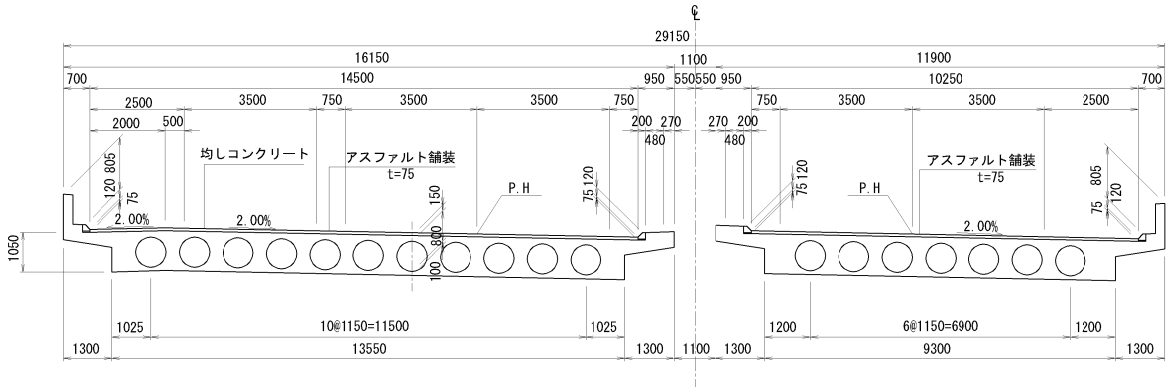
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	須坂橋（上下線）数量総括表		
2	須坂橋（上下線）橋梁一般図（その１）		
3	須坂橋（上下線）橋梁一般図（その２）		
4	須坂橋（上下線）構造一般図（その１）		
5	須坂橋（上下線）構造一般図（その２）		
6	須坂橋（上下線）耐震補強一般図		
7	須坂橋（上下線）Ａ１橋台 捨土掘削 土砂Ａ		
8	須坂橋（上下線）Ａ２橋台 捨土掘削 土砂Ａ		
9	須坂橋（上下線）Ｐ１橋脚 構造物掘削 特殊部Ａ－Ｏ１（その１）		
10	須坂橋（上下線）Ｐ１橋脚 構造物掘削 特殊部Ａ－Ｏ１（その２）		
11	須坂橋（上下線）Ｐ２橋脚 構造物掘削 特殊部Ａ－Ｏ２（その１）		
12	須坂橋（上下線）Ｐ２橋脚 構造物掘削 特殊部Ａ－Ｏ２（その２）		
13	須坂橋（上下線）切土補強土工（その１）		
14	須坂橋（上下線）切土補強土工（その２）		
15	須坂橋（上下線）切土補強土工（その３）（参考図）		
16	須坂橋（上下線）切土補強土工（その４）（参考図）		
17	須坂橋（上下線）Ｐ１橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
18 ～ 20	須坂橋（上下線）Ｐ１橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）～（その３）		
21	須坂橋（上下線）Ｐ２橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
22 ～ 24	須坂橋（上下線）Ｐ２橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）～（その３）		
25 ～ 28	須坂橋（上下線）Ａ１橋台 検査路Ｂ詳細図（その１）～（その４）		
29 ～ 32	須坂橋（上下線）Ａ２橋台 検査路Ｂ詳細図（その１）～（その４）		
33 ～ 35	須坂橋（上り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｃ１－Ｏ１ 構造詳細図（その１）～（その３）		
36 ～ 38	須坂橋（上り線）Ａ２橋台 落橋防止構造Ｃ１－Ｏ２ 構造詳細図（その１）～（その３）		
39 ～ 41	須坂橋（下り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｏ１ 構造詳細図（その１）～（その３）		
42	須坂橋（下り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｏ１ 構造詳細図（その４）（参考図）		
43 ～ 45	須坂橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｏ２ 構造詳細図（その１）～（その３）		
46	須坂橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｏ２ 構造詳細図（その４）（参考図）		
47	須坂橋（上下線）Ｐ１橋脚 はく落防止対策工 Ｂ１ 一般図		
48	須坂橋（上下線）Ｐ２橋脚 はく落防止対策工 Ｂ１ 一般図		
49	須坂橋（上下線） 交通規制工 路肩規制 Ｃ（ＯＮランプ）		
50	須坂橋（上下線） 交通規制工 路肩規制 Ｃ（ＯＦＦランプ）		
51	須坂橋（上下線）交通保安要員 交通監視員Ａ１		
52 ～ 71	須坂橋（上下線）施工要領図（その１）～（その２０）（参考図）		
72 ～ 76	須坂橋（上下線）配線系統図（その１）～（その５）（参考図）		

項目番号	2-（4）	2-（6）	2-（6）	4-（10）	4-（20）	4-（20）	8-（1）	8-（2）	8-（3）	8-（3）	11-（4）	17-（11）
項目名称	捨土掘削	構造物掘削	構造物掘削	コンクリート吹付工	切土補強土工	切土補強土工	コンクリート	型わく	鉄筋	鉄筋	検査路	落橋防止構造
	土砂A	特殊部A－O 1	特殊部A－O 2	コンクリート吹付 （t＝10cm）	D22・L＝8.5m	D22・L＝9.0m	A1－5	TH	T	T1	B	C1－O 1
単位	m3	m3	m3	m2	本	本	m3	m2	t	t	kg	本
須坂橋 （上下）	A1	338.5		51.5	48.0						2103.0	2.0
	P1		932.6				106.6	475.2	31.428	8.150		
	P2			928.5			106.4	474.2	31.342	8.150		
	A2	389.4		61.2		55.0					2143.0	
合計	727.9	932.6	928.5	112.7	48.0	55.0	213.0	949.4	62.770	16.300	4246.0	2.0

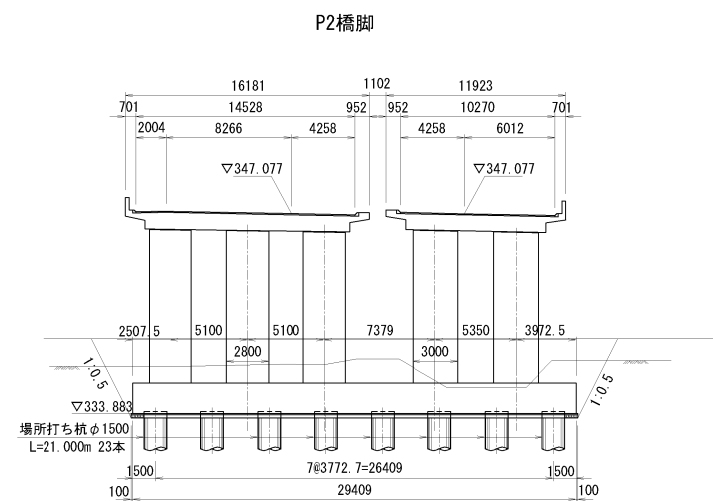
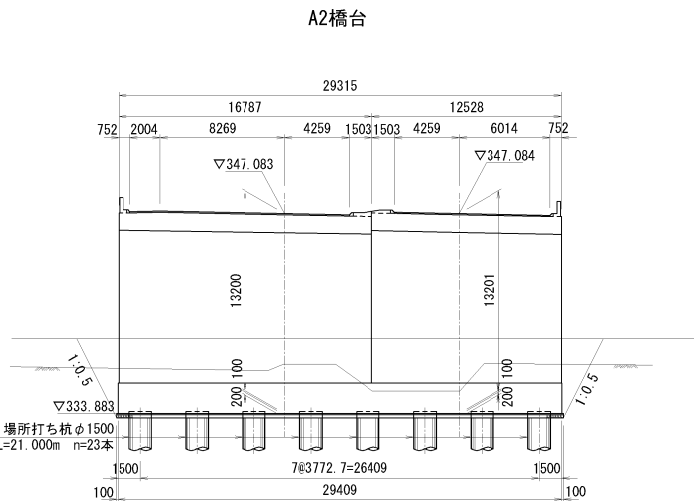
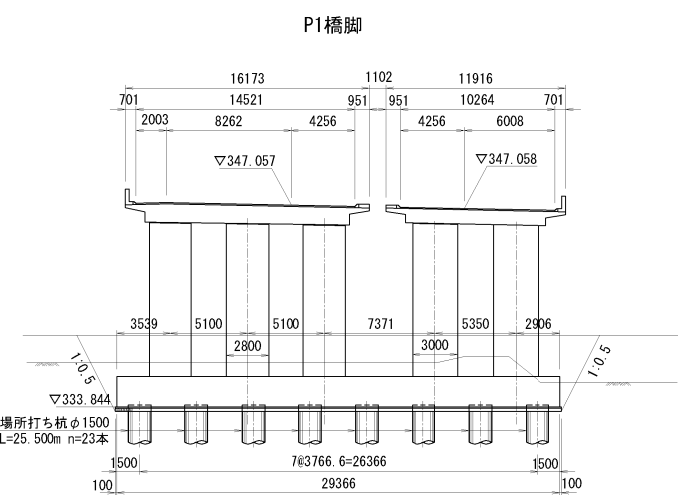
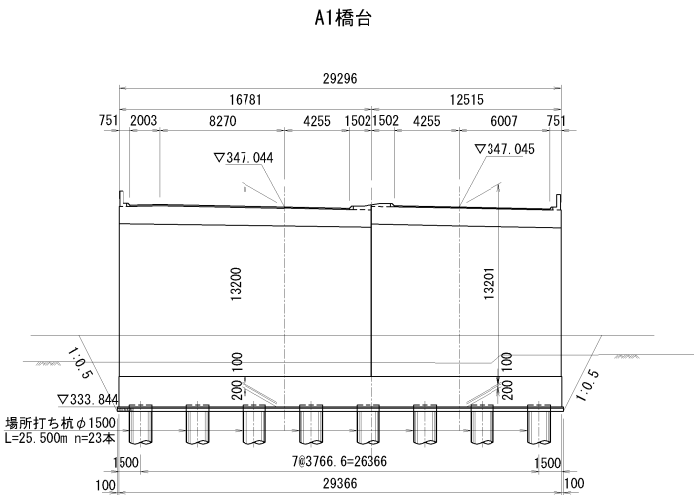
項目番号	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（18）	17-（30）	17-（31）	19-（1）	19-（2）
項目名称	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	耐震補強用コンクリート表面処理工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	交通規制工	交通保安要員
	C1－O 2	P1－O 1	P1－O 2	鋼製ブラケット	アンカー工 φ42・490（水平）	アンカー工 φ45・535（水平）	アンカー工 φ39・445（上向き）	A		B1	路肩規制 C	交通監視員 A1
単位	本	本	本	t	本	本	本	m2	m2	m2	回	人・日
須坂橋 （上下）	A1	2.0		0.646	12.0	12.0	52.0				12.0	716.0
	P1							388.8	14.8	14.8		
	P2							388.0	20.1	20.1		
	A2	2.0	2.0	0.646	12.0	12.0	52.0					
合計	2.0	2.0	2.0	1.292	24.0	24.0	104.0	776.8	34.9	34.9	12.0	716.0

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

標準断面図 S=1:200

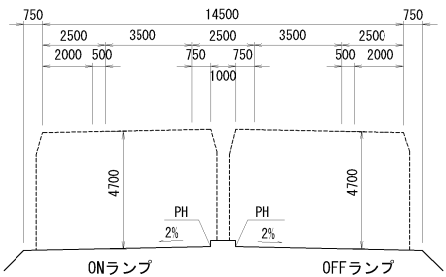


下部工断面図 S=1:500



設 条 件				
橋	長	37.300m	桁 長	37.260m
道 路 規 格	第1種第2級B規格			
荷 重	TL-20, TT-43			
型 式	3径間連続RC床版橋			
支 間	9.000m+18.600m+9.000m			
有 効 幅 員	14.500+10.250	斜 角	右86° 44' 06"	
横 断 勾 配	2.000%		2.000%	
縦 断 勾 配	0.642%		0.400%	
地 震 係 数	水平震度KH=1.0×1.1×1.0×0.2=0.22			
上 部 工	コ ン ク リ ー ト	σ_{ck} =240kg/cm2		
	鉄 筋	SD35		
下 部 工	コ ン ク リ ー ト	σ_{ck} =240kg/cm2		
	鉄 筋	SD35		
適 用 示 方 書		道路橋示方書 昭和55年5月		

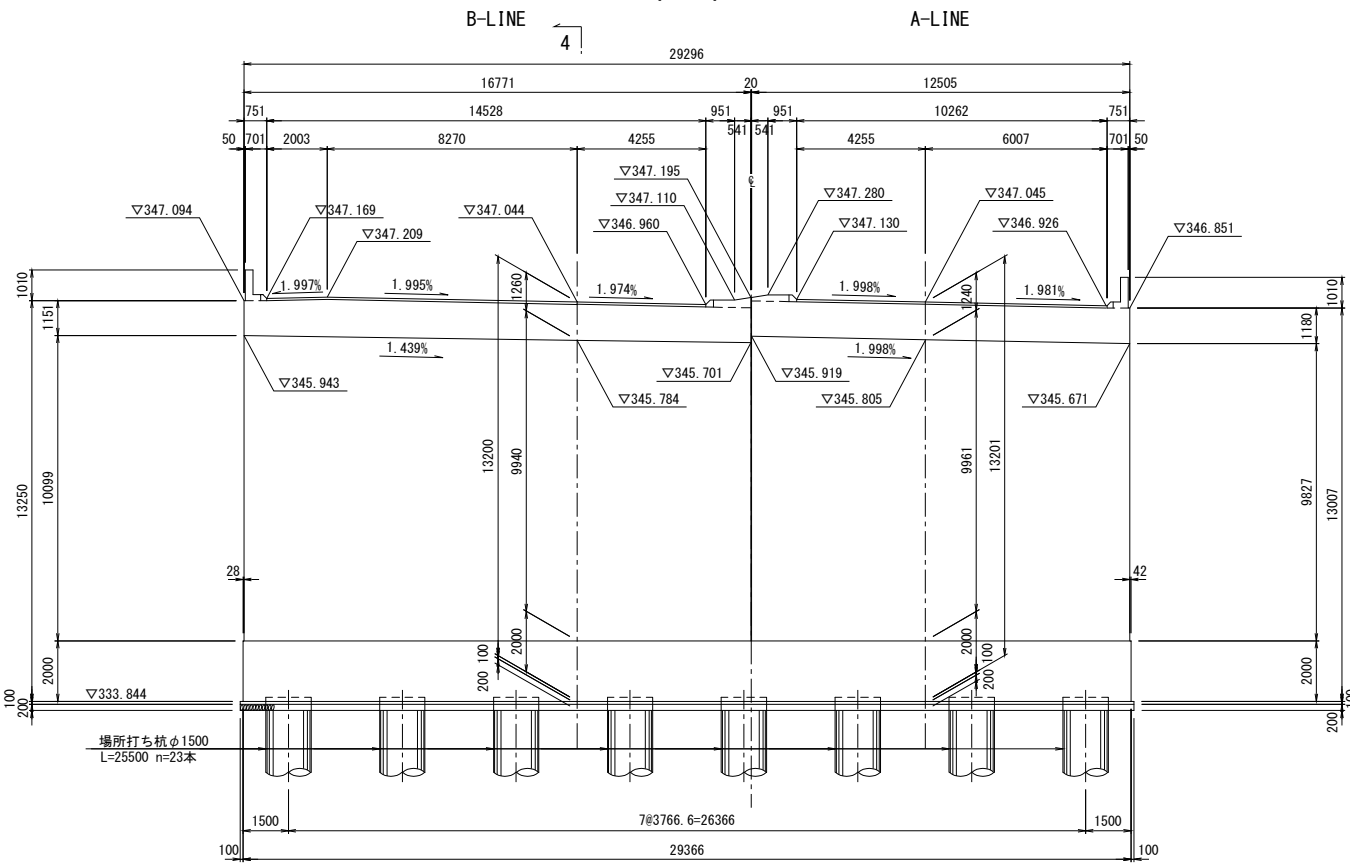
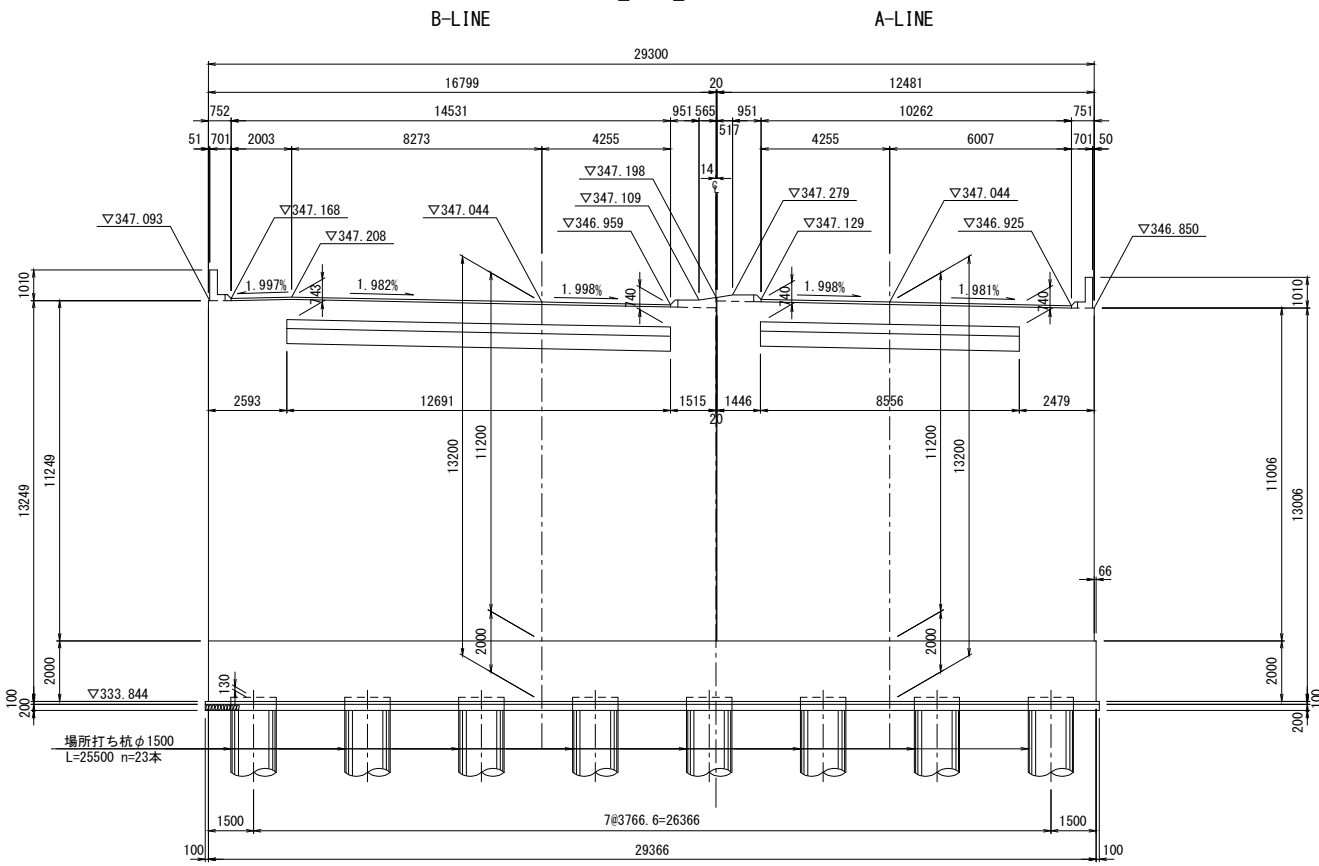
交差条件 S=1:300



上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 橋梁一般図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

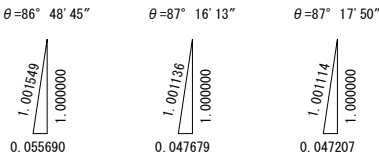
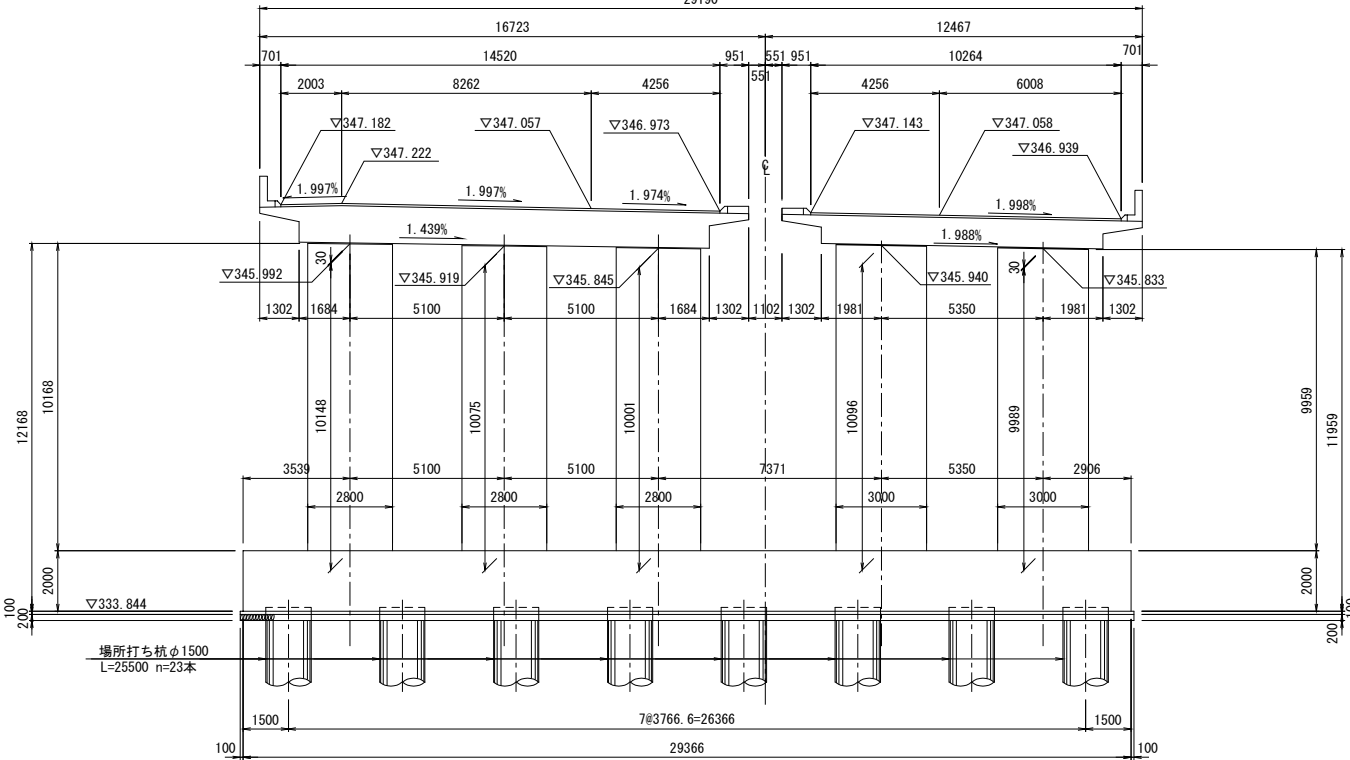
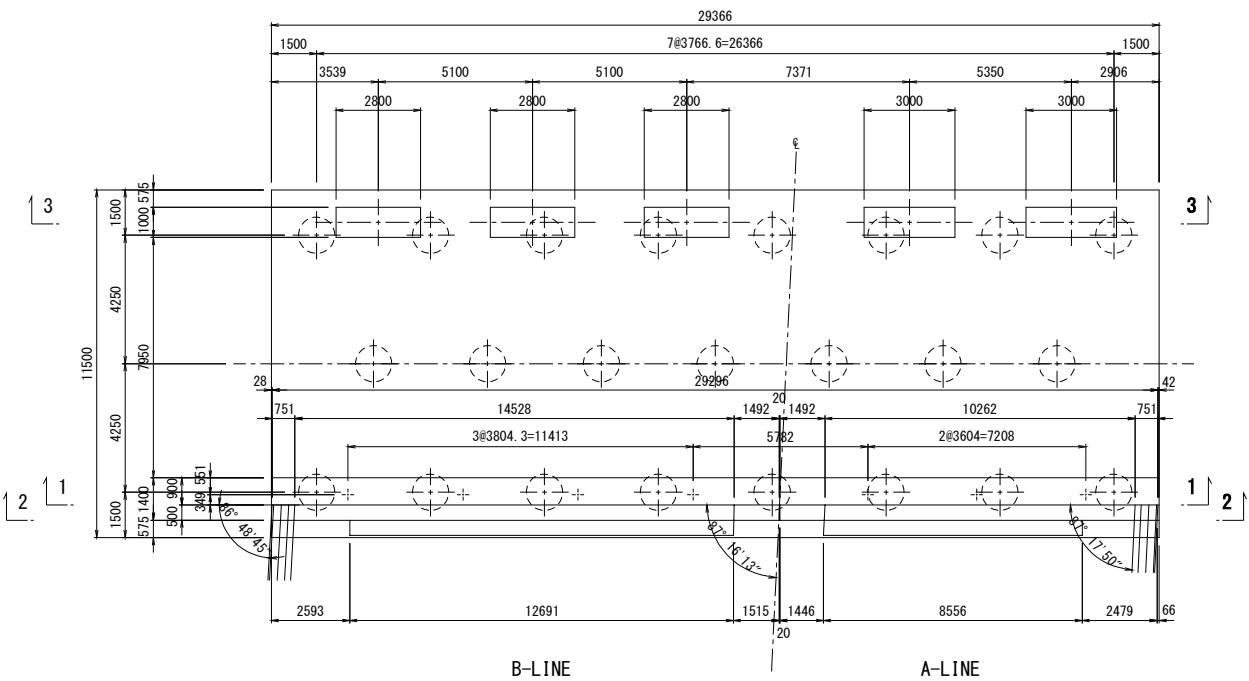
2 - 2

1 - 1

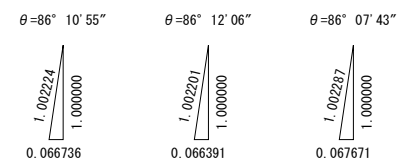
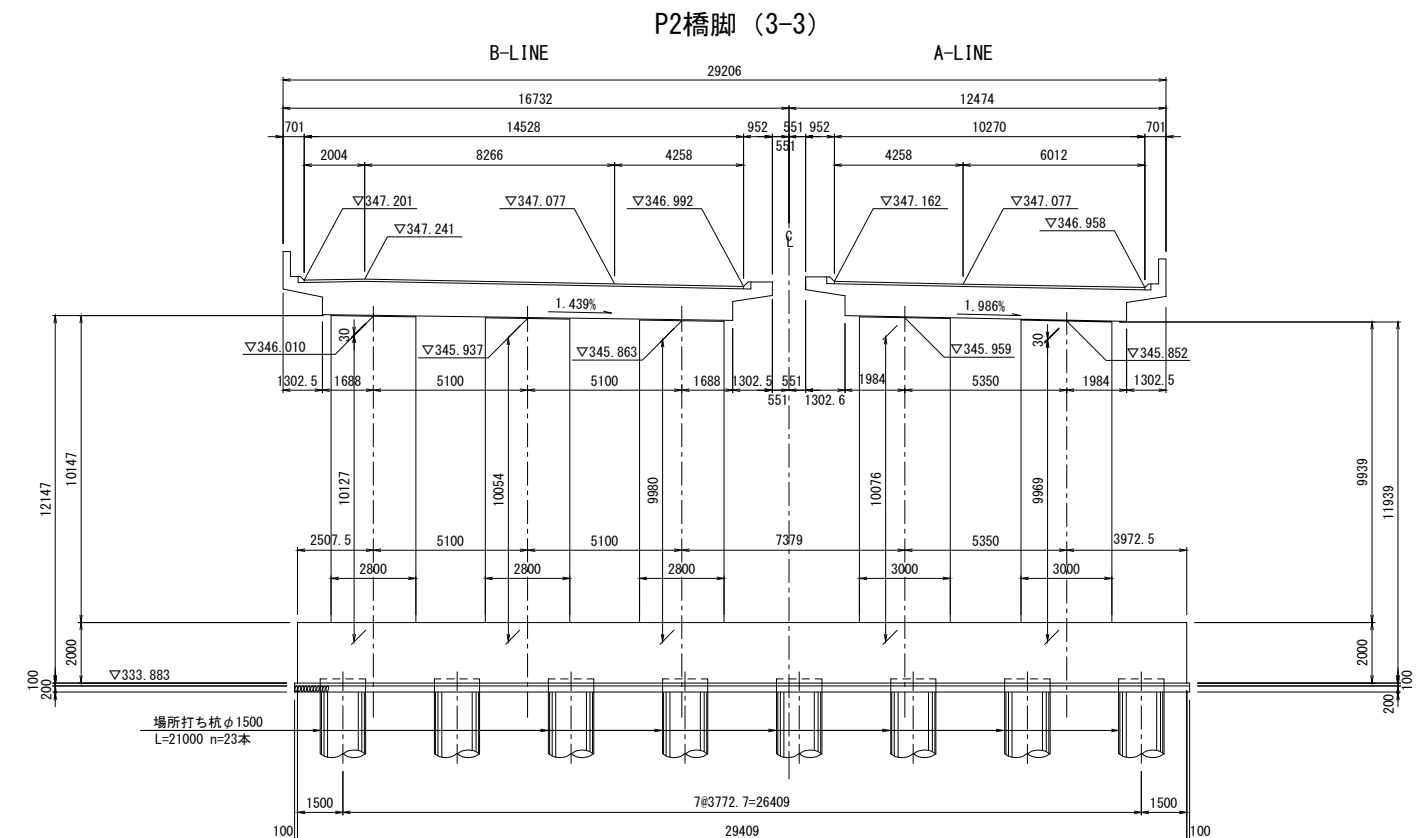
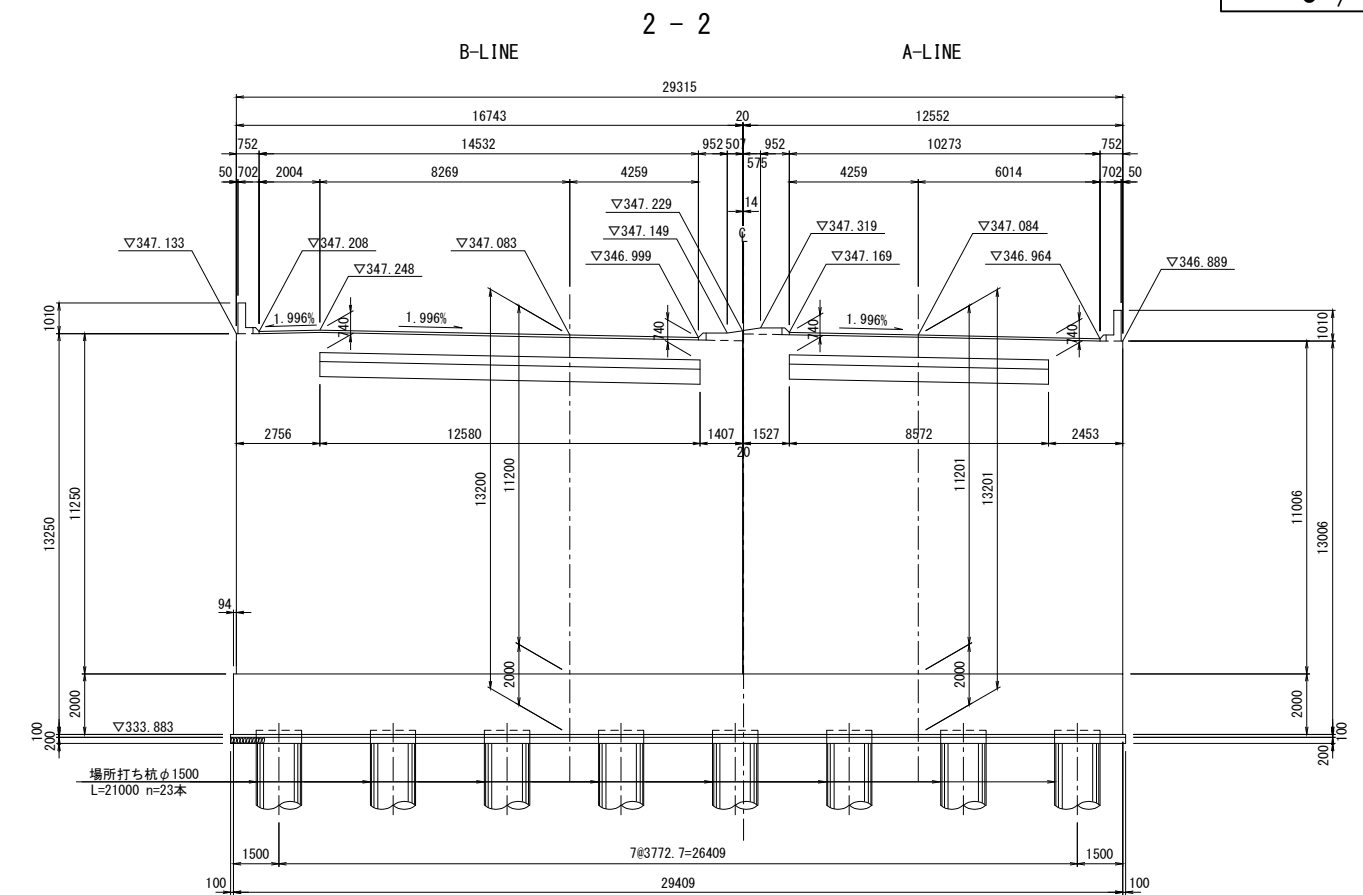


平面図

P1橋脚（3-3）

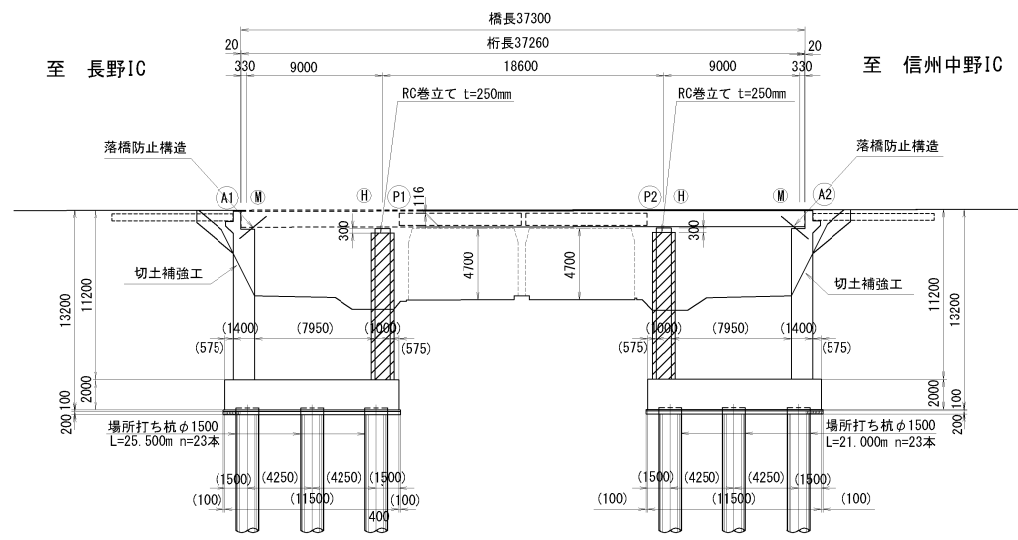


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事	
須坂橋（上下線）	
図面の種類	構造一般図（その１）
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所

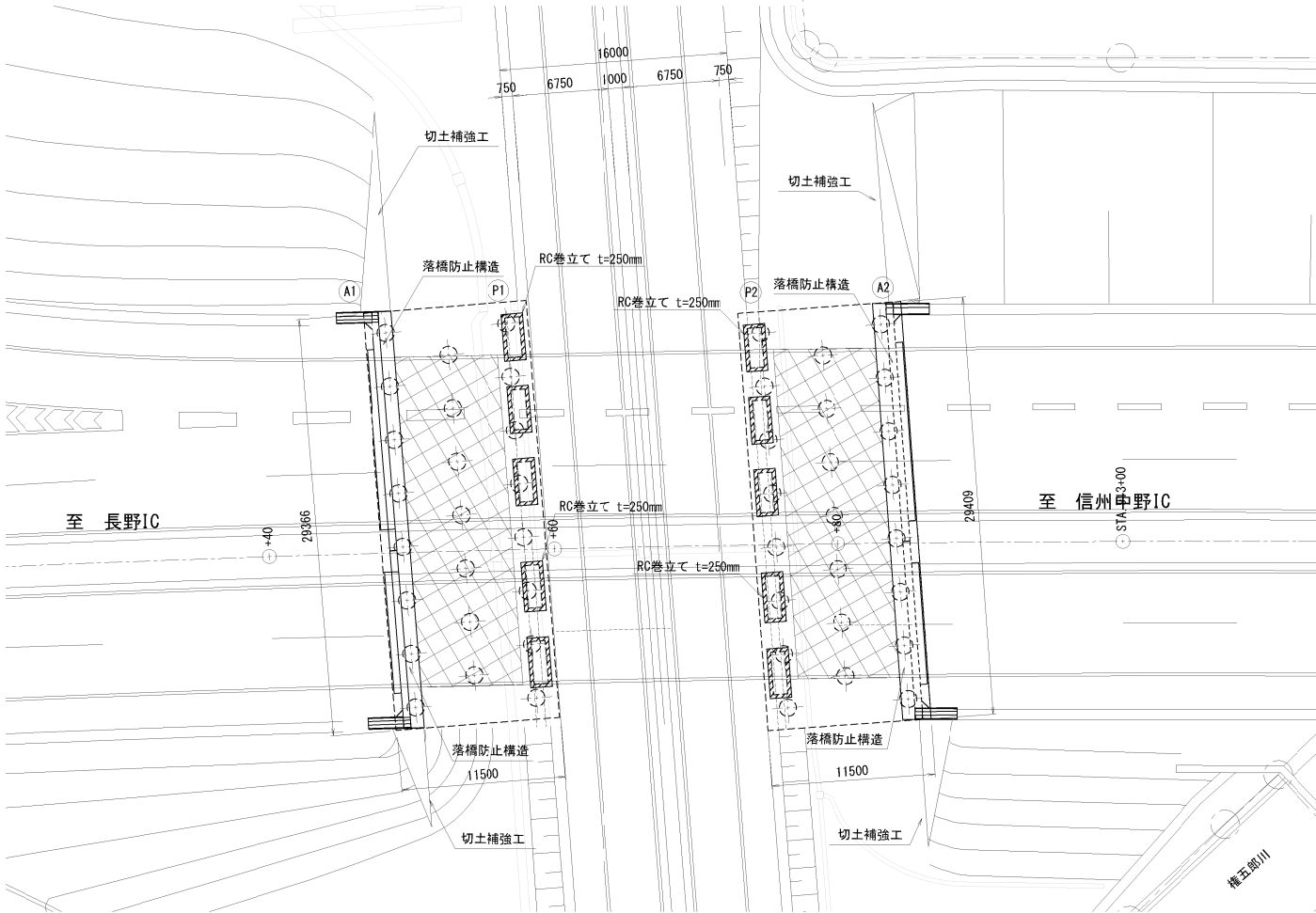


上 信 越 自 動 車 道 豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
須坂構（上下線）			
図面の種類	構造一般図（その２）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

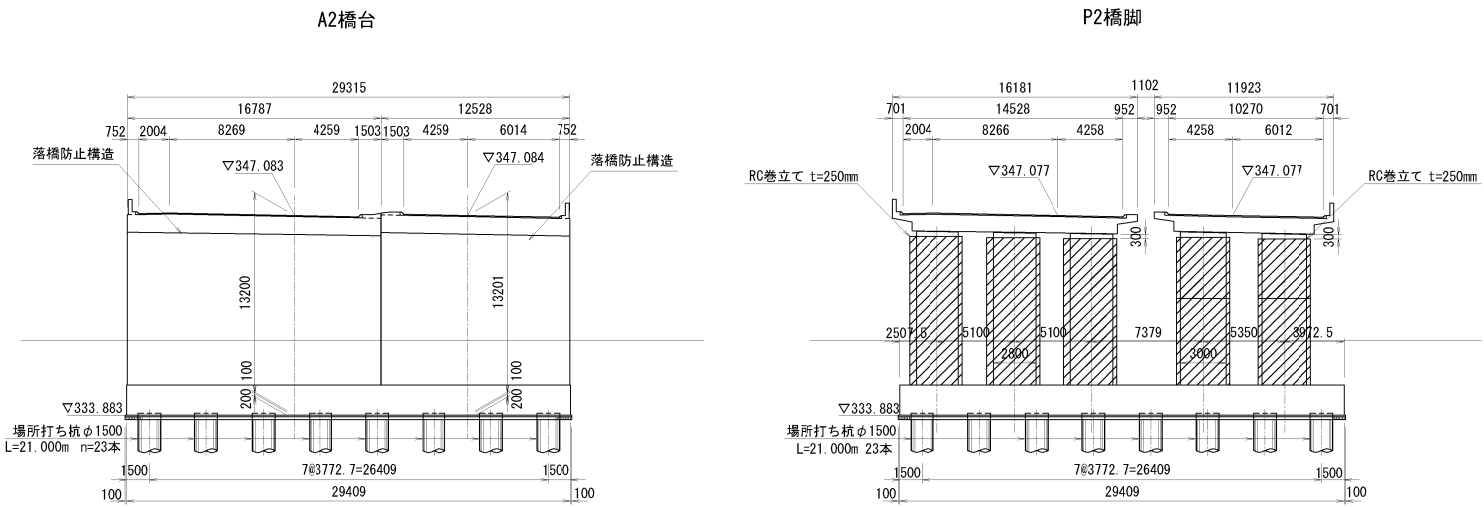
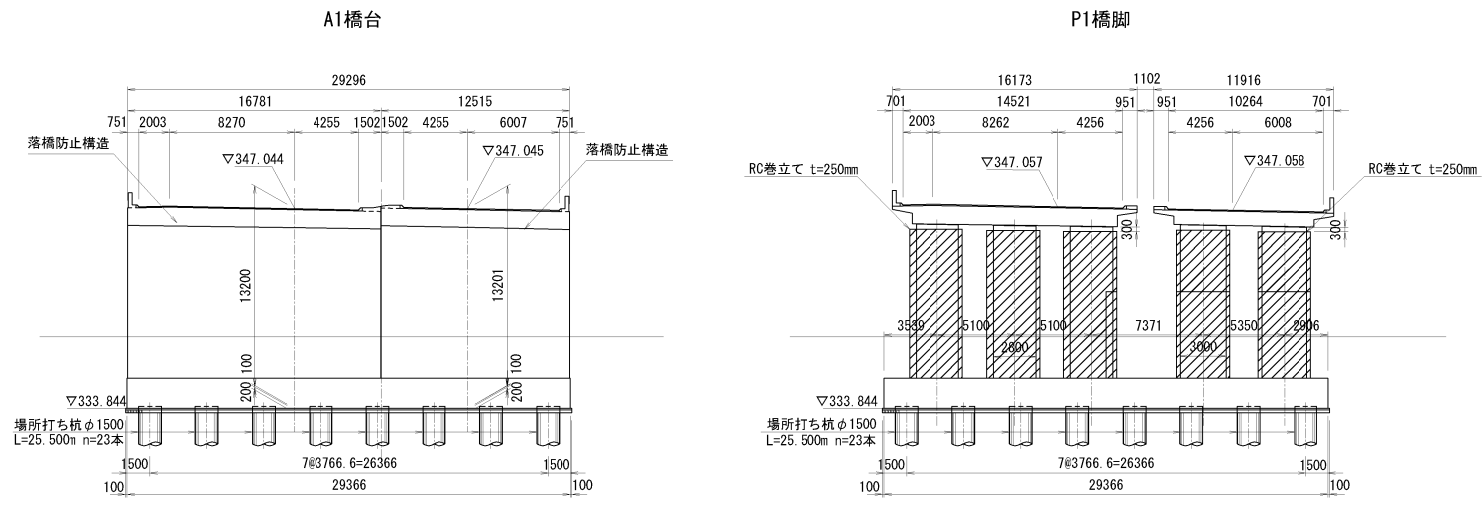
側面図



平面図



正面図



建設時設計条件

橋 長	上り線	37.300m
	下り線	37.300m
支 間 長	上り線	9.000m+18.600m+9.000m
	下り線	9.000m+18.600m+9.000m
全 幅 員	上り線	11.900m
	下り線	16.150m
有 効 幅 員	上り線	10.250m
	下り線	14.500m
上 部 工 型 式	上り線	3径間連続RC床版橋
	下り線	3径間連続RC床版橋
下 部 工 型 式	上り線	逆T式橋台、二柱式橋脚
	下り線	逆T式橋台、三柱式橋脚
活 荷 重		TL-20、TT-43
完 成 年 月		1993年(平成5年)3月
設 計 基 準		S55道路橋示方書・同解説
設 計 水 平 震 度		Kh=0.22
使 用 材 料	コンクリート	σ _{ck} =240kg/cm ²
	鉄筋	SD35

今回耐震補強設計条件

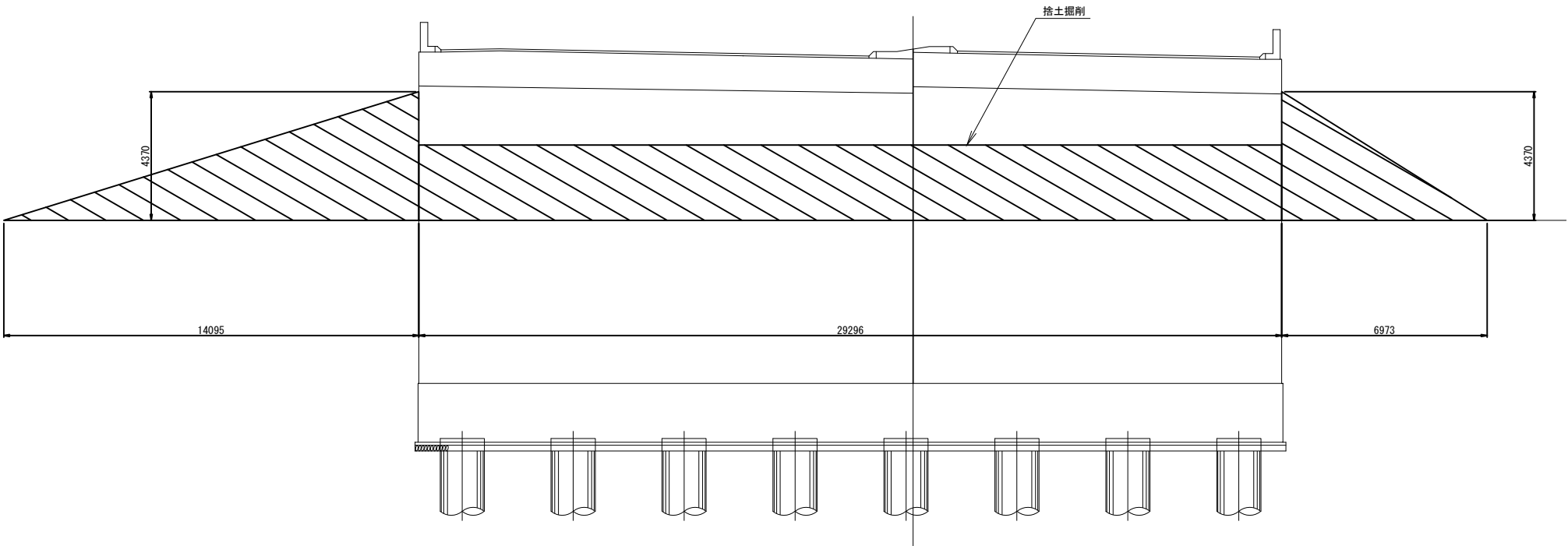
設 計 基 準	R7設計要領 第二集 橋梁保全編 H24道路橋示方書・同解説 IV下部構造編 H24道路橋示方書・同解説 V耐震設計編
活 荷 重	B活荷重
使用材料	コンクリート σ _{ck} =30N/mm ² 鉄筋 SD345
補強内容	橋脚 RC巻立て 橋台 落橋防止構造: PCケーブル、緩衝機能付チェーン

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事		
図面の種類	須坂橋（上下線） 耐震補強一般図	
縮 尺	1:500	図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所	

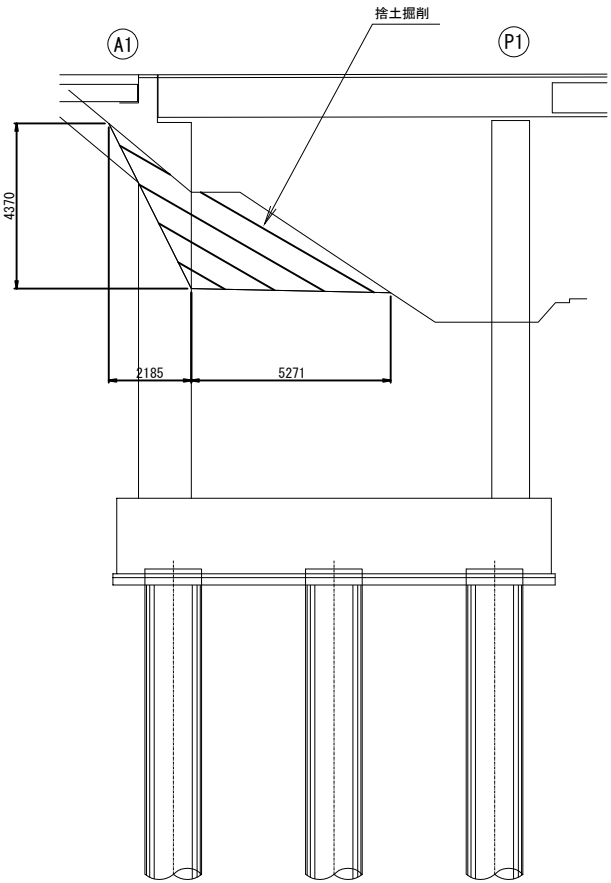
正面図

下り線

上り線



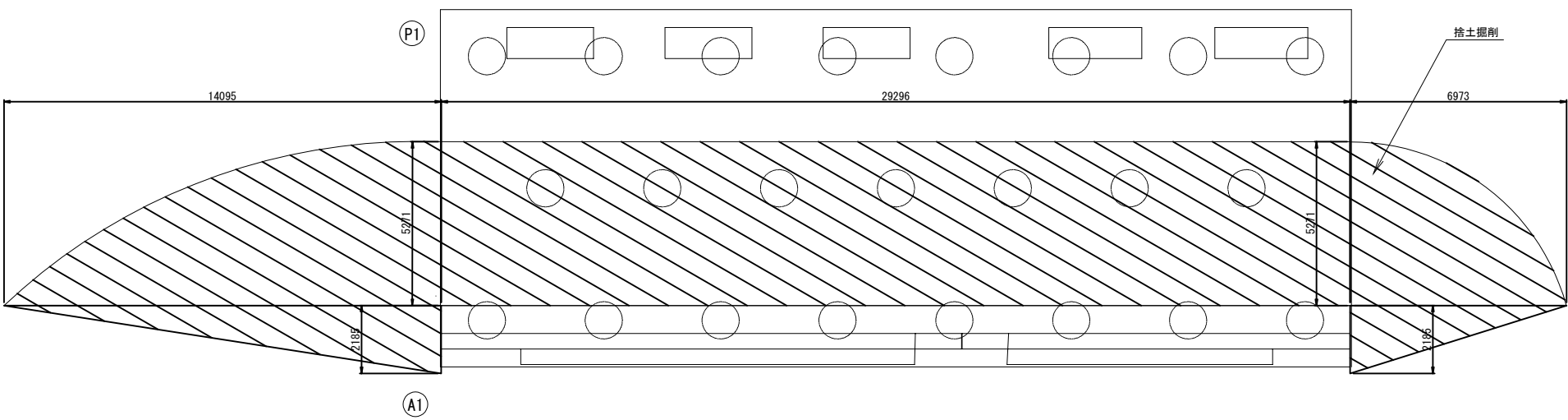
側面図



平面図

下り線

上り線



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

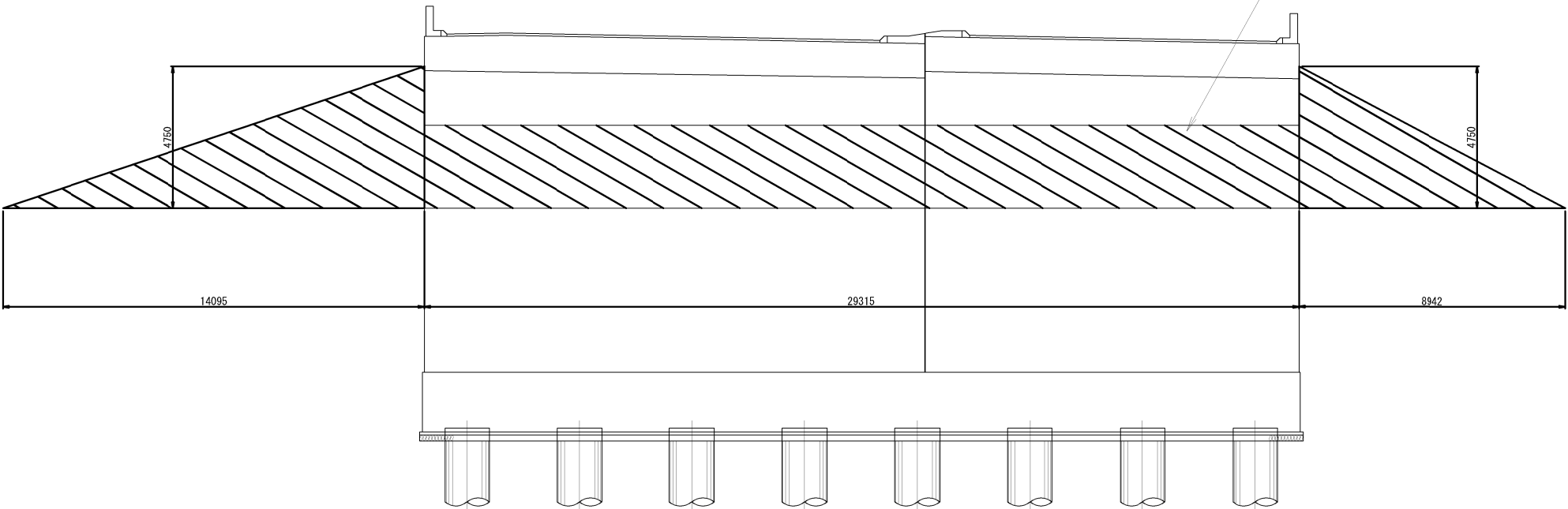
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）A 1 橋台		
	捨土掘削 土砂 A		
縮 尺	1:200	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

正面図

下り線

上り線

捨土掘削

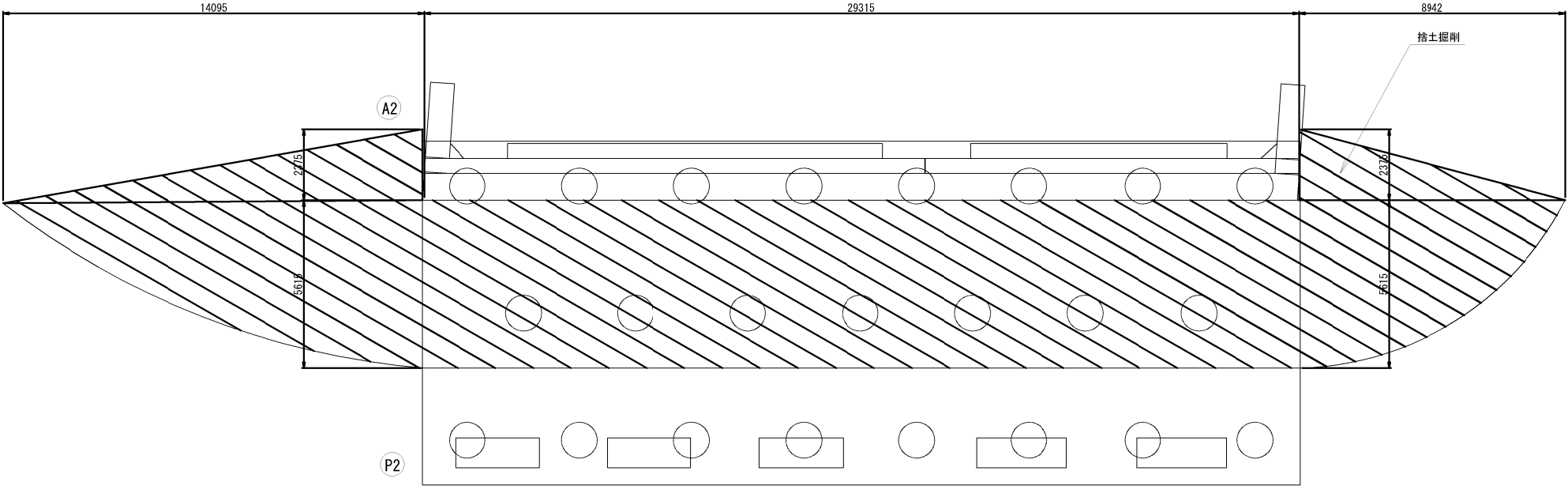


平面図

下り線

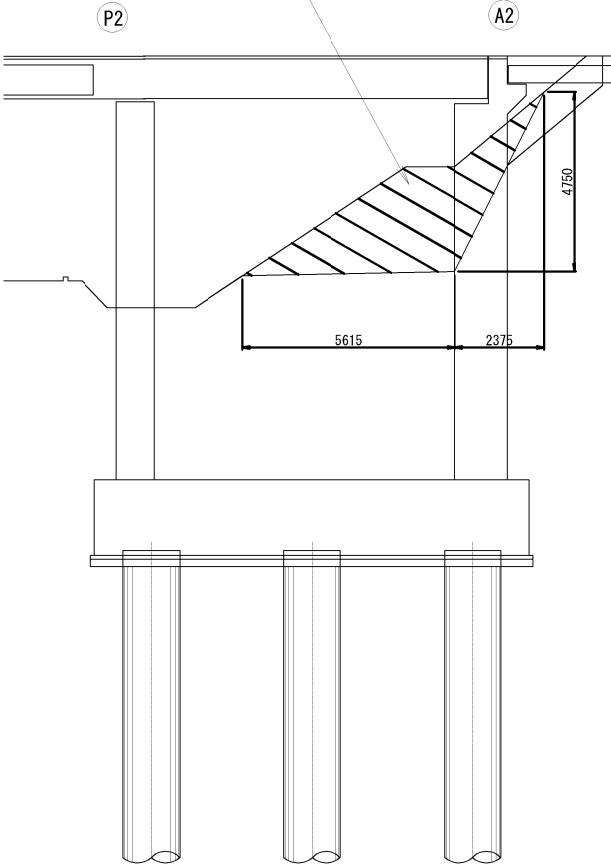
上り線

捨土掘削



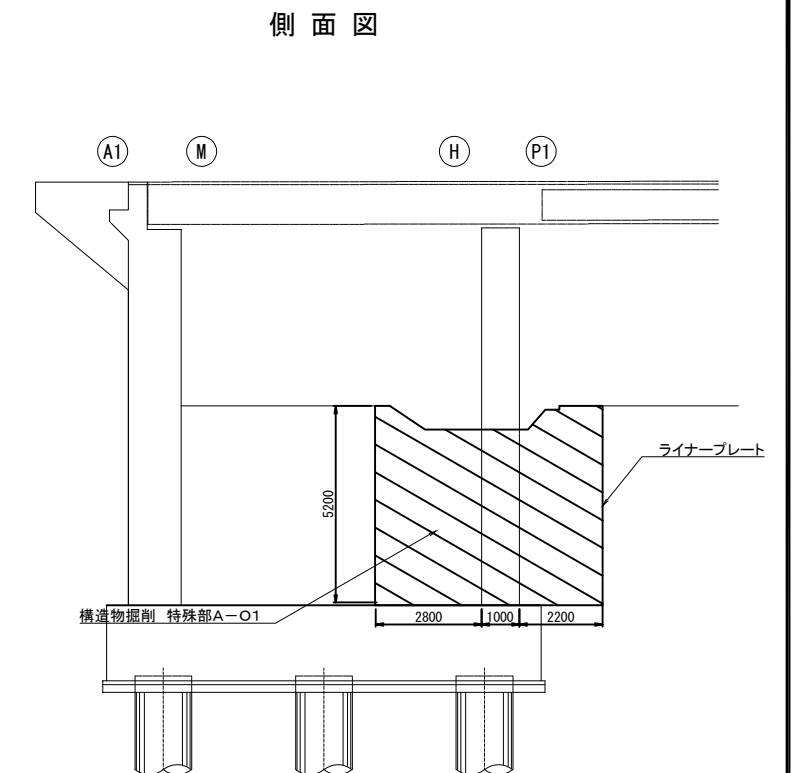
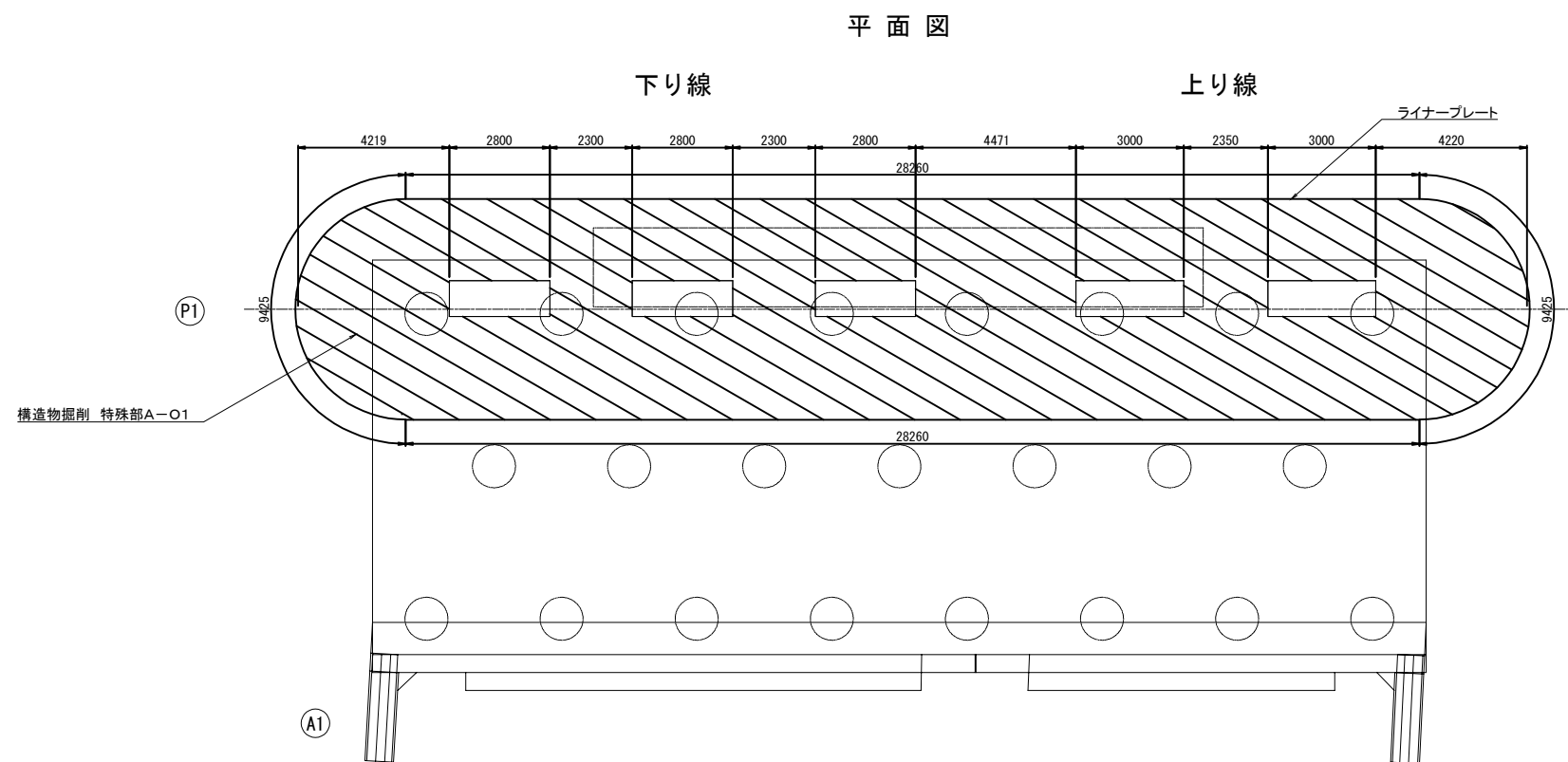
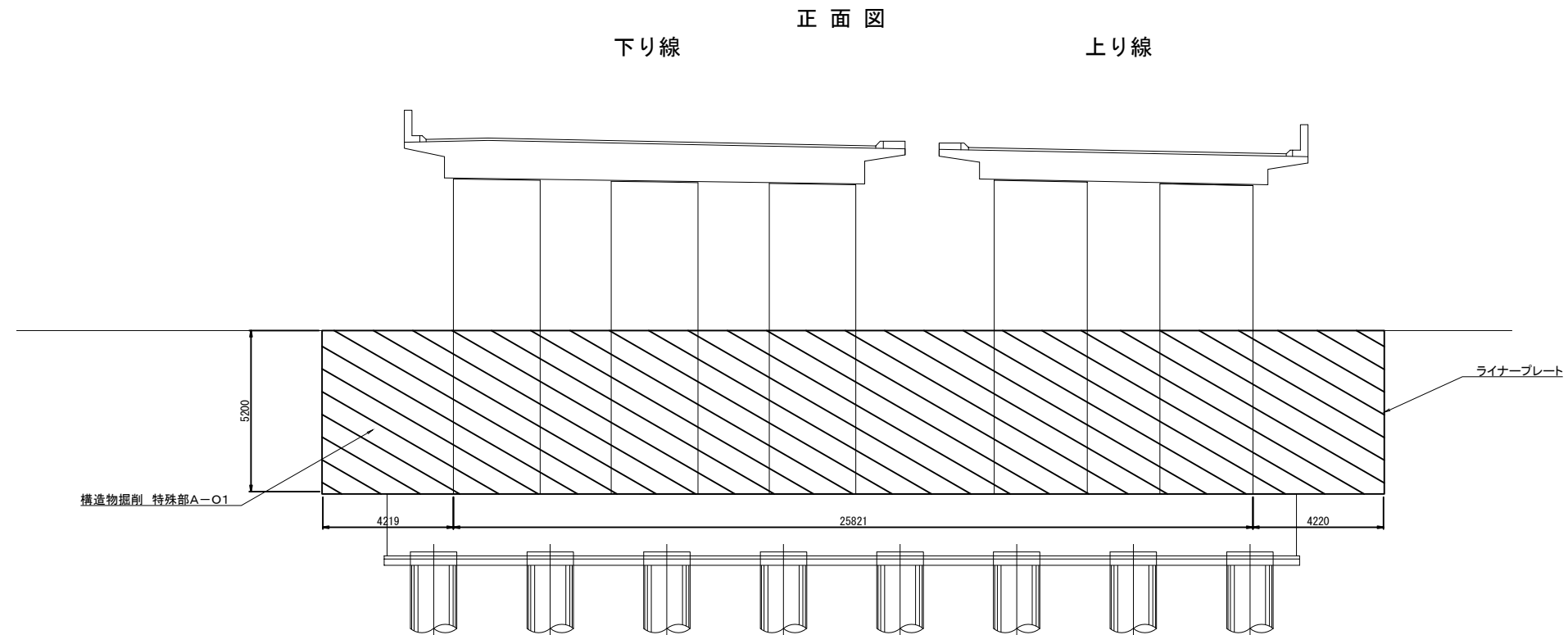
側面図

捨土掘削



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）A 2 橋台		
	捨土掘削 土砂 A		
縮 尺	1：200	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

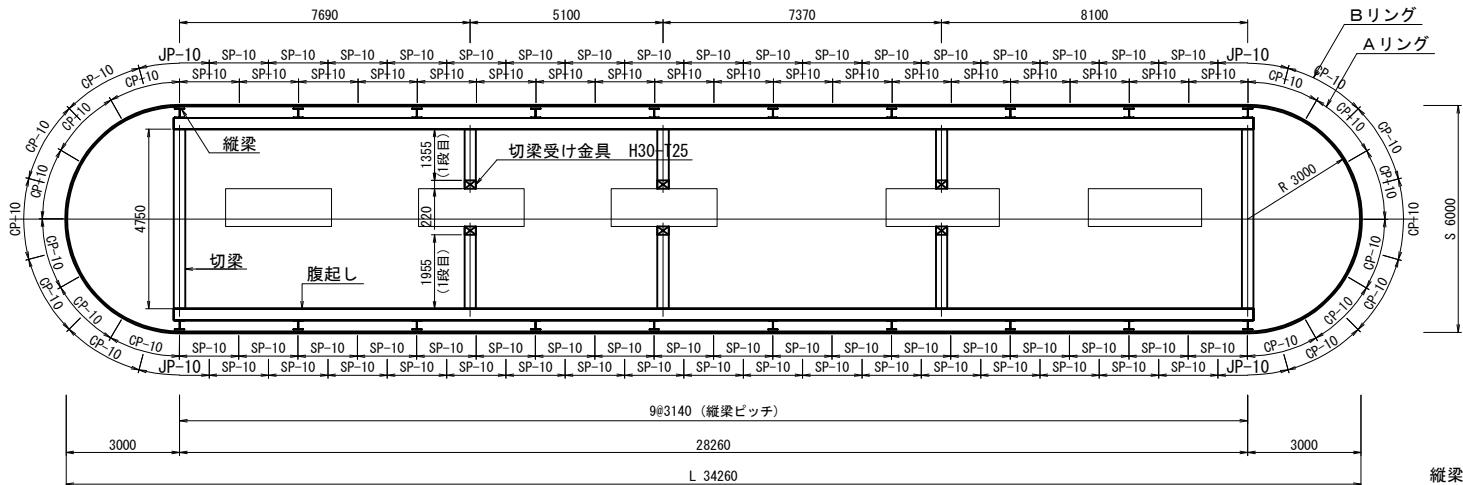
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 構造物掘削 特殊部 A－O 1（その 1）		
縮 尺	1:200	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

材料表

名 称	寸 法 (mm)	単体質量 (kg)	数 量	質 量 (kg)	備 考
ライナープレート (t=2.7mm)・・・H=5.5m					
ライナープレート	2.7×500×1570 (SP-10)	26.0	386	10036.0	黒皮
ライナープレート	2.7×500×1570 (JP-10)	26.0	20	520.0	黒皮
ライナープレート	2.7×500×1570 (CP-10)	26.0	122	3172.0	黒皮
組立ボルト	M16×30 (4.6, LP用)	0.137	4512	618.1	
組立ボルト	M16×45 (8.8, HR用)	0.158	2880	455.0	
小計				14801.1 kg	
補強リング (H-150)・・・6リング (継ぎ手部 20箇所/1リング)					
補強リング	H-150×150×7×10×3134	97.5	36	3510.0	黒皮,円弧部
補強リング	H-150×150×7×10×3919	121.9	72	8776.8	黒皮,直線部
補強リング	H-150×150×7×10×4704	146.3	12	1755.6	黒皮,直線部
継手板	PL-150×12×310	4.38	240	1051.2	黒皮
継手ボルト	M20×50 (8.8)	0.275	1920	528.0	
ロックワッシャー	M20ボルト用	—	960	—	
小計				15621.6 kg	
(支保工)					
縦 梁	H-250×250×9×14×5575	446.0	20	8920.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×4750	475.0	2	950.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1955	195.5	3	586.5	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1355	135.5	3	406.5	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×4550	455.0	4	1820.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1855	185.5	6	1113.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1255	125.5	6	753.0	山留材
腹起し	H-300×300×10×15×28560	2856.0	2	5712.0	山留材
腹起し	H-400×400×13×21×28560	5712.0	4	22848.0	山留材
切梁受け金具	H30-T25	55.0	18	990.0	
小計				44099.0 kg	
合計				74521.7 kg	

※切梁長さは、別途調整のこと

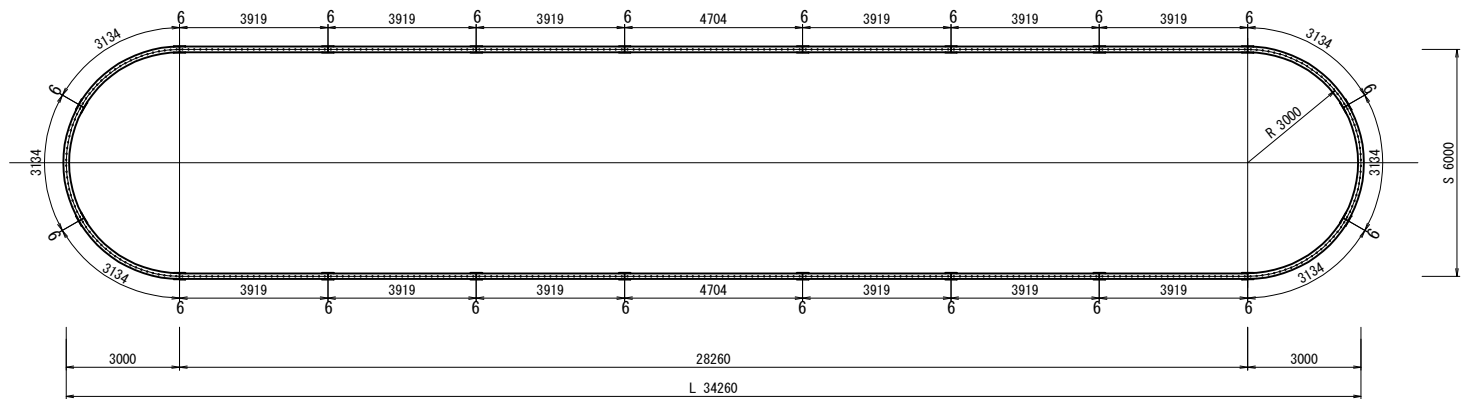
ライナープレート平面割付図 S=1:100



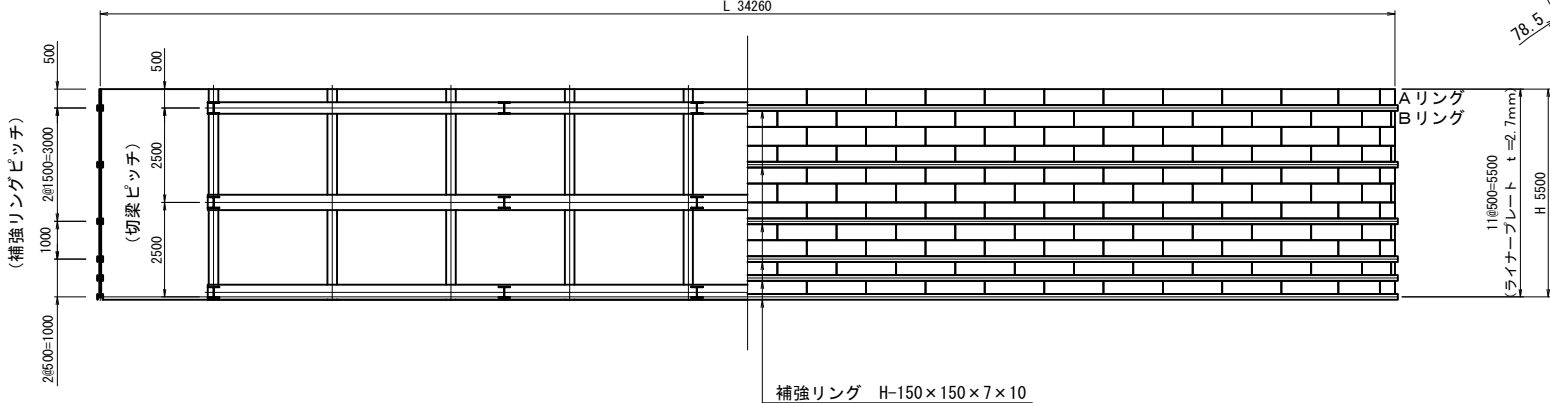
補強リング割付図 S=1:100

補強リング・・・6H-150x150x7x10x3134 (円弧部)
補強リング・・・12H-150x150x7x10x3919 (直線部)
補強リング・・・2H-150x150x7x10x4704 (直線部)

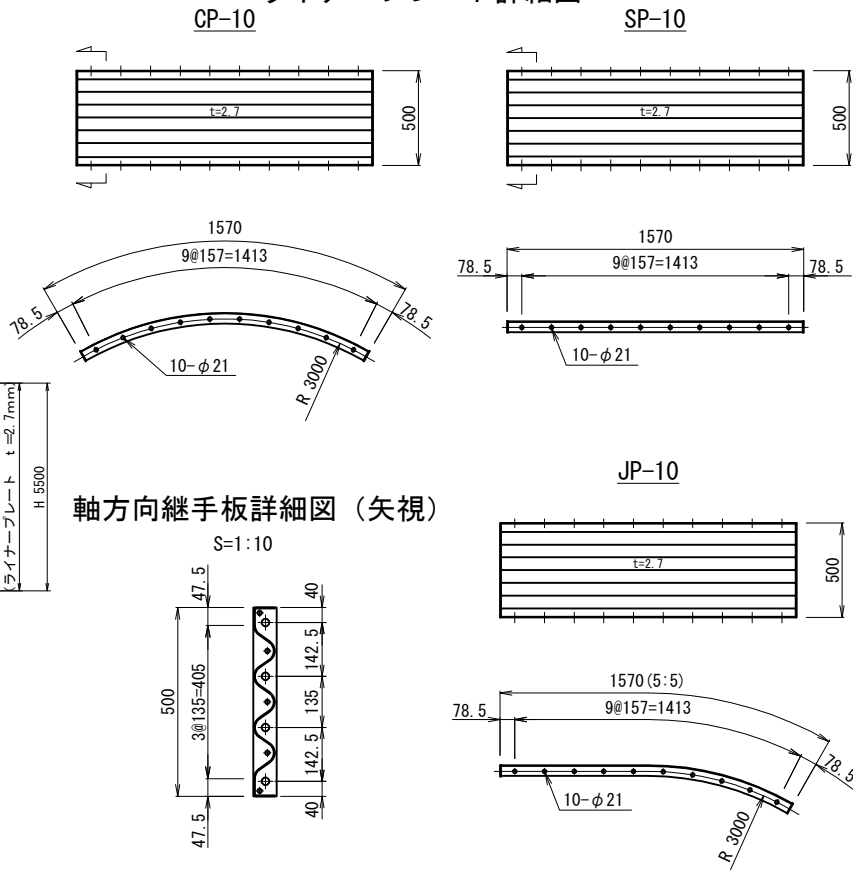
縦梁 H-250×250×9×14 (山留材)
切梁 H-300×300×10×15 (山留材)
腹起し (上から)
1段目 H-300×300×10×15 (山留材)
2段目 H-400×400×13×21 (山留材)
3段目 H-400×400×13×21 (山留材)



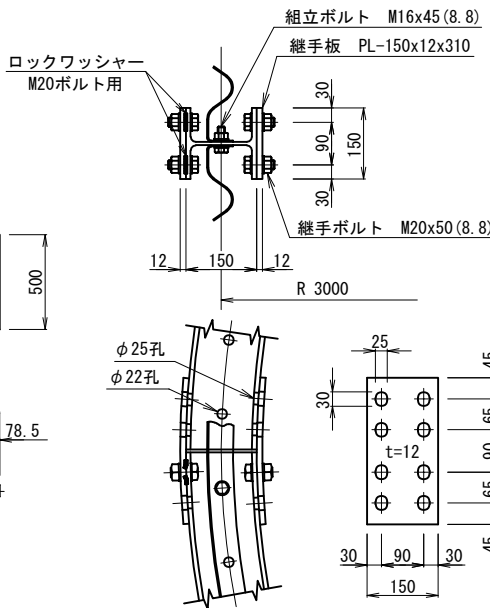
断面図、側面図 S=1:100



ライナープレート詳細図 S=1:20



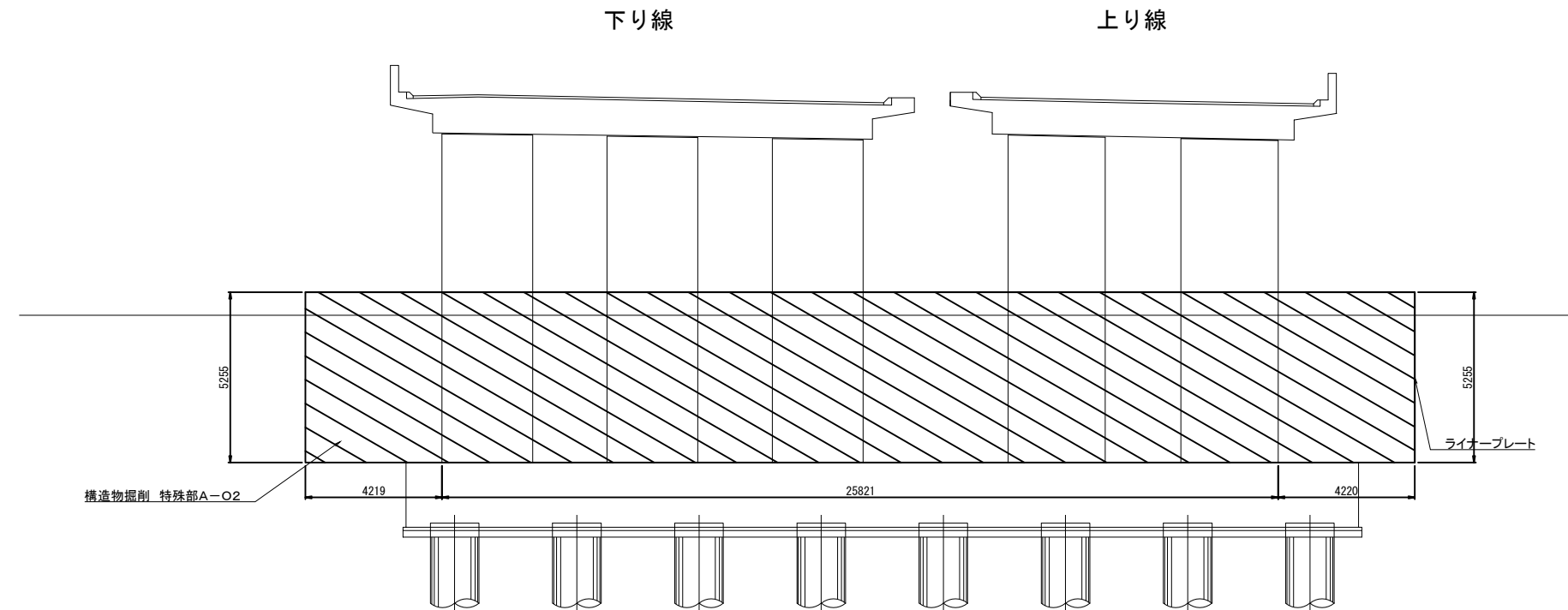
補強リング継手詳細図 S=1:8



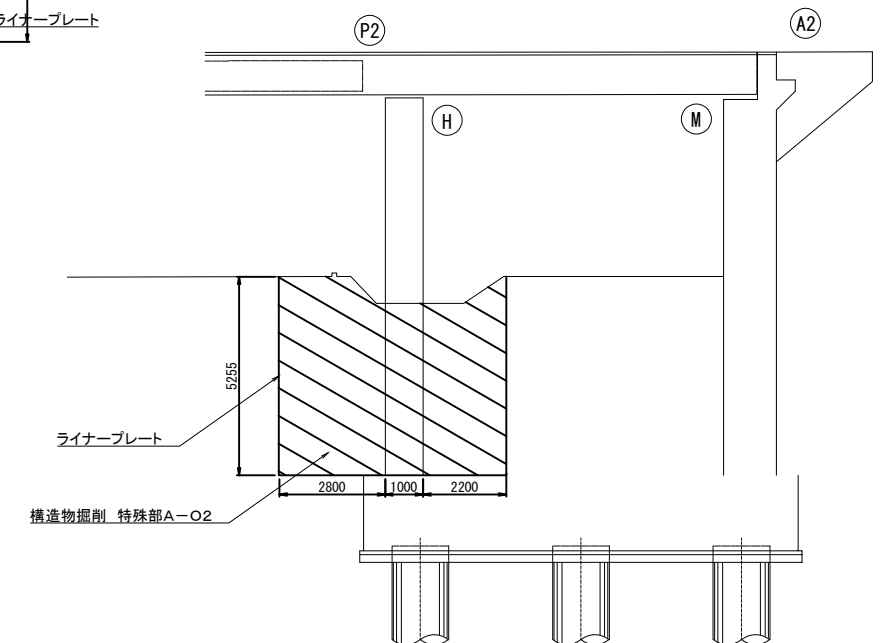
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 構造物掘削 特殊部A－O 1 （その2）	図 示	図 面 番 号
縮 尺		設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名		事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

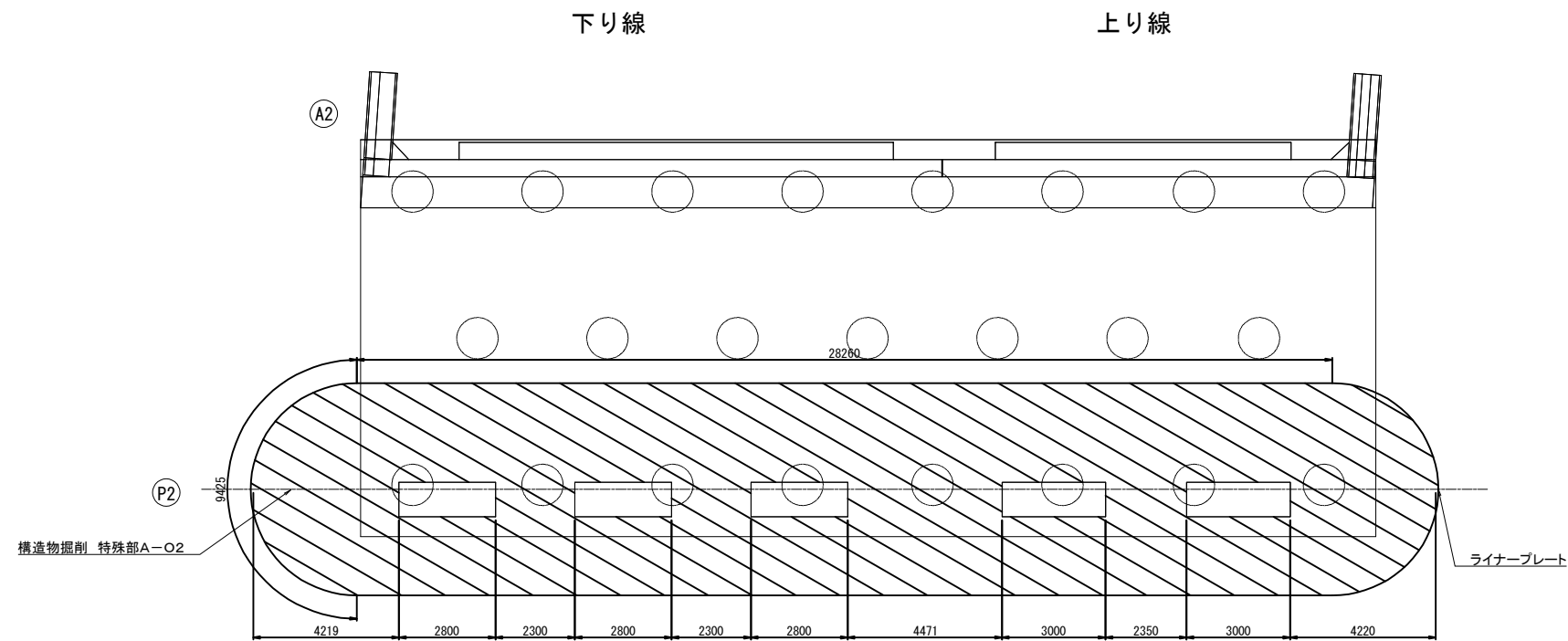
正面図



側面図



平面図



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

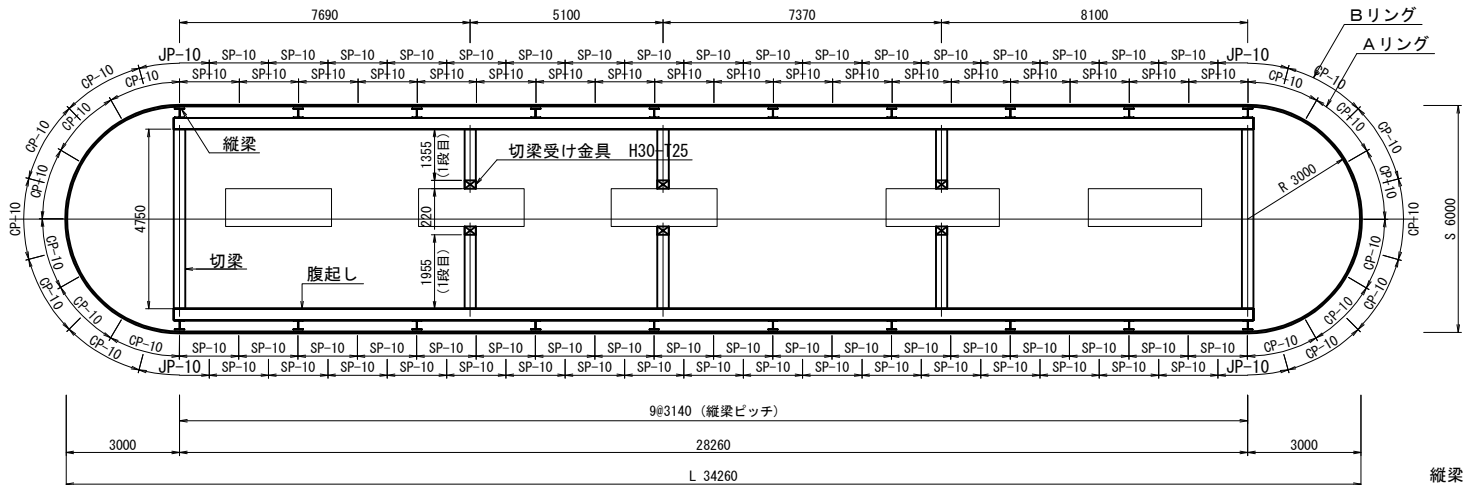
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 構造物掘削 特殊部 A－O 2（その 1）		
縮 尺	1:200	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

材料表

名 称	寸 法 (mm)	単体質量 (kg)	数 量	質 量 (kg)	備 考
ライナープレート (t=2.7mm)・・・H=5.5m					
ライナープレート	2.7×500×1570 (SP-10)	26.0	386	10036.0	黒皮
ライナープレート	2.7×500×1570 (JP-10)	26.0	20	520.0	黒皮
ライナープレート	2.7×500×1570 (CP-10)	26.0	122	3172.0	黒皮
組立ボルト	M16×30 (4.6, LP用)	0.137	4512	618.1	
組立ボルト	M16×45 (8.8, HR用)	0.158	2880	455.0	
小計				14801.1 kg	
補強リング (H-150)・・・6リング (継ぎ手部 20箇所/1リング)					
補強リング	H-150×150×7×10×3134	97.5	36	3510.0	黒皮,円弧部
補強リング	H-150×150×7×10×3919	121.9	72	8776.8	黒皮,直線部
補強リング	H-150×150×7×10×4704	146.3	12	1755.6	黒皮,直線部
継手板	PL-150×12×310	4.38	240	1051.2	黒皮
継手ボルト	M20×50 (8.8)	0.275	1920	528.0	
ロックワッシャー	M20ボルト用	—	960	—	
小計				15621.6 kg	
(支保工)					
縦 梁	H-250×250×9×14×5575	446.0	20	8920.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×4750	475.0	2	950.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1955	195.5	3	586.5	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1355	135.5	3	406.5	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×4550	455.0	4	1820.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1855	185.5	6	1113.0	山留材
切 梁	H-300×300×10×15×1255	125.5	6	753.0	山留材
腹起し	H-300×300×10×15×28560	2856.0	2	5712.0	山留材
腹起し	H-400×400×13×21×28560	5712.0	4	22848.0	山留材
切梁受け金具	H30-T25	55.0	18	990.0	
小計				44099.0 kg	
合計				74521.7 kg	

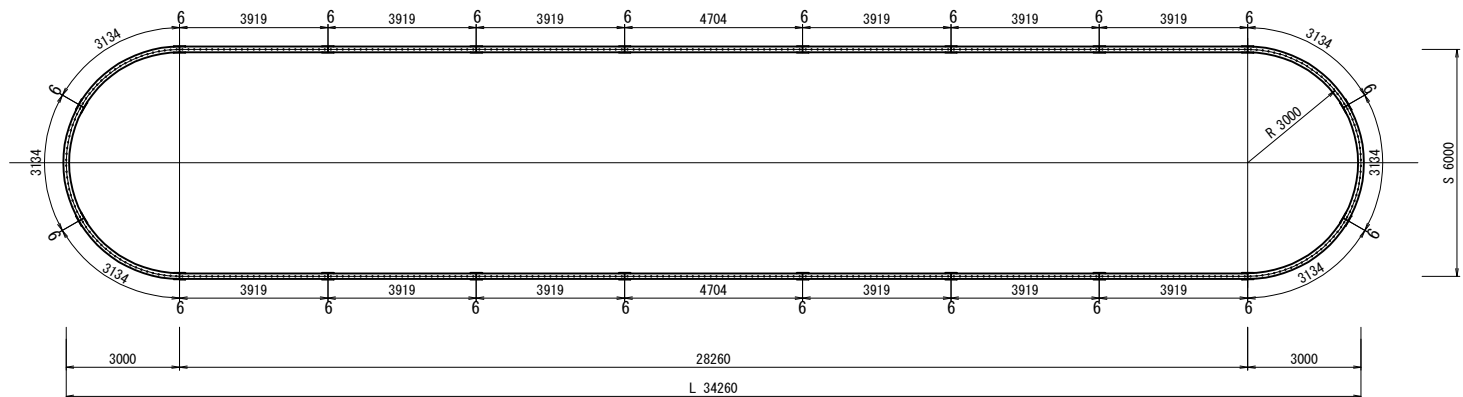
※切梁長さは、別途調整のこと

ライナープレート平面割付図 S=1:100

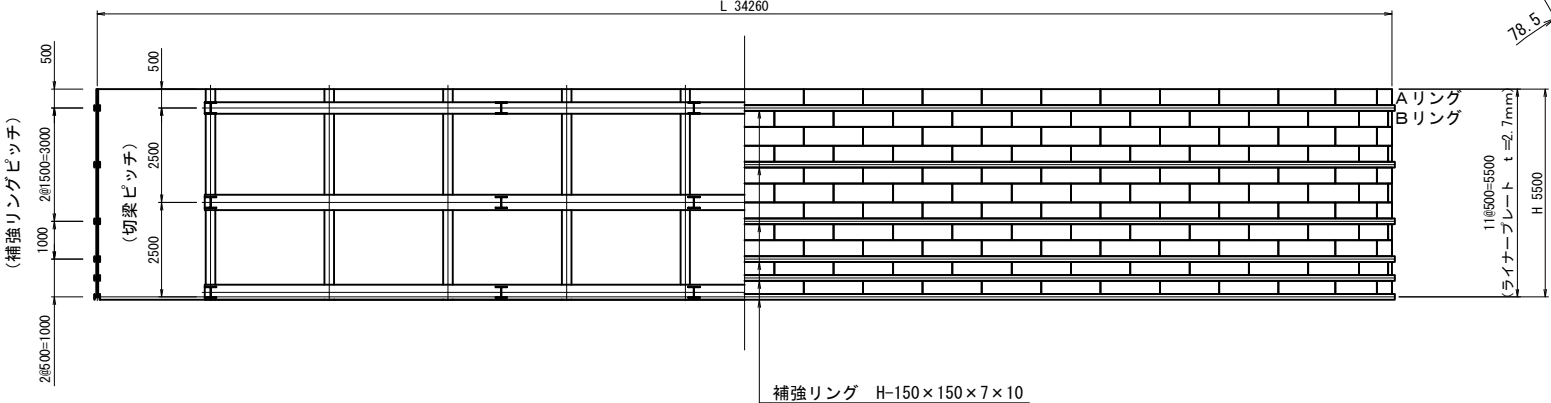


補強リング割付図 S=1:100

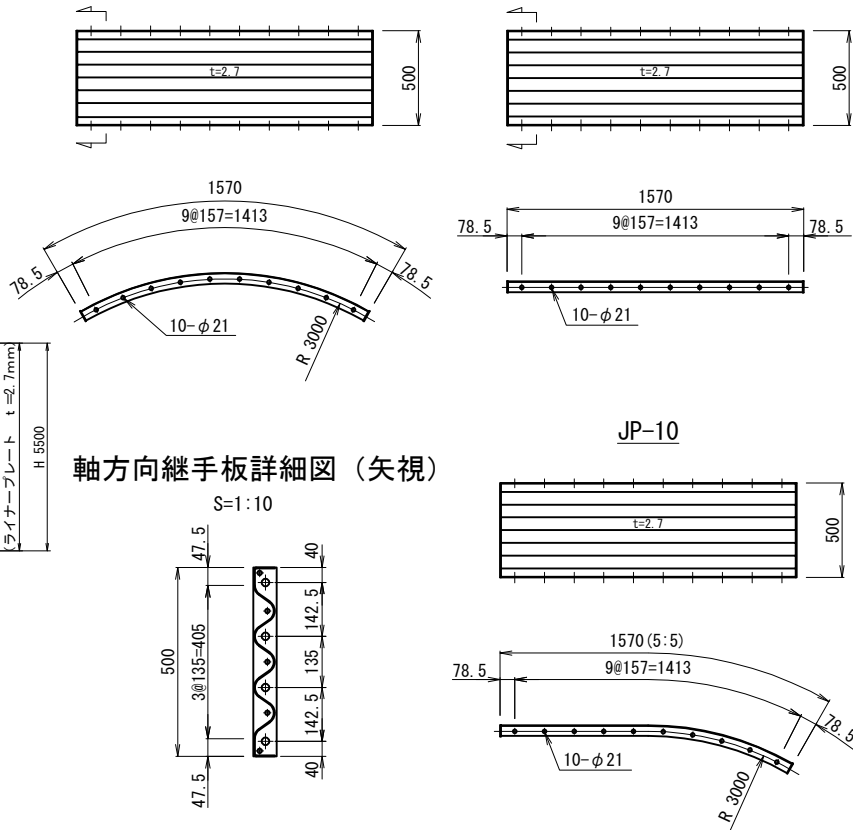
補強リング... 6H-150x150x7x10x3134 (円弧部)
補強リング... 12H-150x150x7x10x3919 (直線部)
補強リング... 2H-150x150x7x10x4704 (直線部)



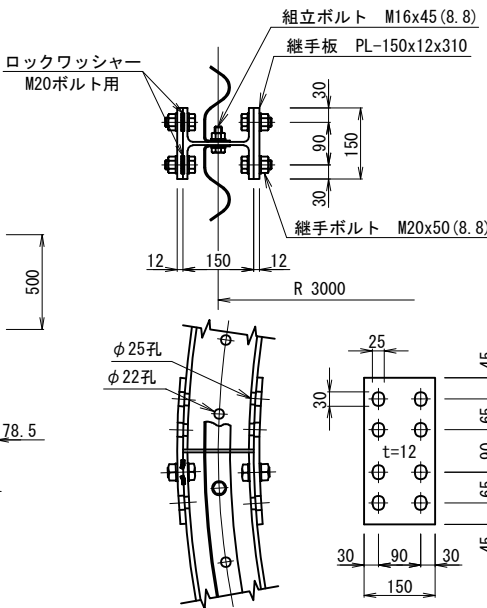
断面図、側面図 S=1:100



ライナープレート詳細図 S=1:20



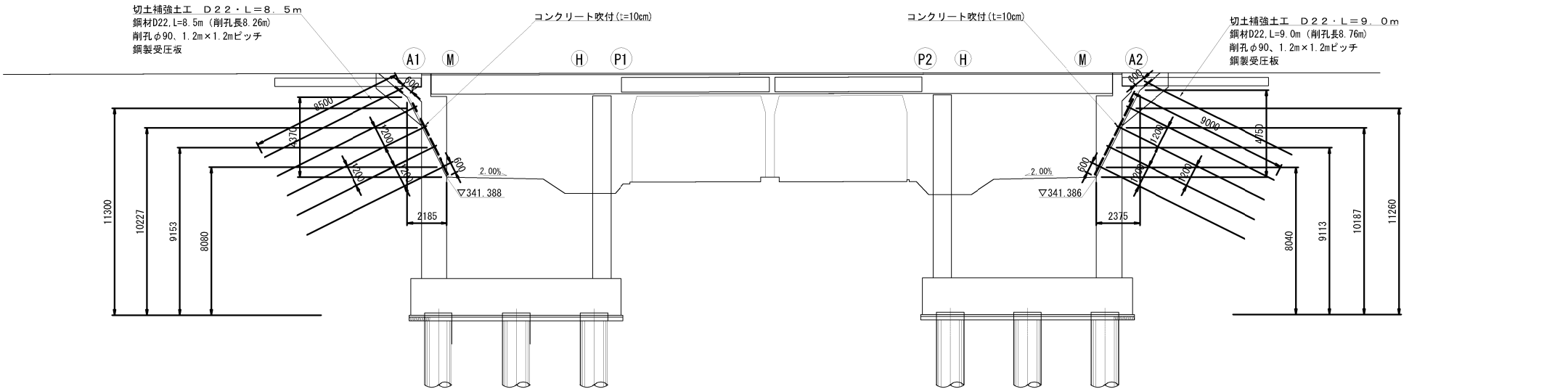
補強リング継手詳細図 S=1:8



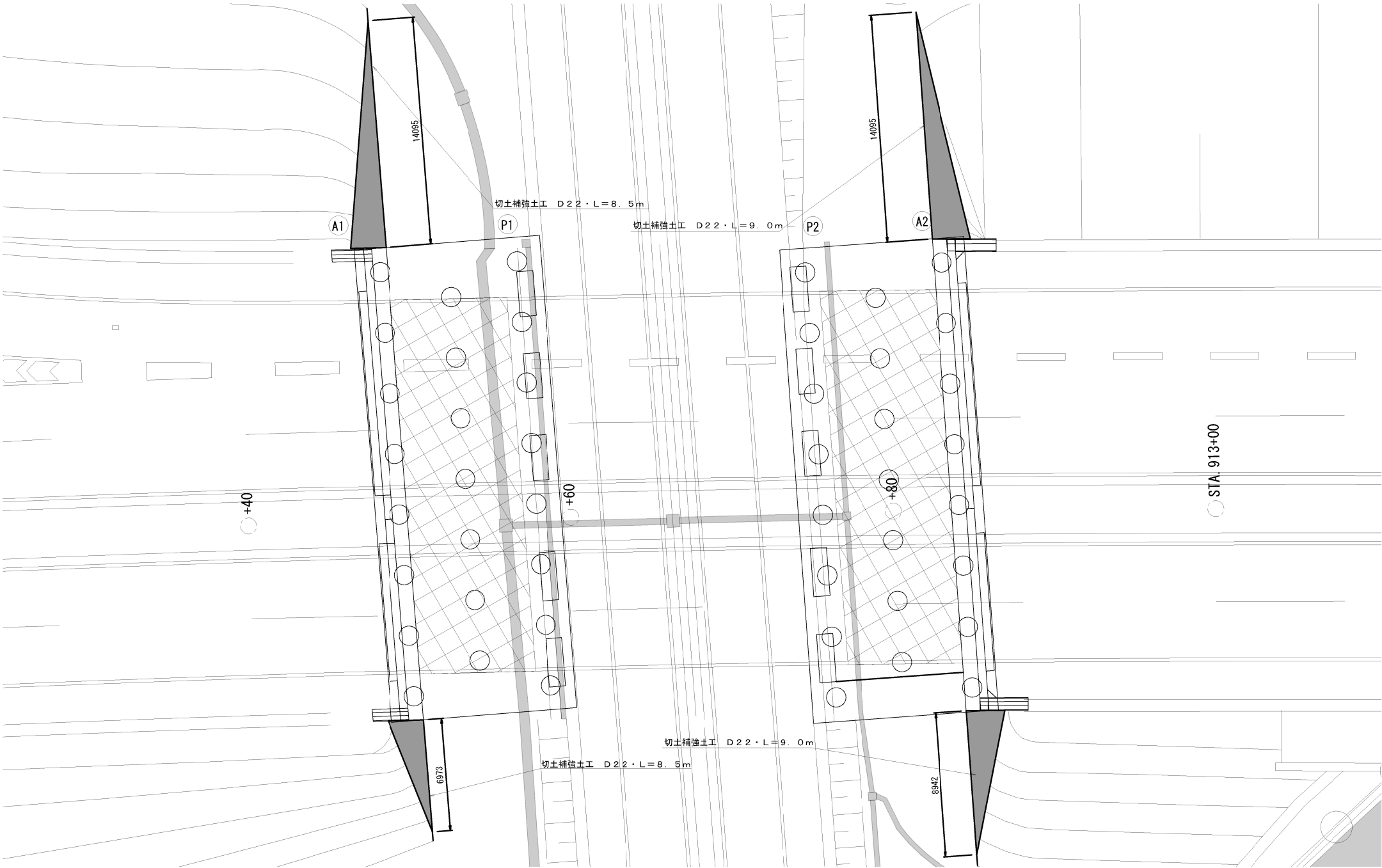
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
3. P1橋脚 構造物掘削 特殊部A-O1に使用されたライナープレートを再使用すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 構造物掘削 特殊部A－O 2 （その2）	図 示	図 面 番 号
縮 尺			
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

側面図



平面図

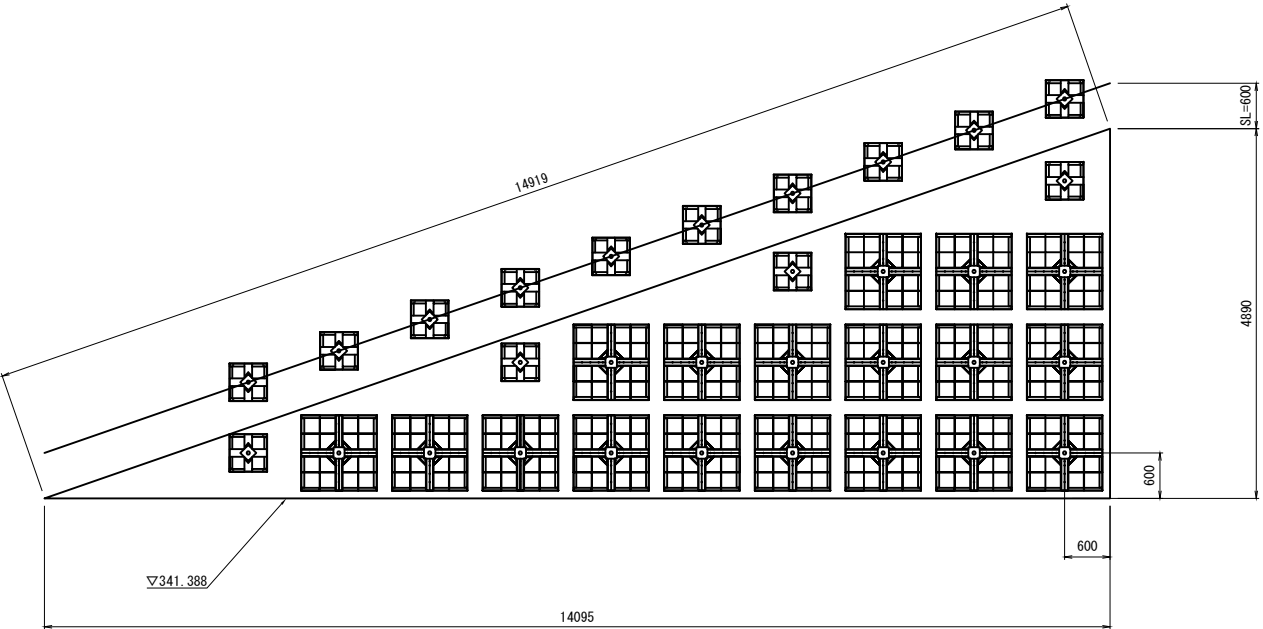


- 注記)
- 吹付コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=15N/mm^2$ とする。
 - クラックまたは剥落を防止するため、吹付コンクリート中に金網を設置するものとし、必要がある場合には鉄筋を配置するものとする。金網はJIS G 3552のZ-GS2、菱形金網 $\phi 2.0 \times 50mm$ を標準とする。
 - 金網はアンカーピンでのリ面に沿って固定するものとする。アンカーピンは、金網の移動防止や位置の保持のために、標準として $\phi 9mm$ (D10) $\times L=20cm$ を1.5本/m²および $\phi 16mm$ (D16) $\times L=40cm \leq 0.3$ 本/m²それぞれ設置する。また、固定不十分な部分がある場合には補助的に $\phi 9 \sim 13mm$ (D10~13) $\times L=20cm$ のアンカーピンを必要な箇所に打設するものとする。
 - 補強材の地表部に近い部分（概ね地表から50cm程度）は、注入材の充填を入念に行うものとする。
 - 吹付工には、原則として水抜孔を設置するものとする。水抜孔の直径は $\phi 40 \sim 50mm$ とし、約2m²あたり1本設置するものとする。
 - 橋台と吹付け工の境界部には、伸縮目地を設けるものとする。
 - 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

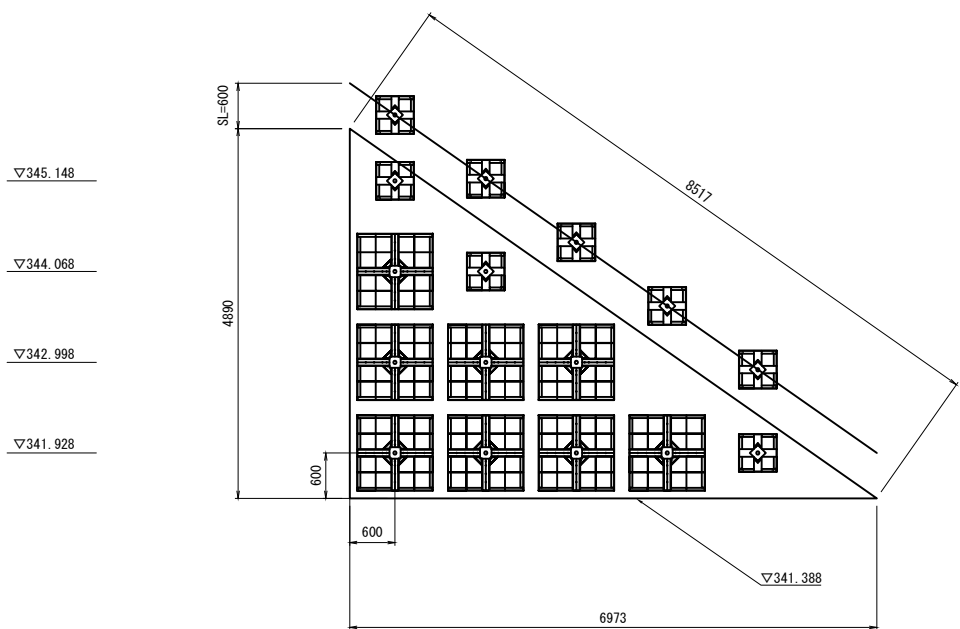
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）		
	切土補強土工（その１）		
縮尺	1:300	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

展開図

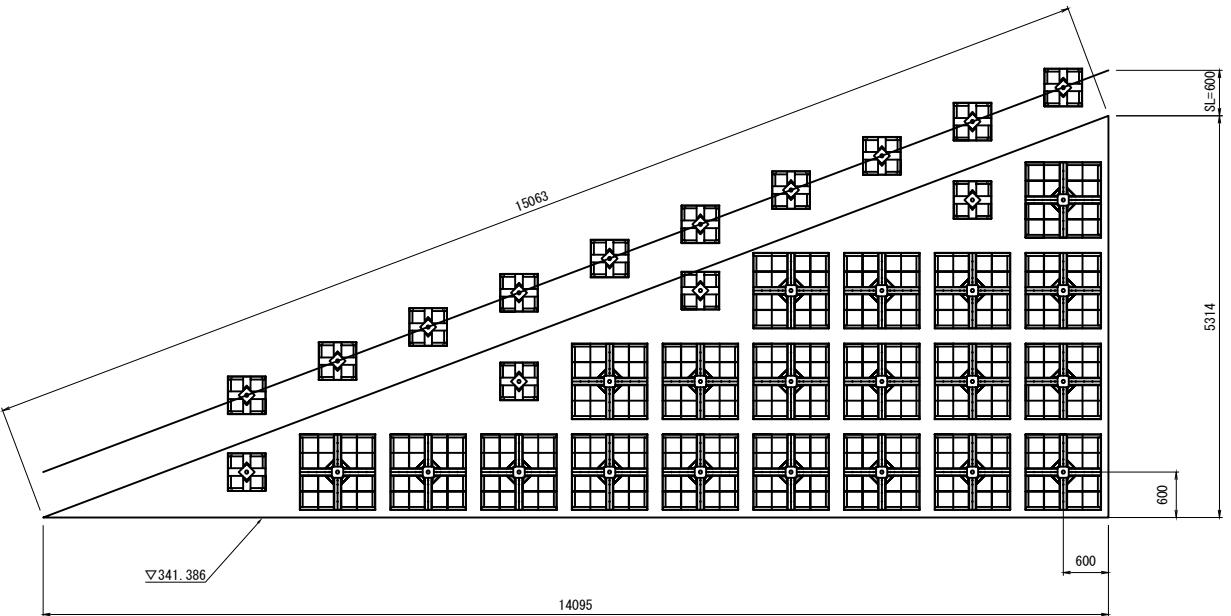
A1橋台端部 下り側のり面



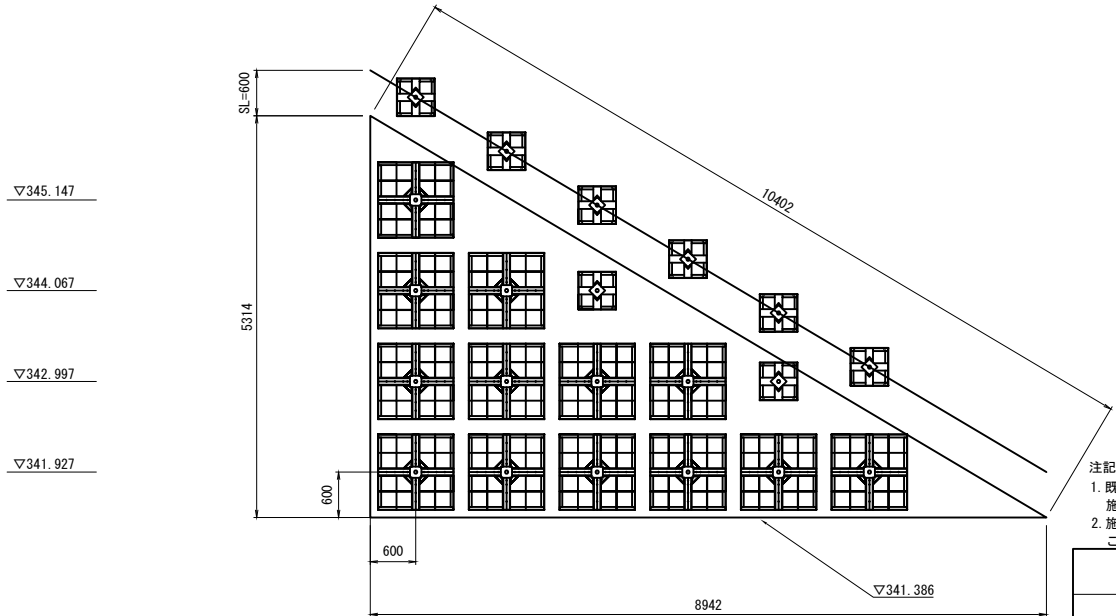
A1橋台端部 上り側のり面



A2橋台端部 下り側のり面



A2橋台端部 上り側のり面



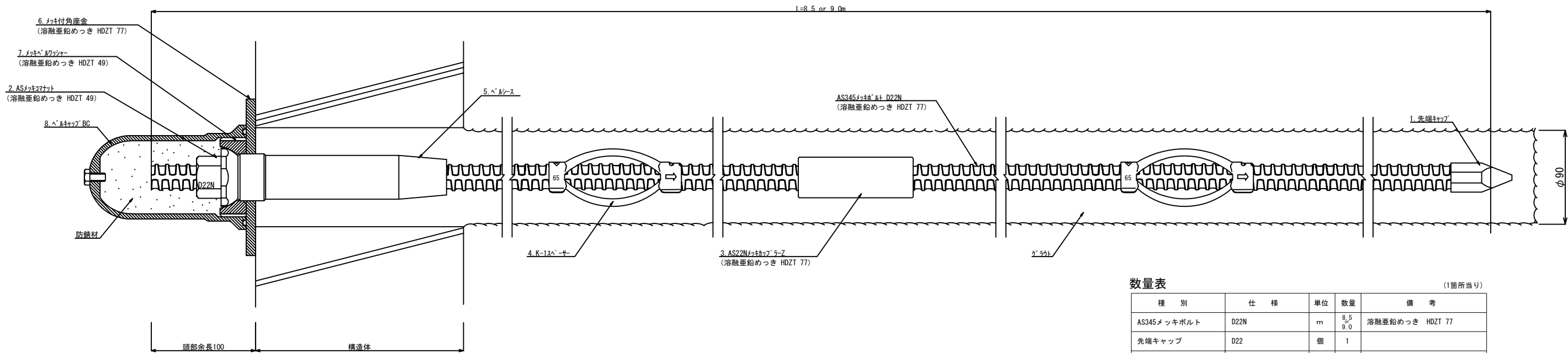
注記)
1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。
2. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映の
こと。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）		
	切土補強土工（その2）		
縮尺	1:200	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

須坂橋（上下線） 切土補強土工（その3）（参考図）
ロックボルト詳細図

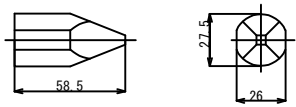
S=1:4

15 / 76

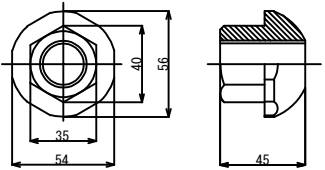


数量表 (1箇所当り)				
種 別	仕 様	単位	数量	備 考
AS345メッキボルト	D22N	m	8.5 9.0	溶融亜鉛めっき HDZT 77
先端キャップ	D22	個	1	
ASメッキコマナット	D22N	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 49
AS22NメッキカップラーZ	D22N	個	2	溶融亜鉛めっき HDZT 77
K-1スペーサー	D22-65	個	4	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
ベルシース	φ45×200	個	1	
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキペルワッシャー	φ74.5×25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 49
ペルキャップBC	φ100×150	個	1	ペルコート360g入り

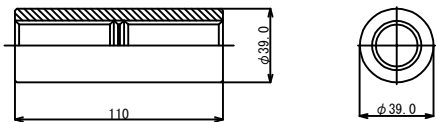
1. 先端キャップ



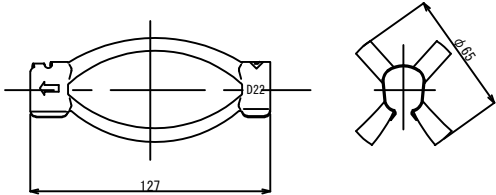
2. ASメッキコマナット D22N
(溶融亜鉛めっき HDZT 49)



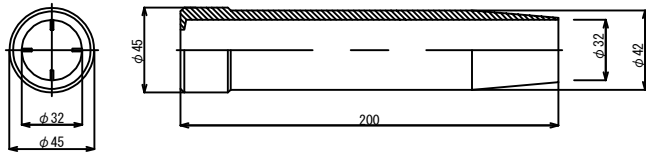
3. AS22NメッキカップラーZ
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



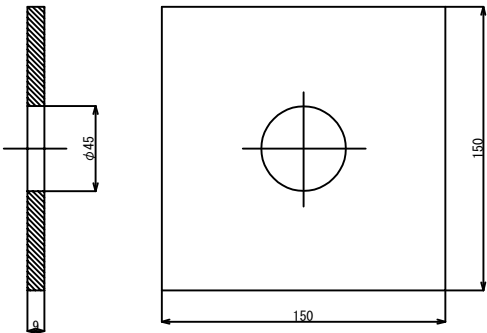
4. K-1スペーサーD22-65 (電気メッキ)



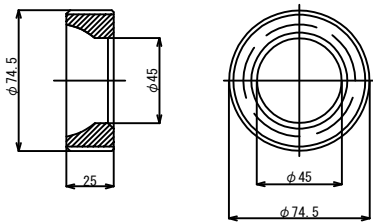
5. ベルシース



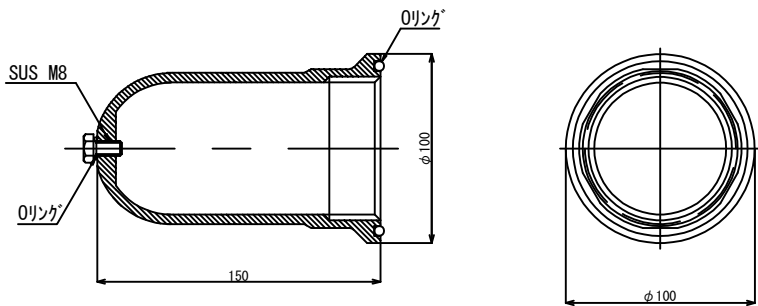
6. メッキ付角座金
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



7. メッキペルワッシャー
(溶融亜鉛めっき HDZT 49)



8. ペルキャップBC



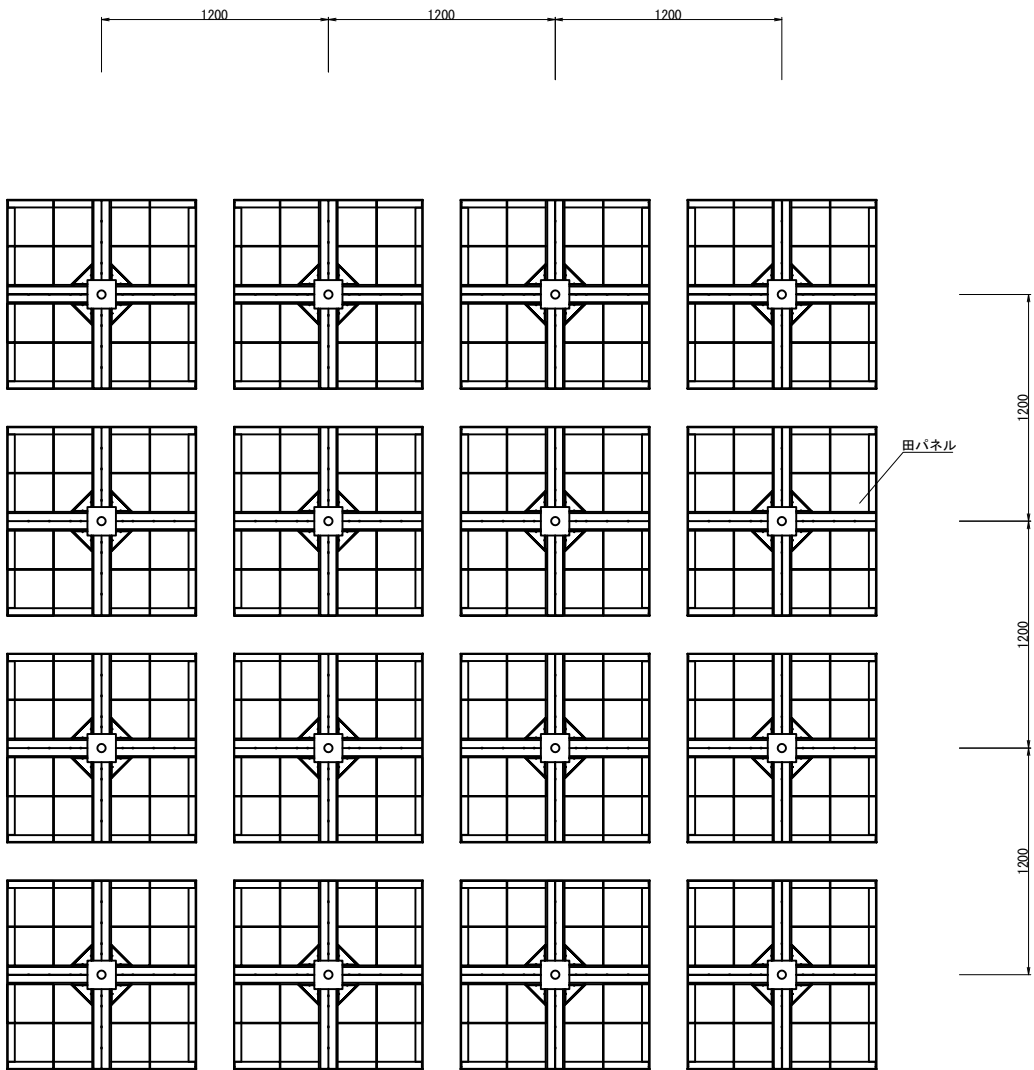
※ペルコート360g入り

注記)
1. 補強材の亜鉛メッキ処理は次のとおりとする。
補強材 …… JIS H 8641 HDZT77
ナット …… JIS H 8641 HDZT49
プレート …… JIS H 8641 HDZT77

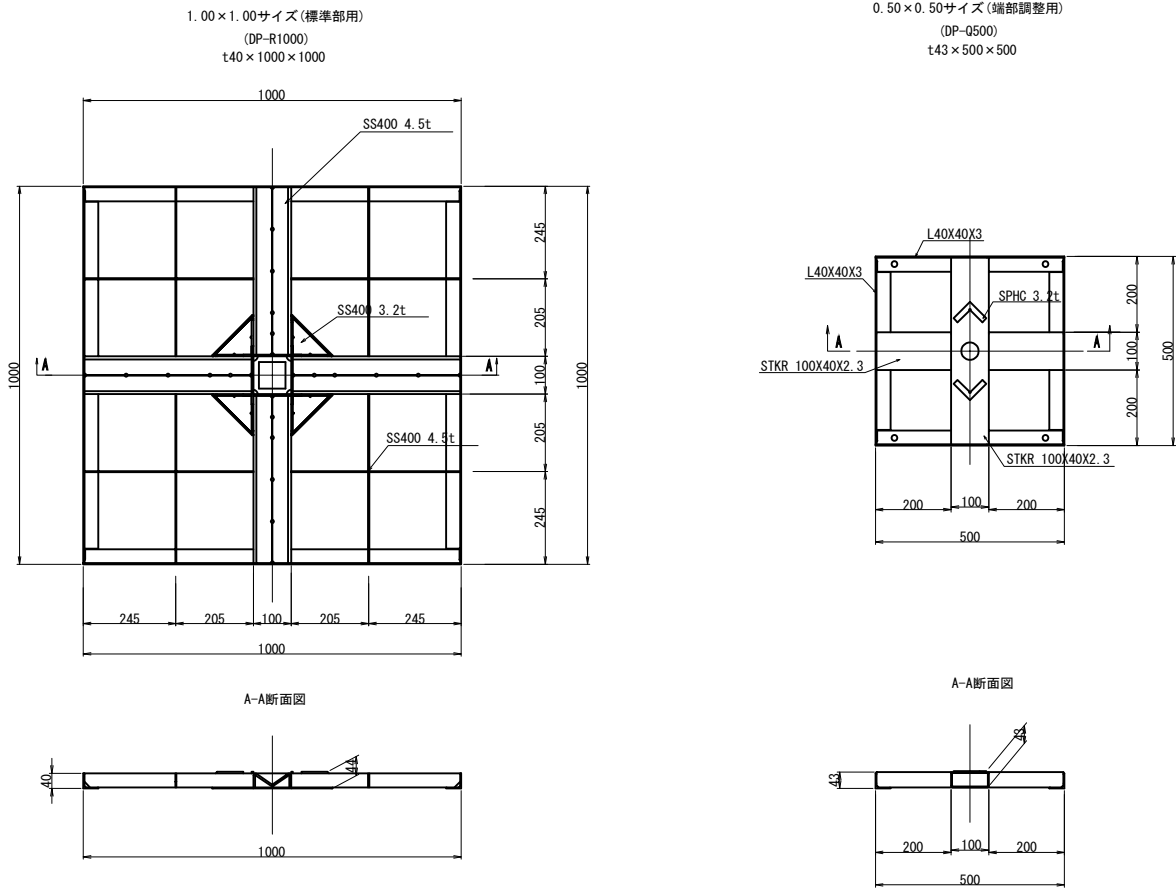
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 切土補強土工（その3） （参考図）		
縮 尺	1:4	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

須坂橋（上下線） 切土補強土工（その４）（参考図）
受圧板詳細図

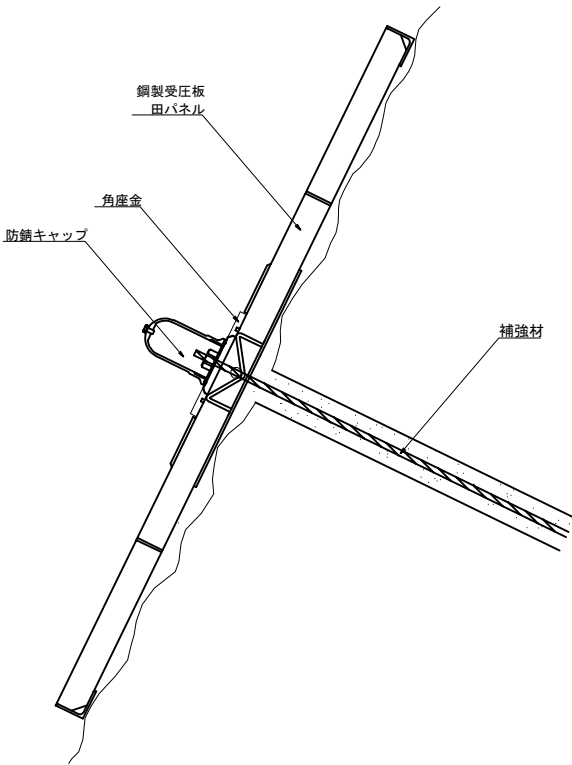
標準配置図 1 : 40



標準構造図 1 : 20



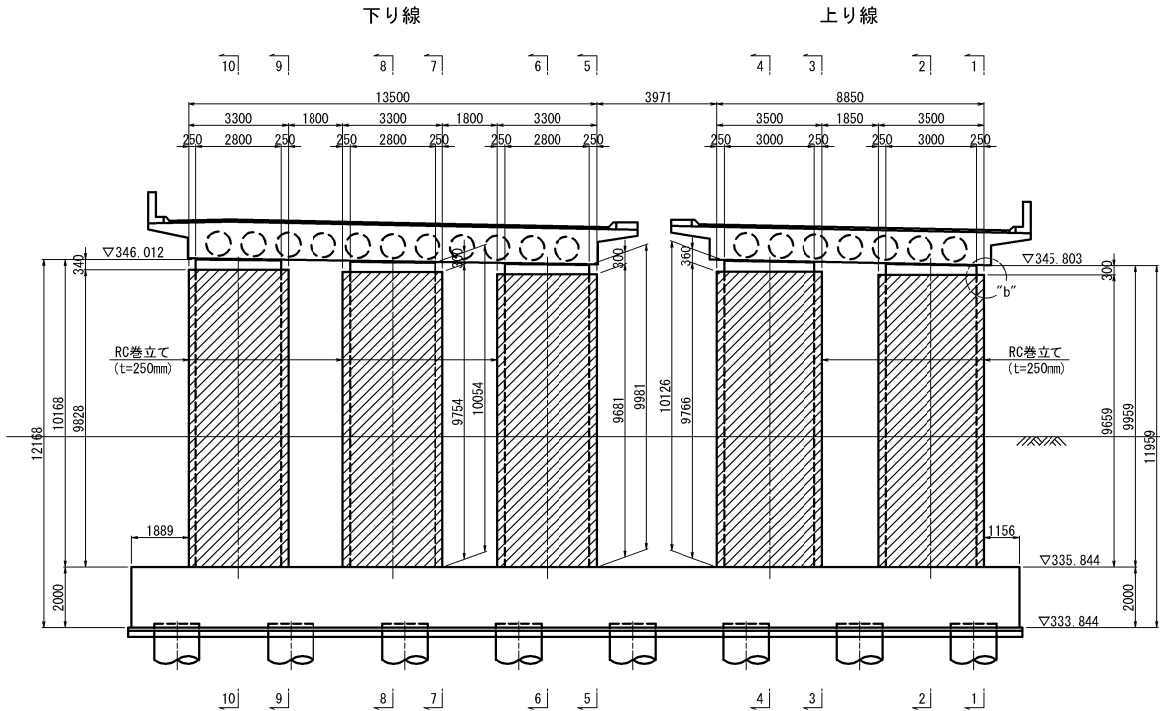
標準断面図 1 : 10



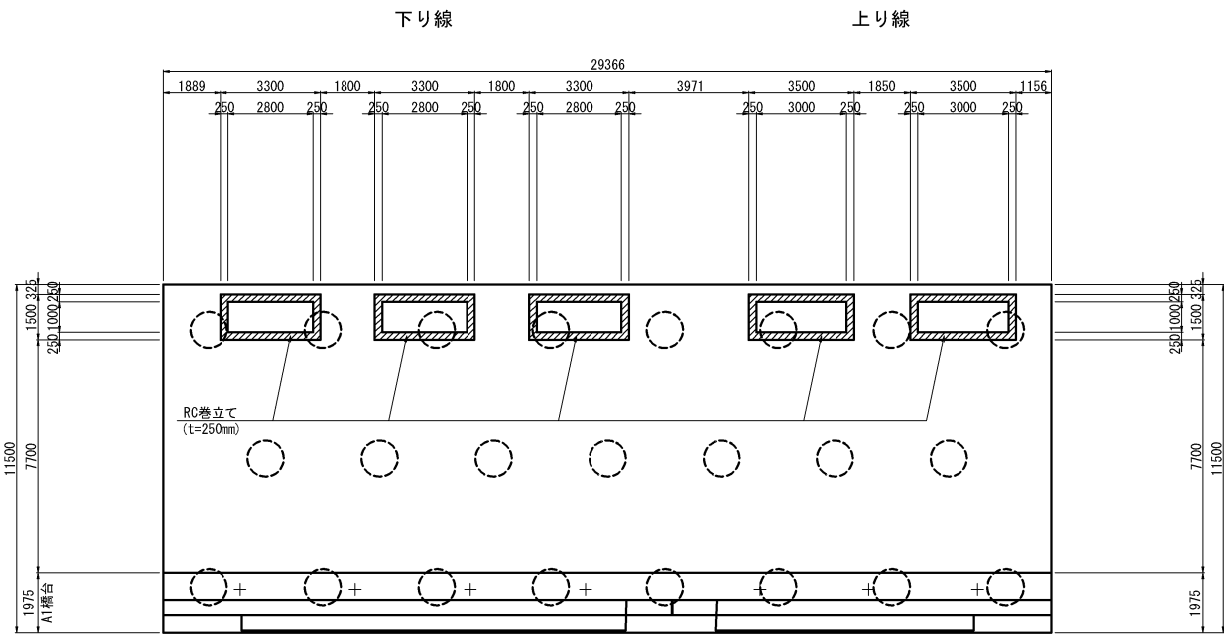
規格	寸法	許容荷重 (kN)	参考質量 (kg)	備 考
DP-R1000	t40 × 1000 × 1000	130	27	ポリエチレンコート
DP-Q500	t43 × 500 × 500	130	7.5	ポリエチレンコート

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 切土補強土工（その４） （参考図）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

正面図

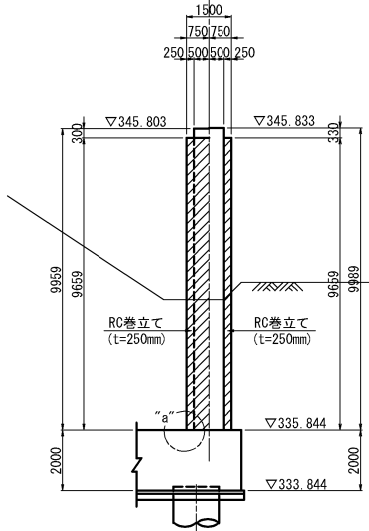


平面図



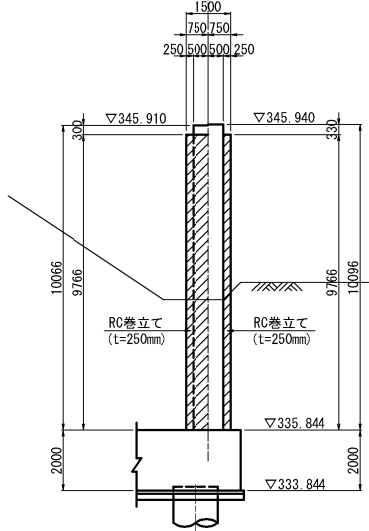
側面図

上り線
1-1 2-2



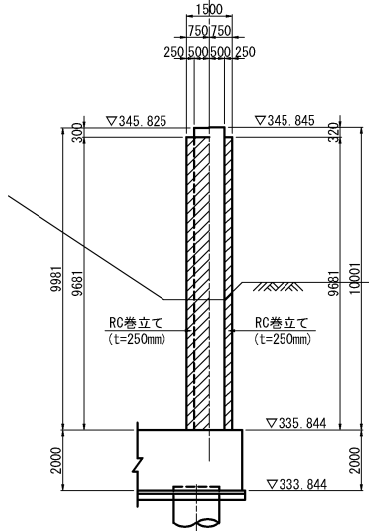
側面図

上り線
3-3 4-4



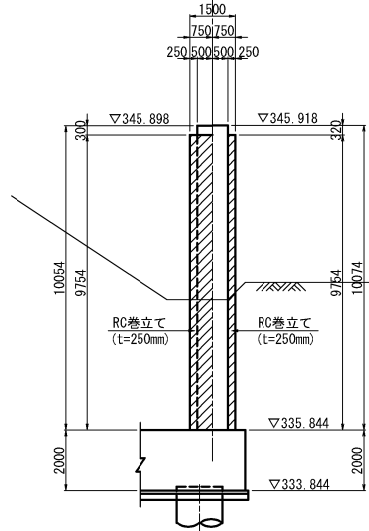
側面図

下り線
5-5 6-6



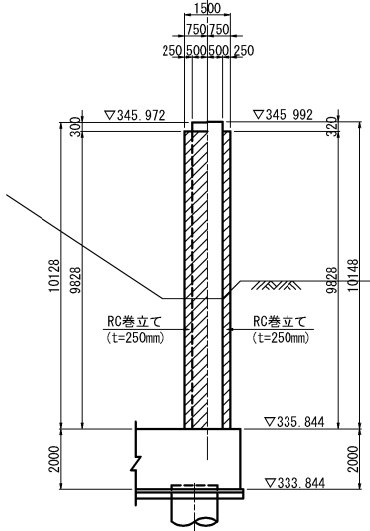
側面図

下り線
7-7 8-8

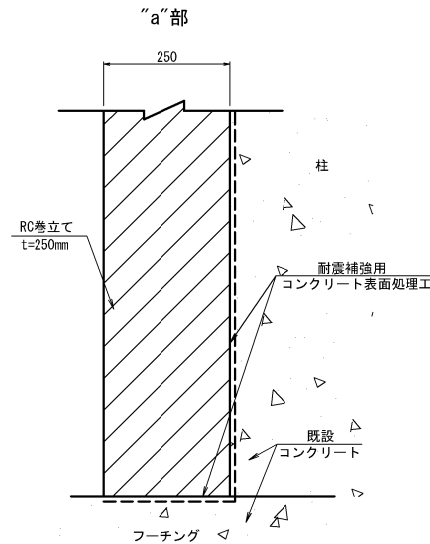


側面図

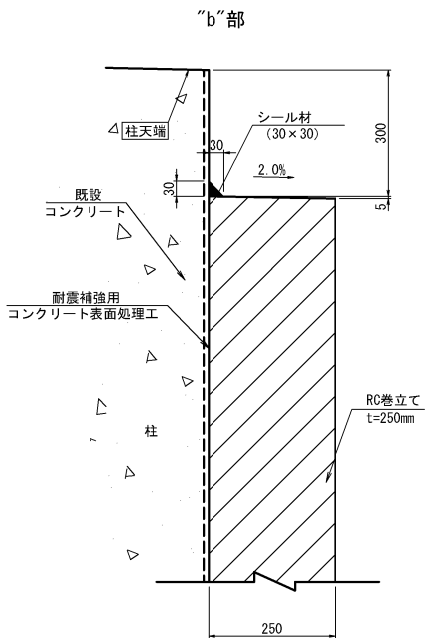
下り線
9-9 10-10



RC巻立て下端部詳細図 S=1:15



RC巻立て天端詳細図 S=1:15

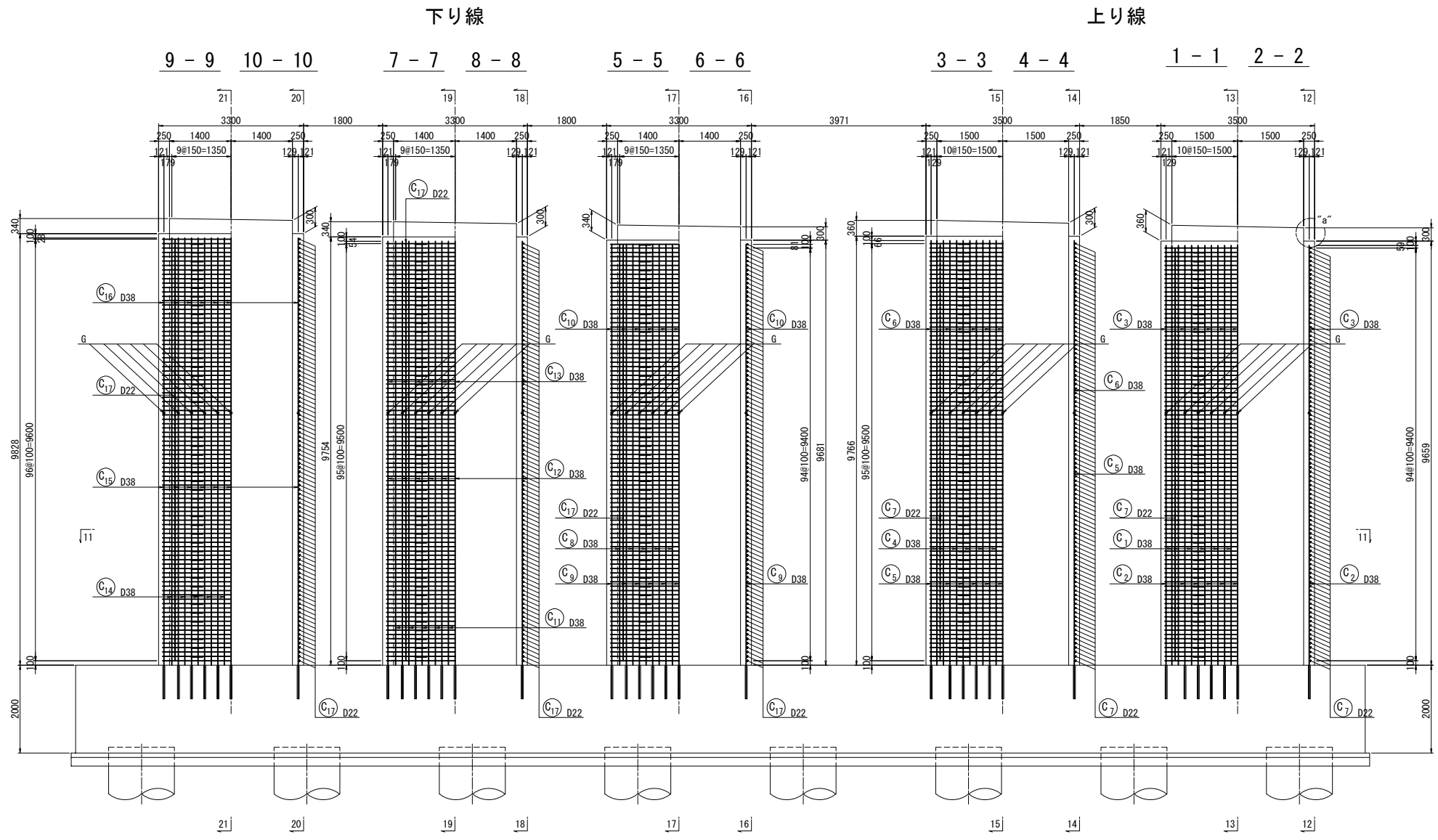


使用材料

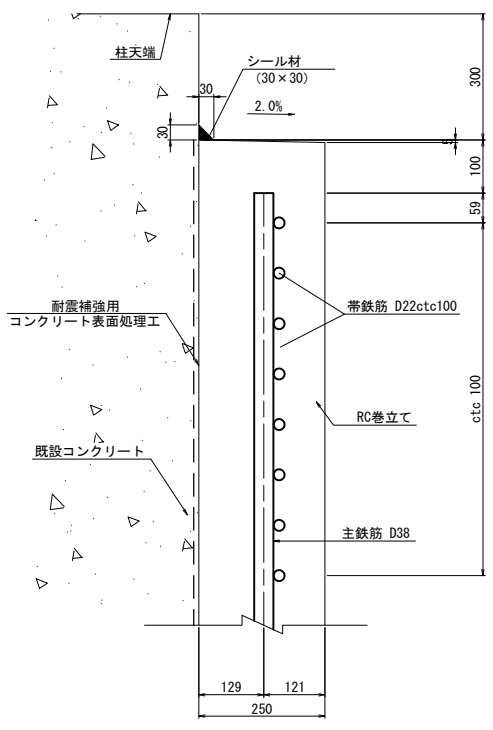
工 種	材 質	仕 様
既 設 部	コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$
	鉄 筋	SD35
補 強 部	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄 筋	SD345

- 注記)
1. は、補強部分を示す。
 2. 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行う。
 3. 補強部分の天端位置から2.0%の排水勾配を外側に向けて設ける。

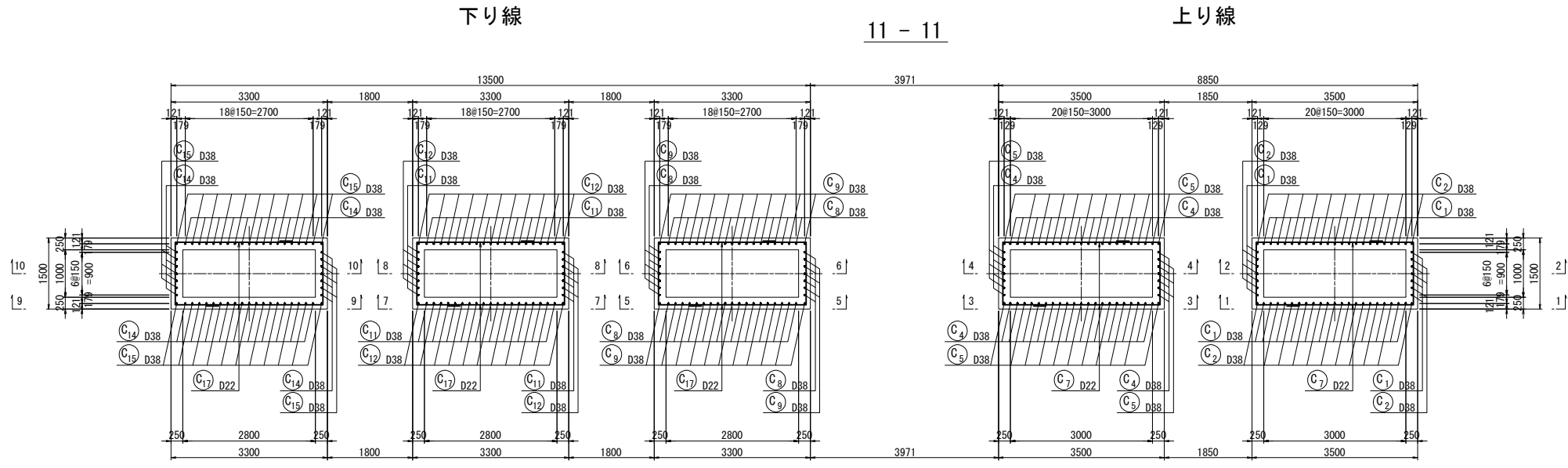
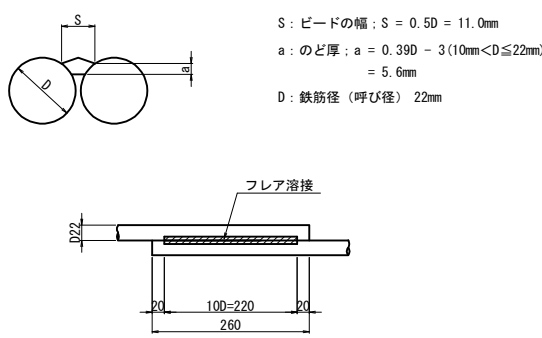
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 RC巻立て一般図
縮 尺	図 示 図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所



a部詳細図 S=1:15

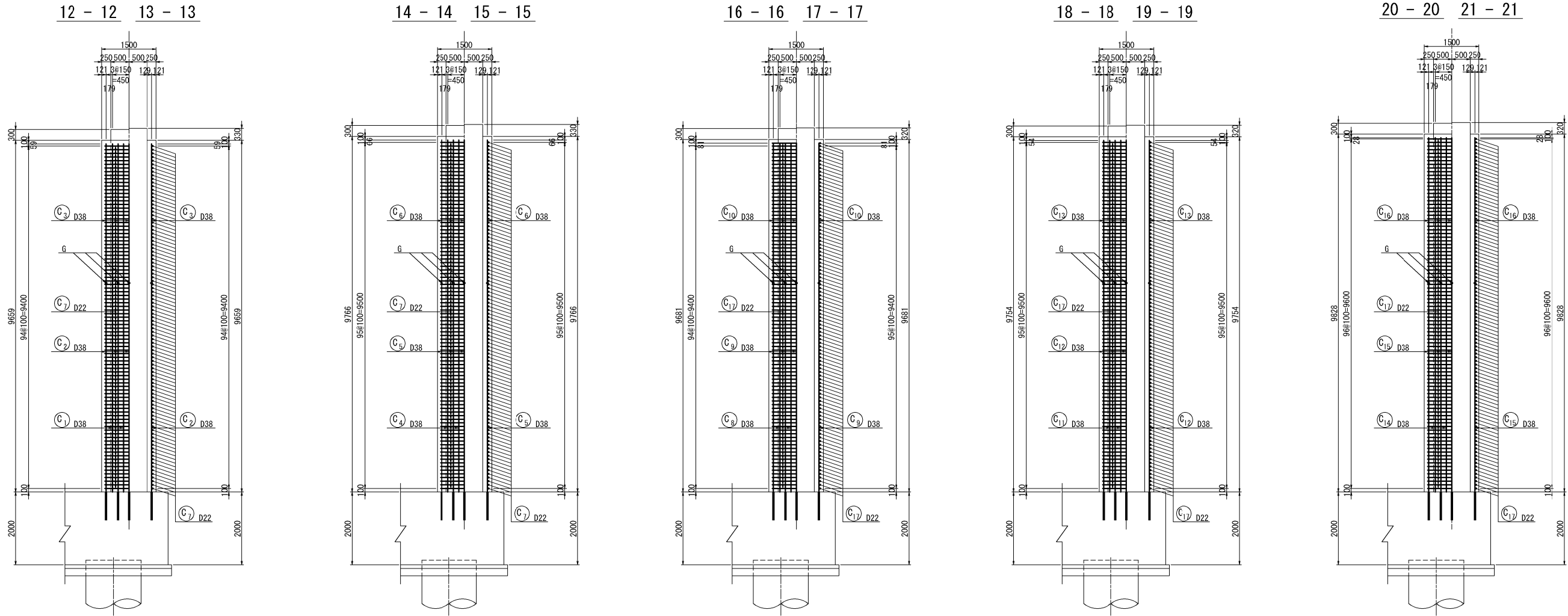


フレア溶接詳細図 S=1:12.5

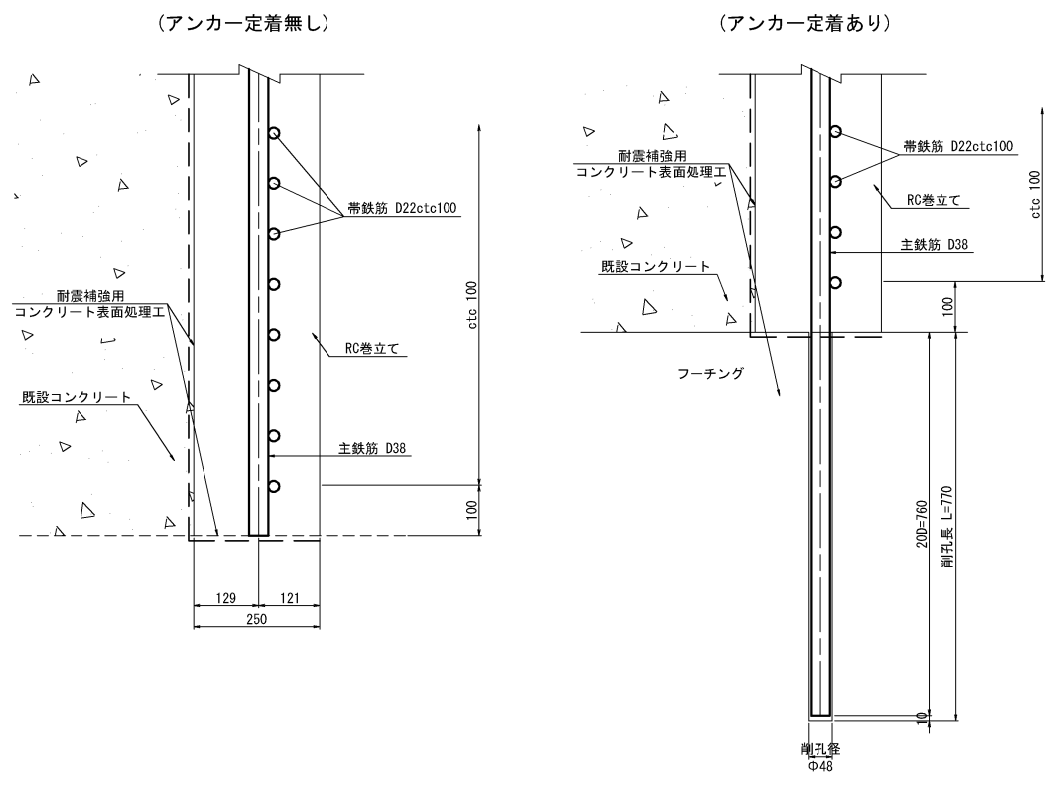


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. は、ガス圧接継手位置を示す。

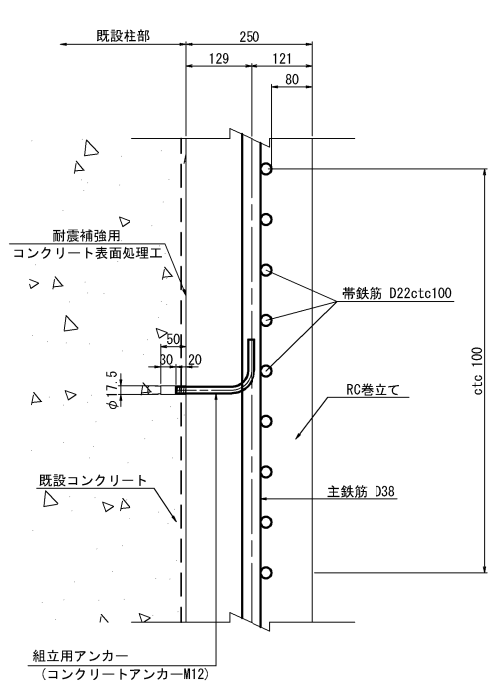
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 R C 巻立て配筋図（その 1）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



柱基部詳細図 S=1:15



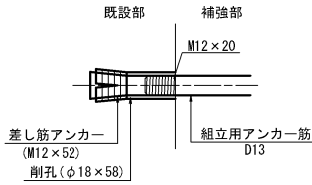
鉄筋かぶり詳細図 S=1:15



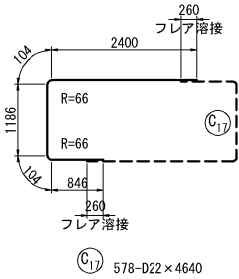
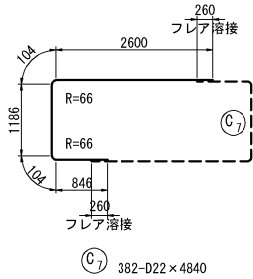
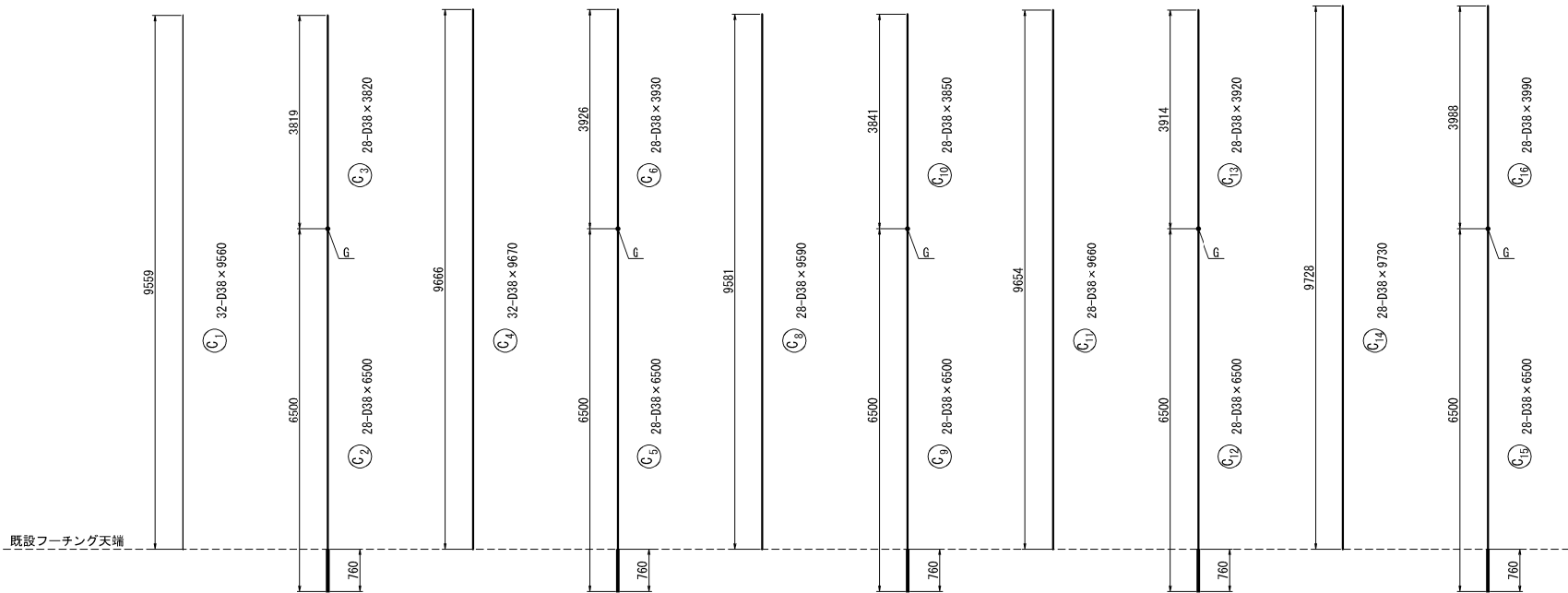
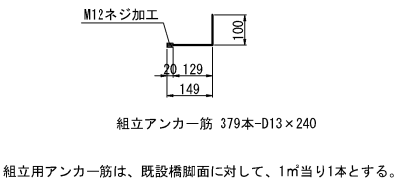
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. G は、ガス圧接継手位置を示す。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 R C 巻立て配筋図（その 2）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

組立筋アンカー詳細図(参考図) S=1:5



組立筋加工図(参考図) S=1:25



鉄筋質量表

種 別	径	長 さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
C 1	D38	9560	32	8.95	85.6	2739	
C 2	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 3	D38	3820	28	8.95	34.2	958	↓
C 4	D38	9670	32	8.95	86.5	2768	
C 5	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 6	D38	3930	28	8.95	35.2	986	↓
C 7	D22	4840	382	3.04	14.7	5615	□ [382]
C 8	D38	9590	28	8.95	85.8	2402	
C 9	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 10	D38	3850	28	8.95	34.5	966	↓
C 11	D38	9660	28	8.95	86.5	2422	
C 12	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 13	D38	3920	28	8.95	35.1	983	↓
C 14	D38	9730	28	8.95	87.1	2439	
C 15	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 16	D38	3990	28	8.95	35.7	1000	↓
C 17	D22	4640	578	3.04	14.1	8150	□ [578]
						39578	kg
(SD345) 鉄筋質量		T鉄筋		圧接箇所	フレア溶接箇所	T1鉄筋	
D38		17663		(140)	----	8150	
D22		13765		----	[960]	----	
合計		31428		(140)	[960]	8150	

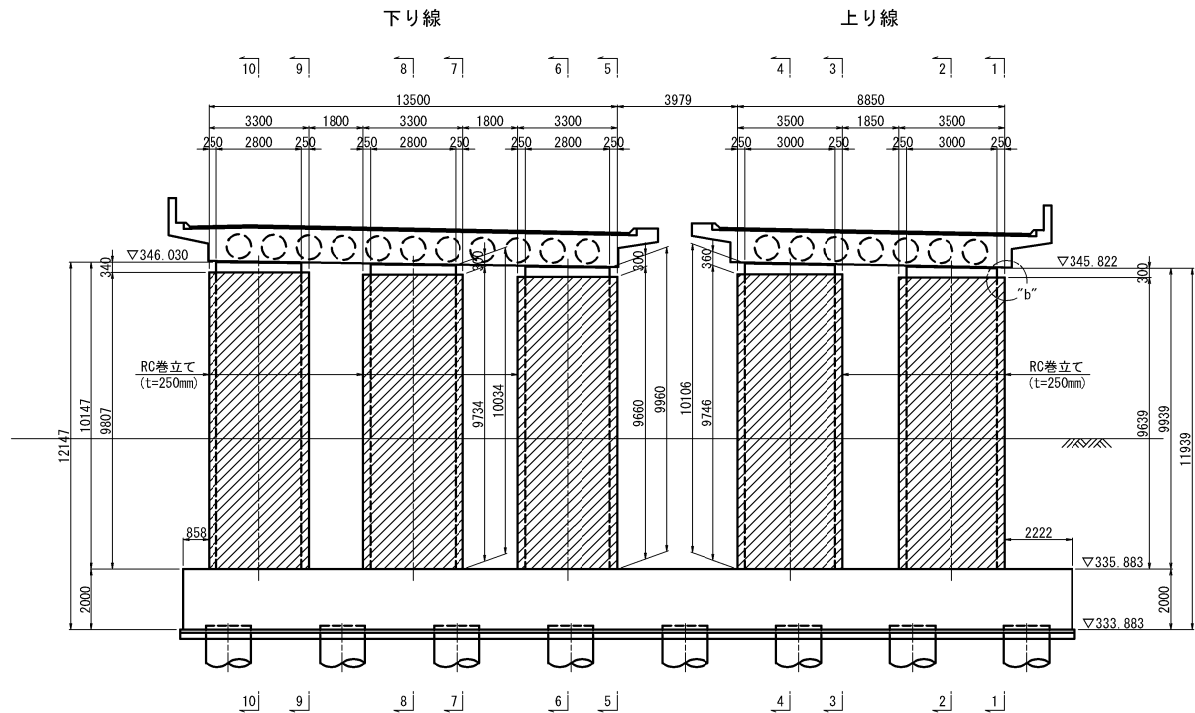
鉄筋曲げ加工表

主筋		頂版・底版スターラップ				
主筋						
径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$			$\theta = 135^\circ$ $R=5.5\phi$		
	R	a	Δl	R	a	Δl
D22	66	104	28	121	95	5

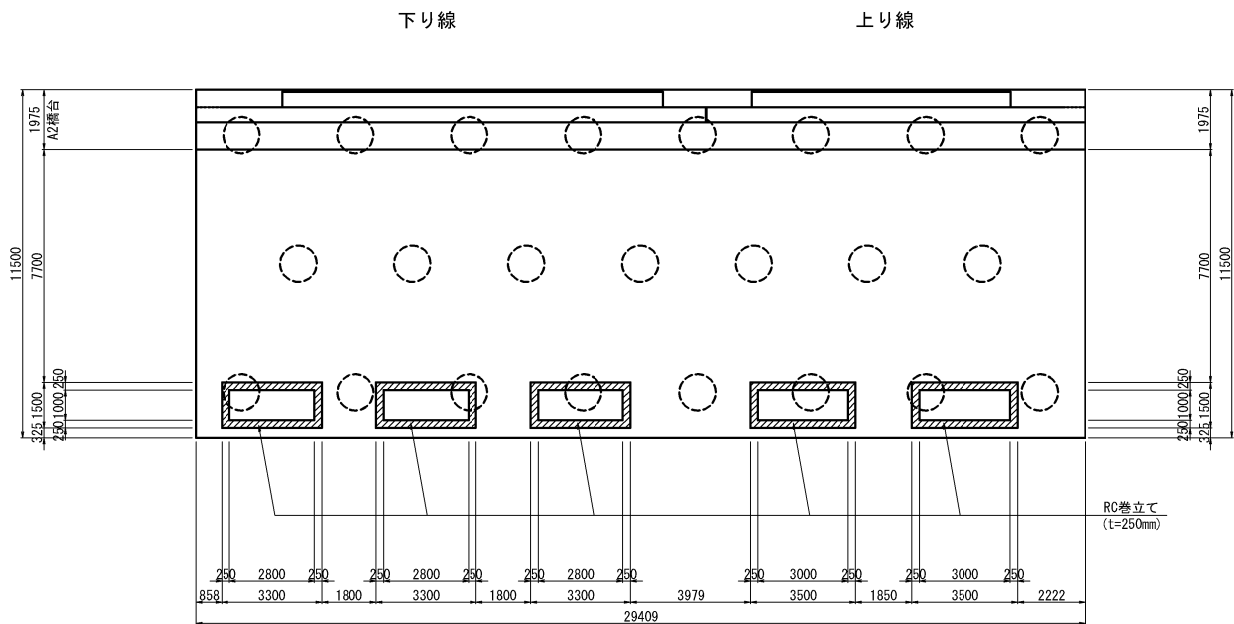
- 注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 2. アンカー一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
 3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
 4. U は、ガス圧接継手位置を示す。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚 R C 巻立て配筋図（その 3）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

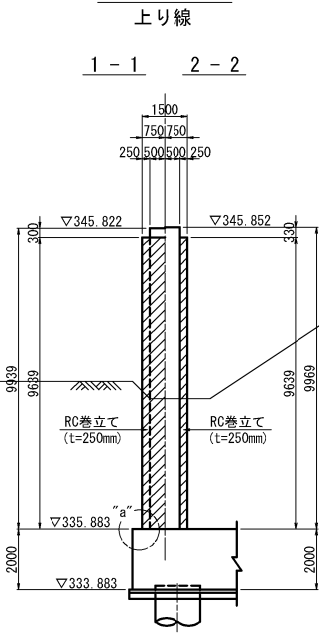
正面図



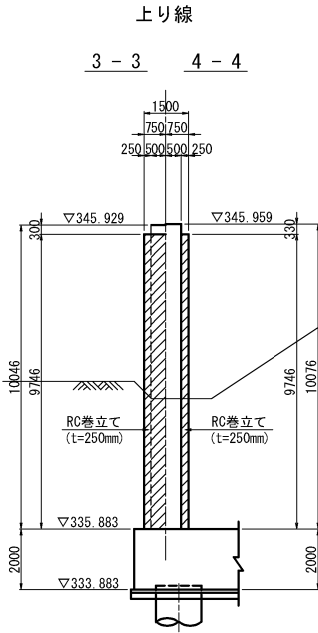
平面図



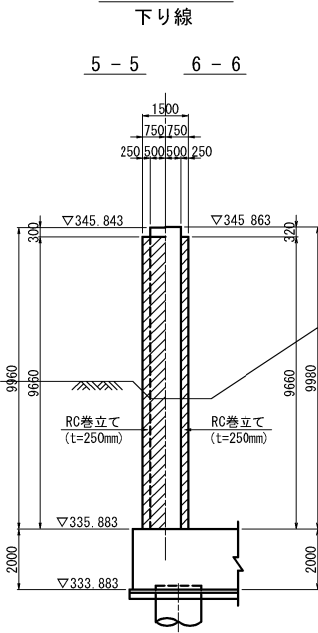
側面図



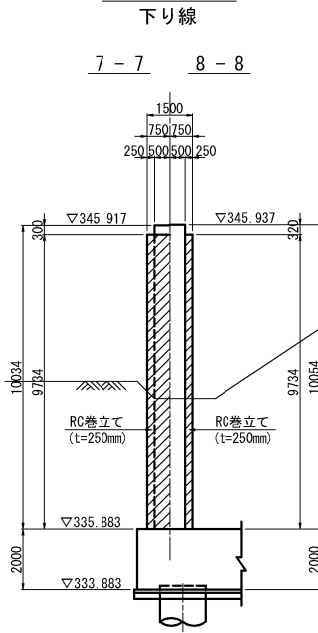
側面図



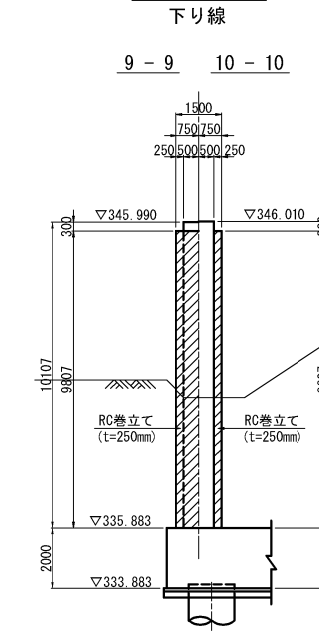
側面図



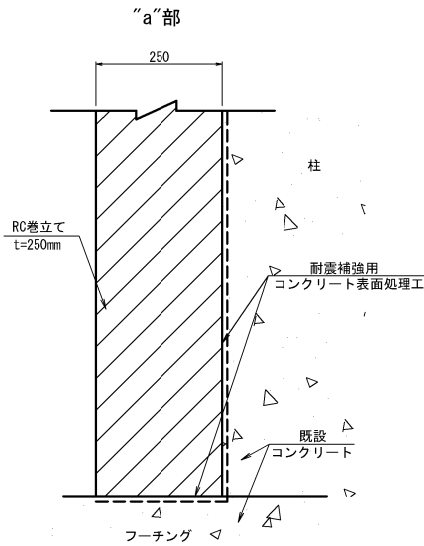
側面図



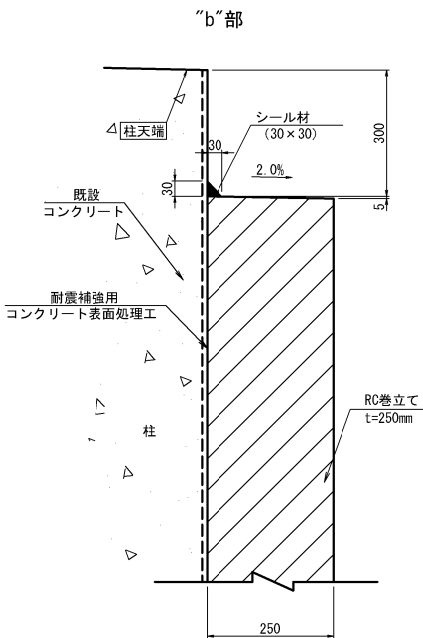
側面図



RC巻立て下端部詳細図 S=1:15



RC巻立て天端詳細図 S=1:15

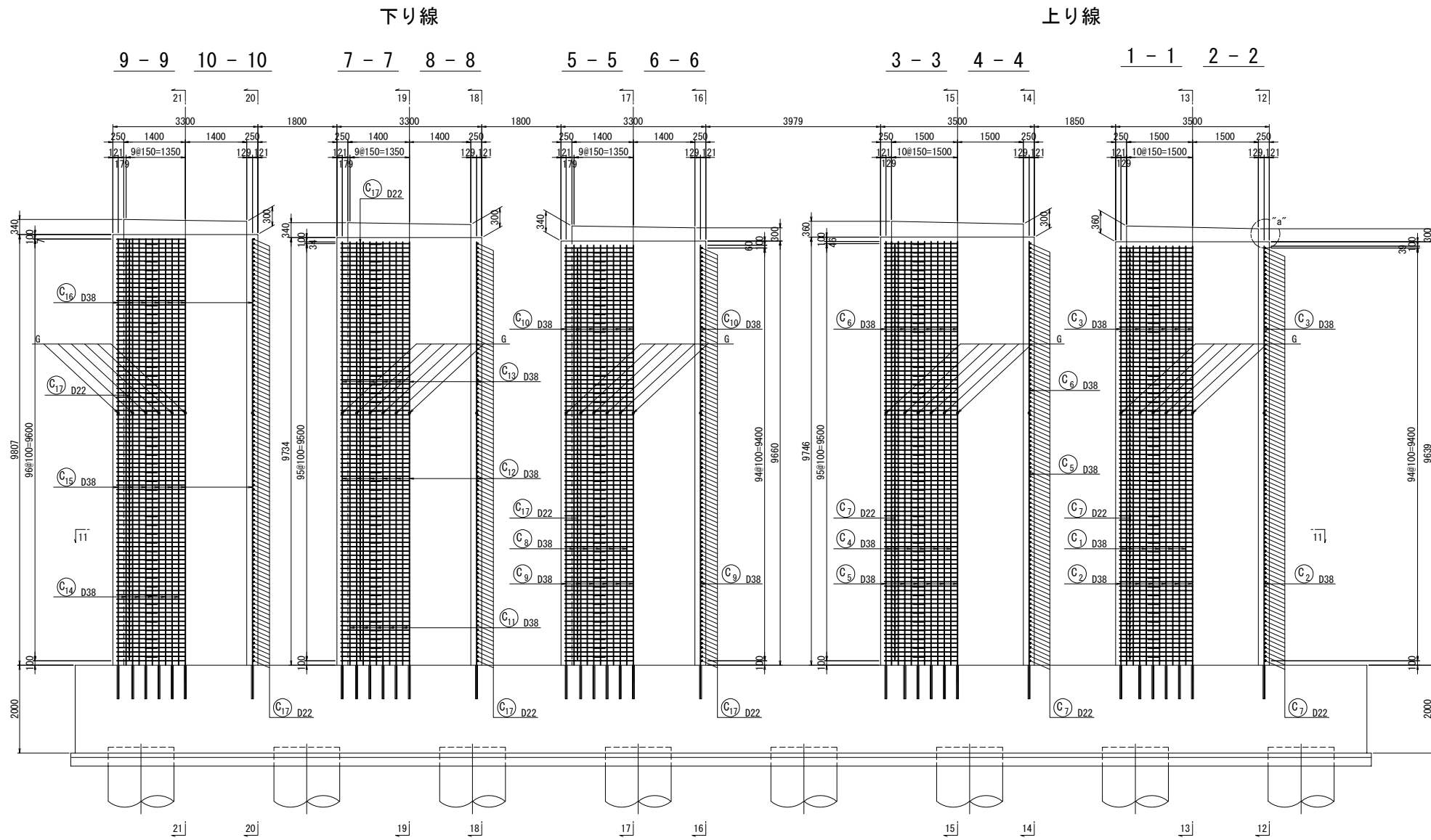


使用材料

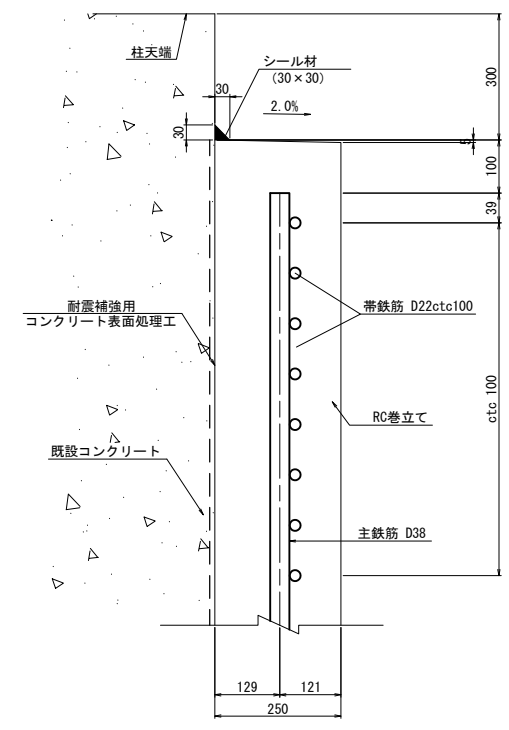
工 種	仕 様
既 設 部	コンクリート $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$
	鉄 筋 SD35
補 強 部	コンクリート $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄 筋 SD345

- 注記)
1. は、補強部分を示す。
 2. 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行う。
 3. 補強部分の天端位置から2.0%の排水勾配を外側に向けて設ける。

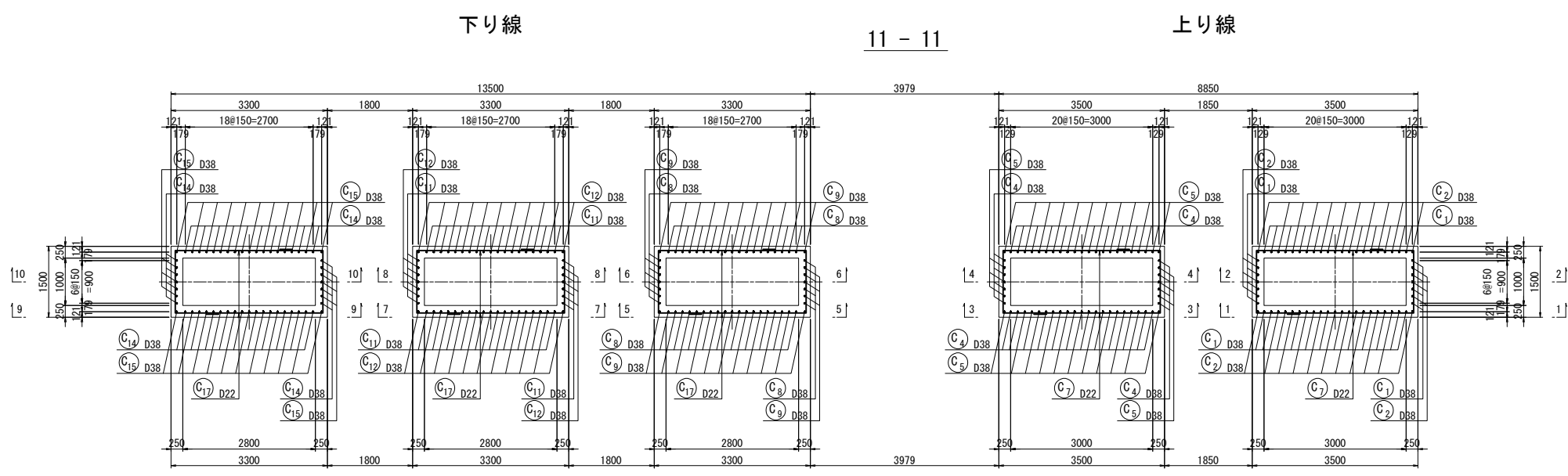
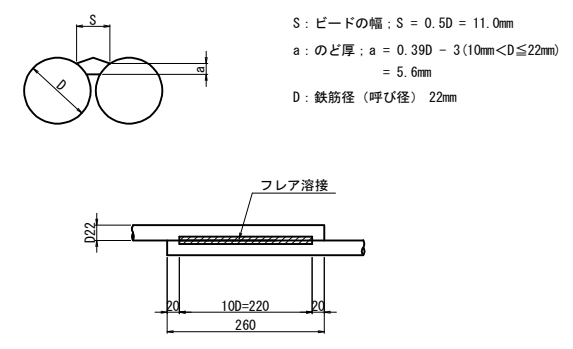
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事		
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 RC巻立て一般図	
縮 尺	図 示	図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所	



a部詳細図 S=1:15

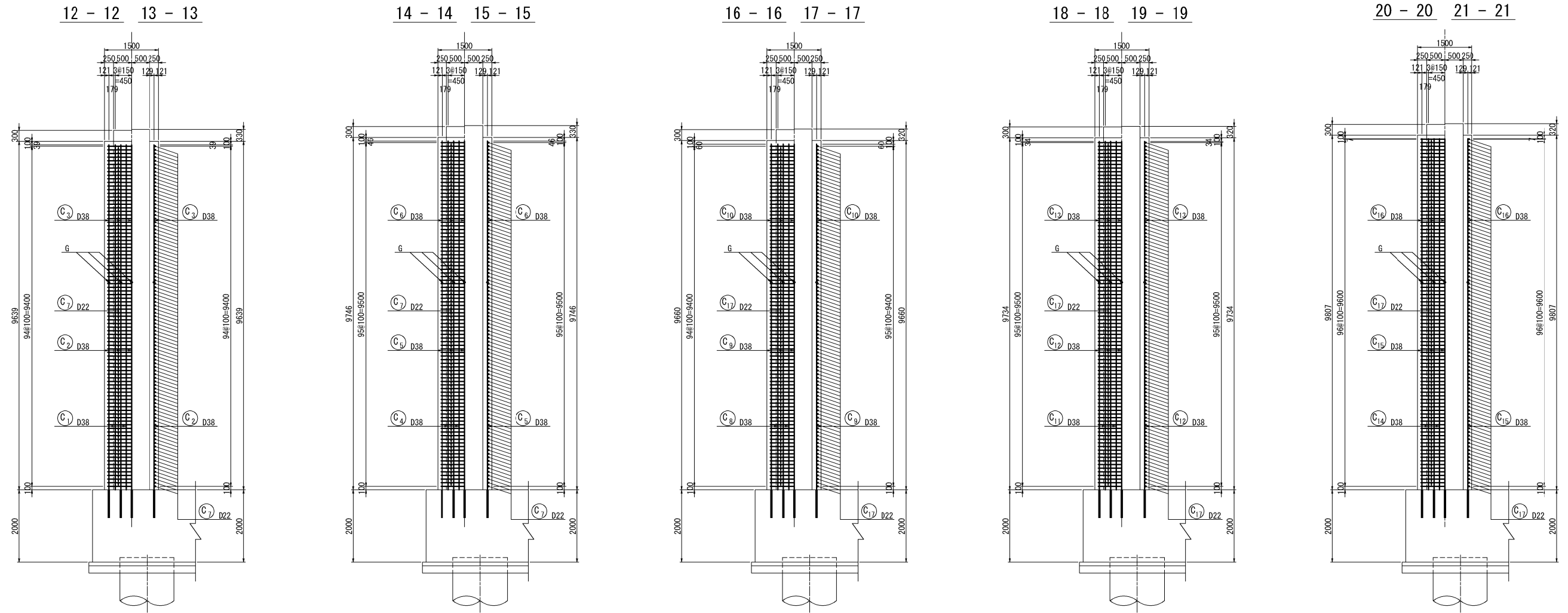


フレア溶接詳細図 S=1:12.5

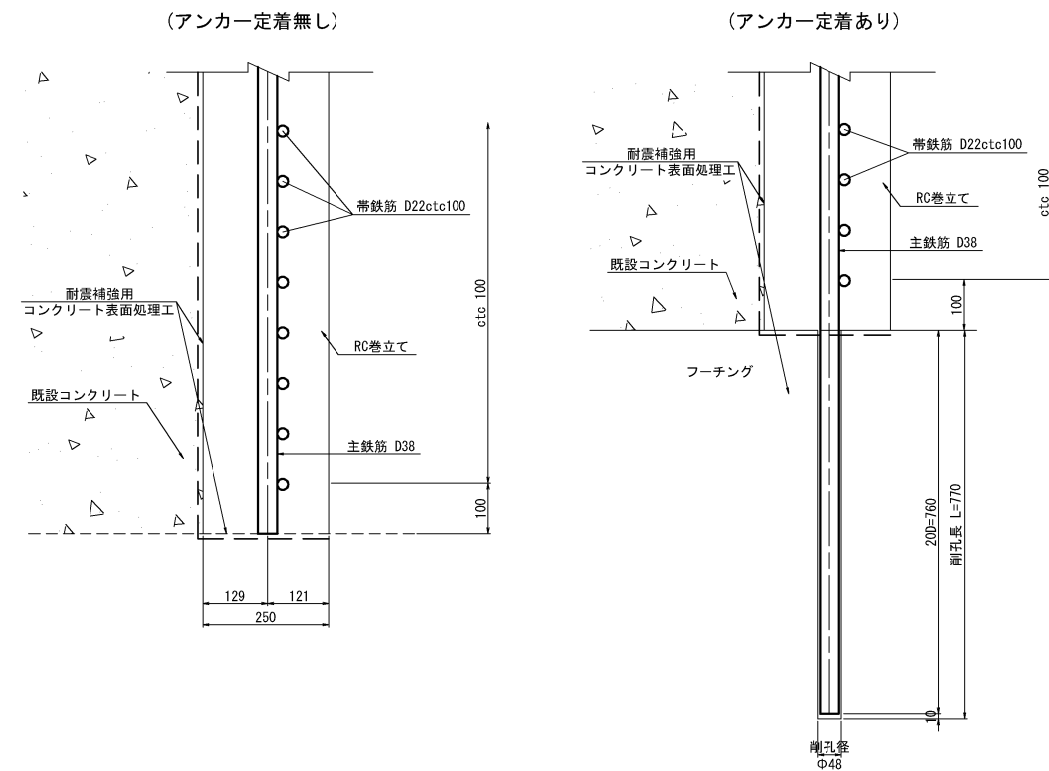


注記
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. S は、ガス圧継手位置を示す。

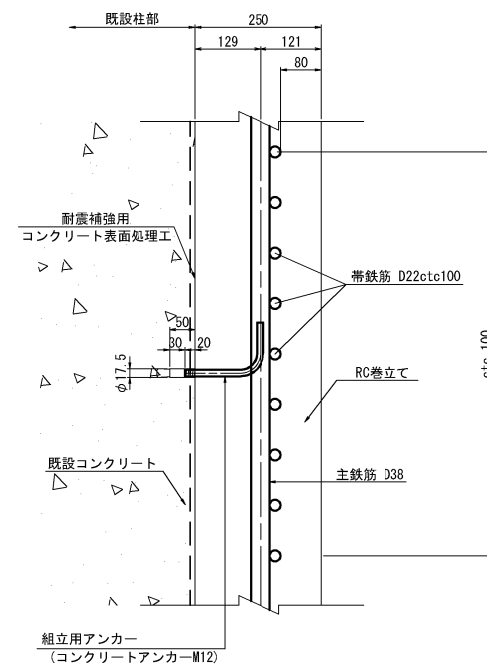
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 R C 巻立て配筋図（その 1）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



柱基部詳細図 S=1:15



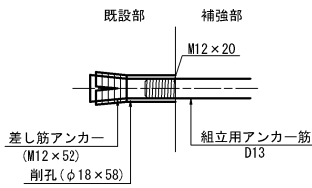
鉄筋かぶり詳細図 S=1:15



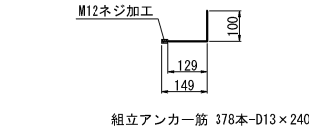
- 注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
 3. 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行うこと。
 4. 6 は、ガス圧接継手位置を示す。

上 信 赴 自 動 車 道 豊 田 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事				
図面の種類		須坂橋（上下線） P2橋脚		
R C巻立て筋筋図（その2）				
縮 尺	図 示	図 面 番 号		
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所			

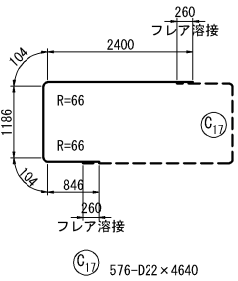
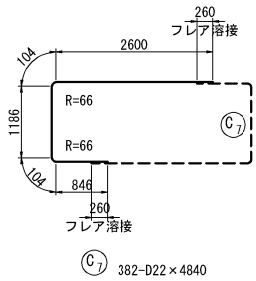
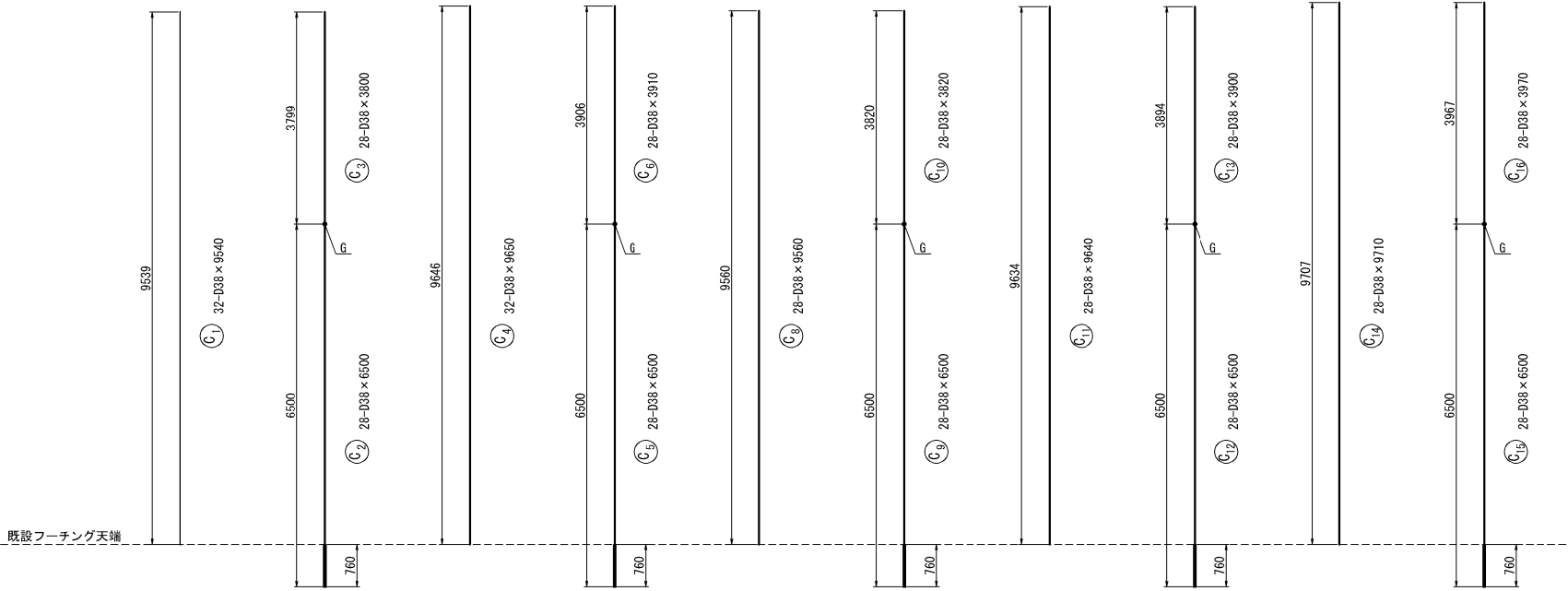
組立筋アンカー詳細図(参考図) S=1:5



組立筋加工図(参考図) S=1:25



組立用アンカー筋は、既設橋脚面に対して、1㎡当り1本とする。



鉄筋質量表

種 別	径	長 さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
C 1	D38	9540	32	8.95	85.4	2733	
C 2	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 3	D38	3800	28	8.95	34.0	952	↓
C 4	D38	9650	32	8.95	86.4	2765	
C 5	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 6	D38	3910	28	8.95	35.0	980	↓
C 7	D22	4840	382	3.04	14.7	5615	□ [382]
C 8	D38	9560	28	8.95	85.6	2397	
C 9	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 10	D38	3820	28	8.95	34.2	958	↓
C 11	D38	9640	28	8.95	86.3	2416	
C 12	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 13	D38	3900	28	8.95	34.9	977	↓
C 14	D38	9710	28	8.95	86.9	2433	
C 15	D38	6500	28	8.95	58.2	1630	↑ T1 (28)
C 16	D38	3970	28	8.95	35.5	994	↓
C 17	D22	4640	576	3.04	14.1	8122	□ [576]
39492 kg							
(SD345) 鉄筋質量							
		T鉄筋	圧接箇所	フレア溶接箇所		T1鉄筋	
		D38	17605	(140)		8150	
		D22	13737	---		[958]	
		合計	31342	(140)		[958] 8150	

鉄筋曲げ加工表

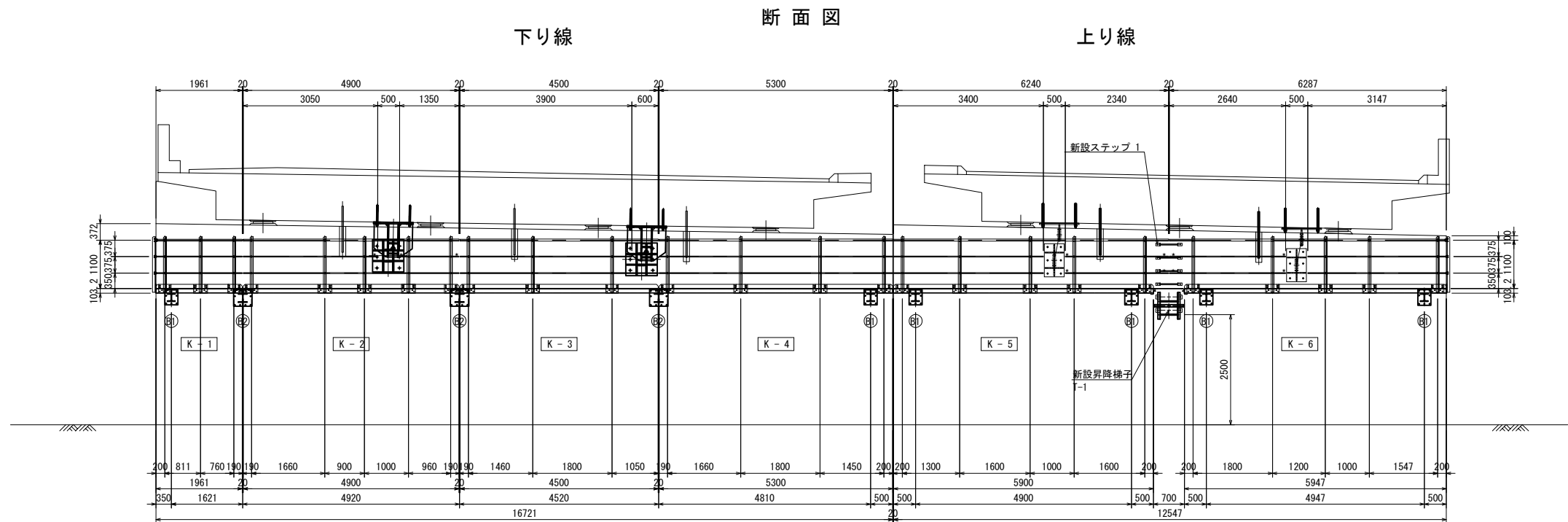
主筋

頂版・底版スターラップ

主筋

径		$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$			$\theta = 135^\circ$ $R=5.5\phi$		
		R	a	Δl	R	a	Δl
D22		66	104	28	121	95	5

注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、削孔による表面処理を行うこと。
4. は、ガス圧接継手位置を示す。



K - 1 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1961 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 592 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1961 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 592 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 632
- 1 - PL 90 x 3.2 x 914
- 1 - PL 90 x 3.2 x 852
- 4 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 1 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 1916 (SS400相当品)
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1961
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 3 - FB 90 x 9 x 632
- 23 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 2 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4900 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3050 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1350 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4900 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1754
- 1 - PL 90 x 3.2 x 705
- 1 - PL 90 x 3.2 x 805
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1053
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 4850 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4900
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 6 - FB 90 x 9 x 632
- 52 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 3 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4500 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3900 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4900 (STK400)
- 3 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1553
- 1 - PL 90 x 3.2 x 2753
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 1 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 12 - BN M16 x 45 (2-W)
- 12 - BN M10 x 35 (2-W)
- 3 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 6 - WASH M10
- 6 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 12 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 4450 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4500
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 6 - FB 90 x 9 x 632
- 48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 4 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 5300 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 5300 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1753
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1605
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1493
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 2 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 8 - WASH M10
- 8 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 16 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 5255 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5300
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 7 - FB 90 x 9 x 632
- 59 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 5 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 6240 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3400 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2340 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1403
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1405
- 1 - PL 90 x 3.2 x 805
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1703
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 5840 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5900
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 642
- 8 - FB 90 x 9 x 632
- 63 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)

K - 6 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 6287 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 592 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2640 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3147 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 592 (STK400)
- 7 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1902
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1005
- 1 - PL 90 x 3.2 x 805
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1650
- 1 - PL 90 x 3.2 x 632
- 4 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 28 - BN M16 x 45 (2-W)
- 28 - BN M10 x 35 (2-W)
- 7 - U.BOLT 呼び32 (C形)
- 14 - WASH M10
- 14 - U.BOLT 呼び15 (C形)
- 28 - WASH M10

- 1 - Ch.PL 602 x 3.2 x 5907 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5947
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 642
- 8 - FB 90 x 9 x 632
- 63 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)

新設ステップ 1 製作数:4組

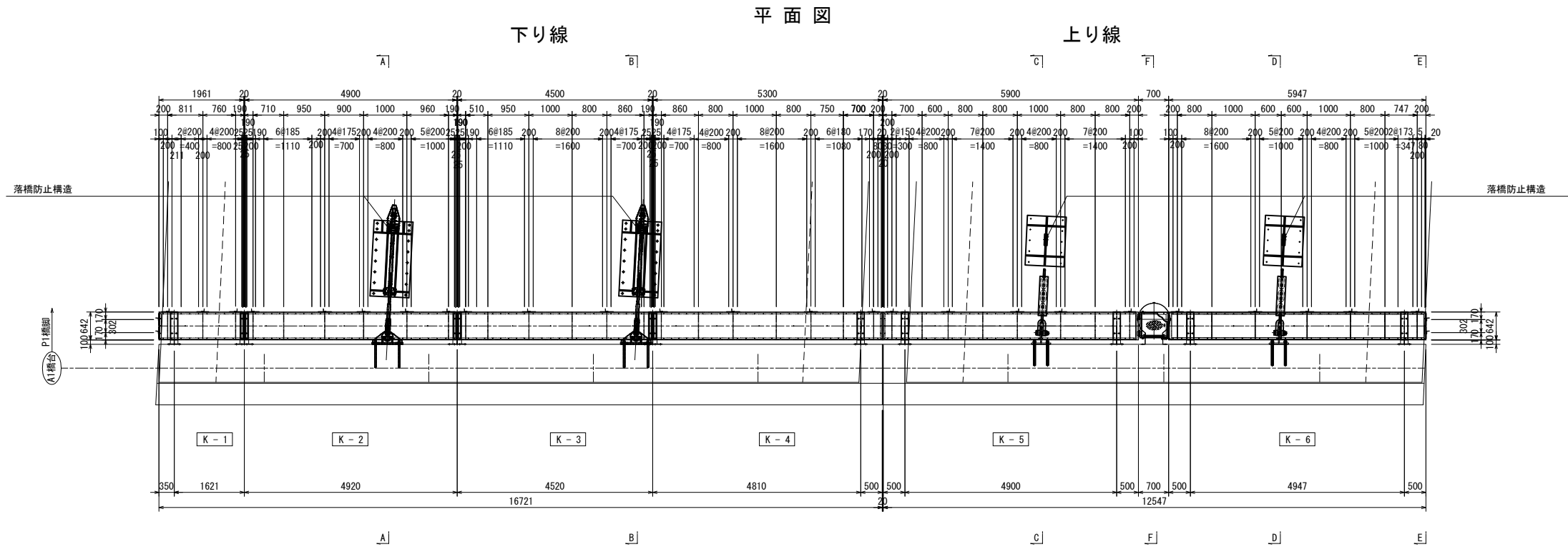
- 2 -BEND PL 90x6x200
- 1 -RB φ22x430
- 2 -スリーブ打込み式アンカー M16x120

注記)

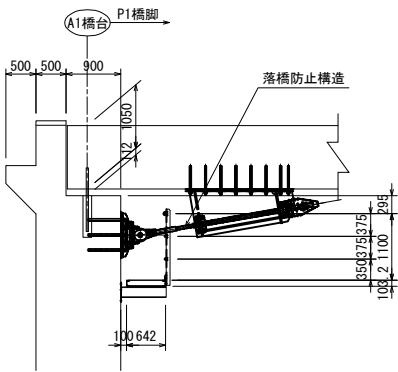
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材および
ボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
- ★印は、手摺抜け落ち防止加工を示す。
- 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
- 床材の縦鋼板には、直径10mmの排水孔
を約1m間隔で1箇所設けること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 1 橋台 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

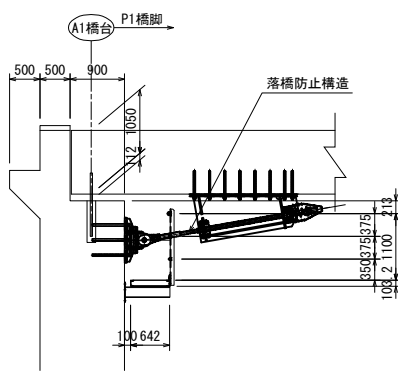
平面図



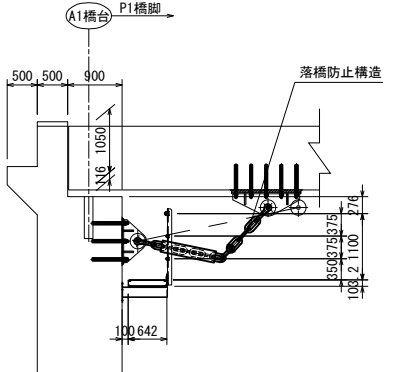
側面図
A - A



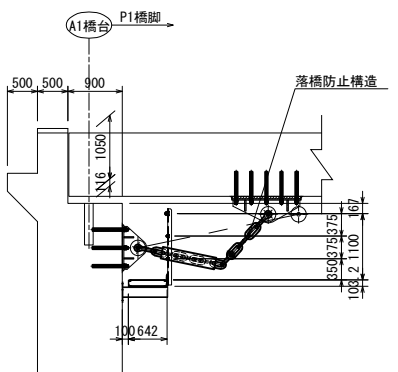
側面図
B - B



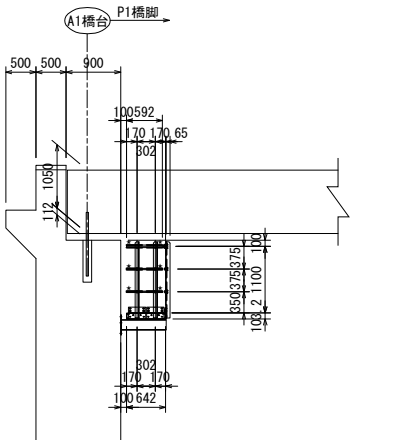
側面図
C - C



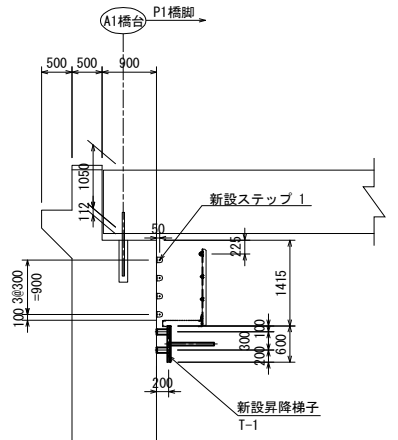
側面図
D - D



側面図
E - E



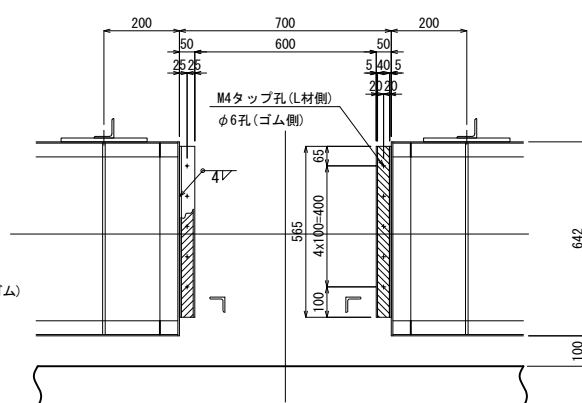
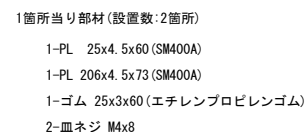
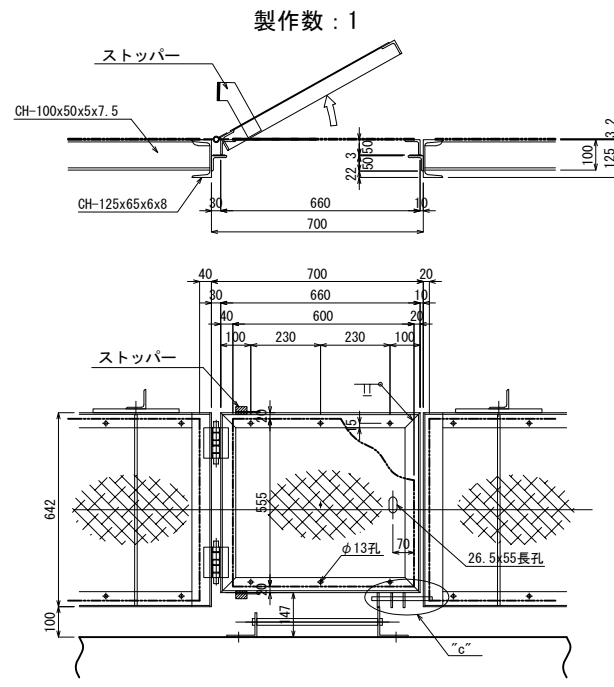
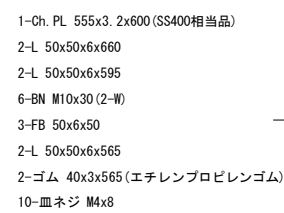
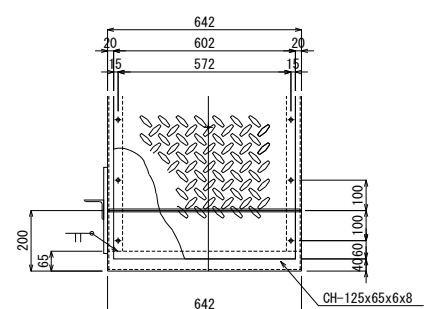
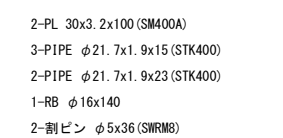
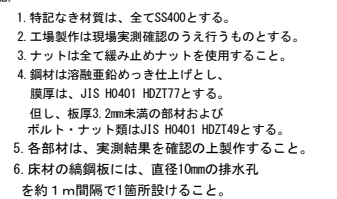
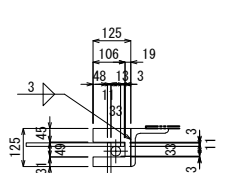
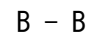
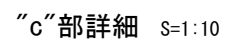
側面図
F - F



- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 鋼材は溶融垂鉛めつき仕上げとし、膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。但し、板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
 5. ★印は、手摺抜け落ち防止加工を示す。
 6. 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
 7. 床材の鋼鋼板には、直径10mmの排水孔を約1m間隔で1箇所設けること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 1 橋台 検査路B 詳細図（その2）		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

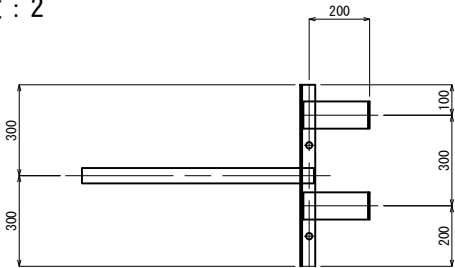
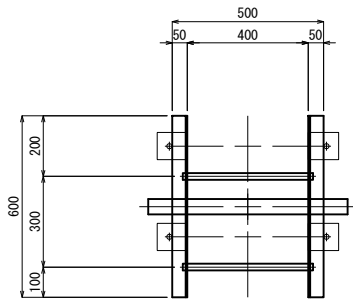
手摺抜け落ち防止詳細 S=1:12.5



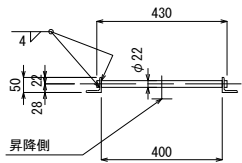
新設昇降梯子 詳細図

T-1

製作数：2

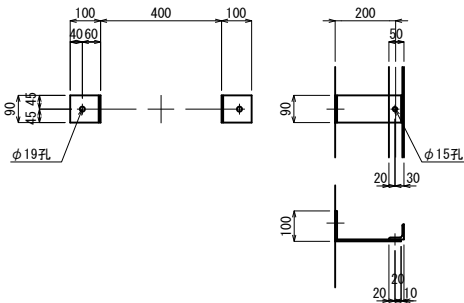


梯子断面



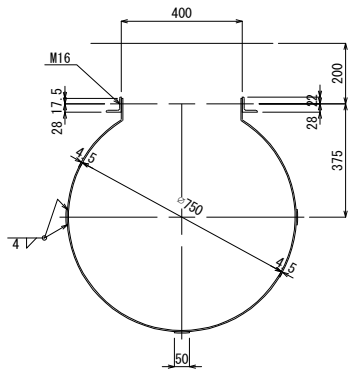
支持金具

上段<下段>



転落防止リング

A - A

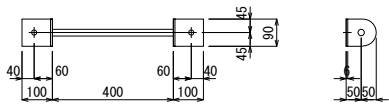


製作数：1
<梯子>
2 - L 50 x 50 x 6 x 600
2 - RB $\phi 22$ x 430

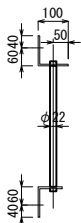
<転落防止リング>
1 - FB 50 x 4.5 x 2097
2 - BN M16 x 40 (2-W)

<梯子支持金具>
4 - FB 90 x 6 x 315
4 - 打込み式アンカー M16
4 - BN M12 x 35 (2-W)

新設ステップ 1



2 -BEND PL 90x6x200
1 -RB $\phi 22$ x430
2 -スリーブ打込み式アンカー M16x120

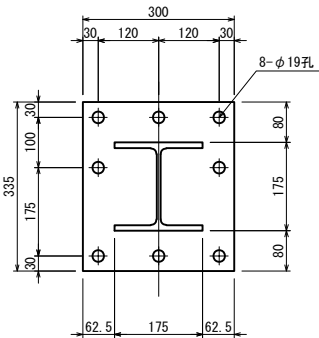


ブラケット 詳細図 S=1:15

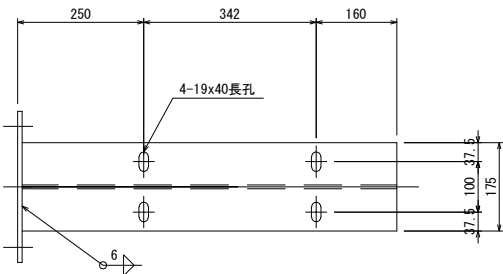
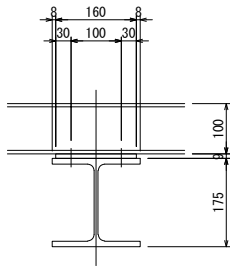
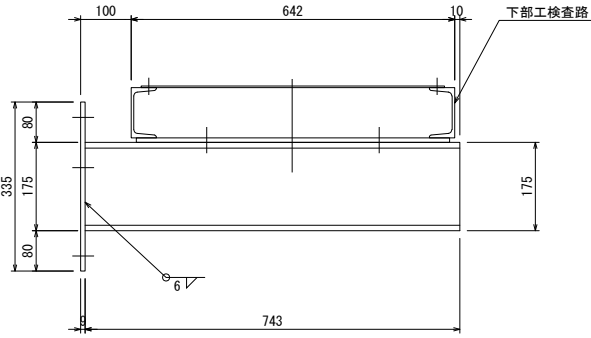
端支柱部

Ⓑ1

製作数：6



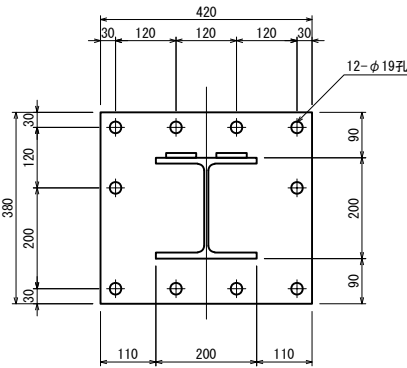
1-H 175x175x7.5x11x743
1-BASE PL 300x9x335 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
8-打込み式アンカー M16x120



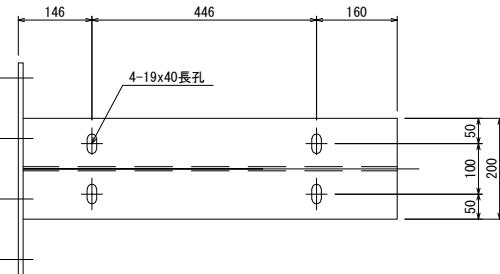
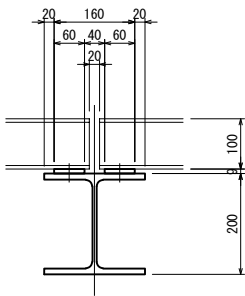
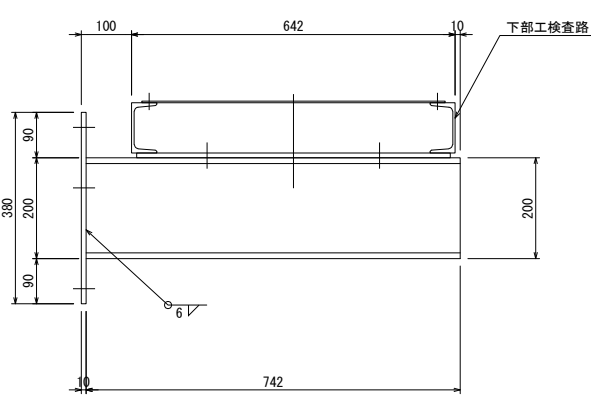
架け違い部

Ⓑ2

製作数：3

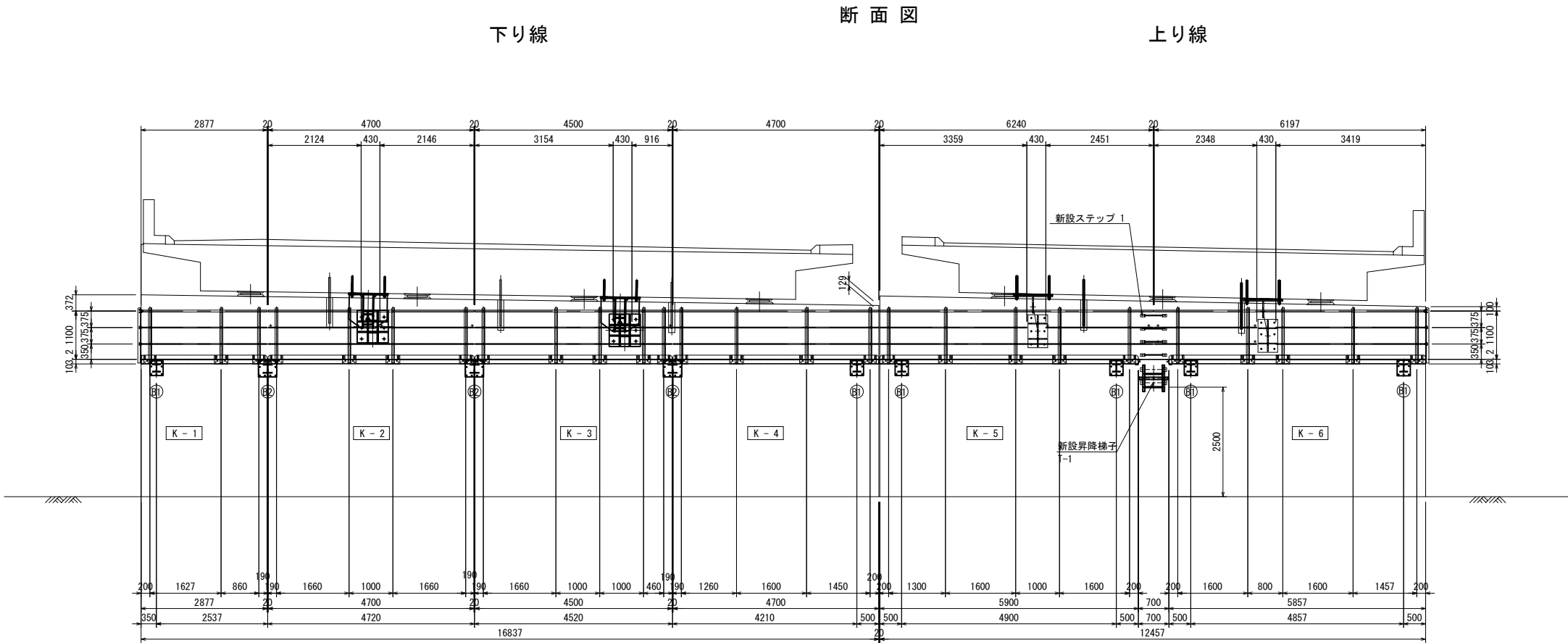


1-H 200x200x8x12x742
1-BASE PL 420x10x380 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
10-打込み式アンカー M16x120



注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上とし、
鋼厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材および
ボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
5. 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
6. 床材の鉄鋼板には、直径10mmの排水孔
を約1m間隔で1箇所設けること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 1 橋台 検査路B 詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



K - 1 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 2877 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 592 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2877 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 592 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 632
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1729
- 1 - PL 90 x 3.2 x 953
- 4 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 1 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 602 x 3.2 x 2832 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2877
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 4 - FB 90 x 9 x 632
- 33 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 2 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4700 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2124 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2146 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4700 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1753
- 1 - PL 90 x 3.2 x 805
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1754
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 2 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 8 - WASH M10
- 8 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 16 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 602 x 3.2 x 4650 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4700
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 6 - FB 90 x 9 x 632
- 50 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 3 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4500 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3154 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 916 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4500 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1756
- 1 - PL 90 x 3.2 x 809
- 1 - PL 90 x 3.2 x 810
- 1 - PL 90 x 3.2 x 544
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 602 x 3.2 x 4450 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4500
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 6 - FB 90 x 9 x 632
- 48 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 4 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4700 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4700 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1356
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1409
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1552
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 2 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 8 - WASH M10
- 8 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 16 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 602 x 3.2 x 4655 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4700
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 632
- 7 - FB 90 x 9 x 632
- 51 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 622 (SM400A)

K - 5 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 6240 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3359 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2451 (STK400)
- 1 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 6240 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1403
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1406
- 1 - PL 90 x 3.2 x 805
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1704
- 2 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 10 - WASH M10
- 10 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 20 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 602 x 3.2 x 5840 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5900
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 642
- 8 - FB 90 x 9 x 632
- 63 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)

K - 6 製作数:1組

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 6197 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 592 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2348 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3419 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 592 (STK400)
- 7 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1702
- 1 - PL 90 x 3.2 x 606
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1405
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1561
- 1 - PL 90 x 3.2 x 632
- 4 - PL 200 x 12 x 285 (SM400A)
- 3 - PL 200 x 12 x 315 (SM400A)
- 28 - BN M16 x 45 (2-W)
- 28 - BN M10 x 35 (2-W)
- 7 - U. BOLT 呼び32 (C形)
- 14 - WASH M10
- 14 - U. BOLT 呼び15 (C形)
- 28 - WASH M10

- 1 - Ch. PL 603 x 3.2 x 5817 (SS400相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5857
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 642
- 8 - FB 90 x 9 x 632
- 61 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 9 x 622 (SM400A)

新設ステップ 1 製作数:4組

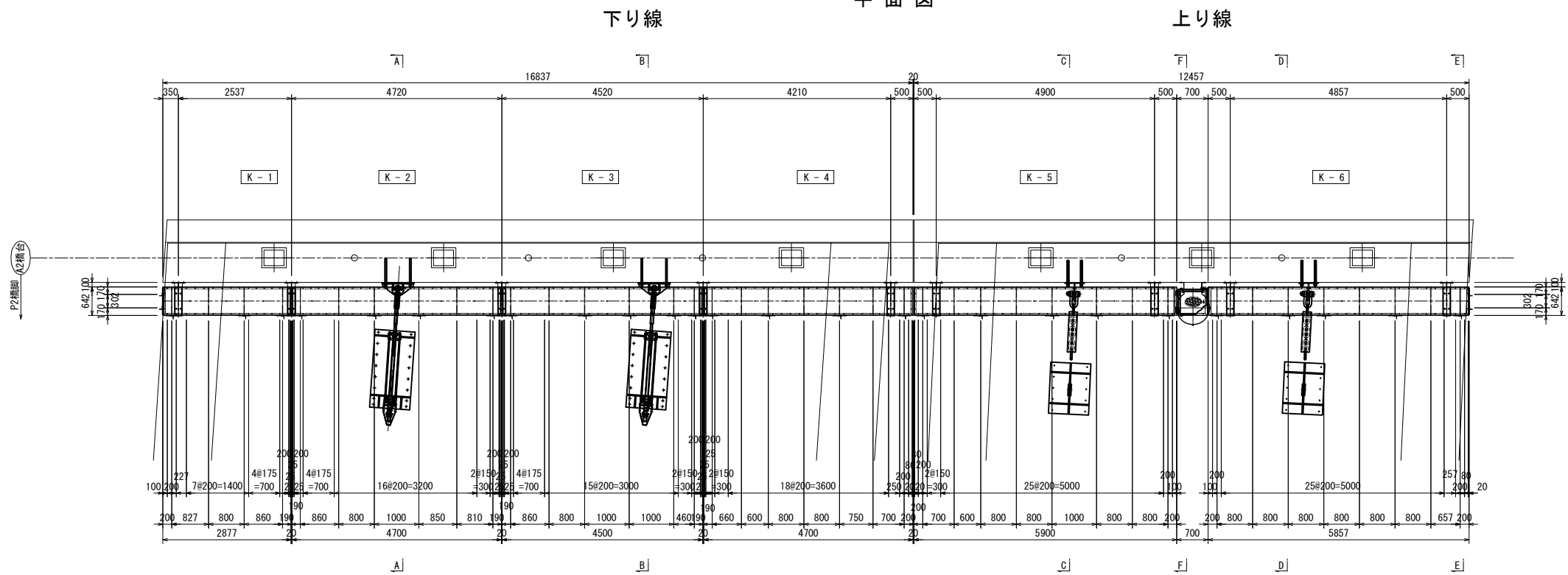
- 2 -BEND PL 90x6x200
- 1 -RB φ22x430
- 2 -スリプ打込み式アンカー M16x120

注記)

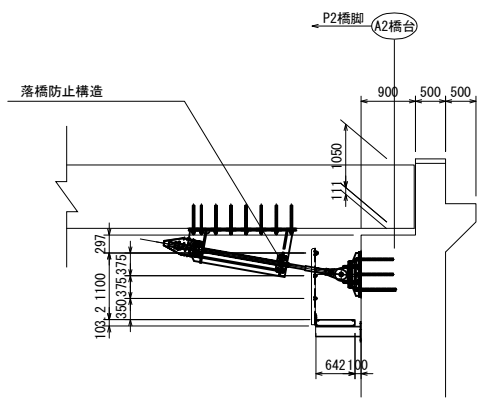
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材および
ボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
- ★印は、手摺抜け落ち防止加工を示す。
- 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
- 床材の純銅板には、直径10mmの排水孔
を約1m間隔で1箇所設けること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 2 橋台 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

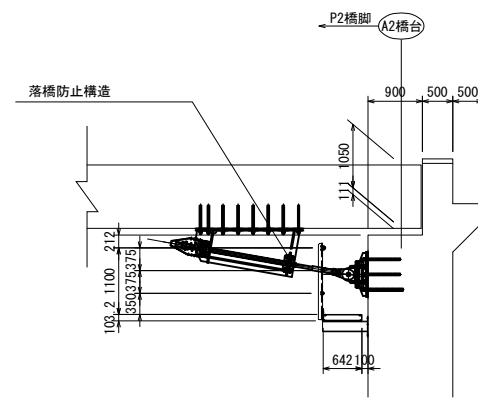
平面図



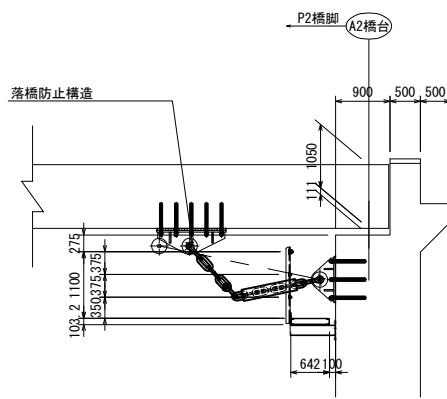
側面図
A - A



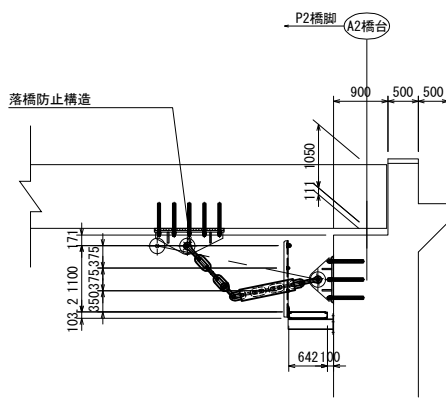
側面図
B - B



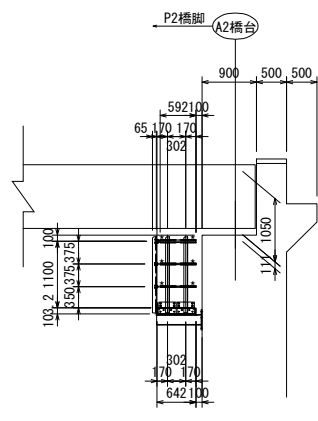
側面図
C - C



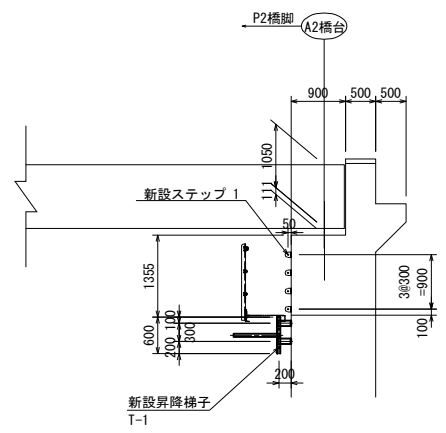
側面図
D - D



側面図
E - E



側面図
F - F



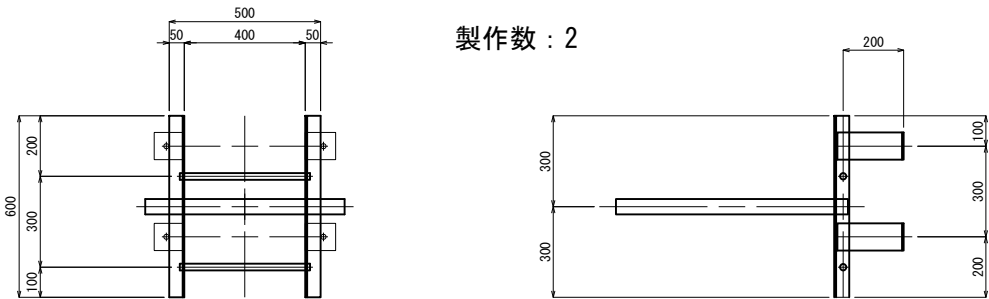
- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 鋼材は溶融垂鉛めっき仕上とし、
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材および
ボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
 5. ★印は、手摺抜け落ち防止加工を示す。
 6. 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
 7. 床材の鋼鋼板には、直径10mmの排水孔
を約1m間隔で1箇所設けること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 2 橋台 検査路B 詳細図（その2）		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

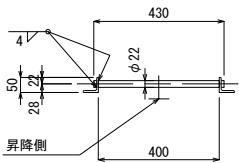
新設昇降梯子 詳細図

T-1

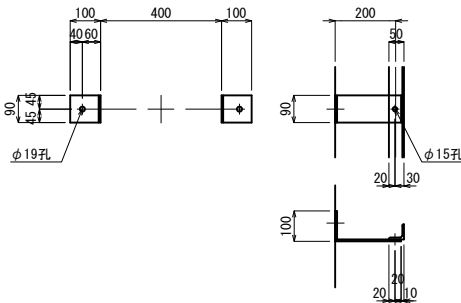
製作数：2



梯子断面

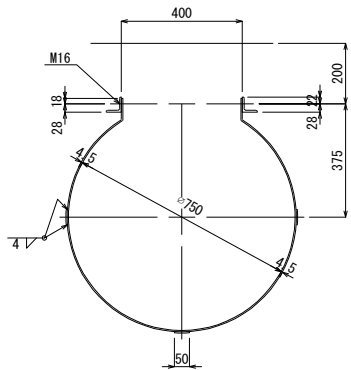


支持金具



転落防止リング

A - A

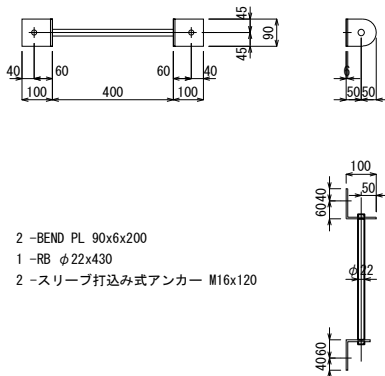


製作数：1
<梯子>
2 - L 50 x 50 x 6 x 600
2 - RB φ22 x 430

<転落防止リング>
1 - FB 50 x 4.5 x 2097
2 - BN M16 x 40 (2-W)

<梯子支持金具>
4 - FB 90 x 6 x 315
4 - 打込式アンカー M16
4 - BN M12 x 35 (2-W)

新設ステップ 1



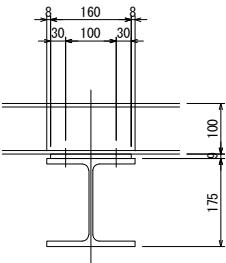
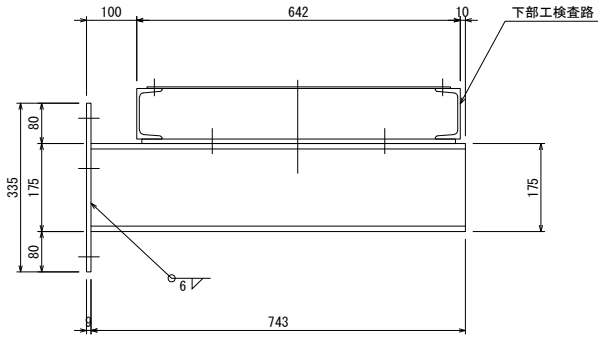
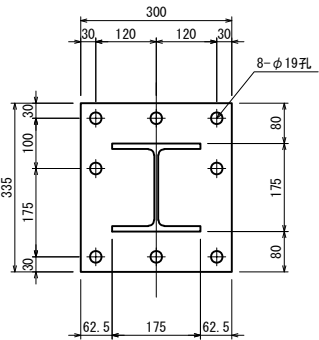
2 - BEND PL 90x6x200
1 - RB φ22x430
2 - スリーブ打込み式アンカー M16x120

ブラケット 詳細図 S=1:15

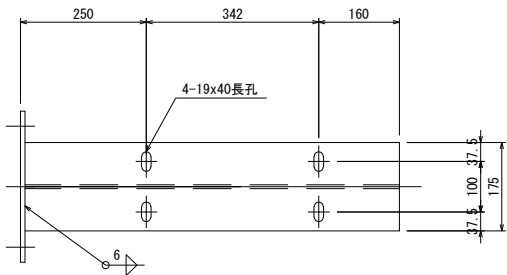
端支柱部

Ⓑ1

製作数：6



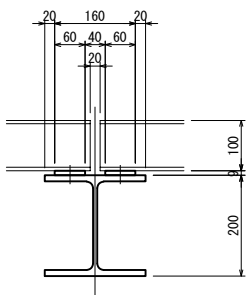
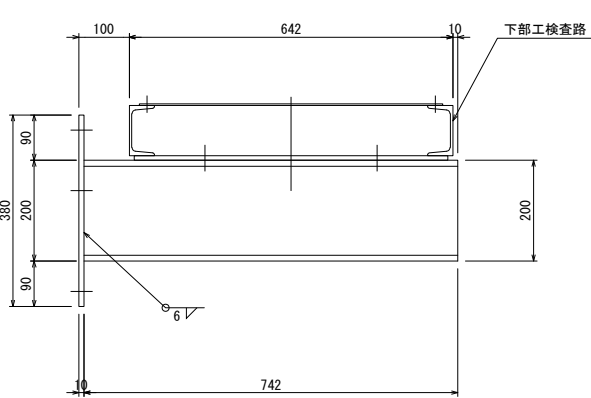
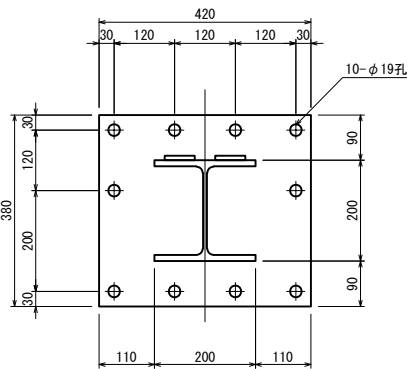
1-H 175x175x7.5x11x743
1-BASE PL 300x9x335 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
8-打込み式アンカー M16x120



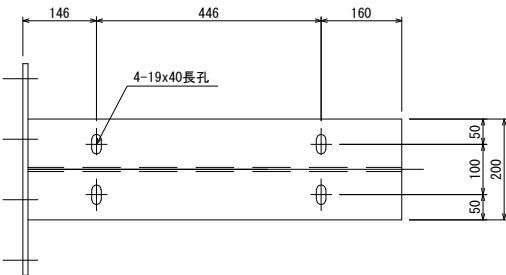
架け違い部

Ⓑ2

製作数：3



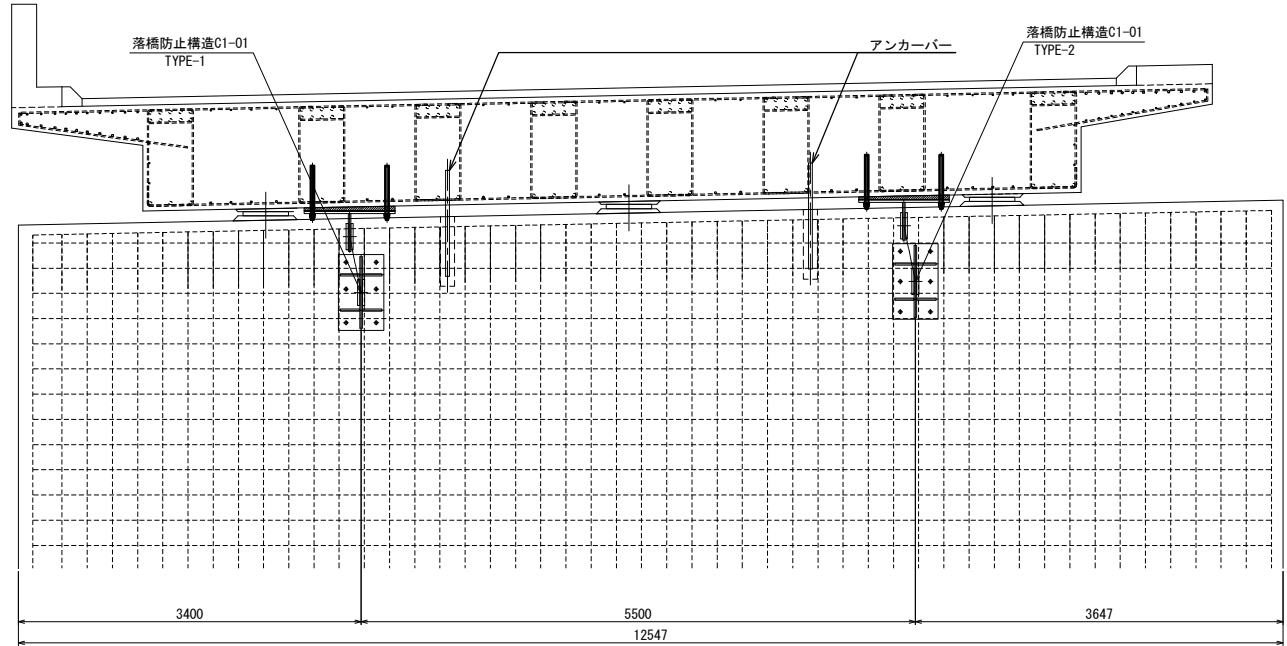
1-H 200x200x8x12x742
1-BASE PL 420x10x380 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
10-打込み式アンカー M16x120



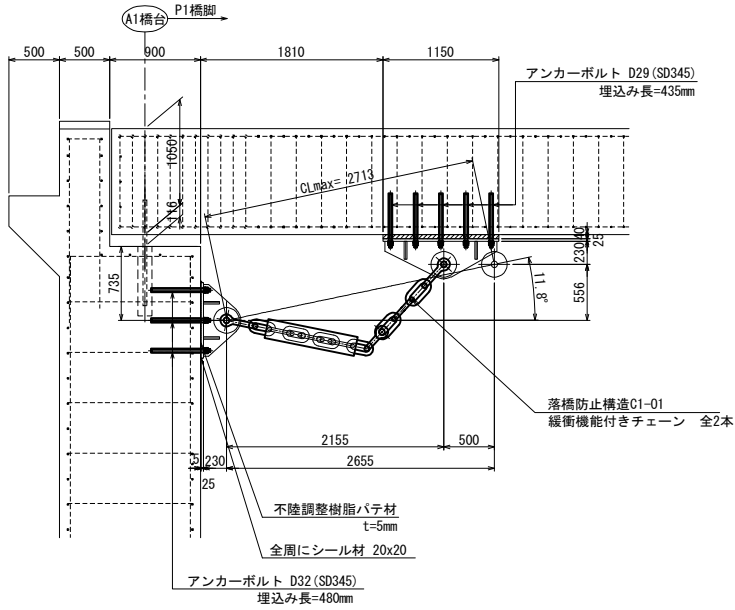
注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
但し、板厚3.2mm未満の部材およびボルト・ナット類はJIS H0401 HDZT49とする。
5. 各部材は、実測結果を確認の上製作すること。
6. 床材の鋼鋼板には、直径10mmの排水孔を約1 m間隔で1面所設けること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） A 2 橋台 検査路B 詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

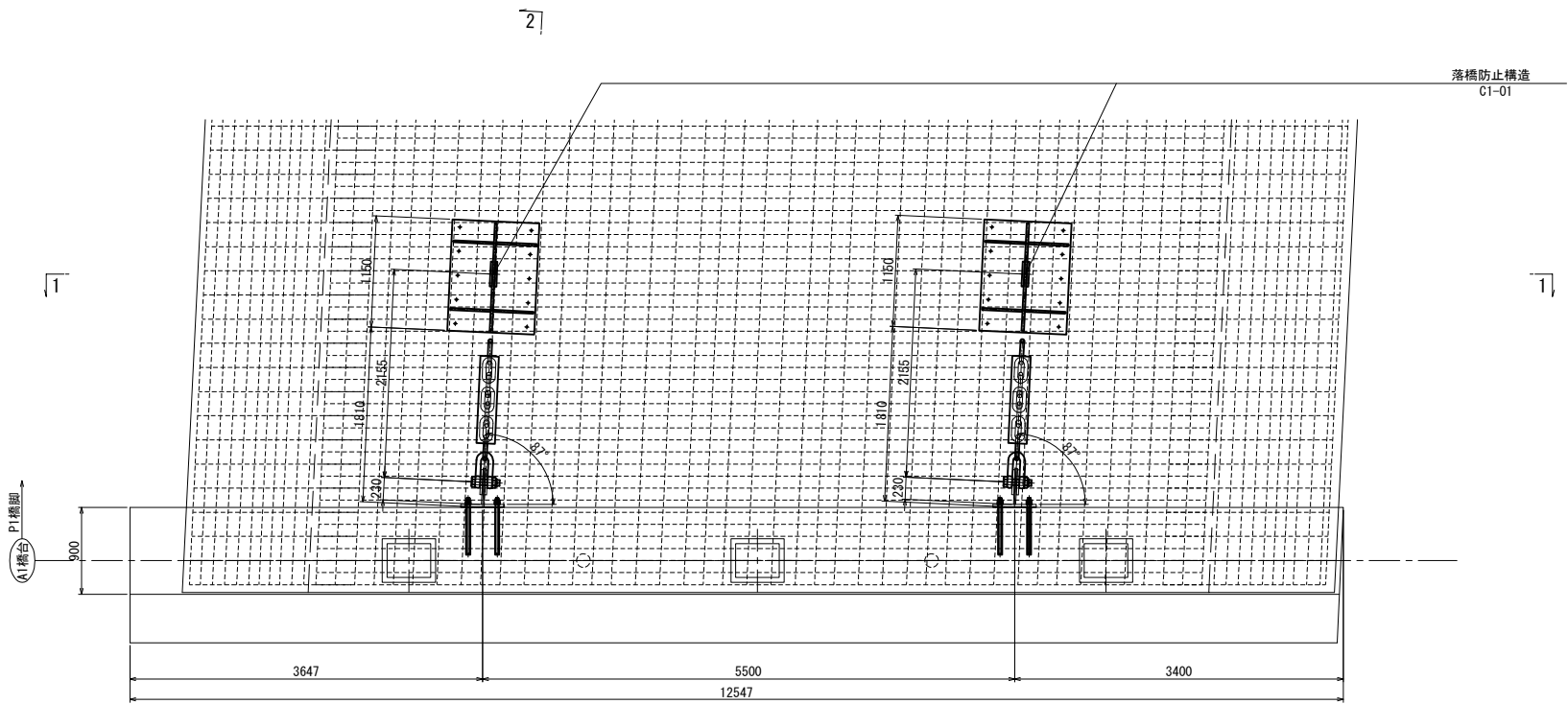
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2



平面図



死荷重反力	1000 kN
設計水平力	1500 kN
1本当たりの引張力	766 kN
設計遊間量	500 mm

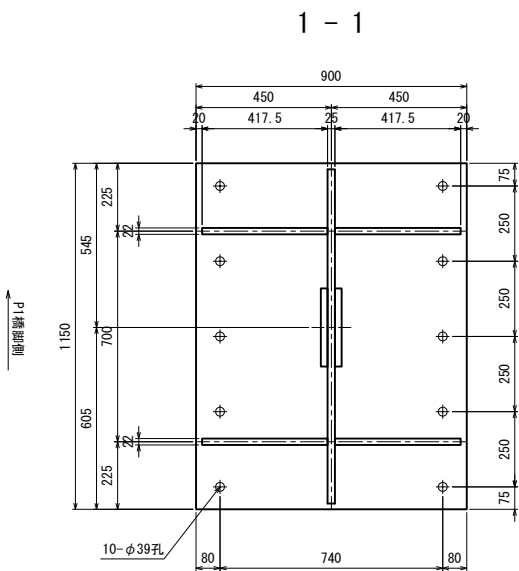
注記)

1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探索等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D:アンカー径) 以上確保すること。

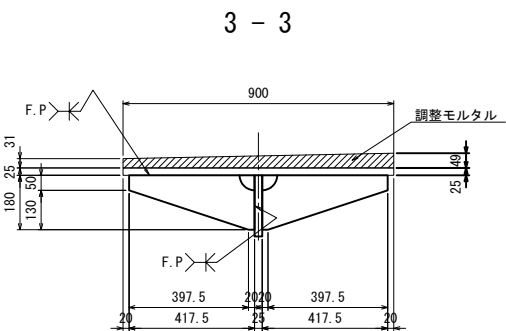
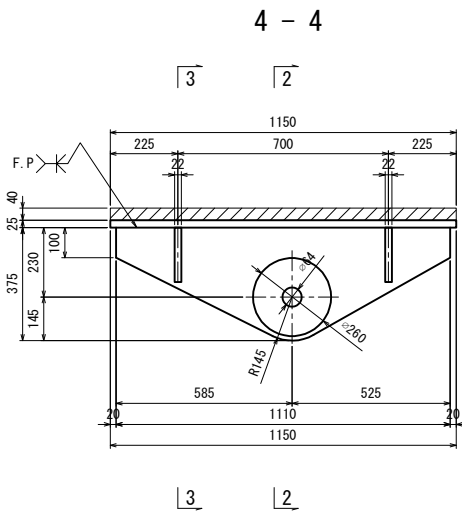
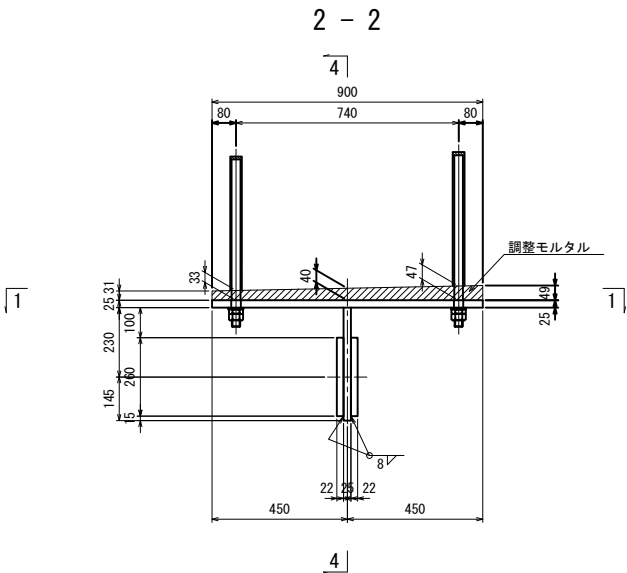
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上り線） A 1 橋台		
	落橋防止構造 C 1 ― O 1 構造詳細図（その 1）		
縮 尺	1:75	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

上部エブラケット

TYPE-1、2

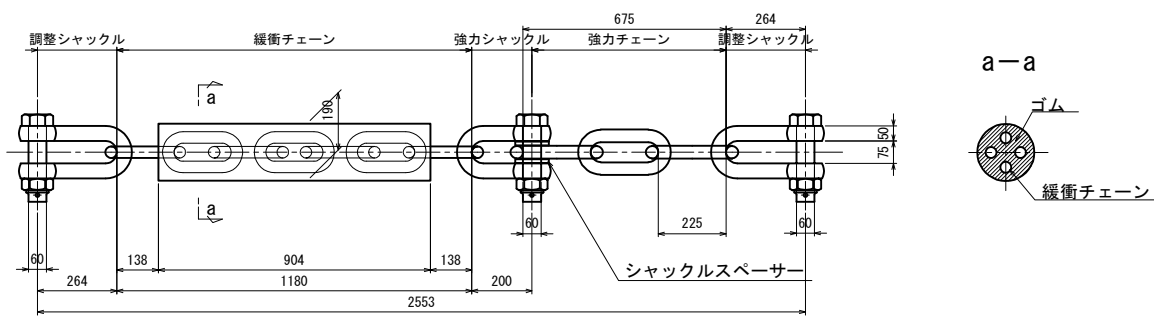


ブラケット1基当り (製作数: 2基)
1-BASE PL 1150x25x900
1-TOP PL 375x25x1110
2-RING PL φ260x22
4-RIB PL 180x22x418
10-Anc Bolt D29x575 (SD345)
10-1種 Nut M27用 (SS400)
10-3種 Nut M27用 (SS400)
10-WASHER M27用 (SS400)

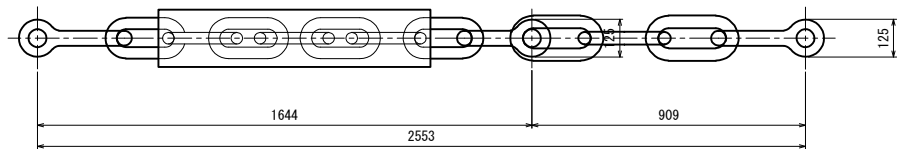


緩衝機能付きチェーン詳細図 (参考図) S=1:25

設計荷重 825kN/本

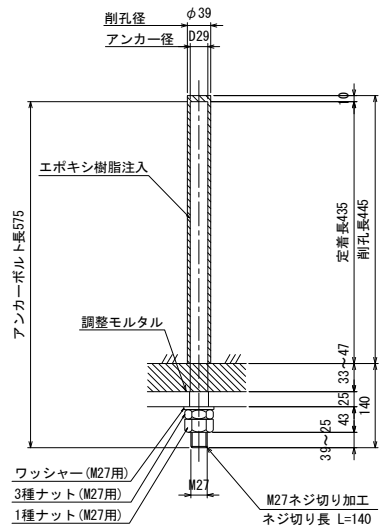


(地震時許容伸び量=160mm)



(地震時許容伸び量=160mm)

上部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

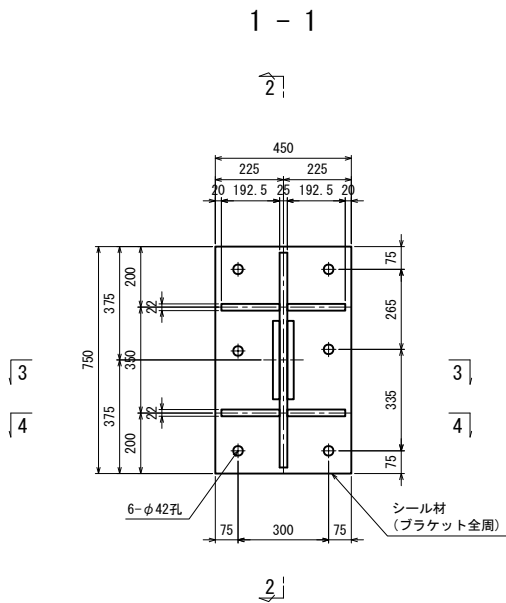
材料: (1本当り)
1-Anc Bolt D29x575 (SD345)
1-1種 Nut M27用 (SS400)
1-3種 Nut M27用 (SS400)
1-WASHER M27用 (SS400)

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 3. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 4. 部材は、全て溶融垂鉛めつき仕上げとする。
膜厚は、JIS H0401 HDZ777とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZ749とする。
 5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 6. FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

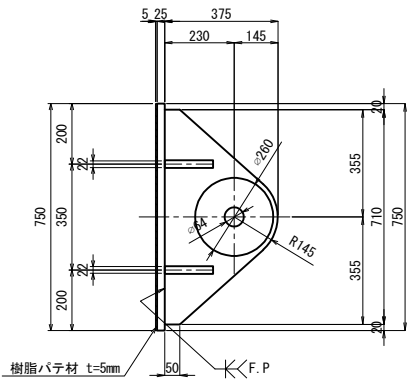
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上り線） A 1 橋台		
	落橋防止構造 C 1—O 1		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

下部エブラケット

TYPE-1

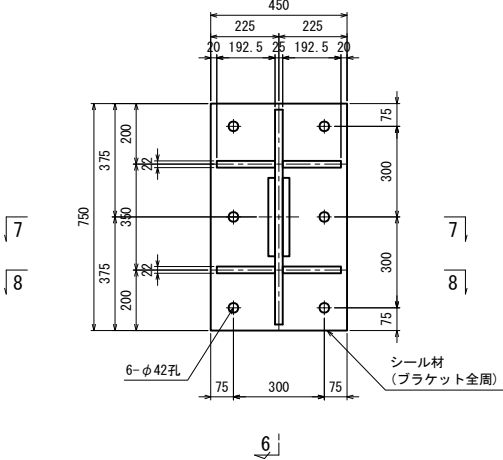


2 - 2

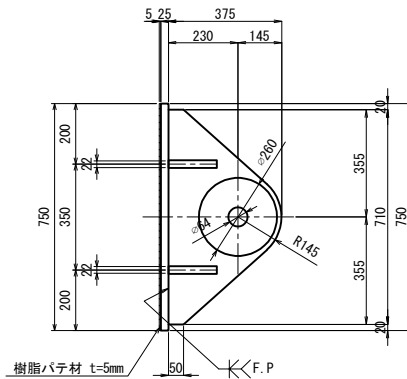


TYPE-2

5 - 5



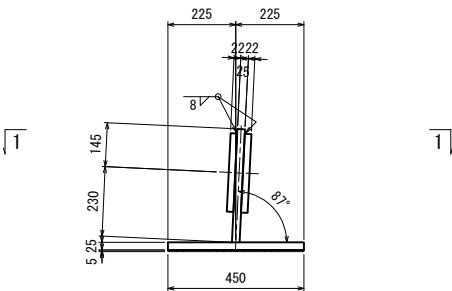
6 - 6



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 1-BASE PL 450x25x750
- 1-TOP PL 375x22x710
- 2-RING PL φ260x22
- 2-RIB PL 160x22x193
- 2-RIB PL 160x22x200
- 6-Anc Bolt D32x580 (SD345)
- 6-1種 Nut M30用 (SS400)
- 6-3種 Nut M30用 (SS400)
- 6-WASHER M30用 (SS400)

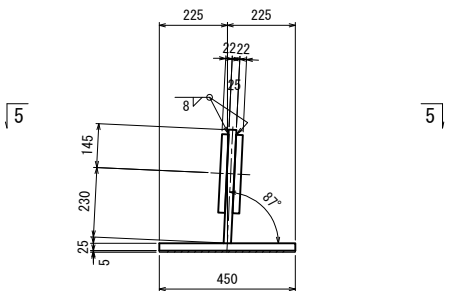
3 - 3



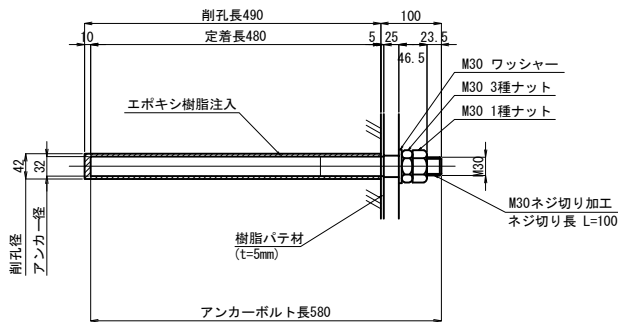
ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 1-BASE PL 450x25x750
- 1-TOP PL 375x22x710
- 2-RING PL φ260x22
- 2-RIB PL 160x22x193
- 2-RIB PL 160x22x200
- 6-Anc Bolt D32x580 (SD345)
- 6-1種 Nut M30用 (SS400)
- 6-3種 Nut M30用 (SS400)
- 6-WASHER M30用 (SS400)

7 - 7



下部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5

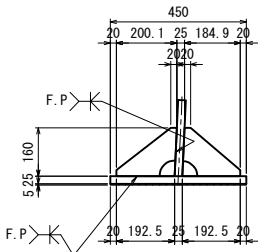


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

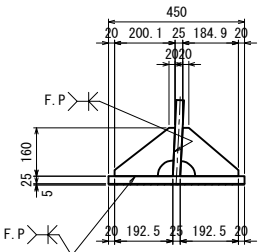
材料: (1本当り)

- 1-ANC Bolt D32x580 (SD345)
- 1-NUT M30 (1種) (SS400)
- 1-NUT M30 (3種) (SS400)
- 1-平座金 M30 (SS400)

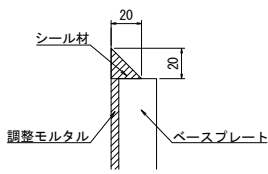
4 - 4



8 - 8

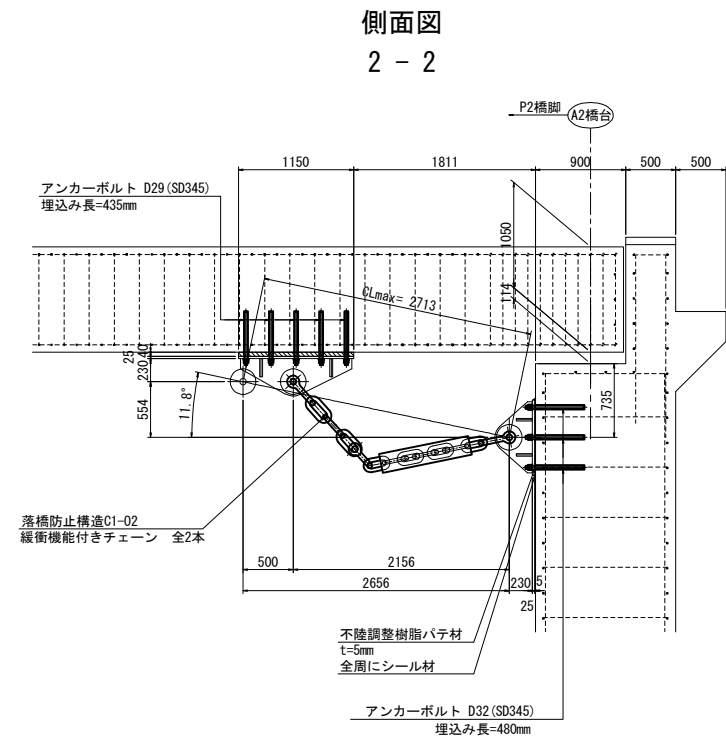
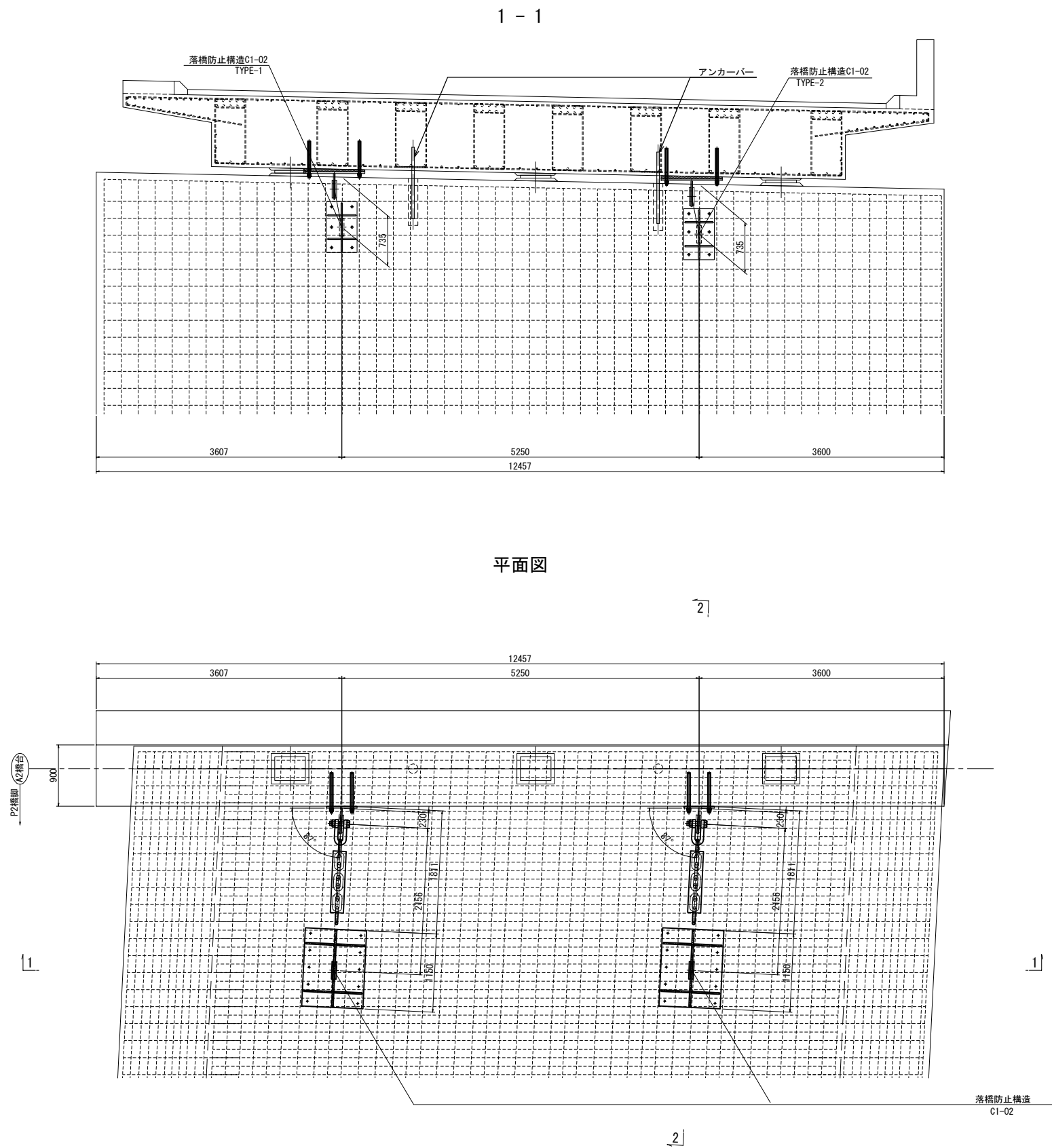


シール材詳細図 S=1:4



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 - 特記なきスカーップは全てR50とする。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めつき仕上げとする。
鉄厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上り線） A 1 橋台 落橋防止構造 C 1—O 1 構造詳細図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



死荷重反力	1000 kN
設計水平力	1500 kN
1本当たりの引張力	766 kN
設計遊間量	500 mm

- 注記)
1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
 2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探査等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
 3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D: アンカー径) 以上確保すること。

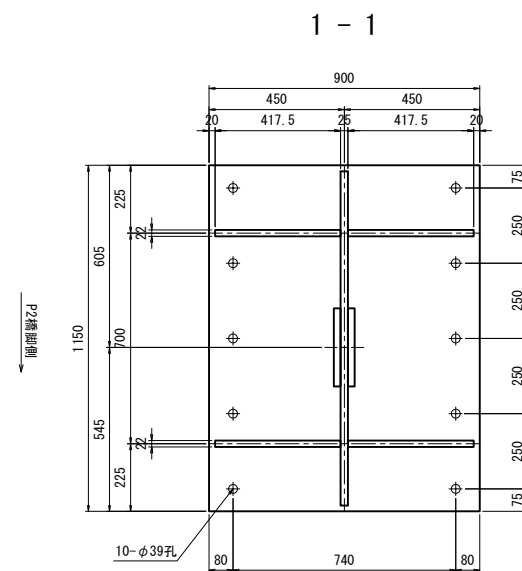
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上り線） A 2 橋台		
	落橋防止構造 C 1—O 2 構造詳細図（その 1）		
縮 尺	1:75	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

上部エブラケット

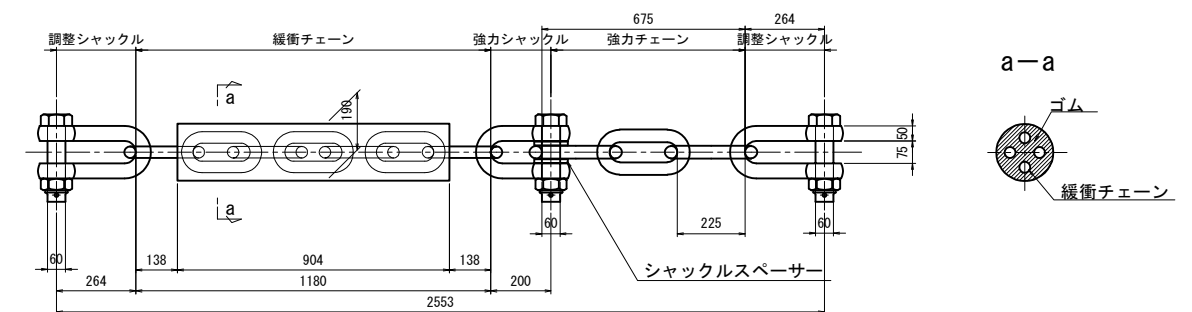
TYPE-1, 2

緩衝機能付きチェーン詳細図（参考図） S=1:25

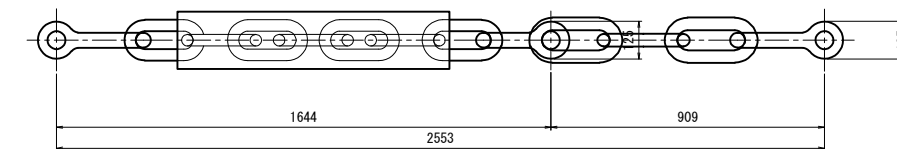
設計荷重 825kN/本



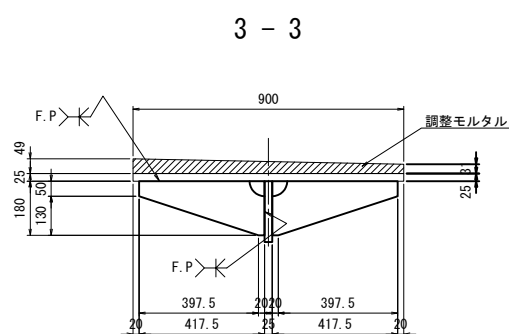
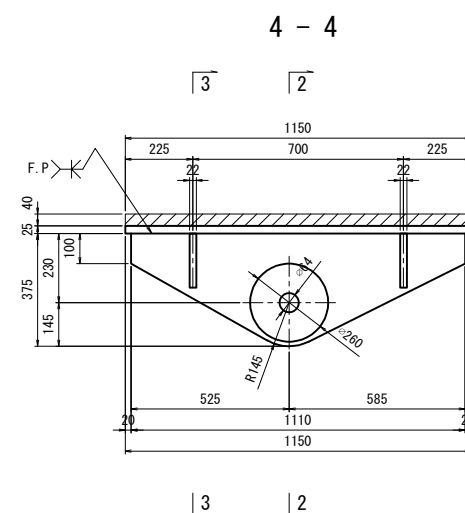
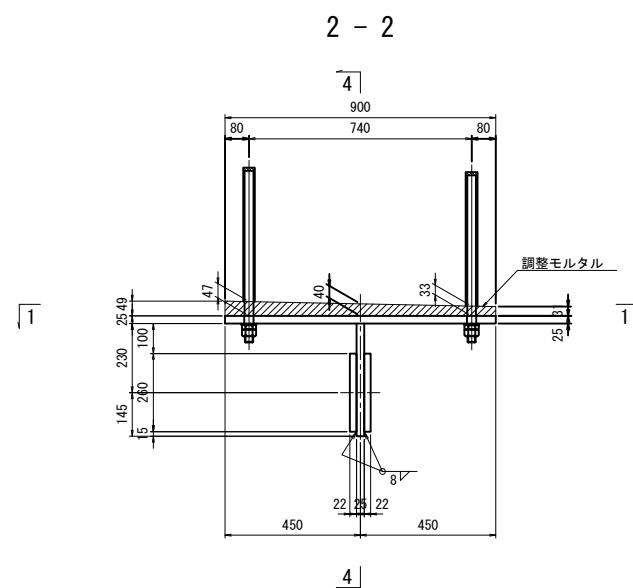
プラケット1基当り(製作数: 2基)
 1-BASE PL 1150x25x900
 1-TOP PL 375x25x1110
 2-RING PL ϕ 260x22
 4-RIB PL 180x22x418
 10-Anc Bolt D29x575 (SD345)
 10-1種 Nut M27用 (SS400)
 10-3種 Nut M27用 (SS400)
 10-WASHER M27用 (SS400)



(地震時許容伸び量=160mm)

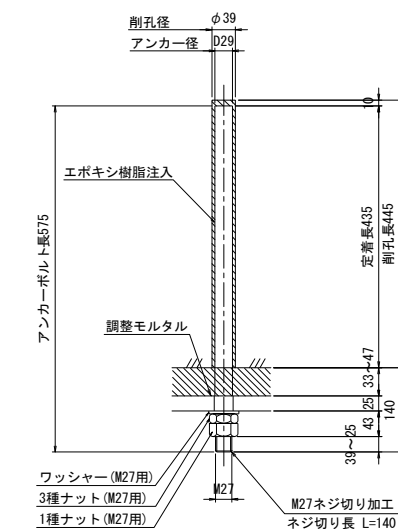


(地震時許容伸び量=160mm)



上部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5

7 S=1:12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

材料：(1本当り)
1-Anc Bolt D29x575 (SD345)
1-1種 Nut M27用 (SS400)
1-3種 Nut M27用 (SS400)
1-WASHER M27用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカラー値は全てR50とする。
3. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
4. 部材は、完全溶融垂融めっき仕上げとする。

厚度は、JIS H0401 HDZ T77とする。

ただし、ボルト・ナット類はHDZ T49とする。

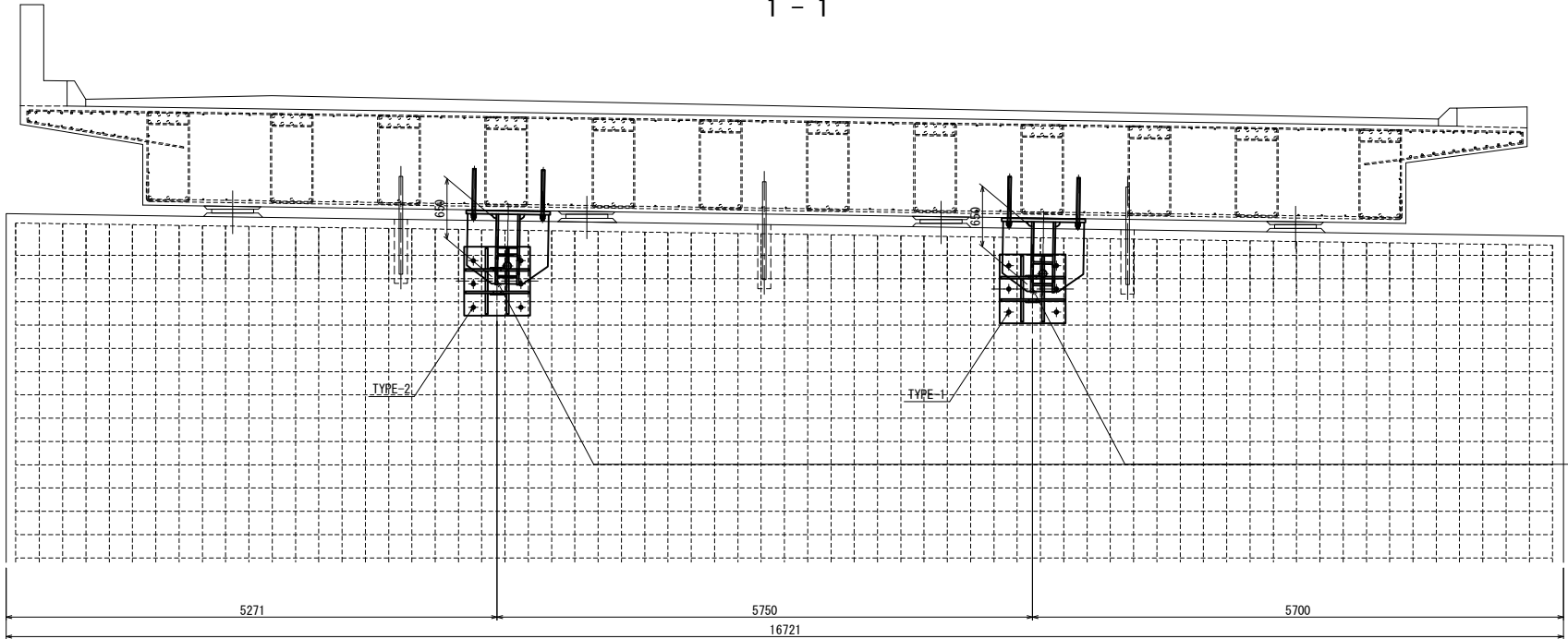
5. 既設コンクリートの削削の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。

また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

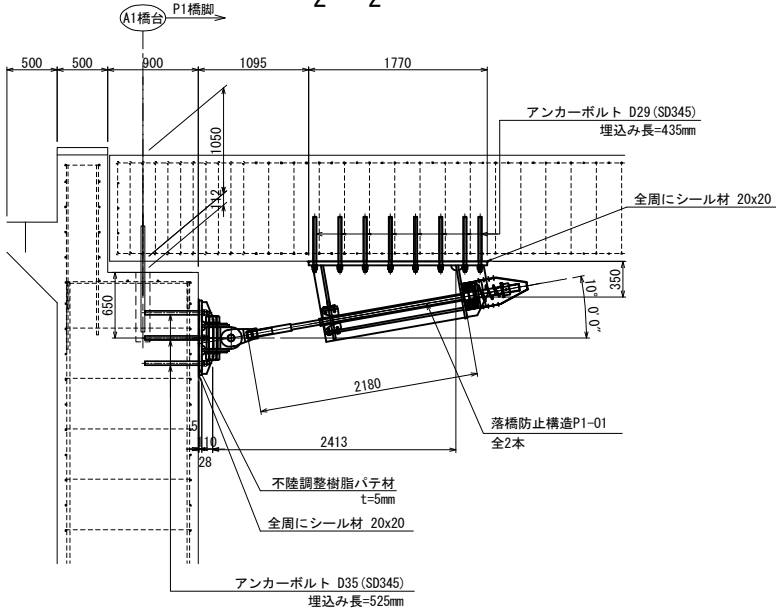
6. FP表記の開先接合の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

	上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事
図面の種類	須坂橋（上り橋） A 2 橋台 落橋防止構造 C ー O 2 構造詳細図（その 2）
縮 尺	図 示 図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

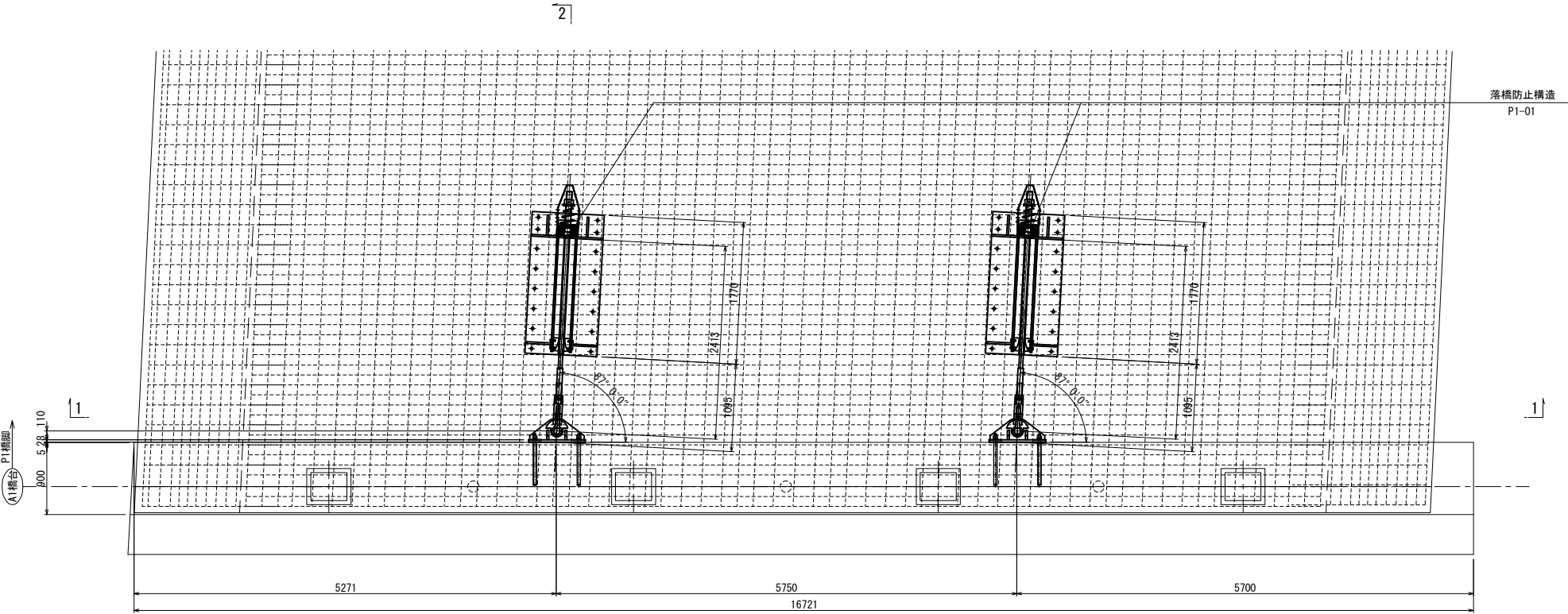
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2



平面図



死荷重反力	1400 kN
設計水平力	2100 kN
1本当たりの引張力	1067 kN
設計遊間量	500 mm

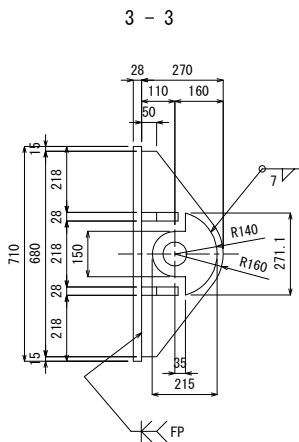
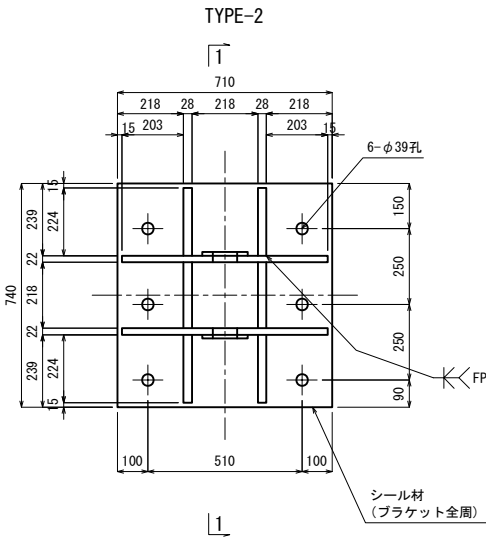
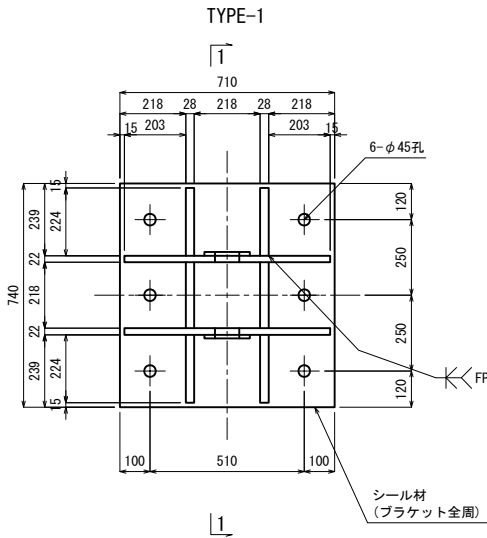
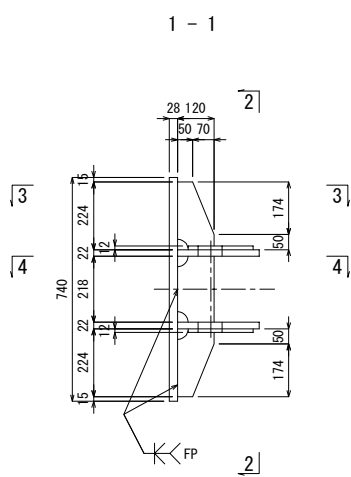
注記)

1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探索等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D:アンカー径) 以上確保すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造 P 1—O 1 構造詳細図（その 1）		
	縮 尺	1:75	図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

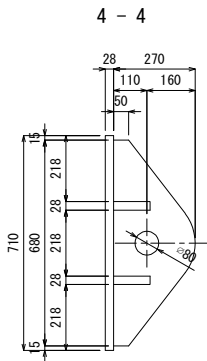
下部エブラケット

2 - 2

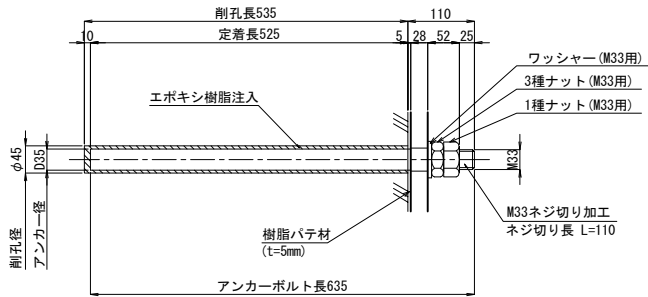


ブラケット1基当り(製作数: 2基)

- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 270x22x680
- 4-PL 120x28x224
- 2-PL 120x28x218
- 1-PL 740x28x710
- 6-Anc Bolt D35x635 (SD345)
- 6-1種 Nut M33用 (SS400)
- 6-3種 Nut M33用 (SS400)
- 6-WASHER M33用 (SS400)



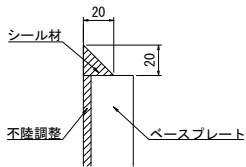
下部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 材料: (1本当り)
- 1-Anc Bolt D35x635 (SD345)
 - 1-1種 Nut M33用 (SS400)
 - 1-3種 Nut M33用 (SS400)
 - 1-WASHER M33用 (SS400)

シール材詳細図 S=1:4



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーップは全てR50とする。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造 P 1—O 1		
	構造詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

Technical drawing of a cable assembly, showing dimensions and components. The drawing is divided into two main sections: 下部工側 (Lower Work Side) on the left and 上部工側 (Upper Work Side) on the right.

Dimensions:

- Overall length: 2740
- Distance from left end to first bracket pin: 182
- Distance between first and second bracket pins: 264
- Distance from second bracket pin to end of cable: 100
- Distance from left end to end of cable: 2344
- Distance from right end to end of cable: 560
- Distance from right end to first bracket pin: 128
- Distance between first and second bracket pins: 250
- Distance from second bracket pin to end of cable: 1960
- Distance from end of cable to right end: 100

Components and Labels:

- 下部工側 (Lower Work Side):
 - ブラケットピン (Bracket Pin)
 - 止めナット (Lock Nut)
 - ワッシャー (Washer)
 - アイバー (Eye Bar)
 - エンドピン (End Pin)
 - フォークエンド (Fork End)
 - マンション (Mansion)
- 上部工側 (Upper Work Side):
 - 保護キャップ (Protective Cap)
 - マンション (Mansion)
 - ナット (Nut)
 - 止めプレート (Lock Plate)
 - スプリング (Spring)
 - 異型緩衝具 (Special Shock Absorber)
 - 偏向具 (Deflector)
- 連結構ケーブル (F130TDU) (Connecting Cable (F130TDU))

全2h本

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	F130TDU L=2740mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
(マンション)	F130TD用 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	F130TD用 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F130TD用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F130TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F130TD用 L=400	個	1	SW-C; 亜鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	F130TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F130TD用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F130TD用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付
ブラケットピン	F130TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	F130TDU用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F130TDU用	個	2	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F130TDU用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F130TDU用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	F130TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
(止めプレート)	F130TDU用	個	1	SS400、亜鉛めっき

Figure 1: Schematic diagram of the cable connection structure. The diagram shows a cross-section of a cable assembly with various components and dimensions. The total length of the cable is L=2740. Dimensions include 440, 250, 600, 1040, and 440. Components include 'マンション (SCM435; 溶射処理)' (Mansion (SCM435; spray-coated)), '保護チューブ (t=2)' (Protective tube (t=2)), 'PC銅より線 亜鉛めっき仕様 (1xφ12.7)' (PC copper wire, galvanized specification (1xφ12.7)), '被覆材 (ポリエチレン樹脂)' (Coating material (polyethylene resin)), 'ガイドパイプ (ポリエチレン)' (Guide pipe (polyethylene)), and 'マンション (SCM435; 溶射処理)' (Mansion (SCM435; spray-coated)). A section line A-A is indicated.

48.1
38.1
PC鋼より線
亜鉛めっき仕様
(7xφ12.7)
被覆材
(ポリエチレン樹脂)
防錆油

六角穴付止めねじ

Technical drawing of a spring with dimensions: 400 (製作長), 90, 180, and $\phi 10$.

支圧板 (SS400相当品・垂鉛めっき)
緩衝パッキン(合成ゴム)

Technical drawing of a rectangular plate. The top horizontal dimension is 440. Below it, the central width is 286, and the side flange widths are 77 on each side. A vertical dimension of 78 is shown on the right side.

六角穴付止めねじ
(M10)

Technical drawing of a mechanical part with dimensions. The part is shown in two views: a front view (top) and a side view (bottom). The front view shows a rectangular block with a semi-circular end. Dimensions include a total width of 351, a height of 214, and a semi-circular end with a radius of R6. The side view shows a cross-section with a total width of 124, a central hole with a diameter of $\varnothing 30$, and a semi-circular end with a radius of R6. The side view also shows a total length of 351, with segments of 62, 182, and 107, and a final segment of 44.

190.8 19 7.5 2-M10 (六角穴付ボルト) ピン (SCM435-DWコート) 止めプレート (SS400-垂鉛めっき)

保護チューブはぎ取り

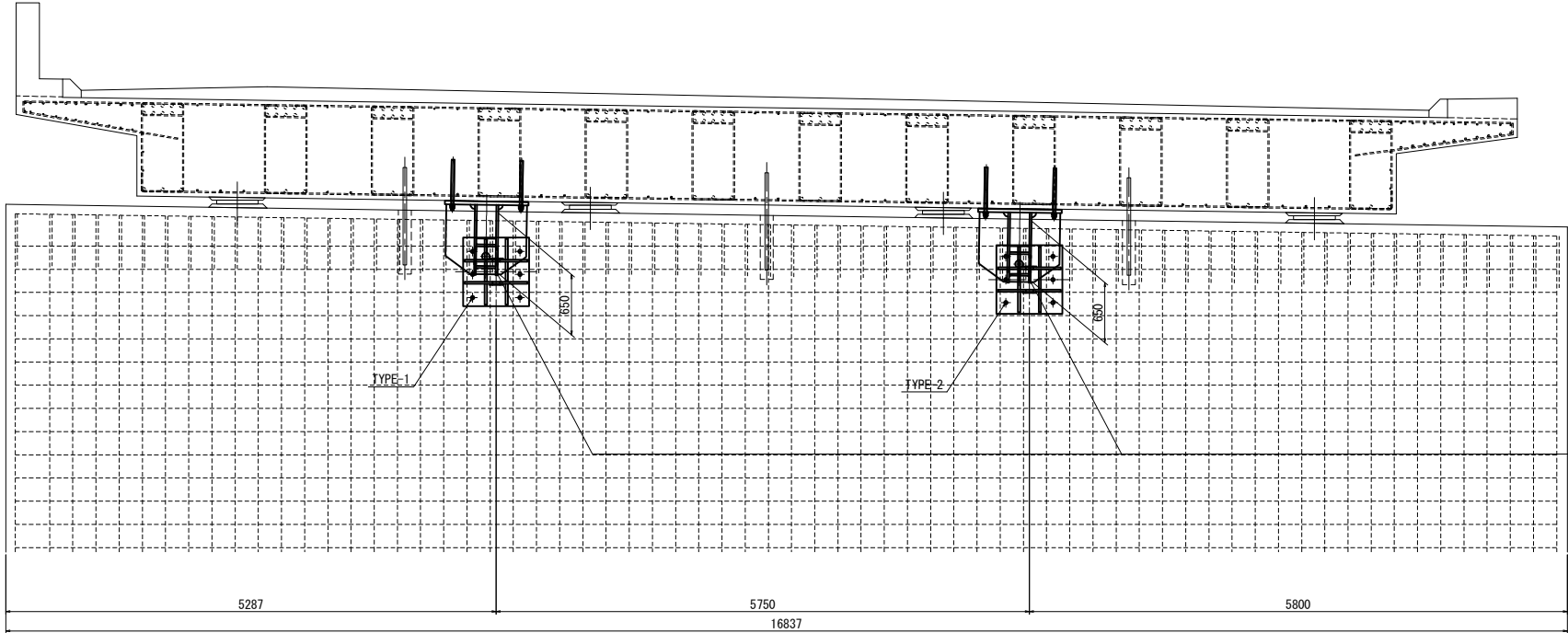
注記)

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

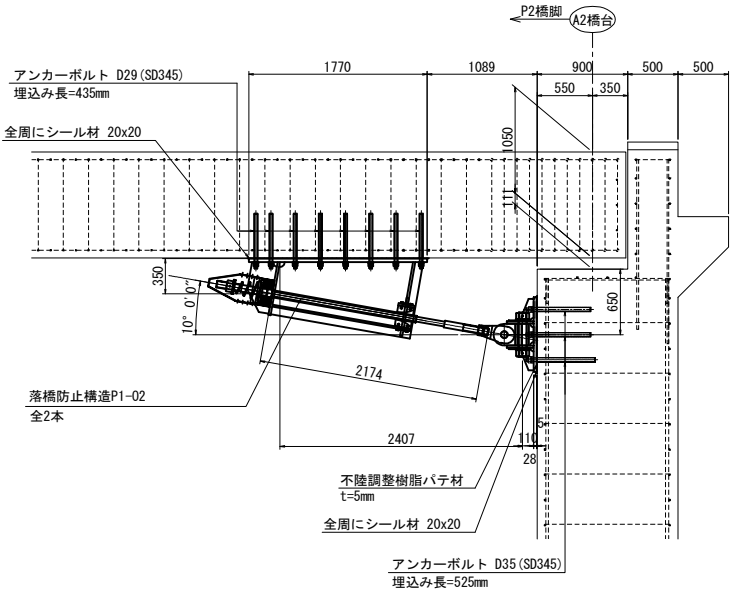
※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

上 越 越 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（下り線）A1橋台 落橋防止構造P1ー○1 構造詳細図（その4）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

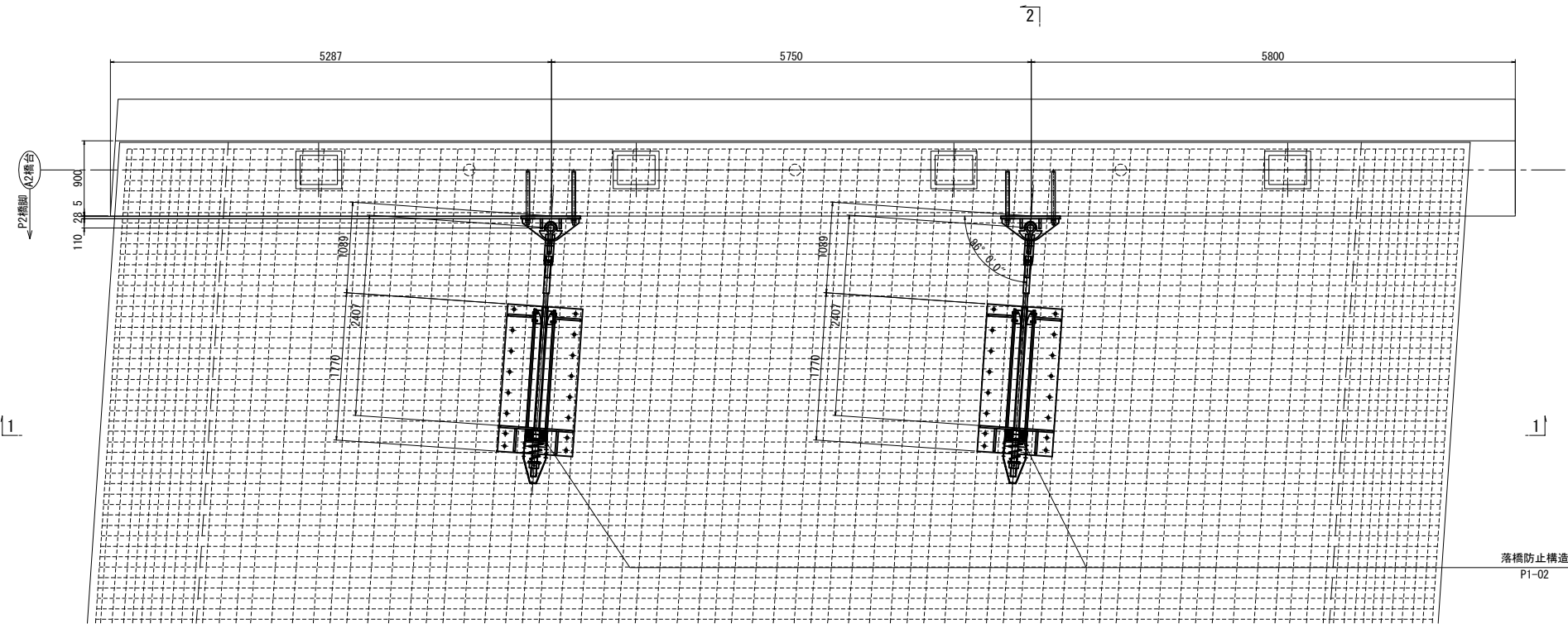
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2



平面図



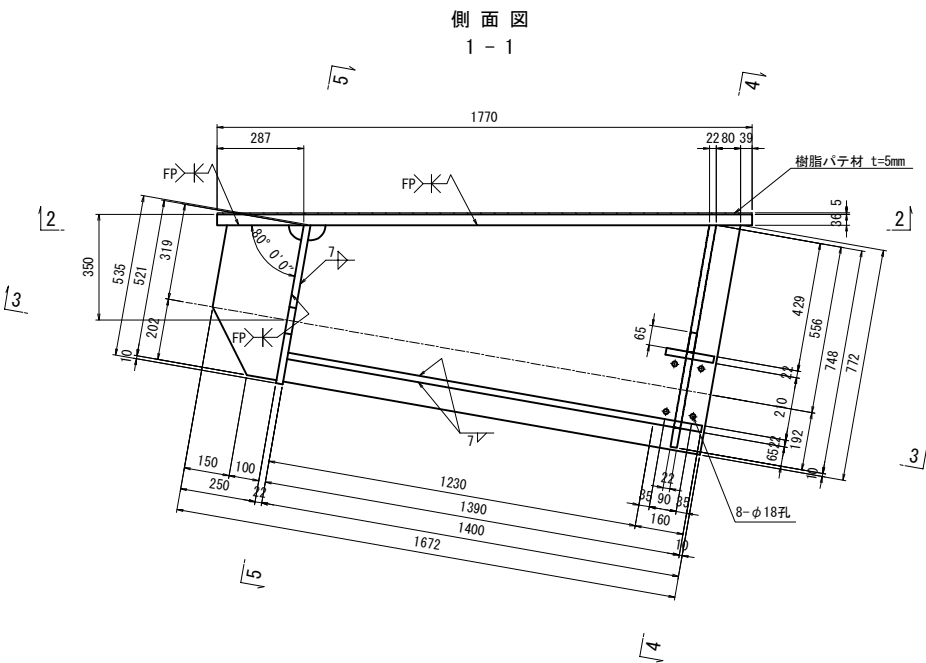
死荷重反力	1400 kN
設計水平力	2100 kN
1 本当たりの引張力	1067 kN
設計間量	500 mm

注記)

1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探査等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D:アンカー径) 以上確保すること。

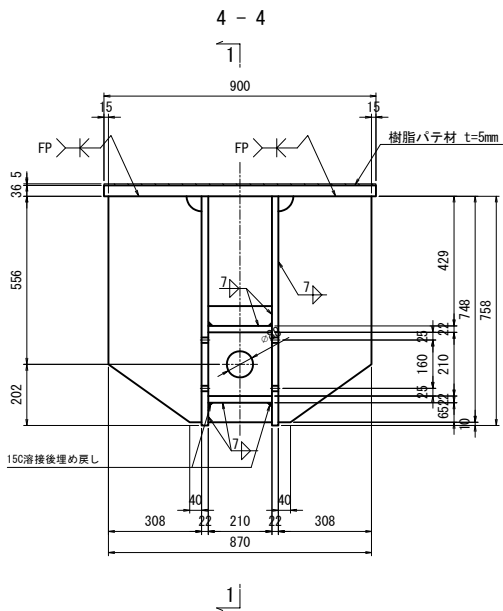
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（下り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—O 2 構造詳細図（その 1）		
	縮 尺	1:75	図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

上部エブラケット

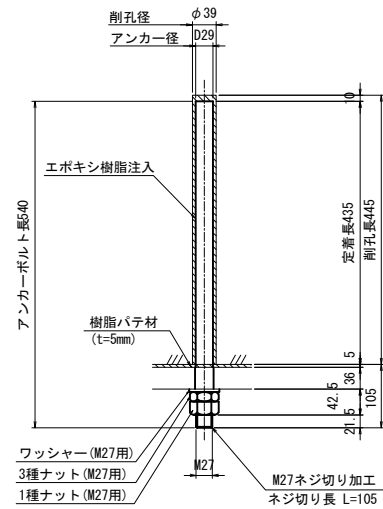


ブラケット1基当り(製作数: 2基)

- 2-PL 250x22x521
- 2-PL 772x22x1400
- 2-PL 308x22x748
- 2-PL 65x22x210
- 1-PL 210x22x1390
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 870x22x535
- 1-PL 900x36x1770
- 16-Anc Bolt D29x540 (SD345)
- 16-1種 Nut M27用 (SS400)
- 16-3種 Nut M27用 (SS400)
- 16-WASHER M27用 (SS400)



上部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5

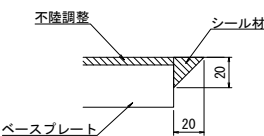


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

材料: (1本当り)

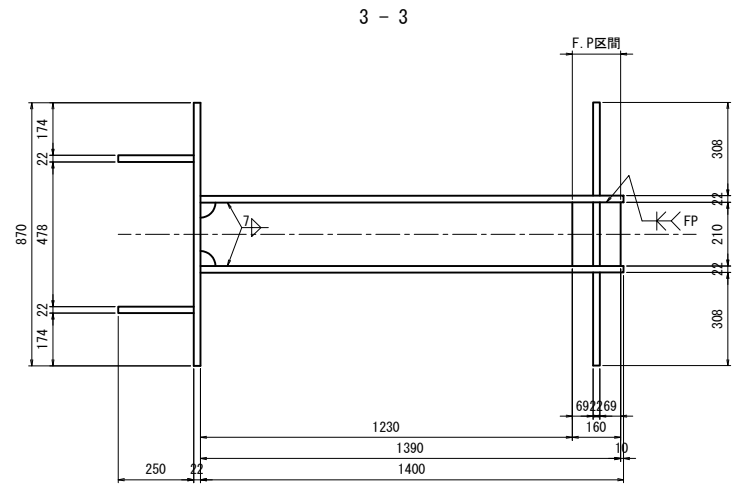
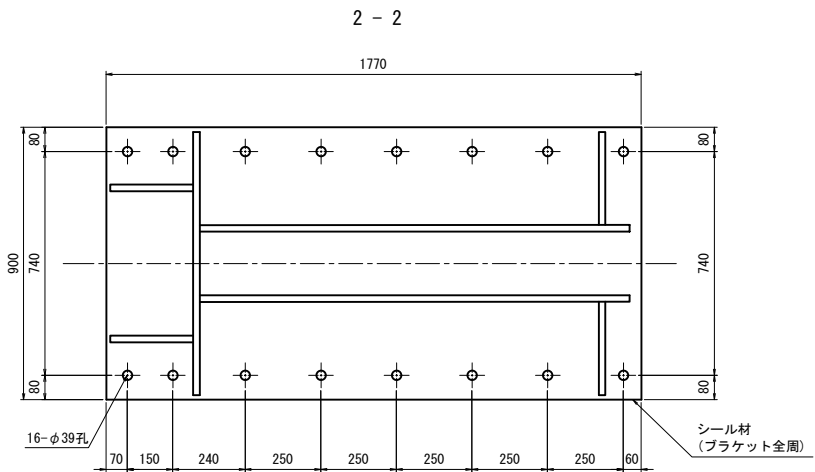
- 1-Anc Bolt D29x540 (SD345)
- 1-1種 Nut M27用 (SS400)
- 1-3種 Nut M27用 (SS400)
- 1-WASHER M27用 (SS400)

シール材詳細図 S=1:4



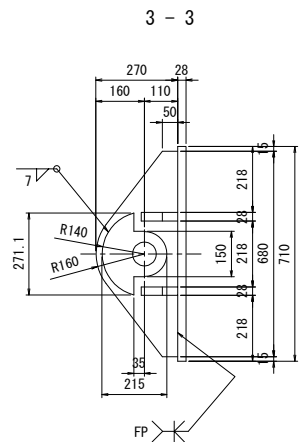
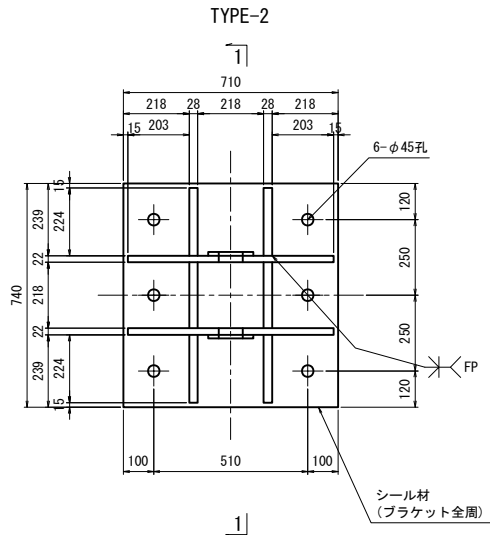
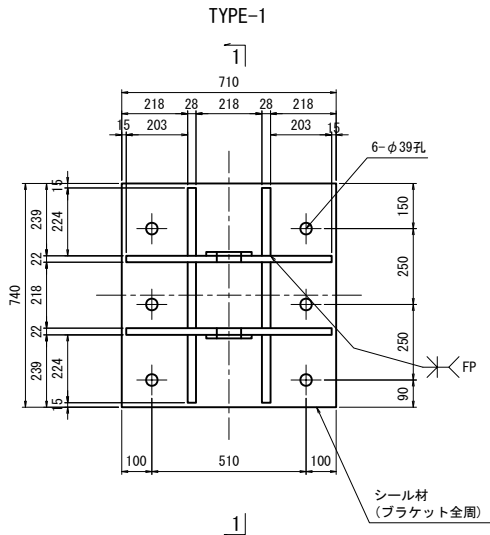
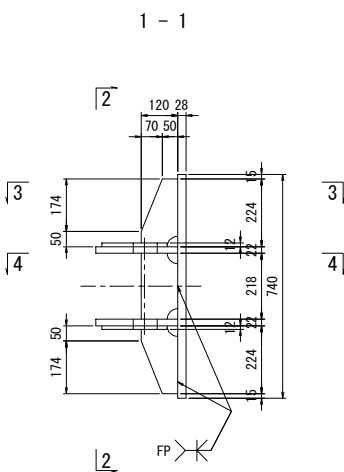
- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーップは全てR50とする。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H8641 HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（下り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—O 2 構造詳細図（その 2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

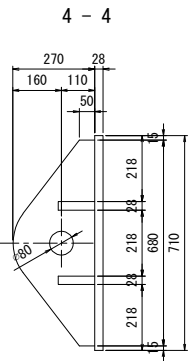


下部エブラケット

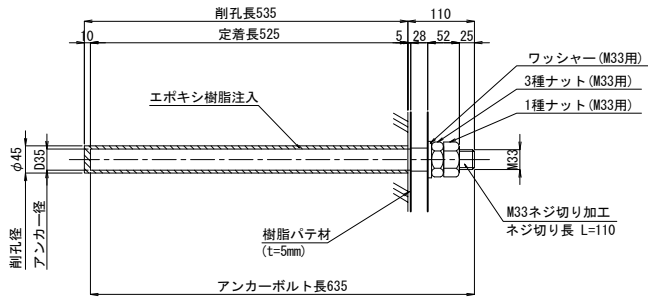
2 - 2



ブラケット1基当り（製作数：2基）
2-PL 215x12x271
2-PL 270x22x680
4-PL 120x28x224
2-PL 120x28x218
1-PL 740x28x710
6-Anc Bolt D35x635 (SD345)
6-1種 Nut M33用 (SS400)
6-3種 Nut M33用 (SS400)
6-WASHER M33用 (SS400)



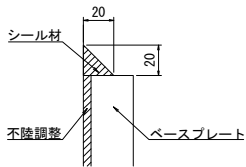
下部エアンカーボルト詳細図 S=1：12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

材料：（1本当り）
1-Anc Bolt D35x635 (SD345)
1-1種 Nut M33用 (SS400)
1-3種 Nut M33用 (SS400)
1-WASHER M33用 (SS400)

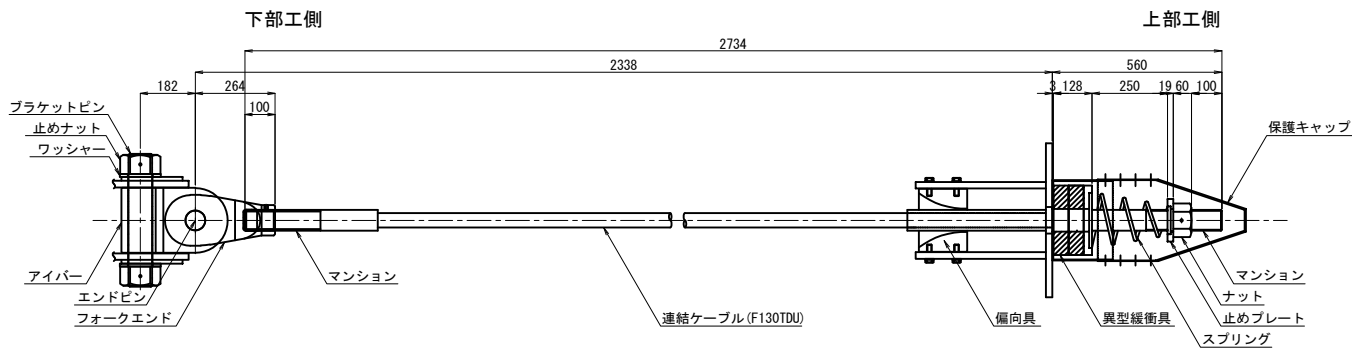
シール材詳細図 S=1：4



- 注記）
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR50とする。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - FP表記の開先溶接の箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

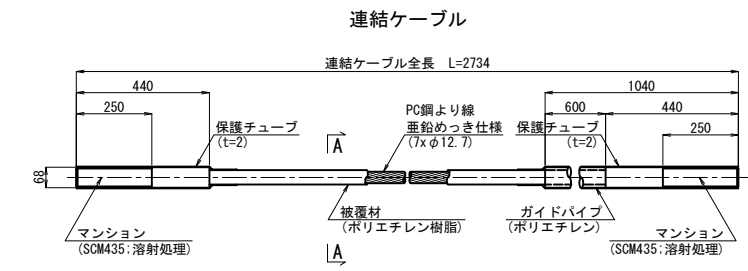
上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（下り線） A 2 橋台		
	落橋防止構造 P 1—O 2		
	構造詳細図（その 3）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

取付詳細図

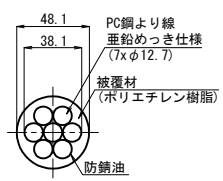


材 料 表（落橋防止構造1本当たり）

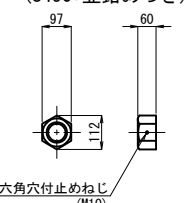
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	F130TDU L=2734mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
（マンション）	F130TDU用 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準〈ケーブルに組込〉
（ガイドパイプ）	F130TDU用 600mm	本	1	ポリエチレン〈ケーブルに組込〉
ナット	F130TDU用	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F130TDU用	個	1	SS400:垂鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F130TDU用 L=400	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	F130TDU用	個	1	SS400:垂鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F130TDU用	個	1	ポリエチレン
（取付ボルト）	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F130TDU用	組	1	ポリエチレン:8-止めビス付
ブラケットピン	F130TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	F130TDU用	個	2	S45C、垂鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F130TDU用	個	2	SS400:垂鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F130TDU用	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F130TDU用	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZ55)
エンドピン	F130TDU用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
（ピン）	F130TDU用	個	1	SS400、垂鉛めっき
（止めプレート）	F130TDU用	個	1	SS400、垂鉛めっき



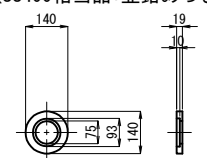
A-A断面図 S=1:5



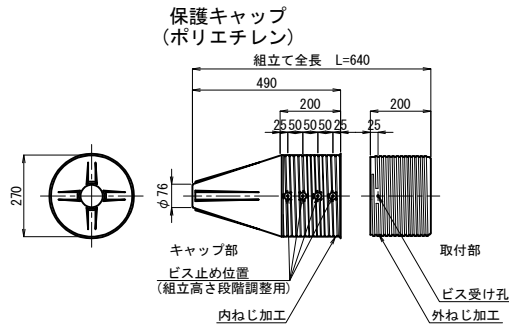
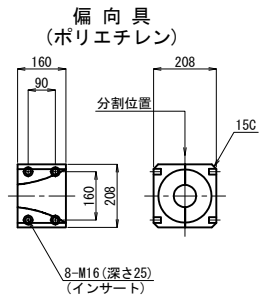
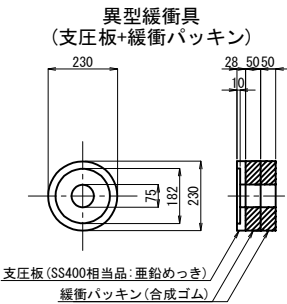
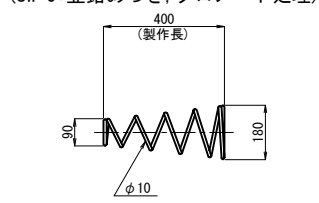
ナット (S45C:垂鉛めっき)



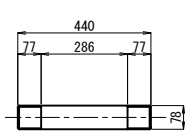
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



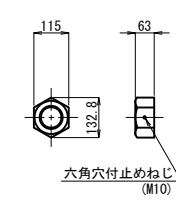
スプリング (SW-C:垂鉛めっき, クロメート処理)



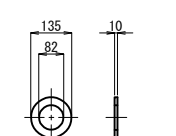
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



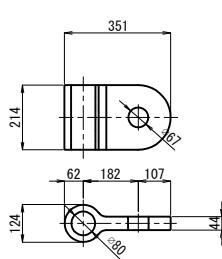
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



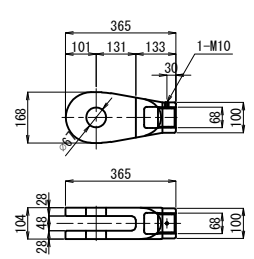
ワッシャー (SS400:垂鉛めっき)



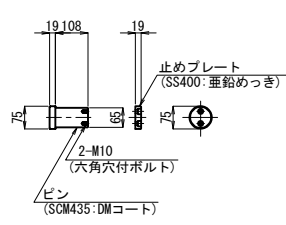
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



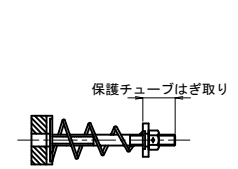
フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



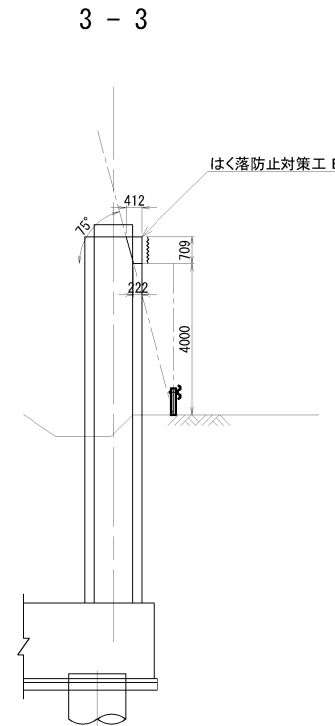
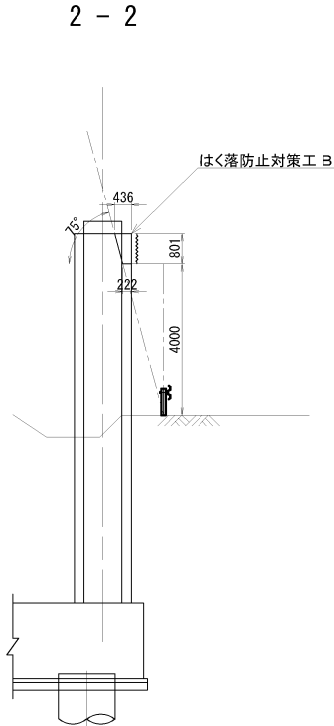
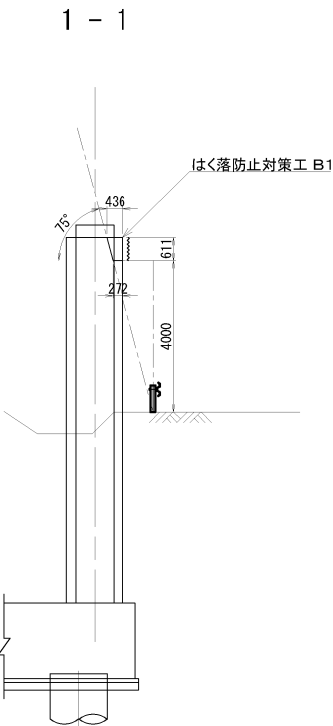
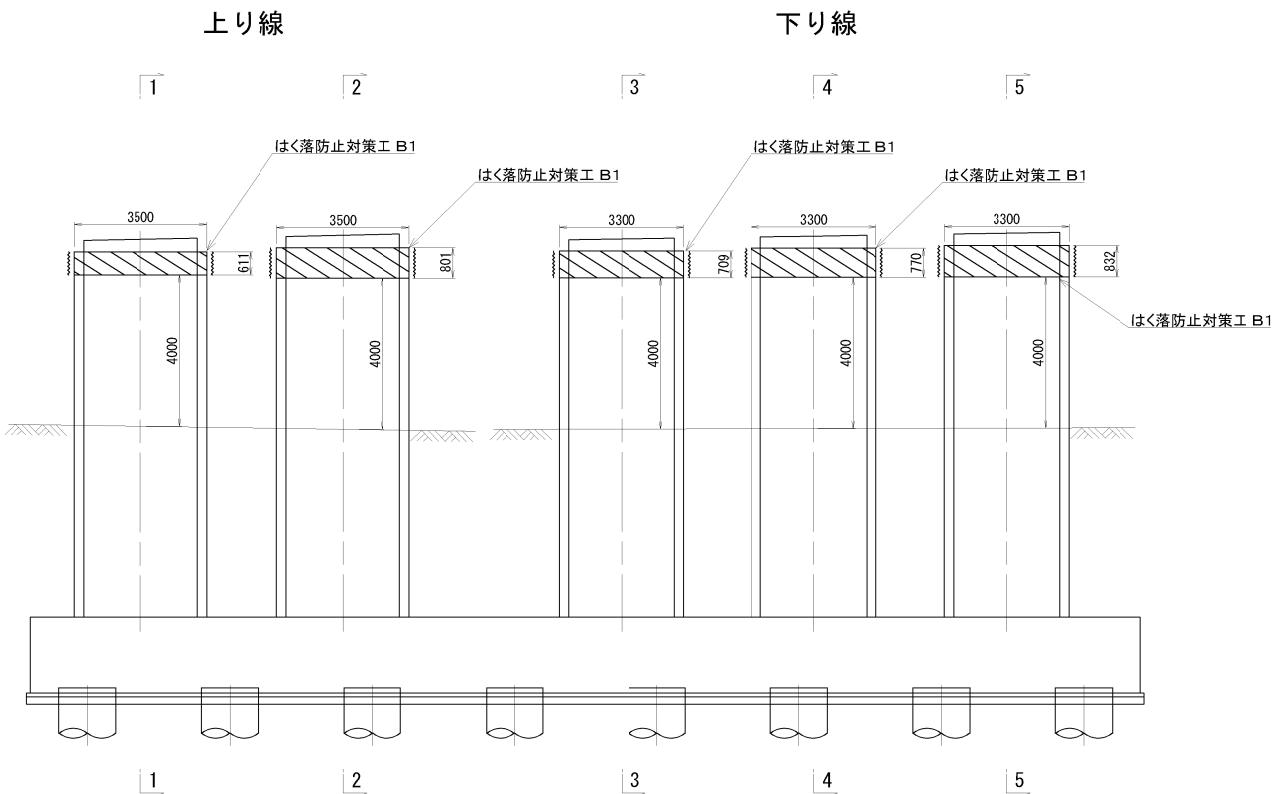
マンション端部処理



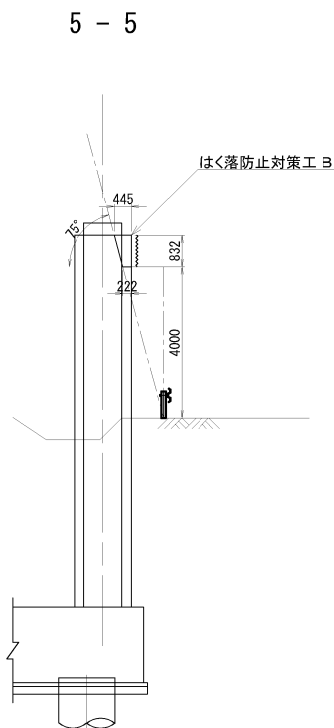
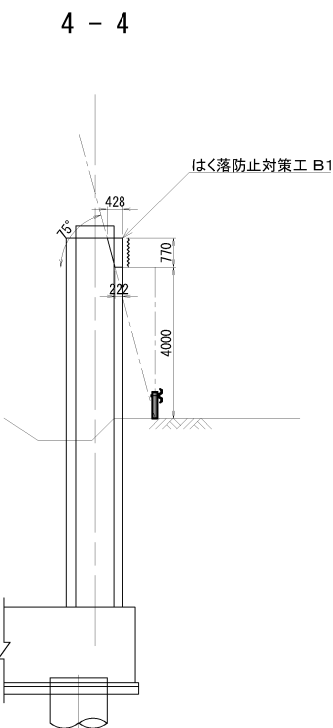
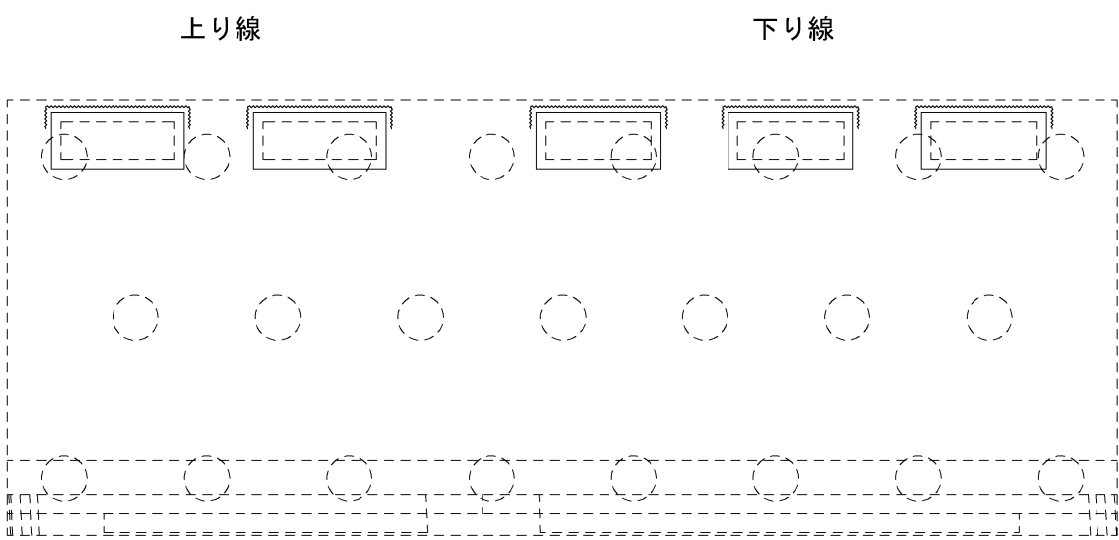
注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

上 信 越 自 動 車 道	豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事
図面の種類	須坂橋（下り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—O 2 構造詳細図（その4）（参考図）
縮 尺	図 示 図 面 番 号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所

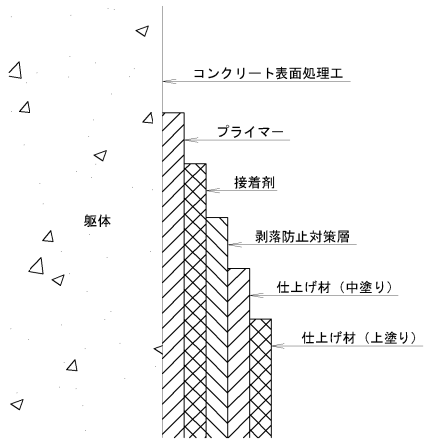
正面図(終点側)



平面図



はく落防止対策工 標準図



注記)
1. 対策範囲については、現地調査を行い、
監督員との協議の上決定すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚		
	はく落防止対策工 B 1 一般図		
縮 尺	1:200	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

正面図（起点側）

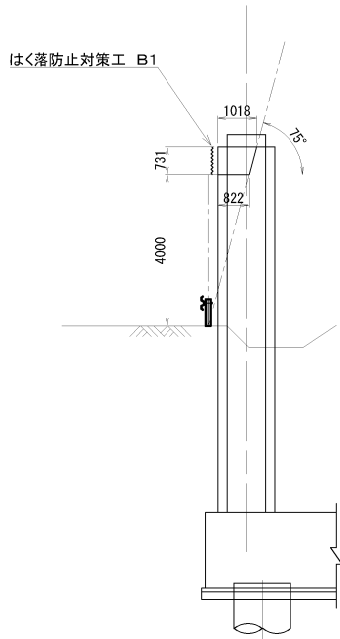
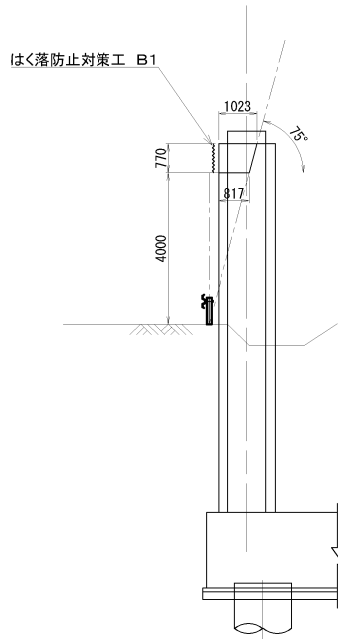
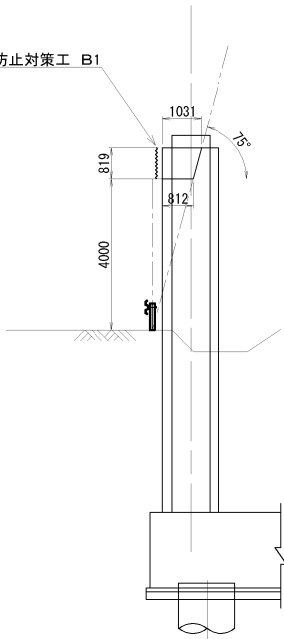
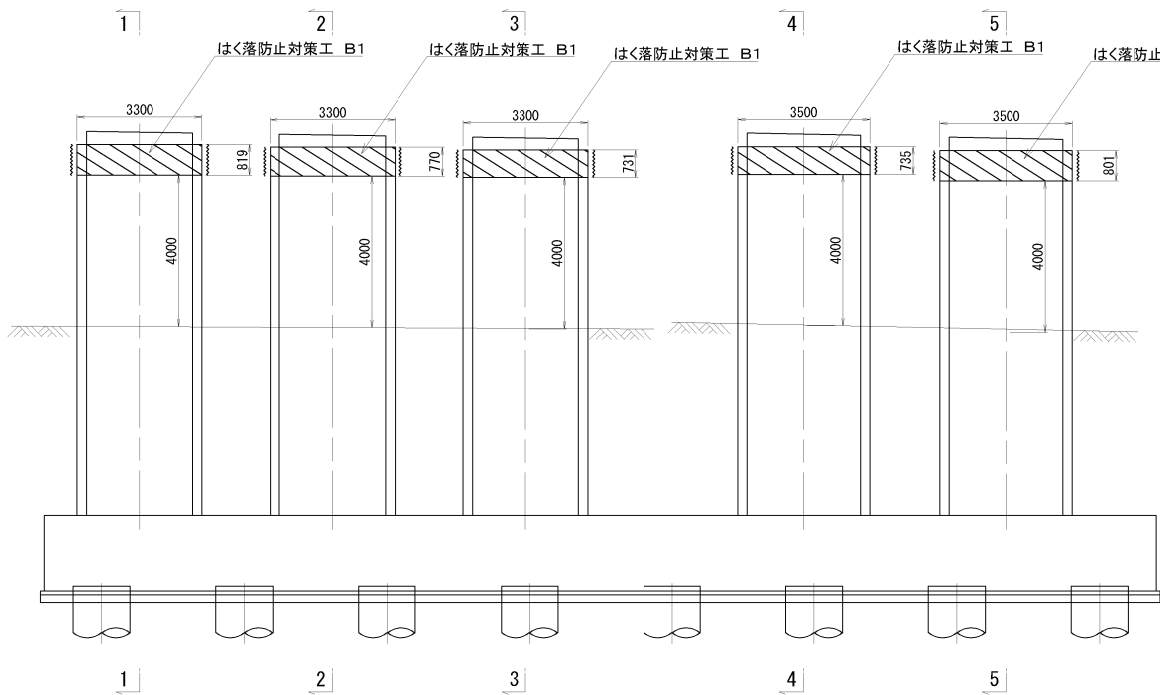
下り線

上り線

1 - 1

2 - 2

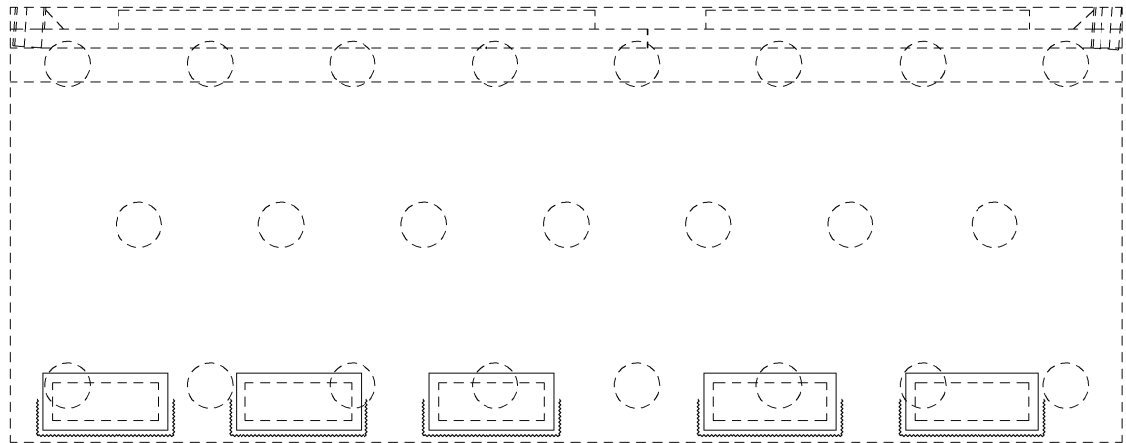
3 - 3



平面図

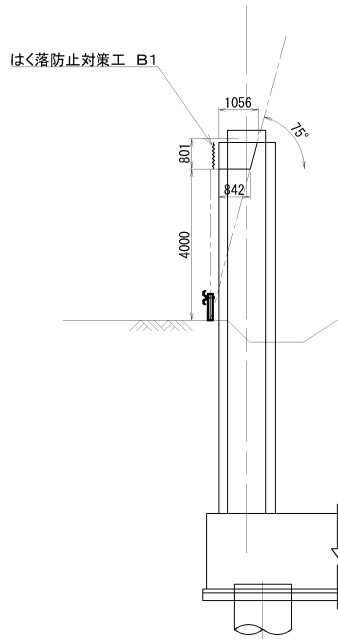
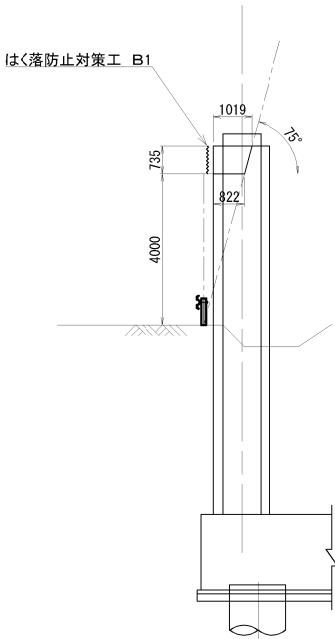
4 - 4

5 - 5

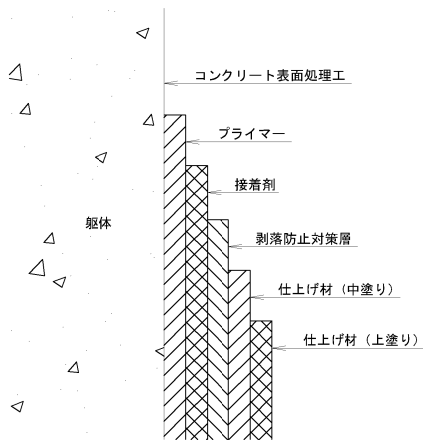


下り線

上り線



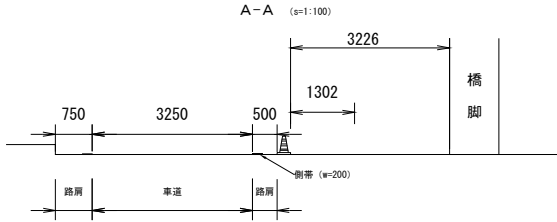
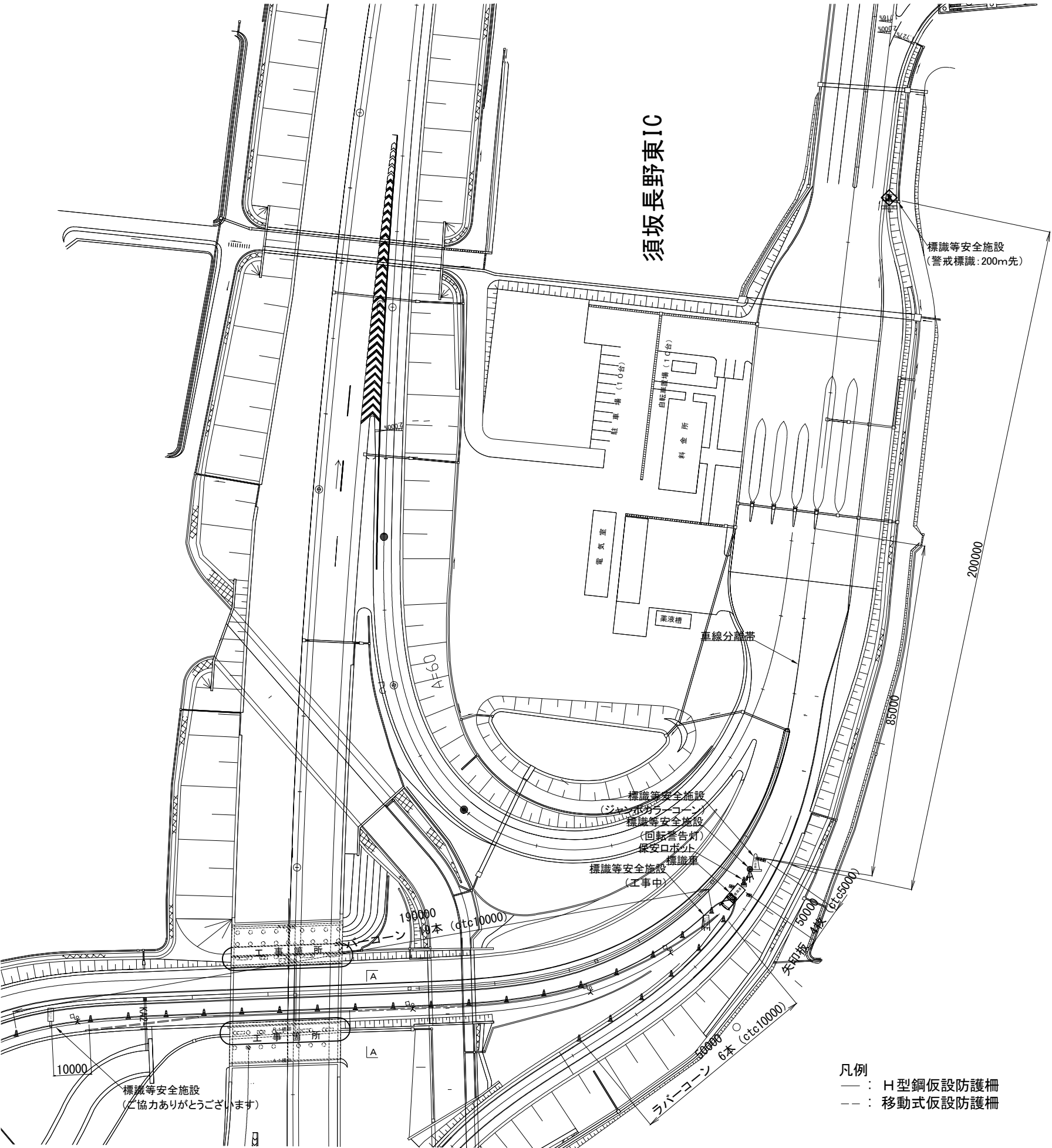
はく落防止対策工 標準図



注記)
1. 対策範囲については、現地調査を行い、
監督員との協議の上決定すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 はく落防止 対策工 B 1 一般図		
縮 尺	1:200	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

平面図



※施工時には、既設の道路標識の視認性を確保すること。
道路構造令の解説と運用（令和3年3月（公社） 日本道路協会）

交通規制工 路肩規制 C（A1橋台側）

（規制1回当たり）

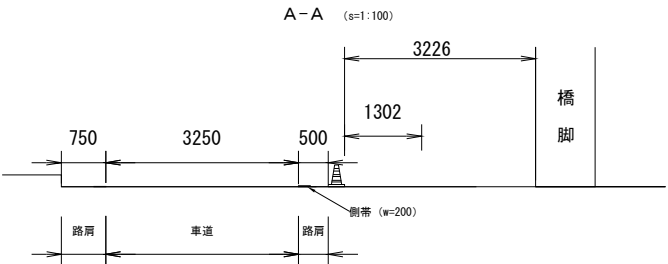
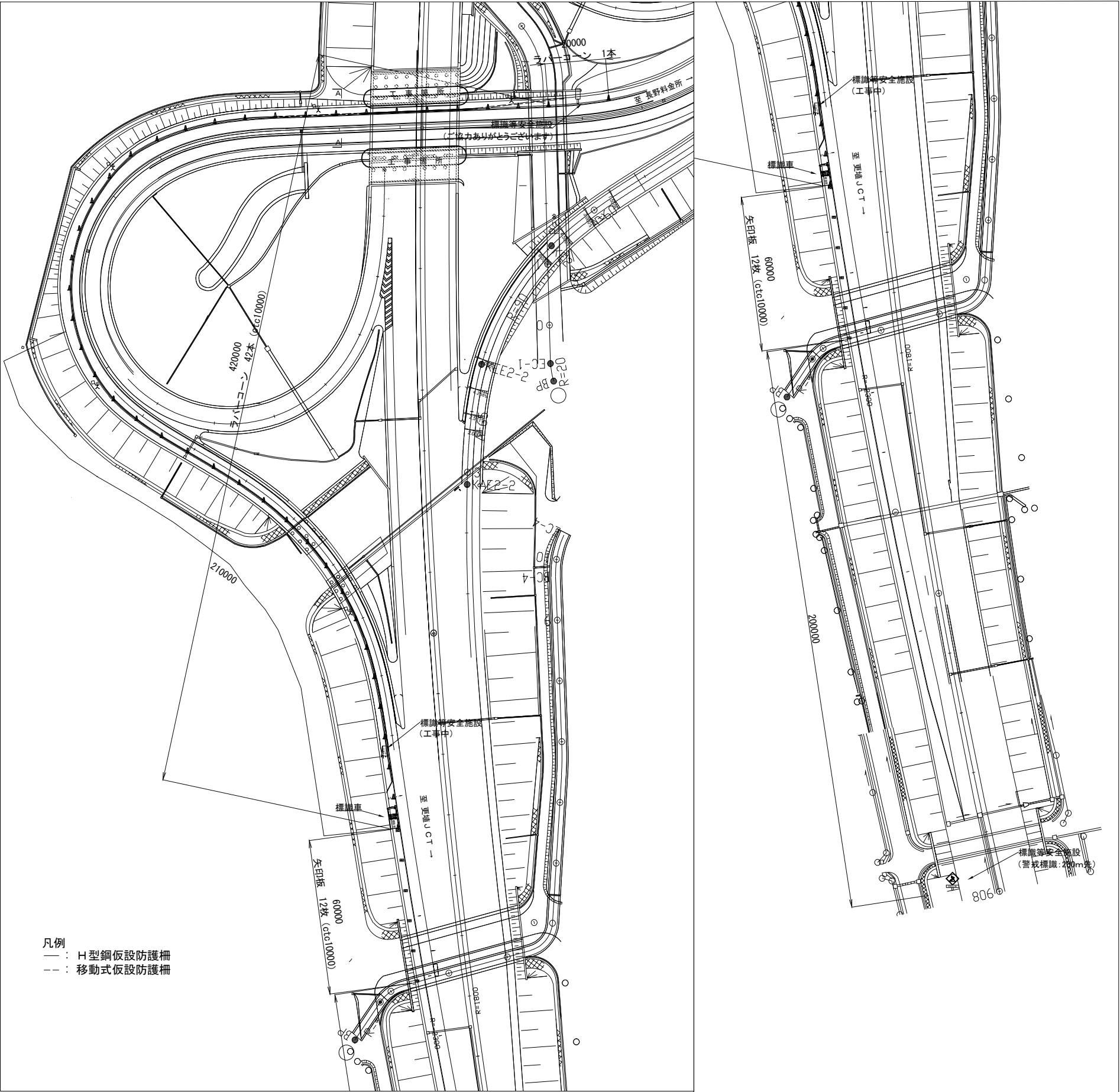
名称	数量	単位	備 考
交通監視員	4	人・日	テーパー部・工事車両出入口・施工箇所・規制内巡回（計4人・日/回） ※交通規制工に含む
標識等安全施設（警戒標識：200m先）	1	枚	貸与品
標識等安全施設（警戒標識：500m先）	—	枚	貸与品 設置不可
標識等安全施設（ご協力ありがとうございます）	1	枚	貸与品
標識等安全施設（工事中）	1	枚	貸与品
標識等安全施設（保安灯）	必要数	本	貸与品
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	貸与品
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
ラバーコーン	25	本	貸与品
矢印板	4	枚	貸与品（飛散防止措置をする事）
標識車	1	台	貸与品

- 凡例
- ：H型鋼仮設防護柵
 - ：移動式仮設防護柵

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 交通規制工 路肩規制C（ONランプ）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 交通規制工 路肩規制C（OFFランプ）

平面図 (S=1:250)



※施工時には、既設の道路標識の視認性を確保すること。

道路構造令の解説と運用（令和3年3月（公社） 日本道路協会）

交通規制工 路肩規制 C 1（A2橋台側）

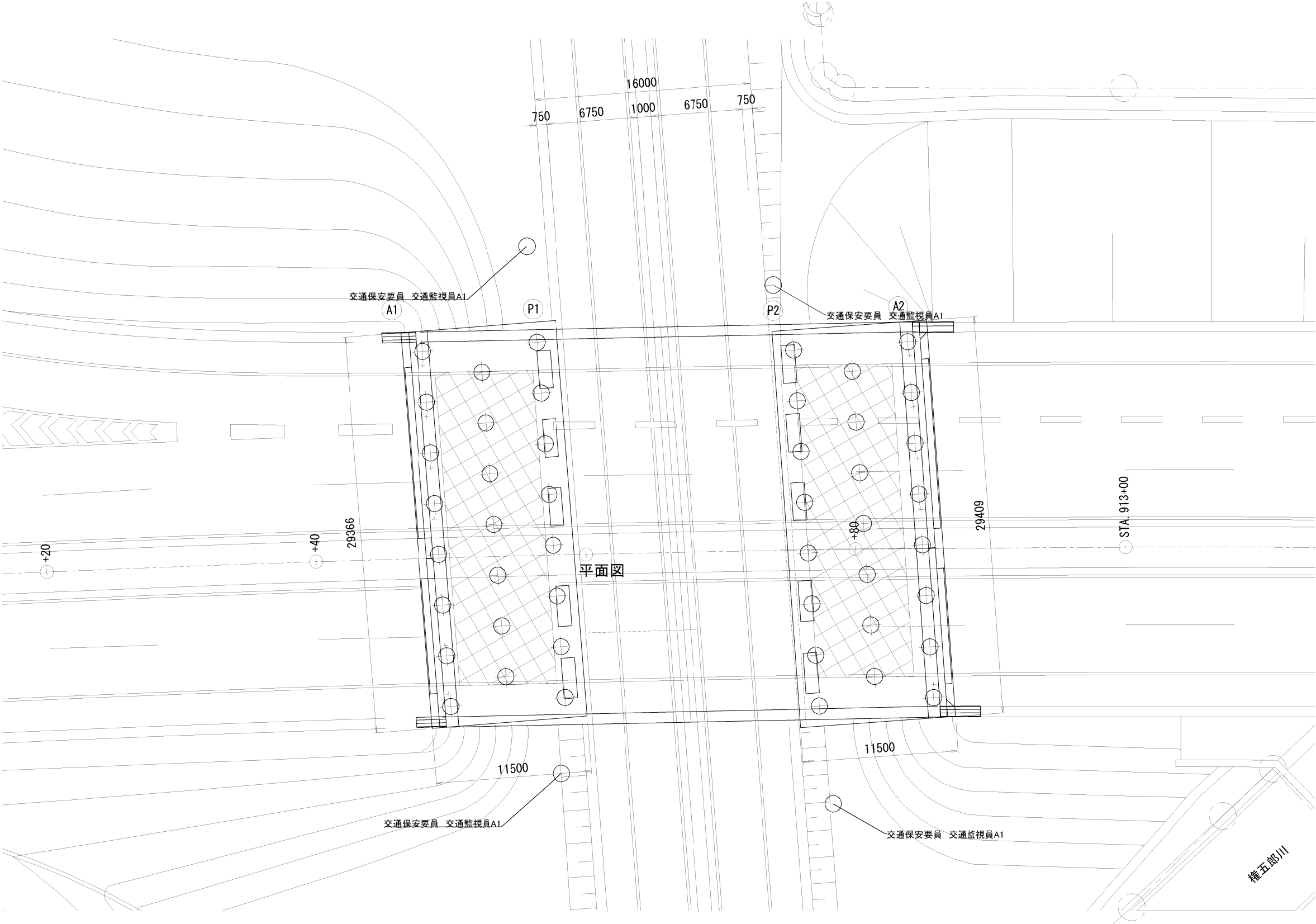
（規制1回当たり）

名称	数量	単位	備 考
交通監視員	4	人・日	テーパー部・工事用車両出入口・施工箇所・規制内巡回（計4人・日/回） ※交通規制工に含む
規制標識	1	枚	貸与品（200m先工事中）
ラバーコーン	11	本	貸与品
矢印板	6	枚	貸与品（飛散防止措置をする事）
標識等安全施設 （ご協力ありがとうございます）	1	枚	貸与品
標識等安全施設 （工事中）	1	枚	貸与品
標識等安全施設（警戒標識：200m先）	1	枚	貸与品
標識車	1	台	受注者持

凡例
— : H型鋼仮設防護柵
-- : 移動式仮設防護柵

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 交通規制工 路肩規制C（OFFランプ）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図

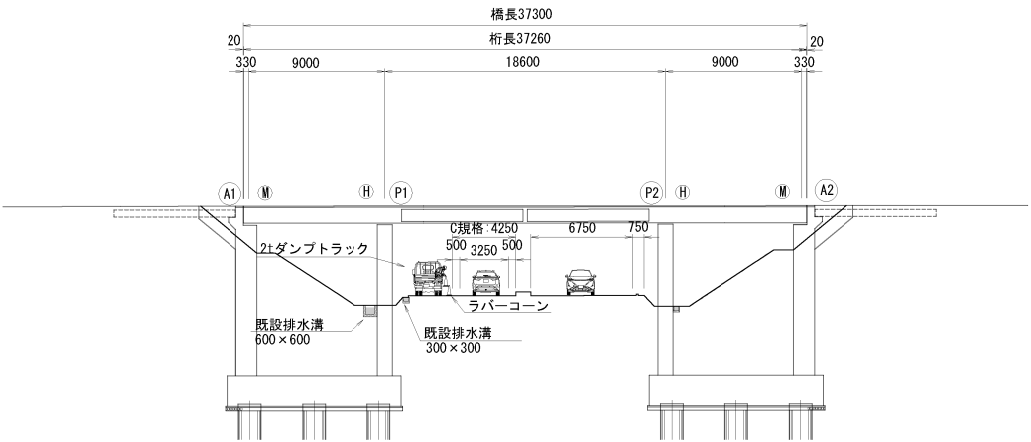


※上記は、仮設防護柵設置後の配置図を示す。
※A 1、P 1 施工後に、A 2、P 2 を施工する。

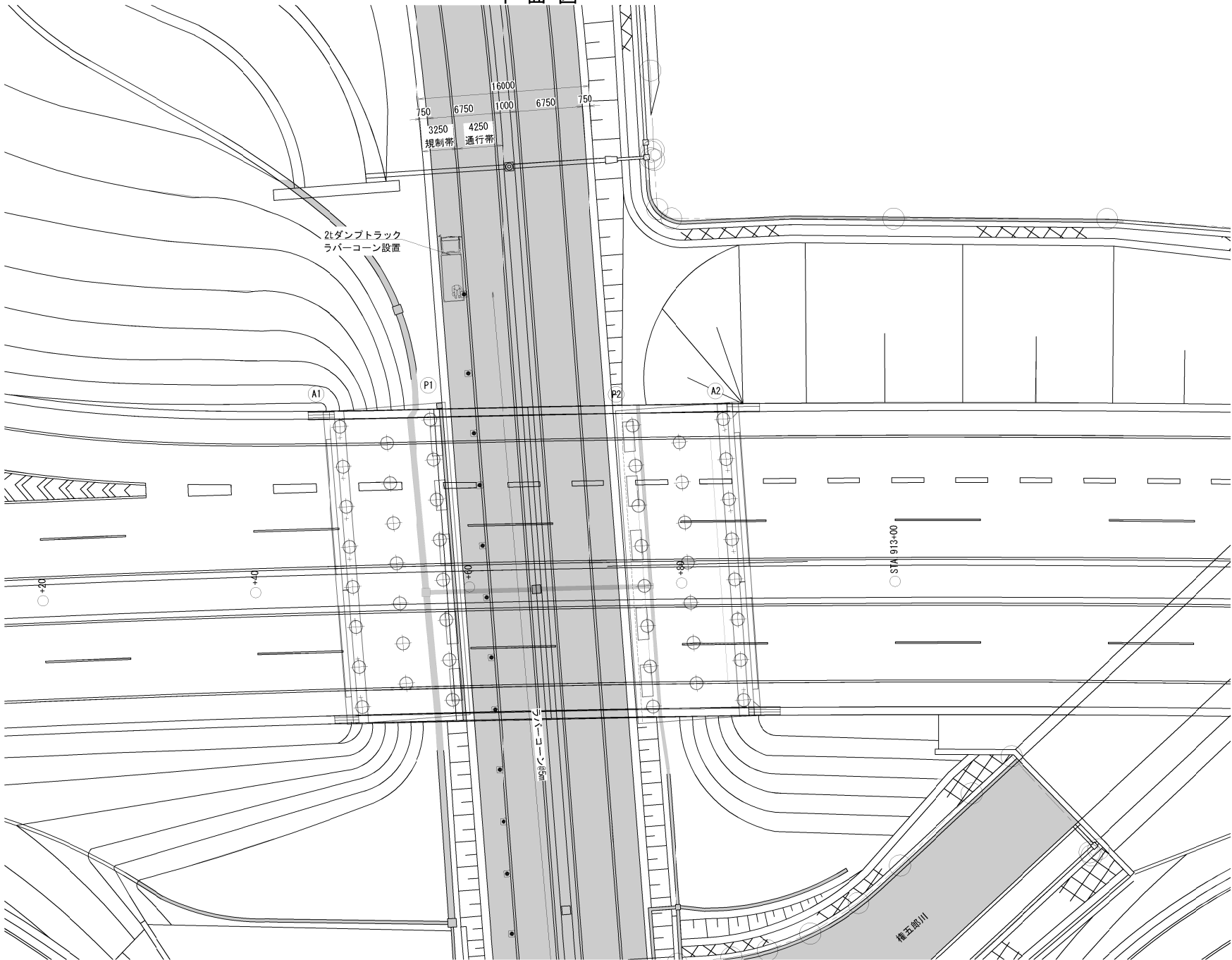
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）		
	交通保安要員 交通監視員 A 1		
縮 尺	1:500	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その１）（参考図） S=1:500
交通規制工 路肩規制C P 1橋脚

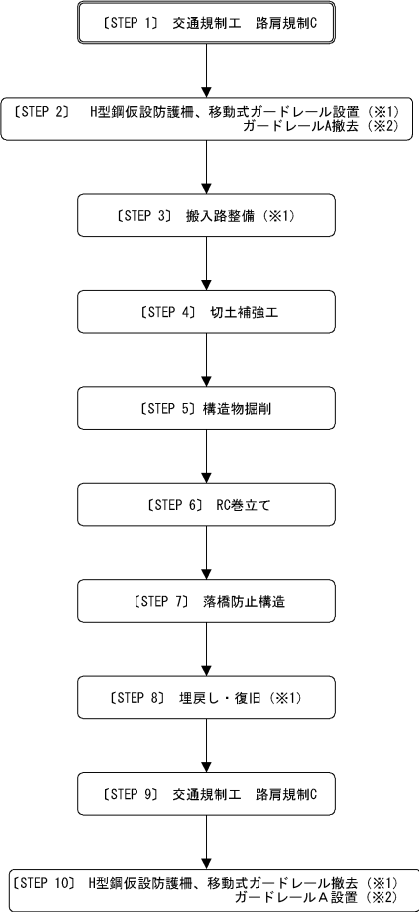
側面図



平面図



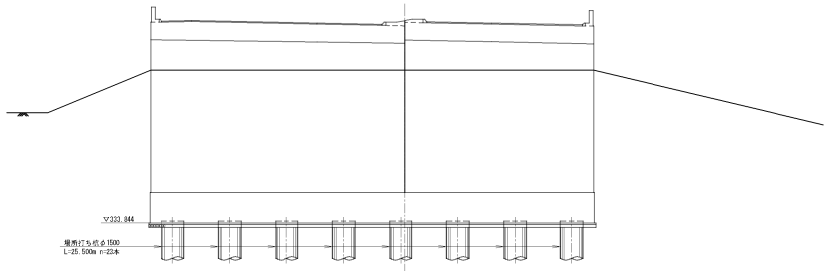
施工フロー



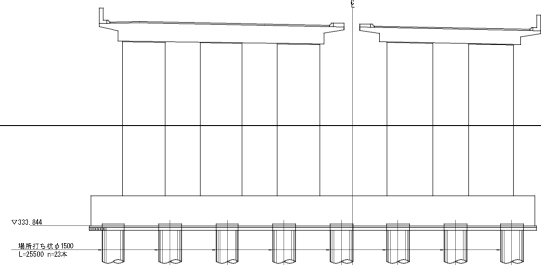
(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

A1橋台 下り線 上り線



P1橋脚 下り線 上り線

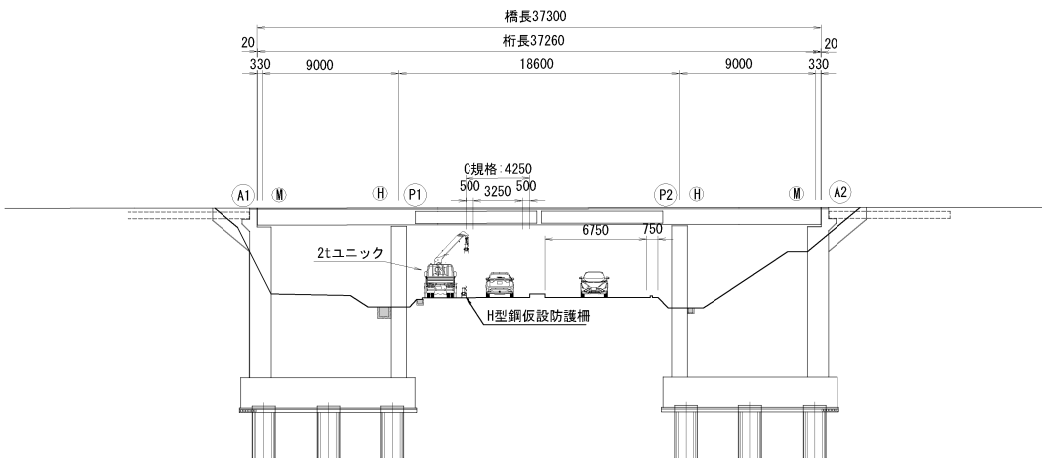


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

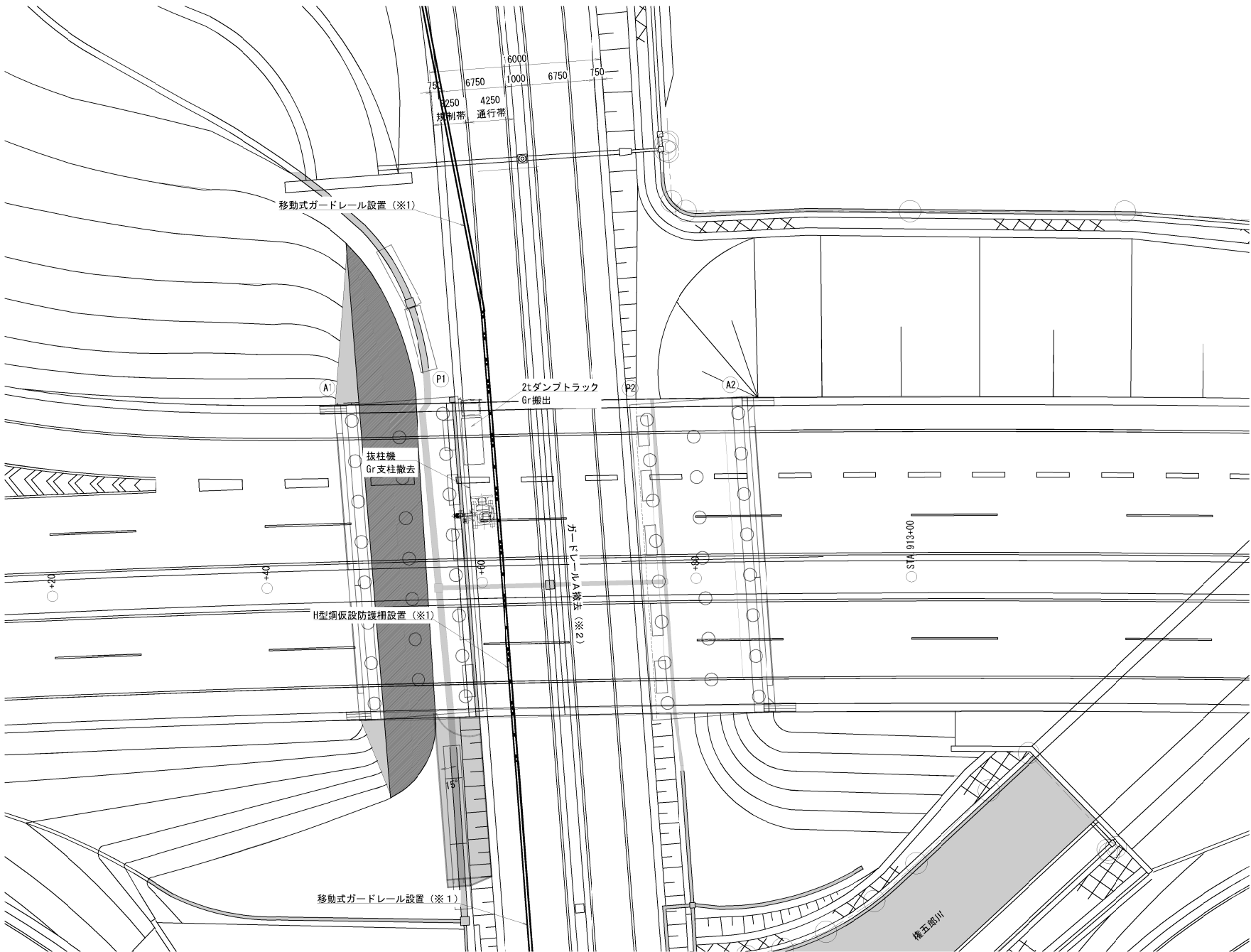
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1橋脚		
	施工要領図（その１）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その2）（参考図） S=1:500
H型鋼仮設防護柵設置・ガードレールA撤去 P 1 橋脚

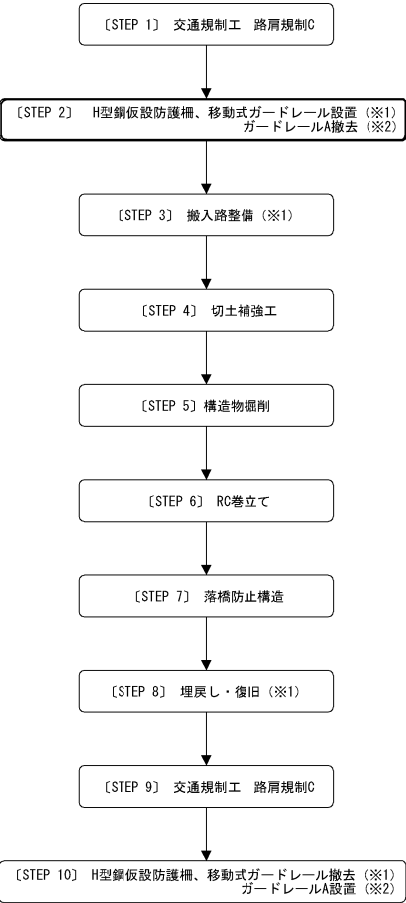
側面図



平面図



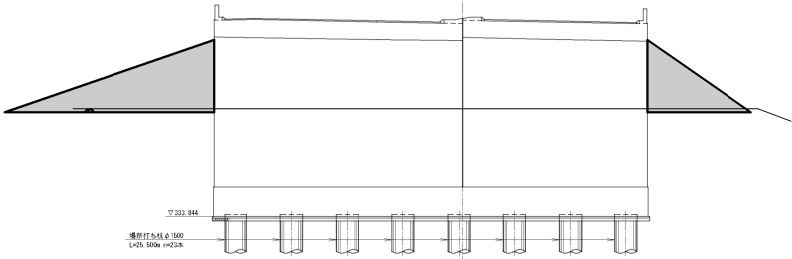
施工フロー



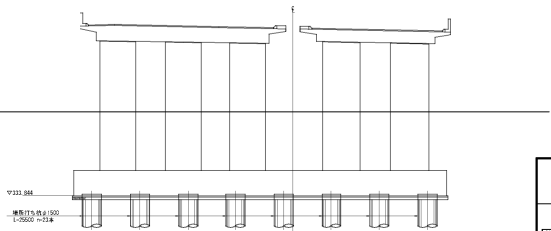
(※1) は、制掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

A1橋台 下り線 上り線



P1橋脚 下り線 上り線

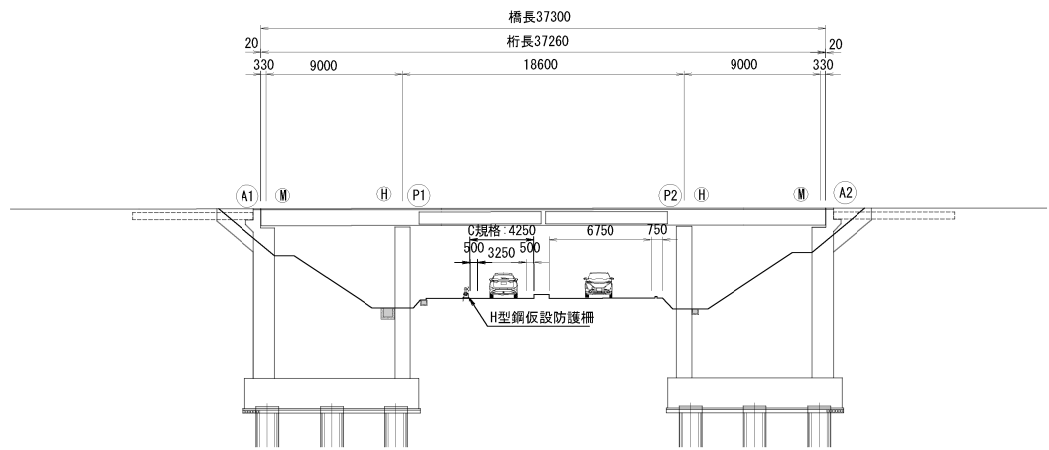


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

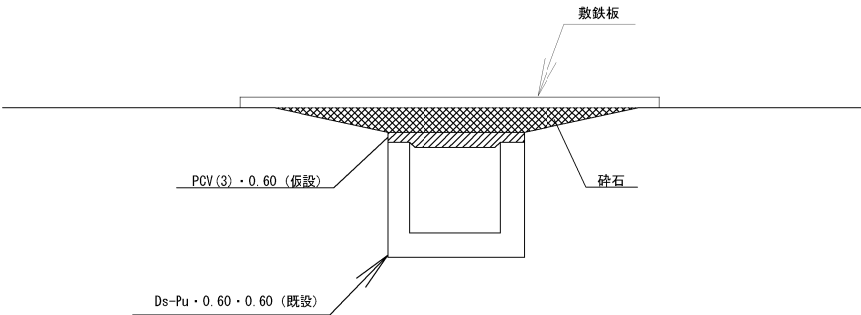
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚		
	施工要領図（その2）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その3）（参考図） S=1:500
搬入路整備 P 1 橋脚

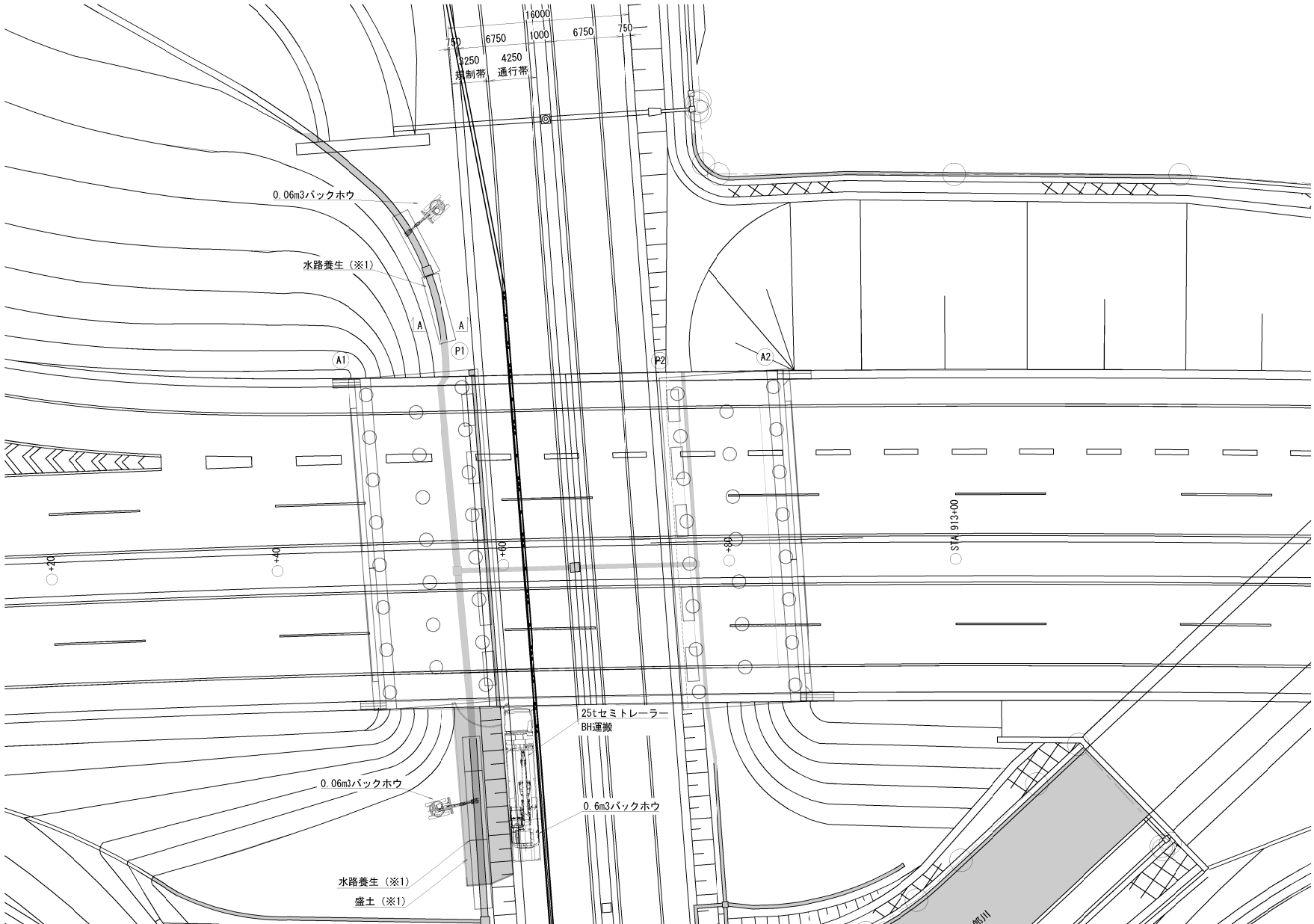
側 面 図



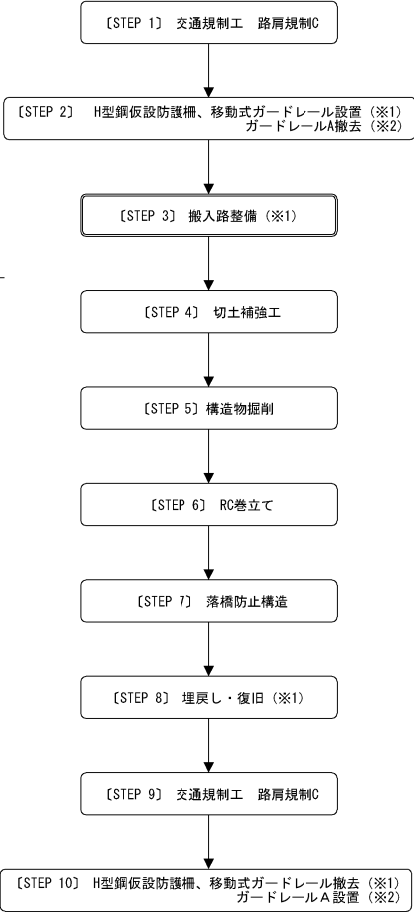
A-A
水路養生イメージ



平 面 図



施工フロー

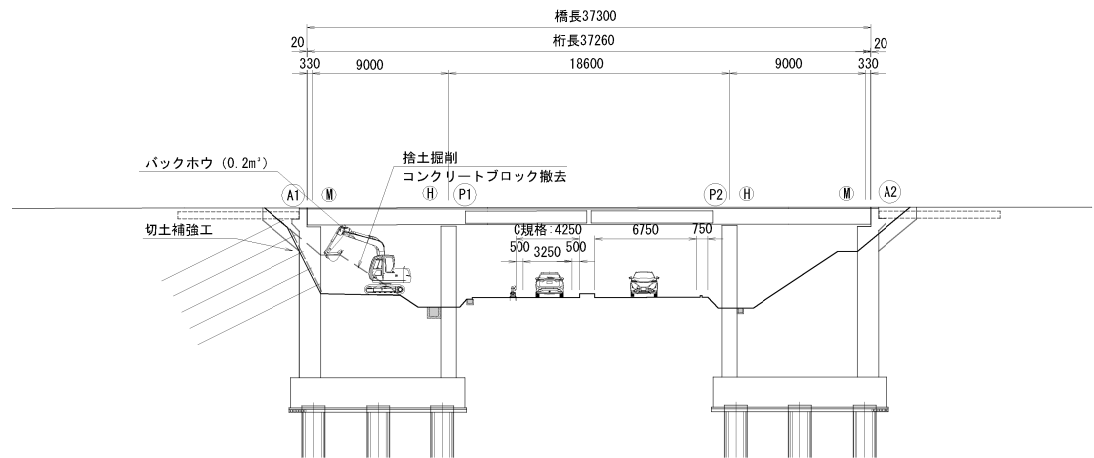


(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

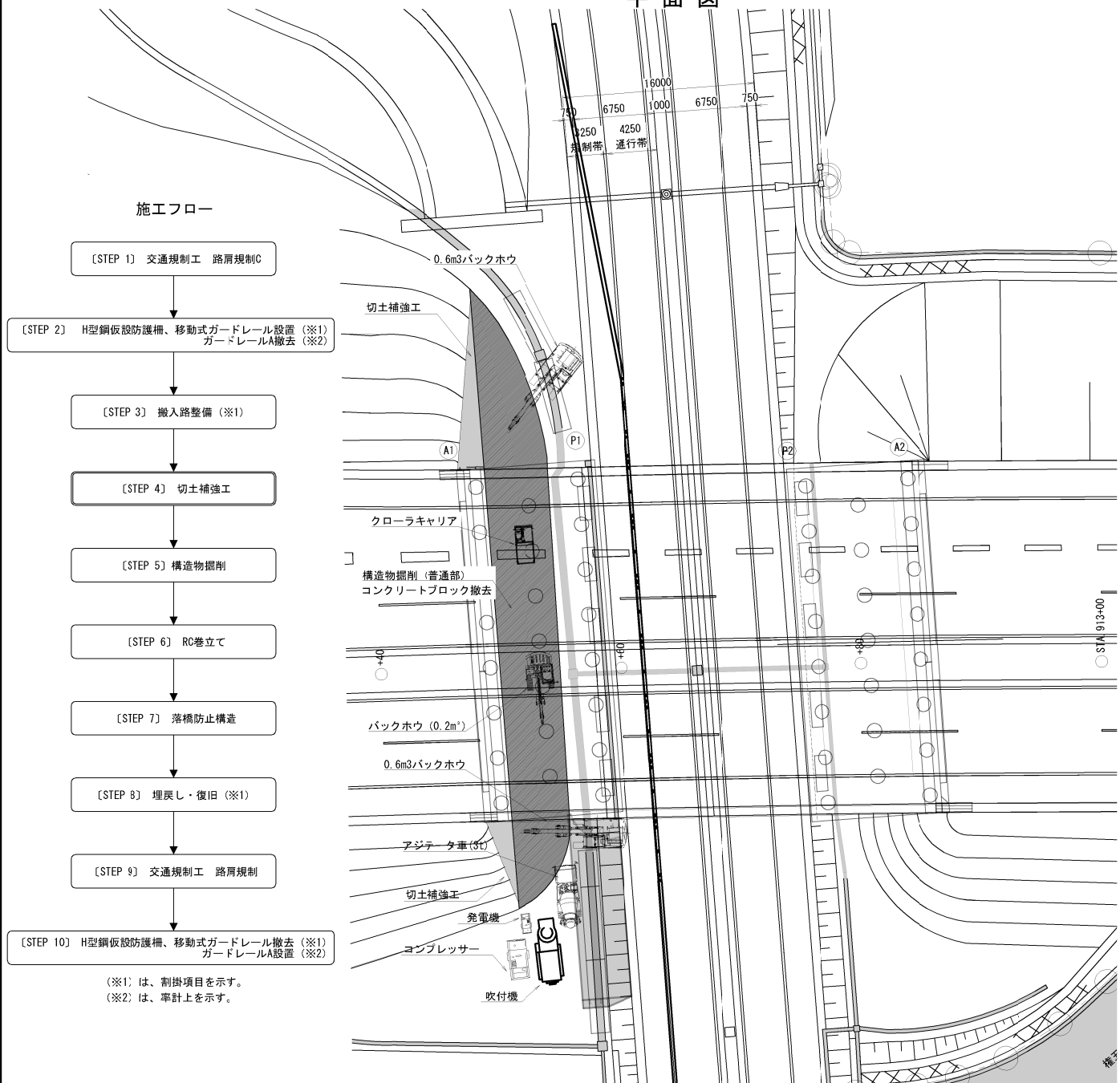
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚		
	施工要領図（その3）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

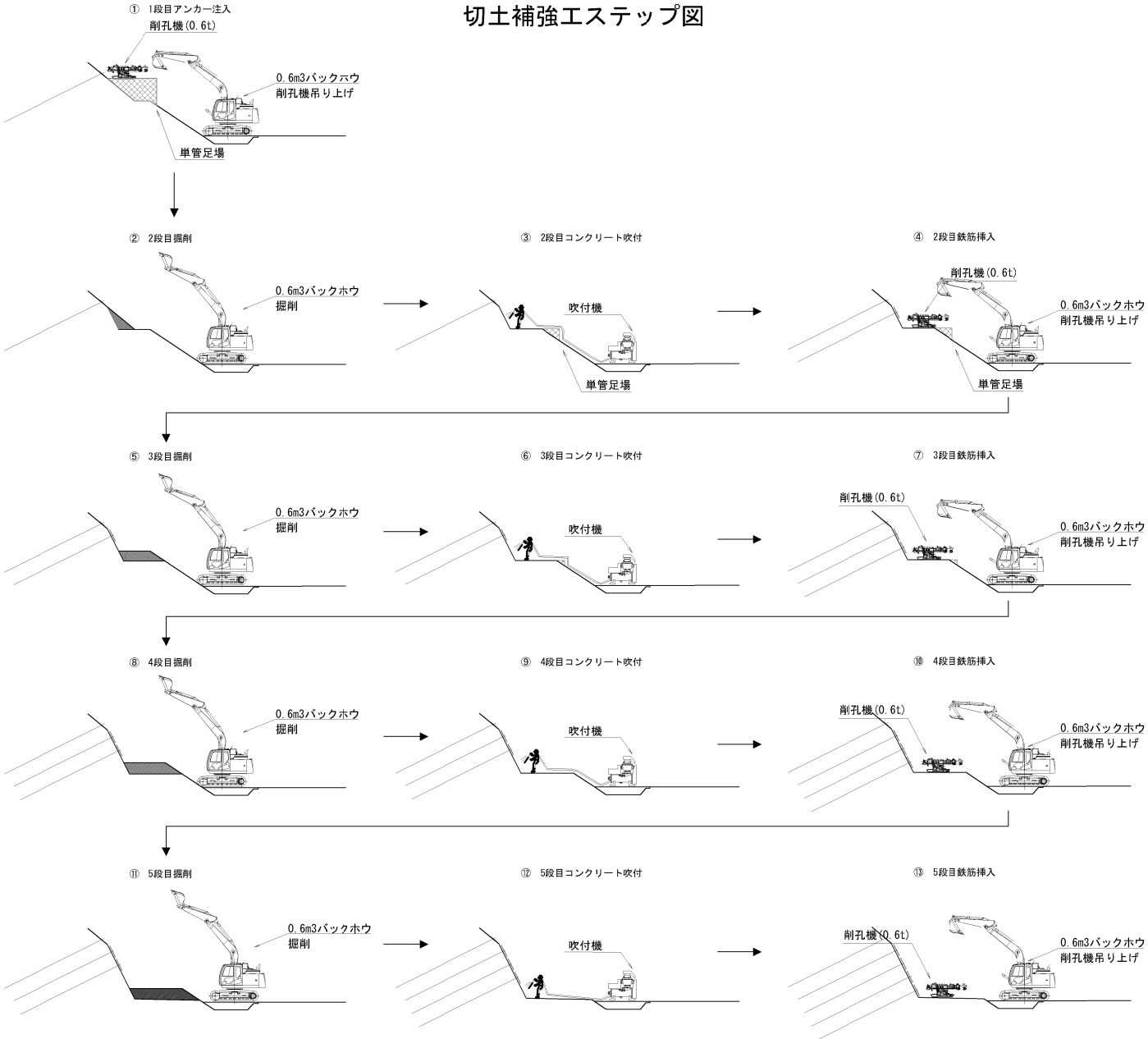
側面図



平面図

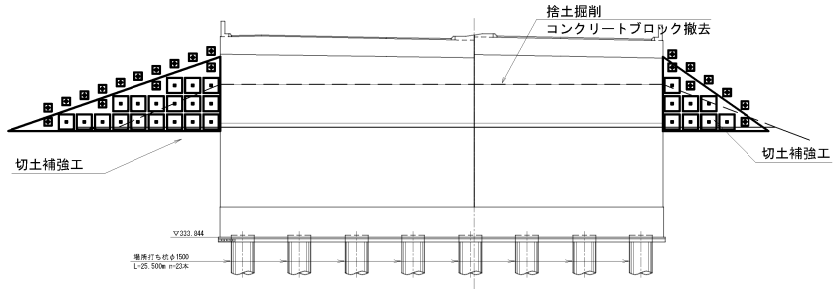


切土補強エステップ図



断面図

A1橋台
下り線 上り線

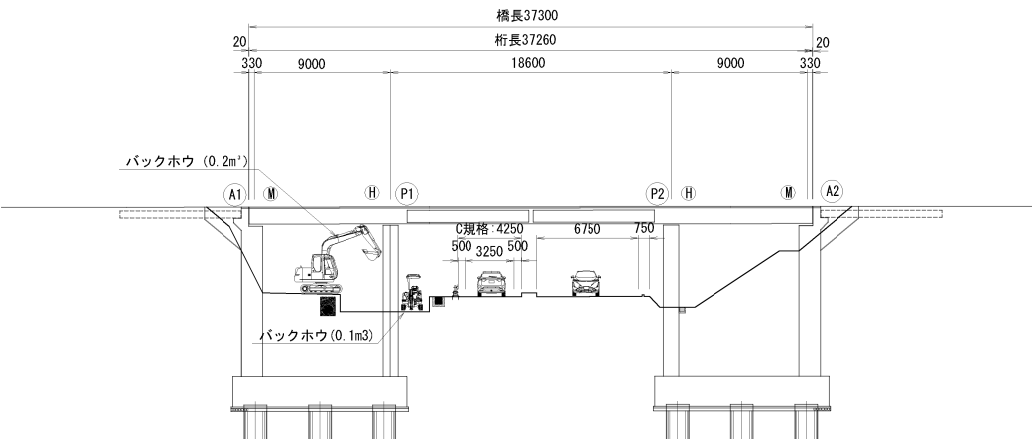


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

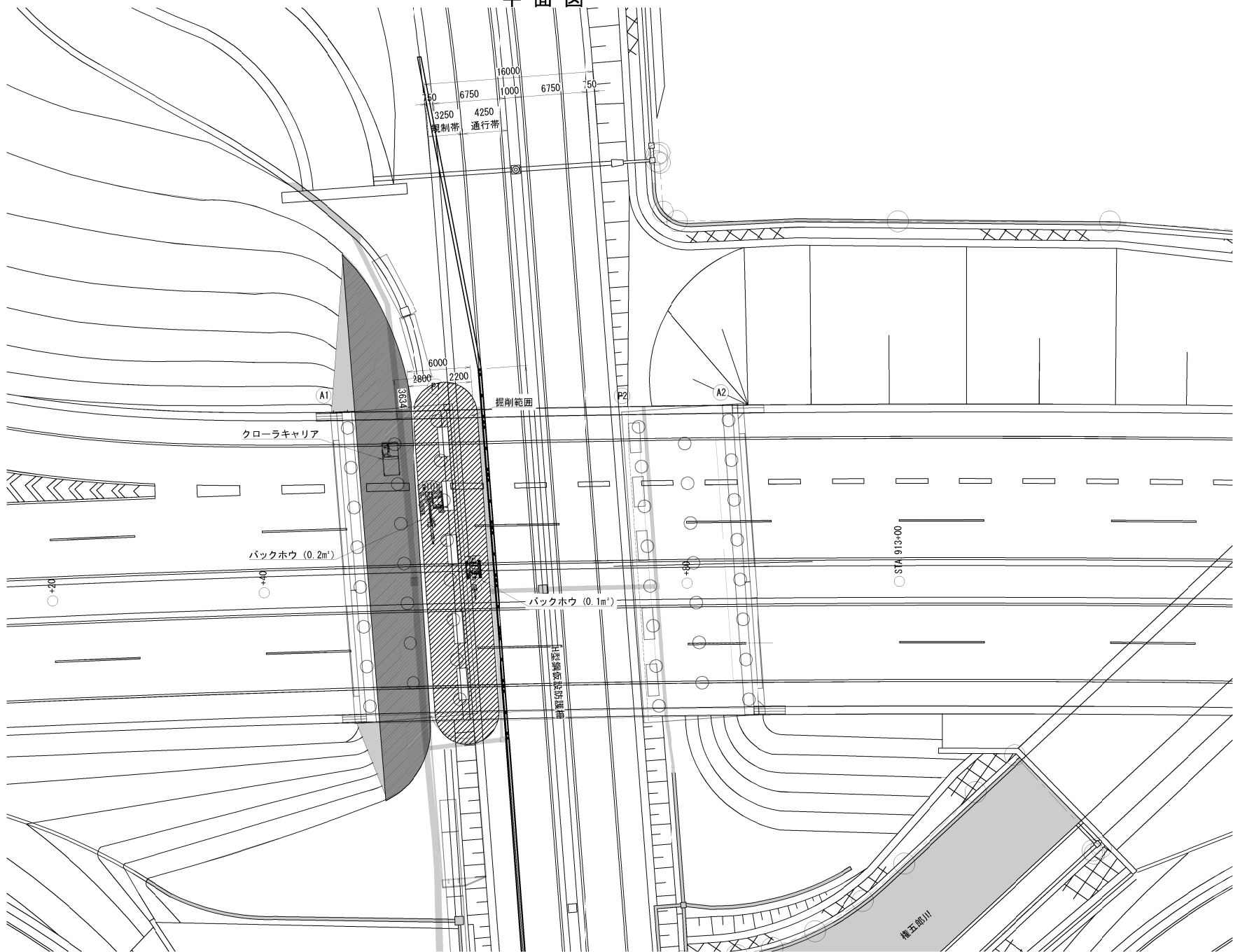
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P1橋脚 施工要領図（その4）（参考図）		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その5）（参考図） S=1:500
構造物掘削工（特殊部A－O1） P1橋脚

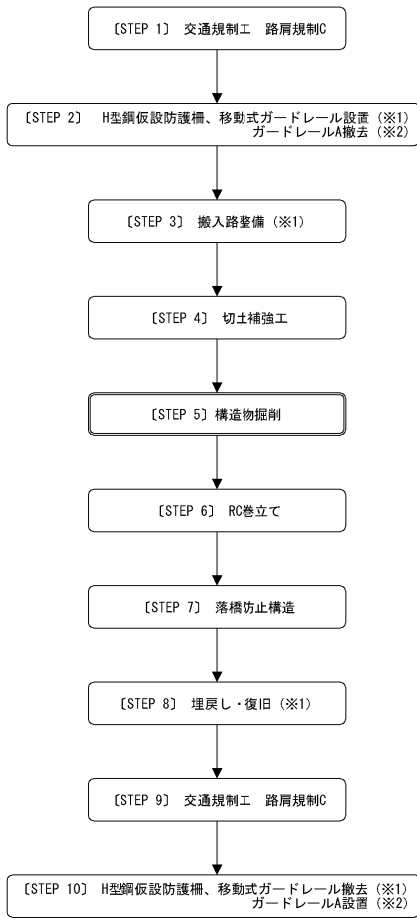
側面図



平面図



施工フロー



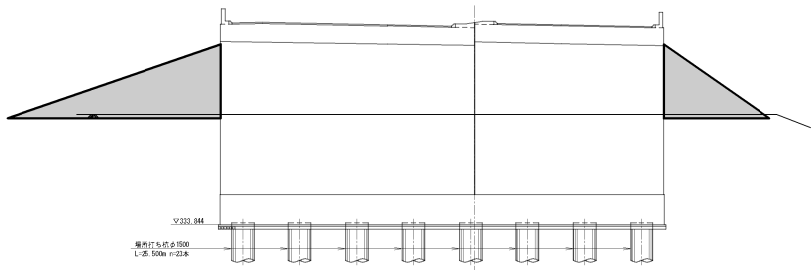
※1) は、割掛項目を示す。
※2) は、率計上を示す。

断面図

A1橋台

下り線

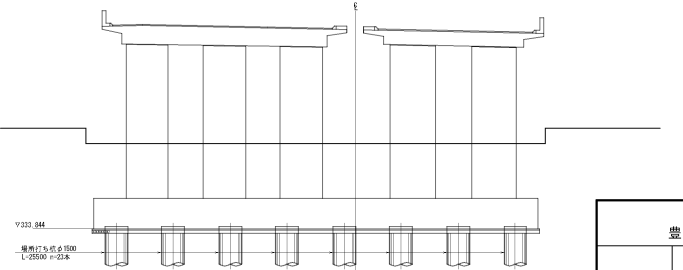
上り線



P1橋脚

下り線

上り線



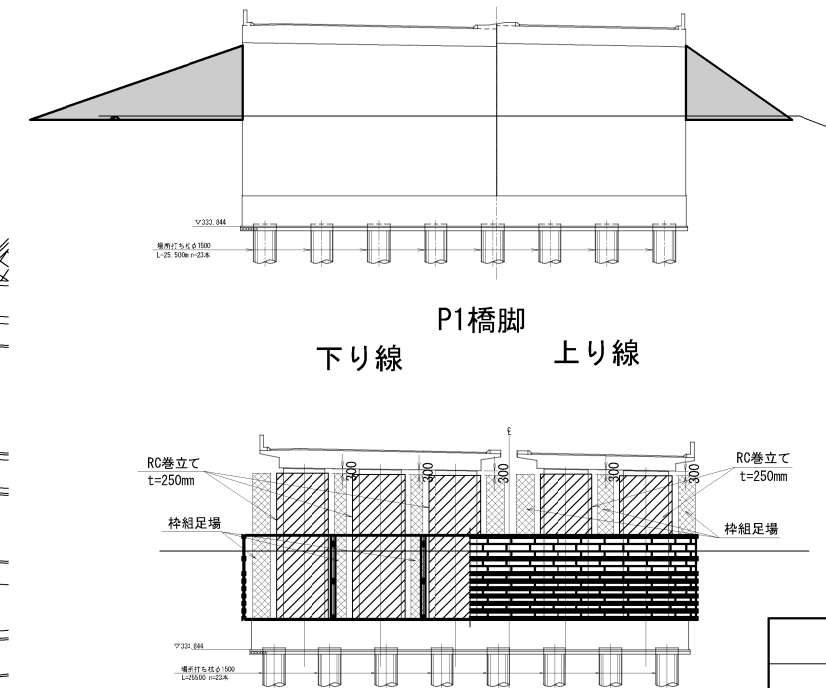
注記
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P1橋脚		
	施工要領図（その5）（参考図）		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

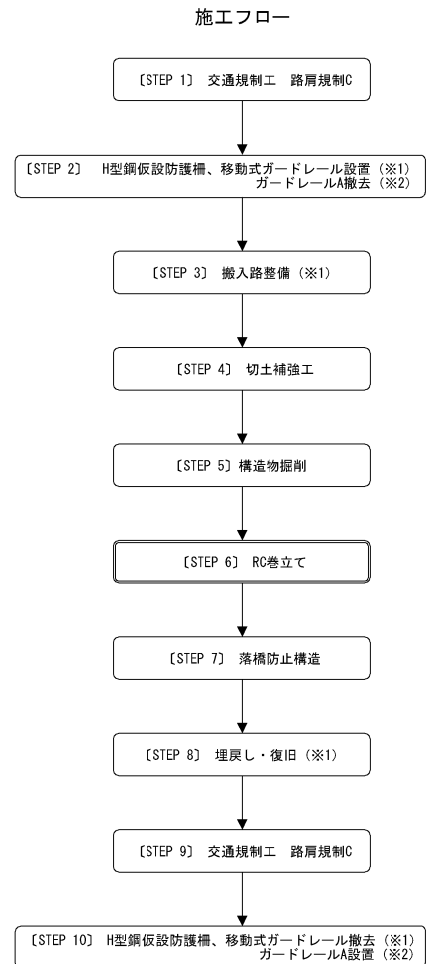
[illegible][illegible]

A1橋台

下り線 上り線



1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

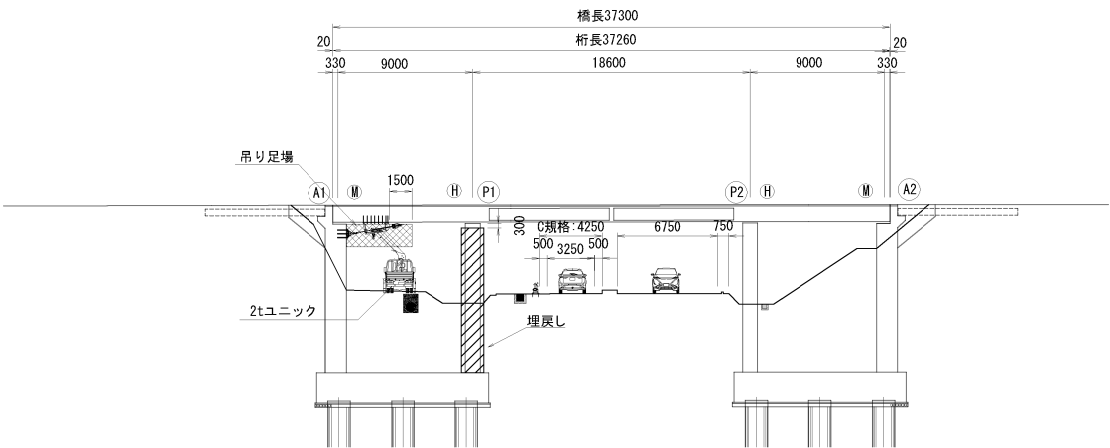


(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

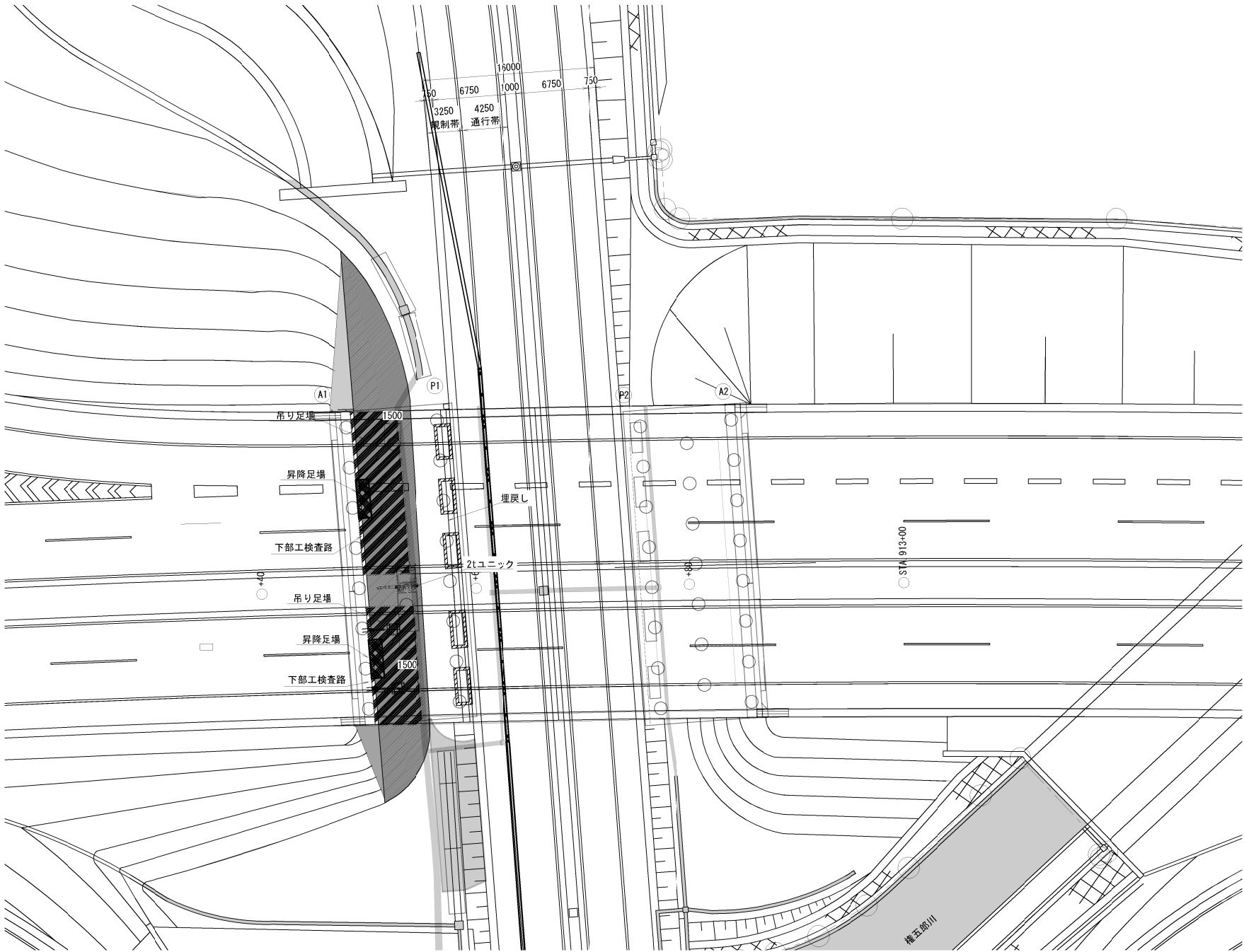
上 信 越 自 動 車 道 豊 州 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上線） P1橋脚 施工要領図（その6）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その7）（参考図） S=1:500
落橋防止構造 P 1 橋脚

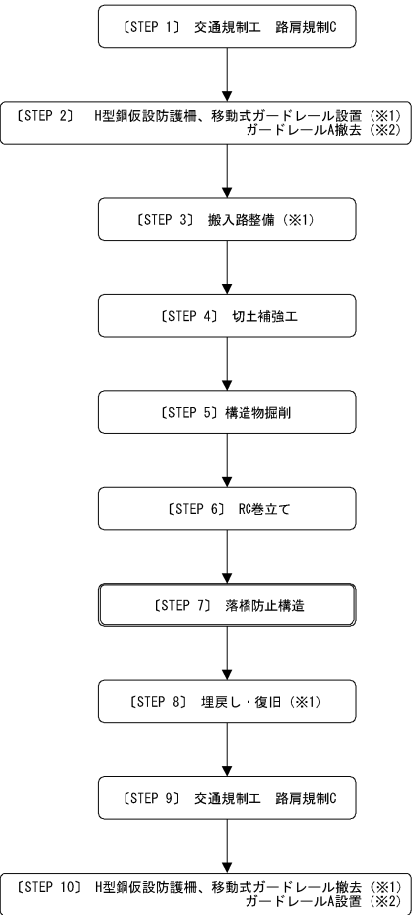
側 面 図



平 面 図



施工フロー



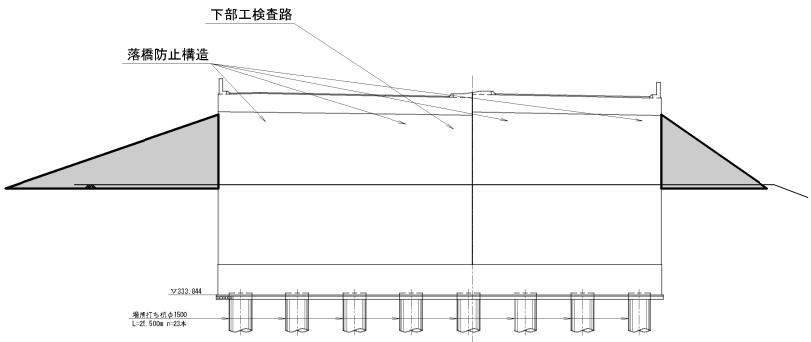
※1〕は、割掛項目を示す。
※2〕は、率計上を示す。

断 面 図

A1橋台

下り線

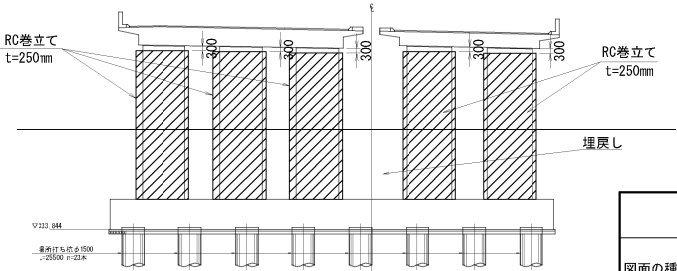
上り線



P1橋脚

下り線

上り線

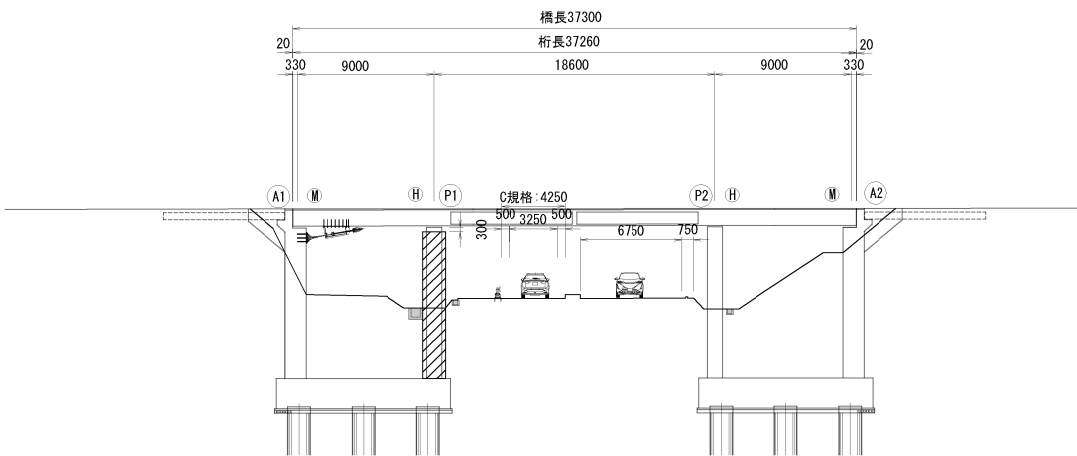


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

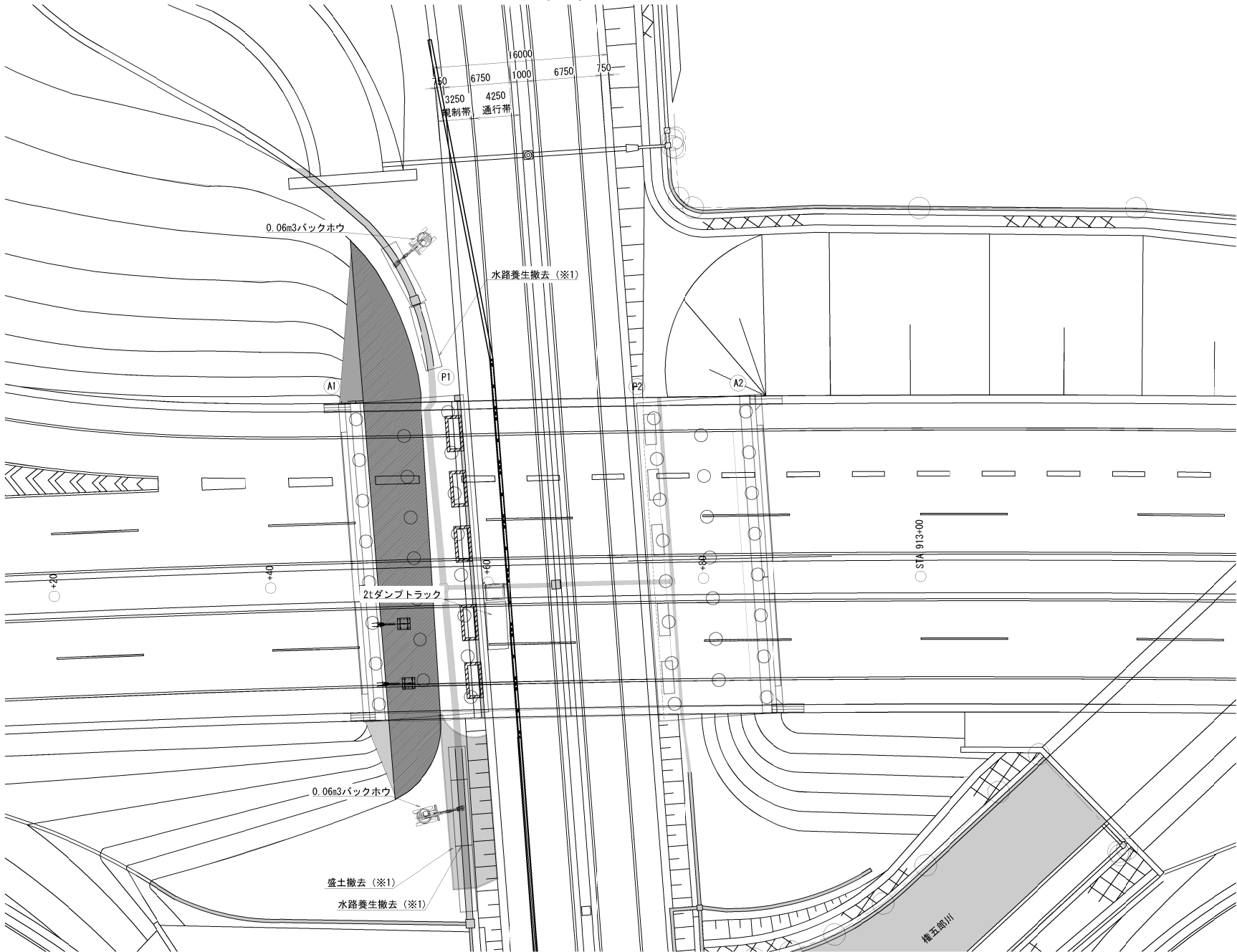
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1 橋脚		
	施工要領図（その7）（参考図）		
縮 尺	1：500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その8）（参考図） S=1:500
埋戻し・復旧工 P 1橋脚

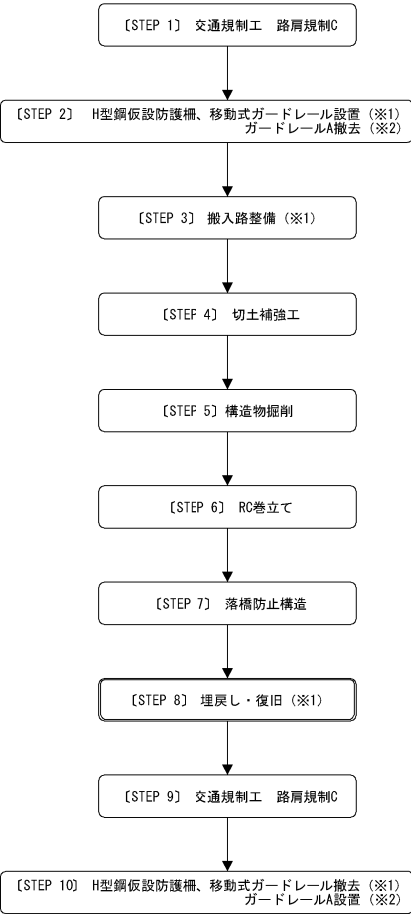
側面図



平面図



施工フロー



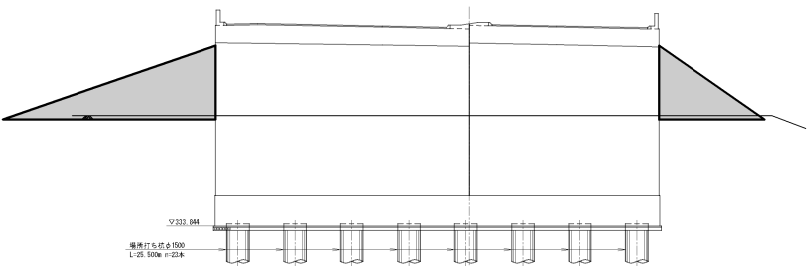
(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

A1橋台

下り線

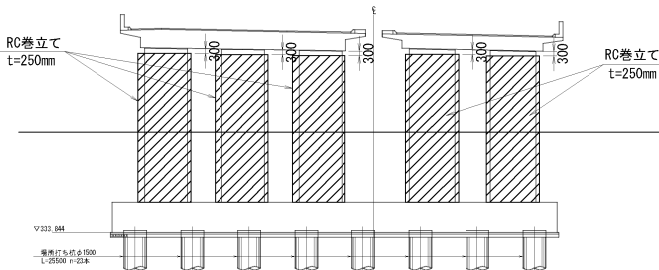
上り線



P1橋脚

下り線

上り線

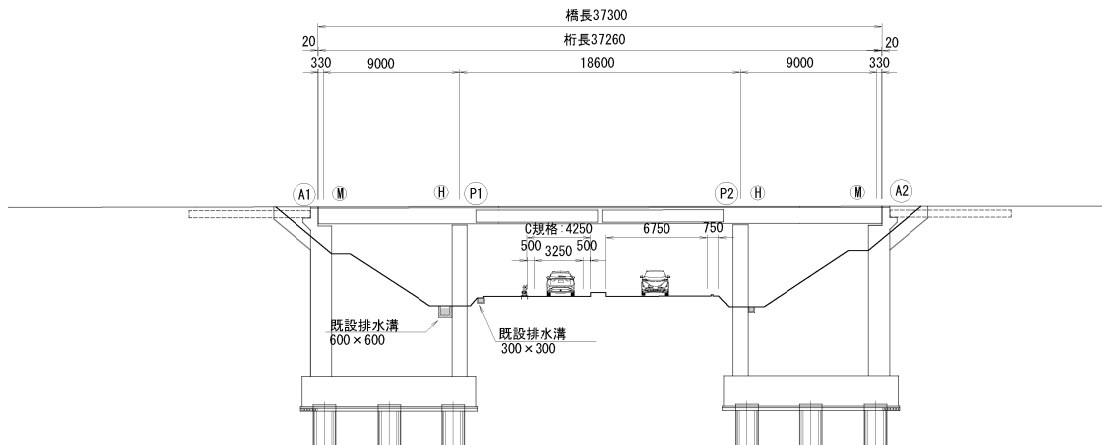


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

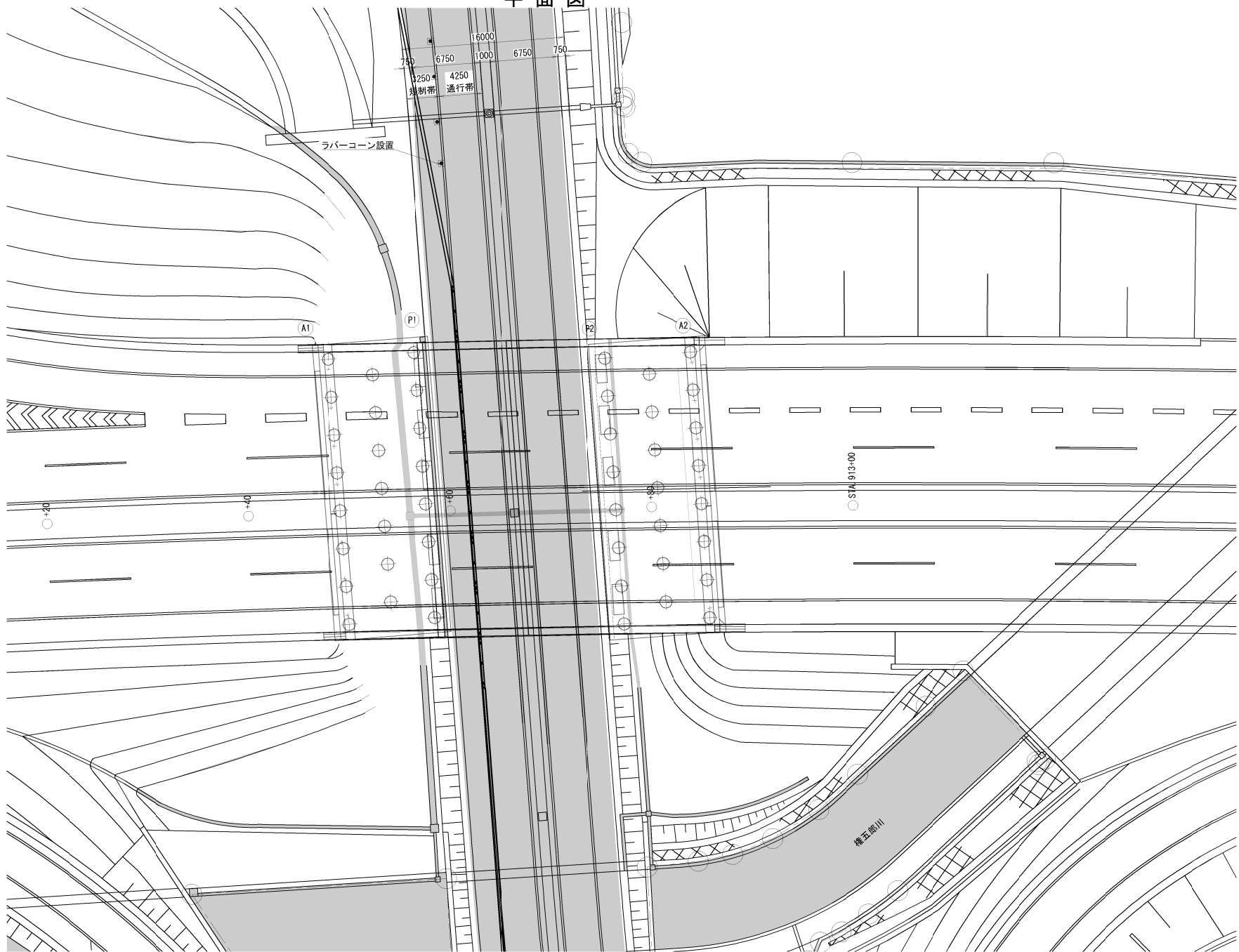
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 1橋脚		
	施工要領図（その8）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その9）（参考図） S=1:500
交通規制工 路肩規制C P1橋脚

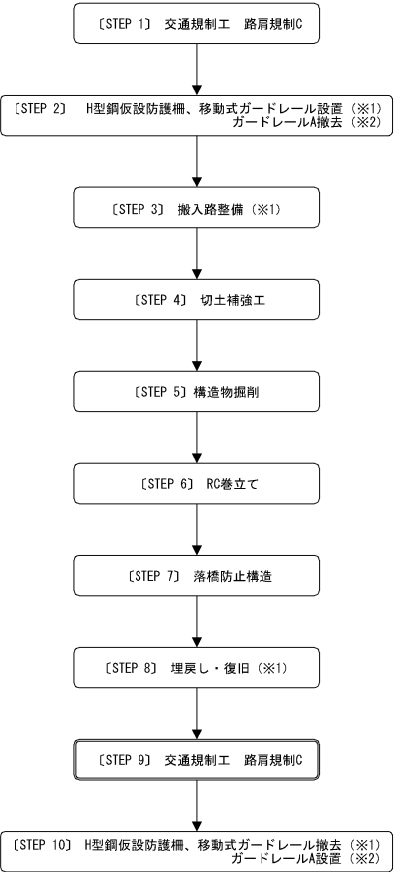
側面図



平面図



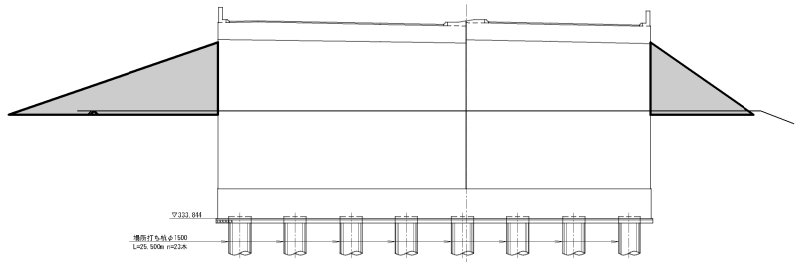
施工フロー



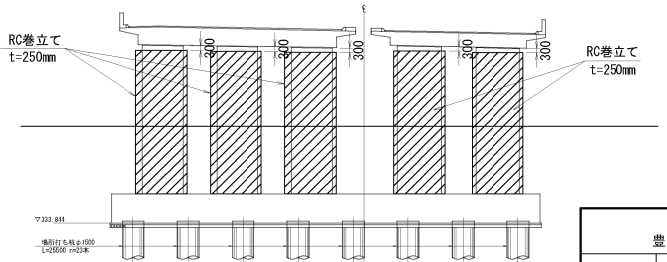
※1) は、割掛項目を示す。
※2) は、率計上を示す。

断面図

A1橋台
下り線 上り線



P1橋脚
下り線 上り線

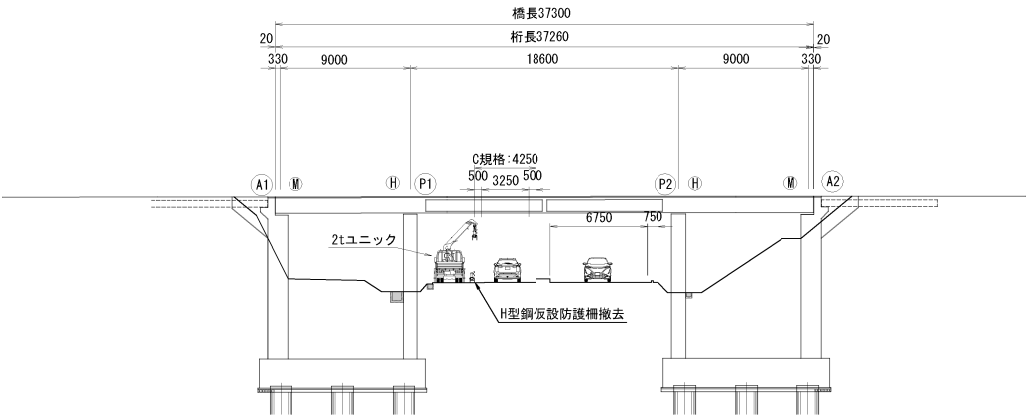


注記)
1 施工前に既設形状で法を確認すること。
2 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

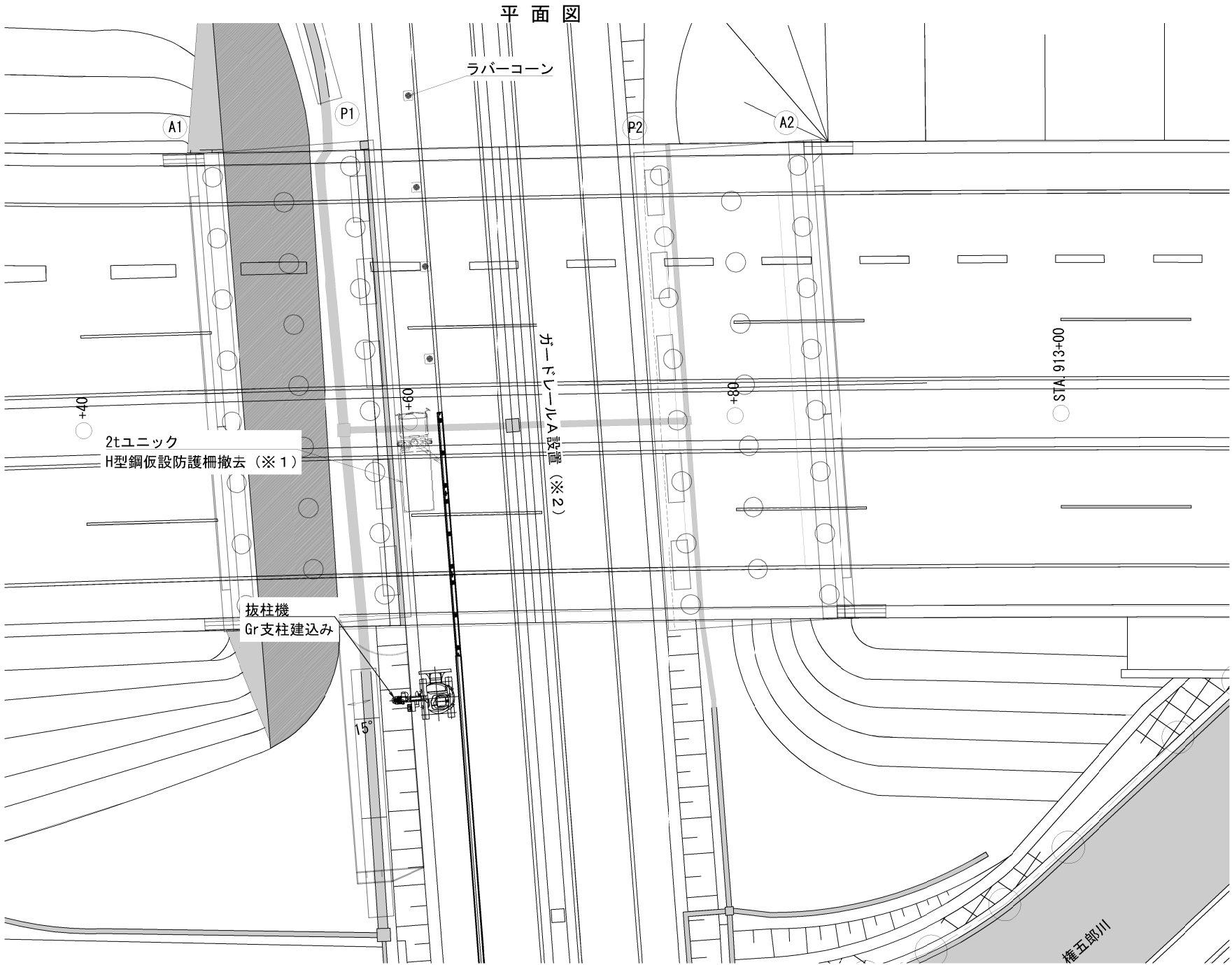
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P1橋脚		
	施工要領図（その9）（参考図）		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その１０）（参考図）
H型鋼仮設防護柵撤去 ガードレールA設置 P1橋脚

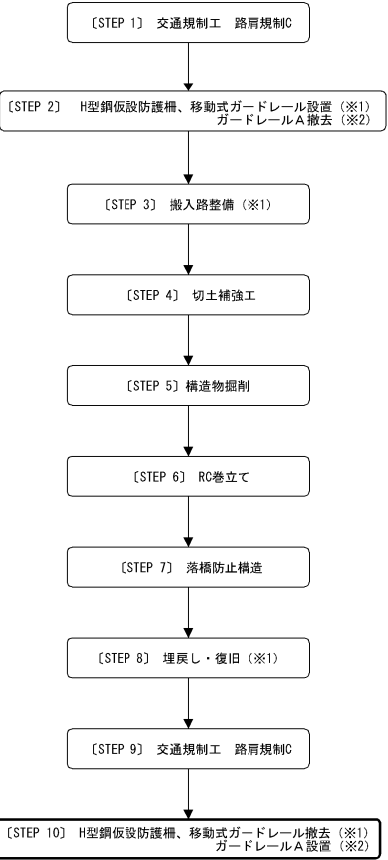
側面図



平面図

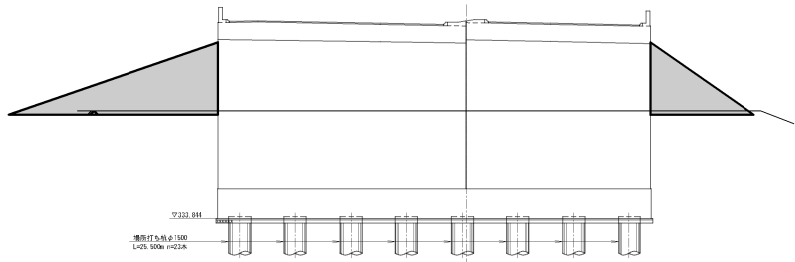


施工フロー

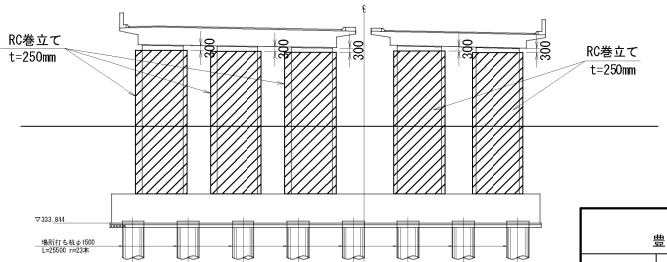


断面図

A1橋台
下り線 上り線



P1橋脚
下り線 上り線

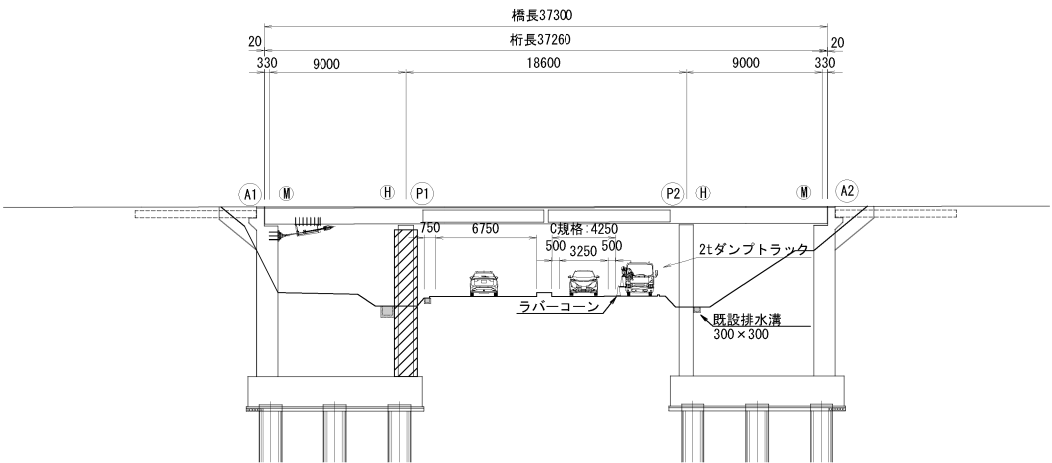


注記)
1 施工前に既設形状で法を確認すること。
2 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

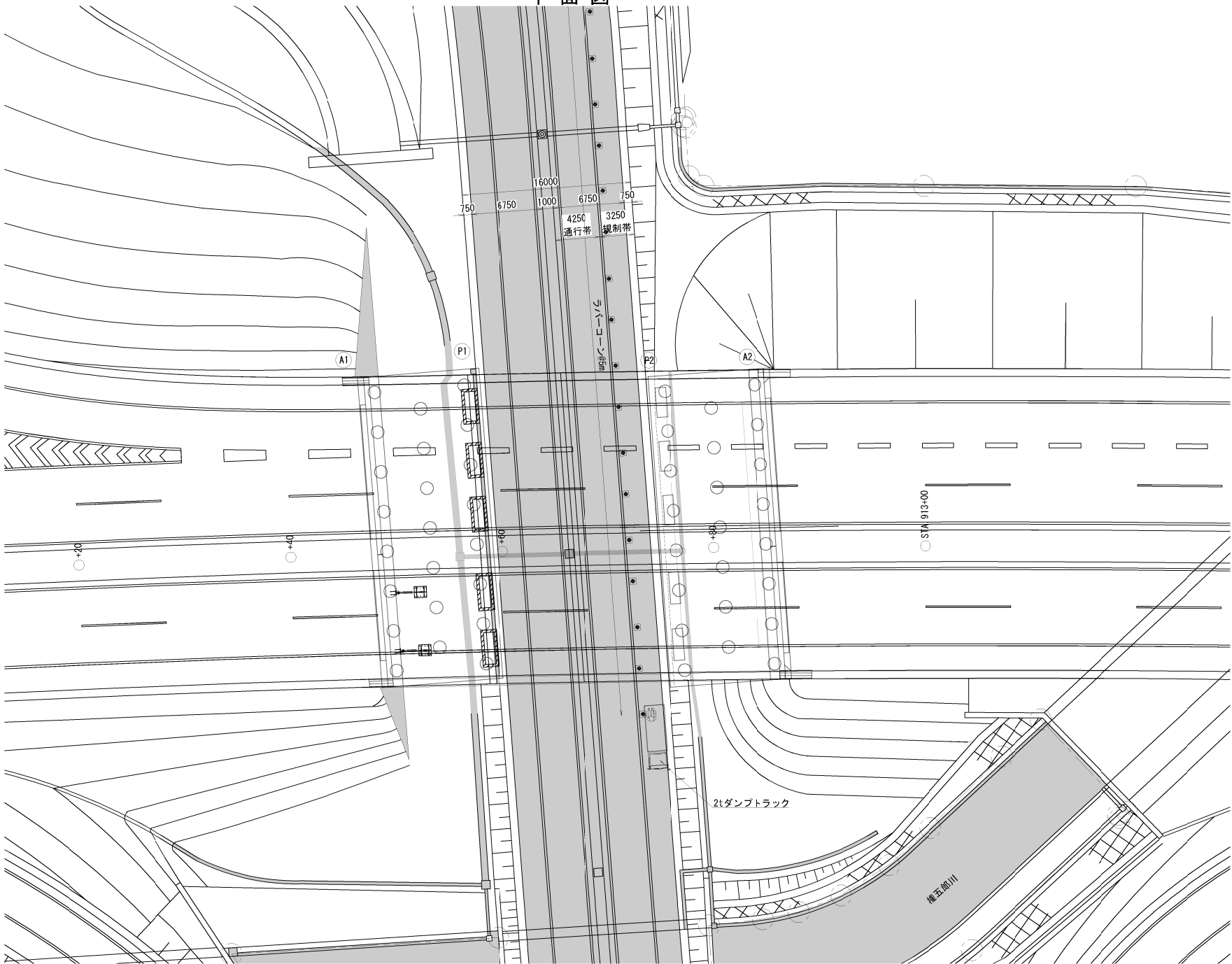
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P1橋脚		
	施工要領図（その１０）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その１１）（参考図） S=1:500
交通規制工 路肩規制C P2橋脚

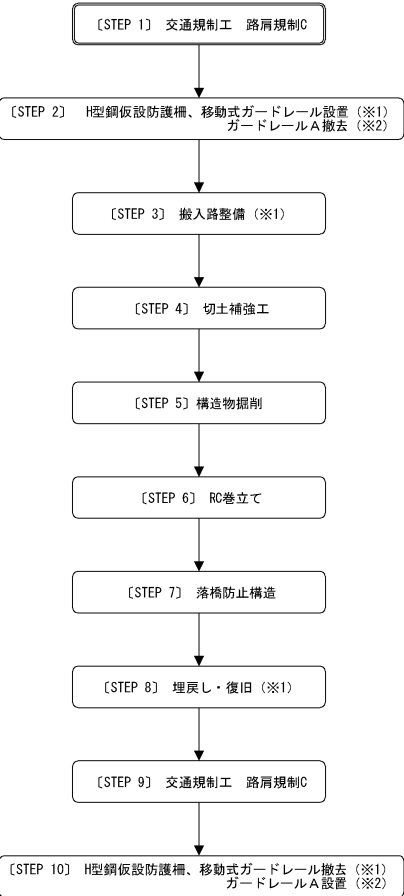
側面図



平面図



施工フロー



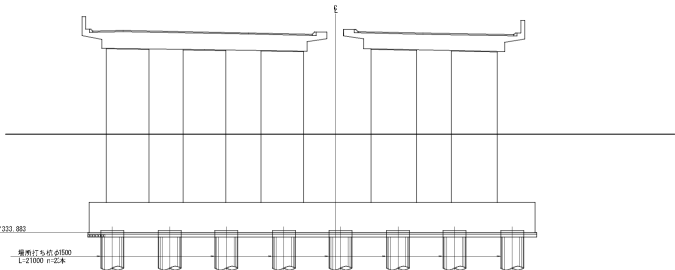
※1 は、割掛項目を示す。
※2 は、車計を示す。

断面図

P2橋脚

下り線

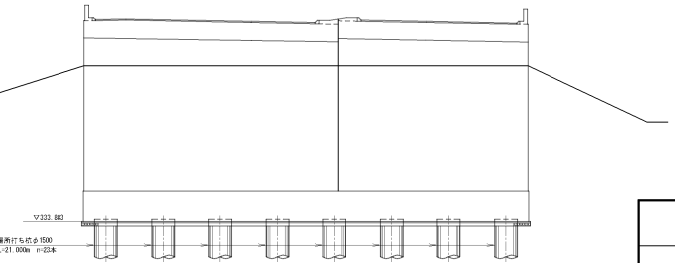
上り線



A2橋台

下り線

上り線

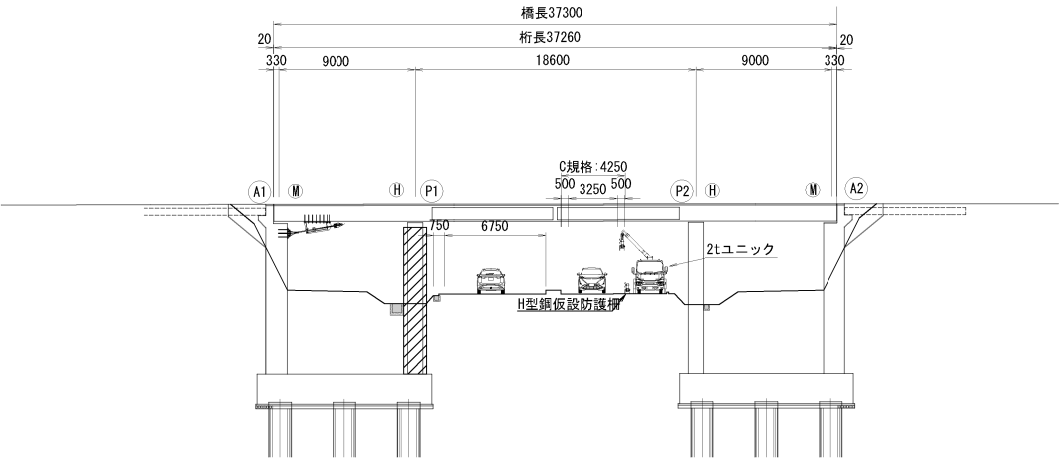


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

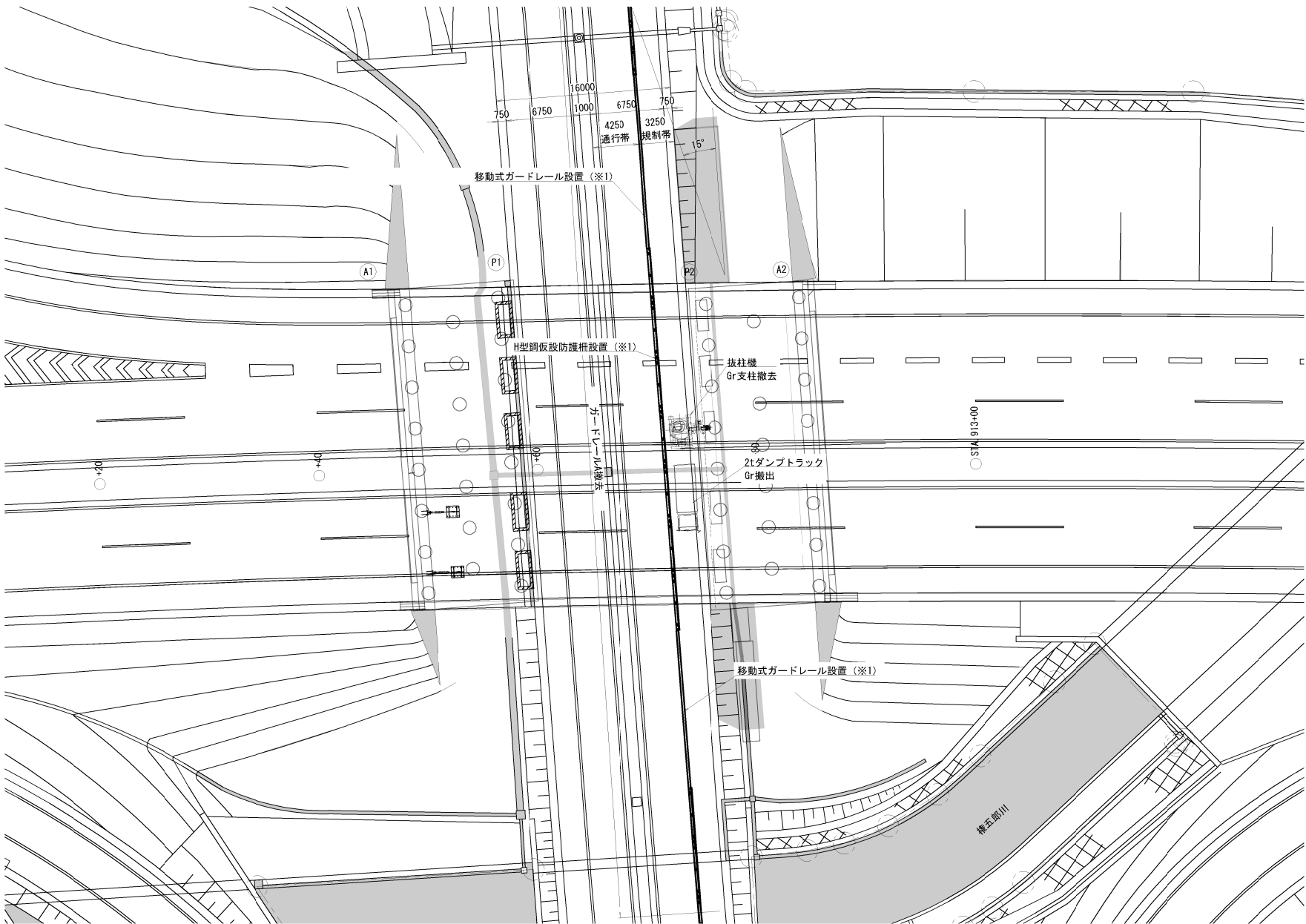
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P2橋脚 施工要領図（その11） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その１２）（参考図） S=1:500
H型鋼仮設防護柵設置・ガードレールA撤去 P2橋脚

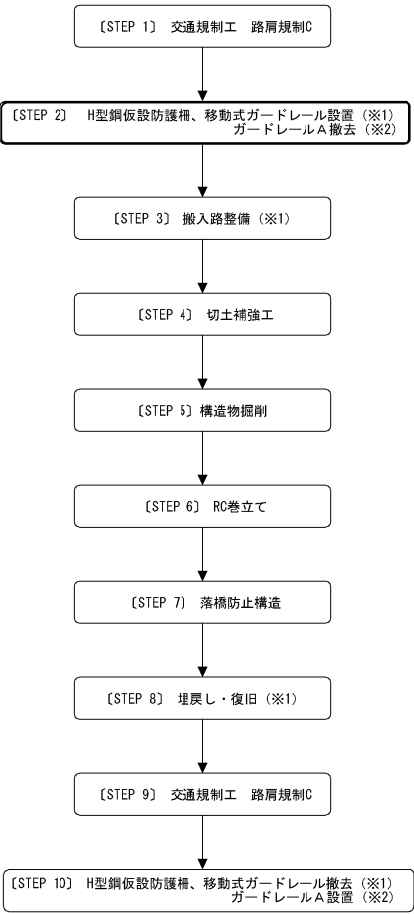
側面図



平面図



施工フロー



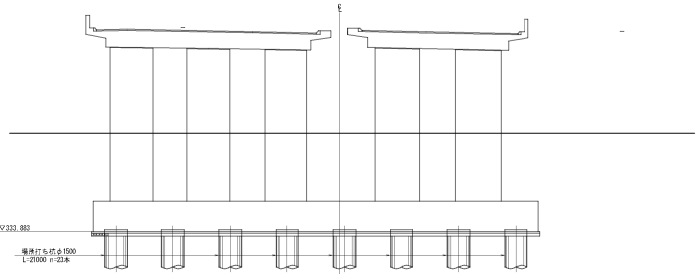
(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

P2橋脚

下り線

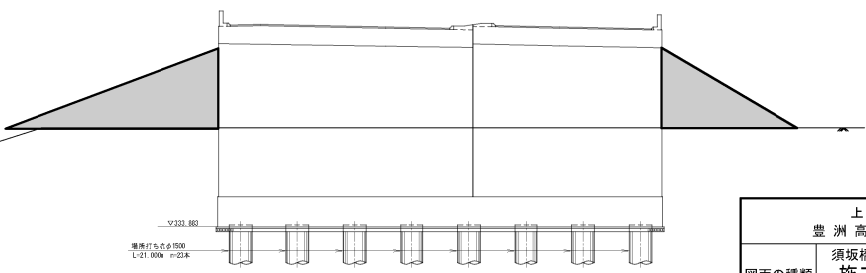
上り線



A2橋台

下り線

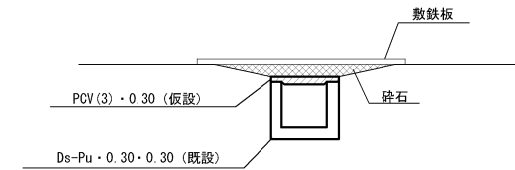
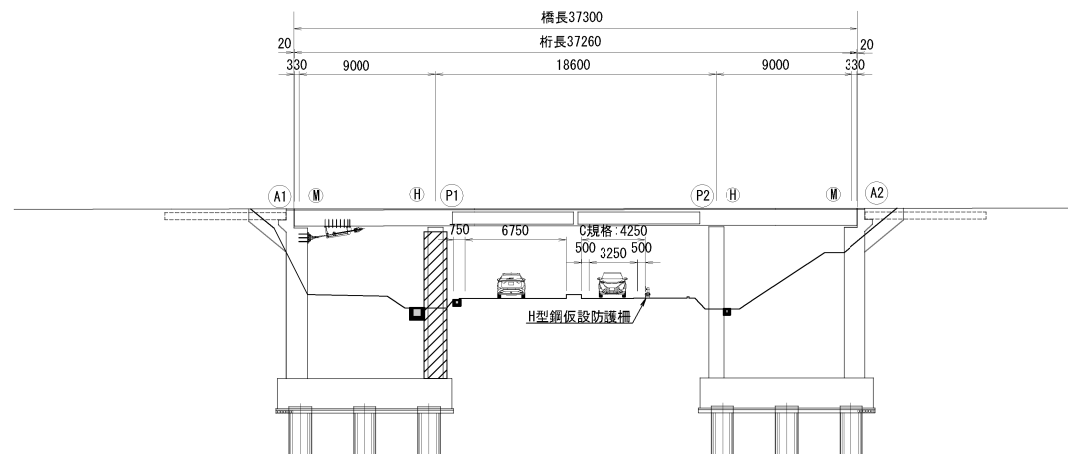
上り線



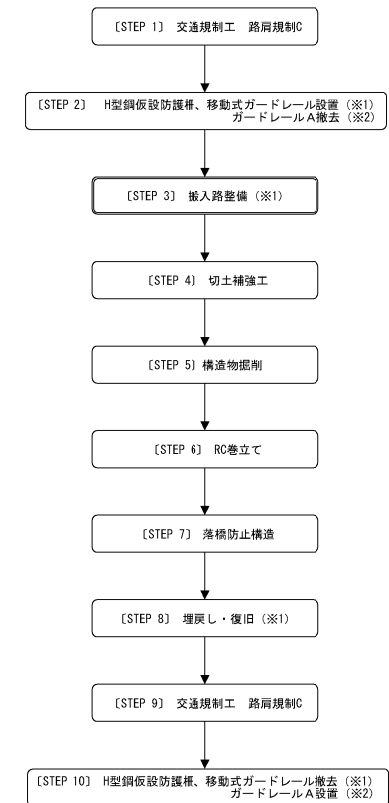
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P2橋脚		
	施工要領図（その１２） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A-A
水路養生イメージ図



施工フロー

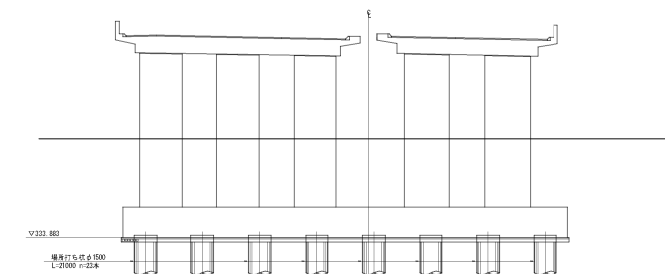


(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

P2橋脚

下り線

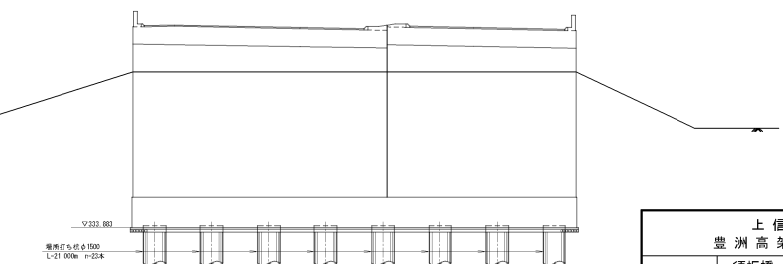
上り線



A2橋台

下り線

上り線



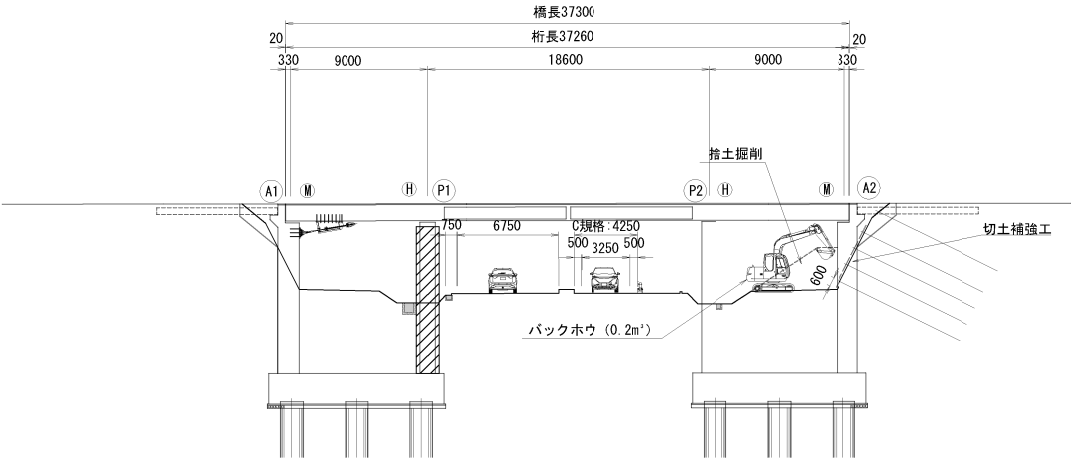
上 信 越 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2橋脚		
	施工要領図（その13） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

注記)

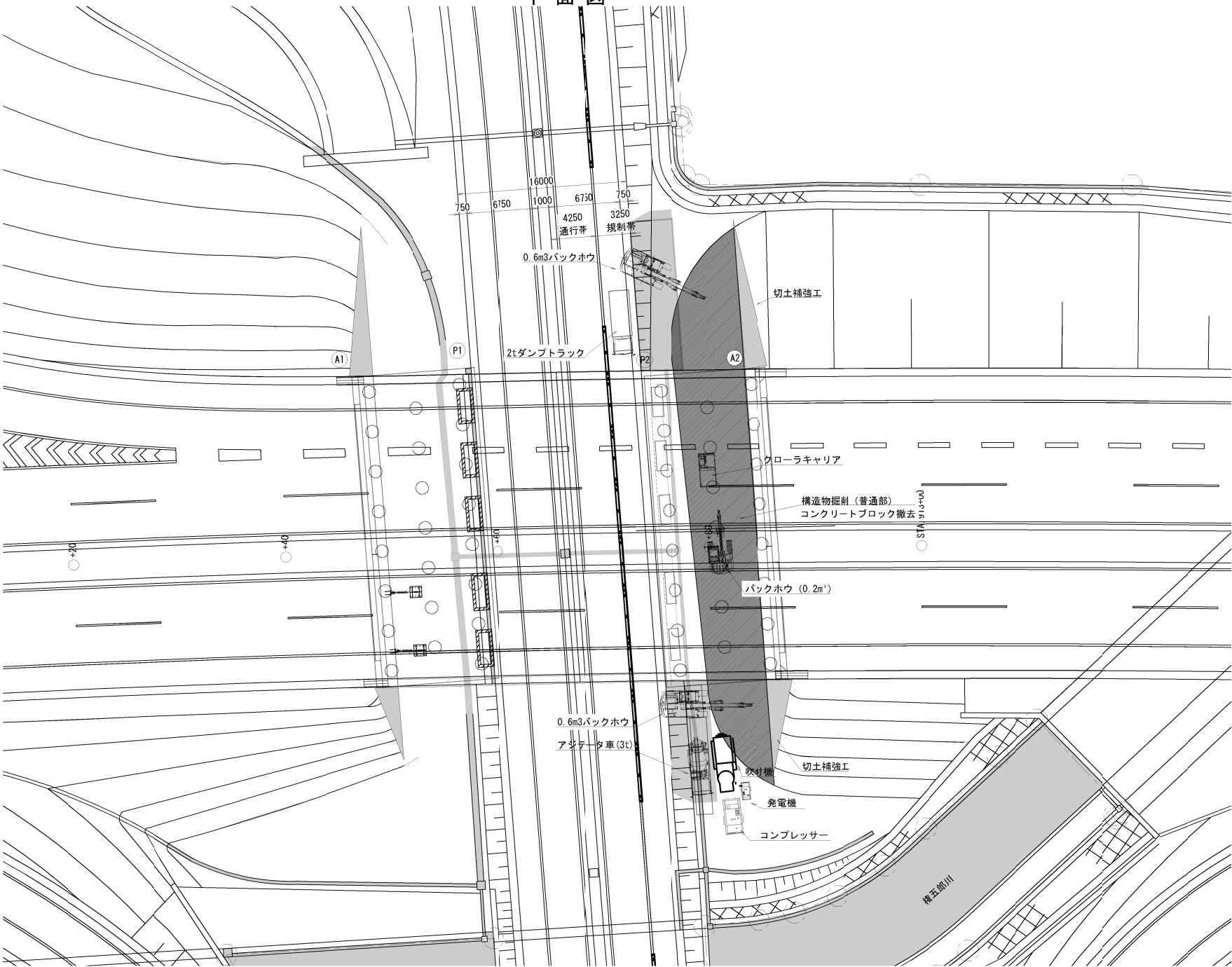
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

須坂橋（上下線） 施工要領図（その14）（参考図） S=1:500
切土補強工 P2橋脚

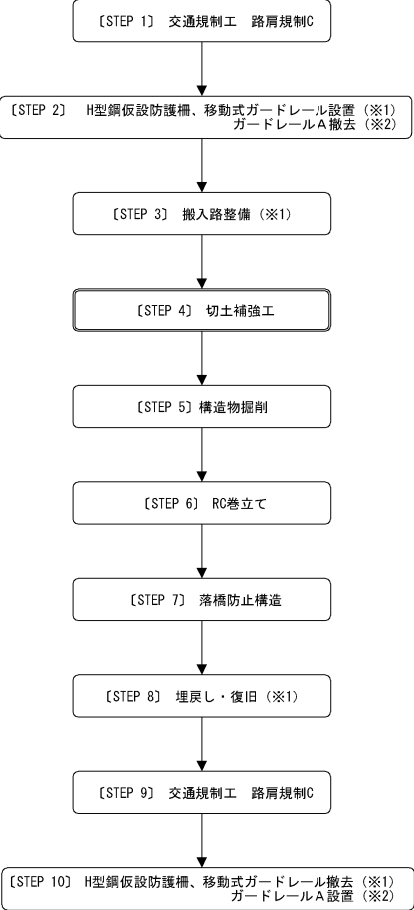
側面図



平面図



施工フロー



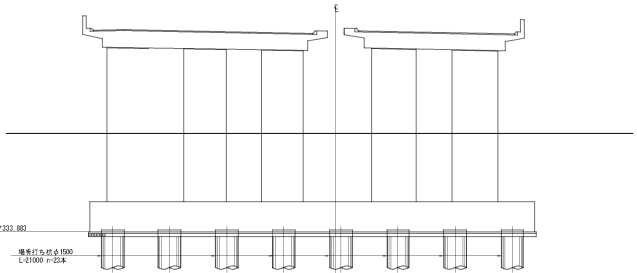
※1) は、割掛項目を示す。
※2) は、率計上を示す。

断面図

P2橋脚

下り線

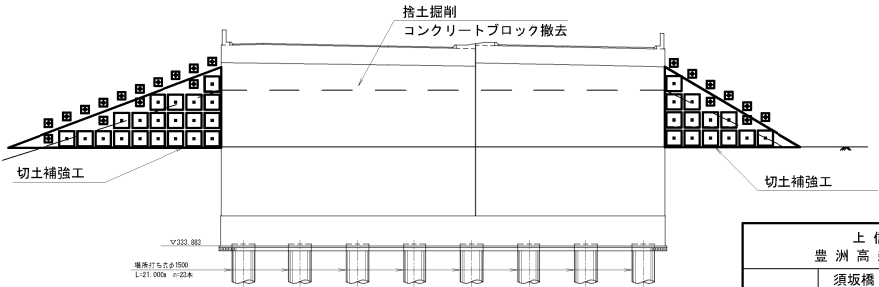
上り線



A2橋台

下り線

上り線



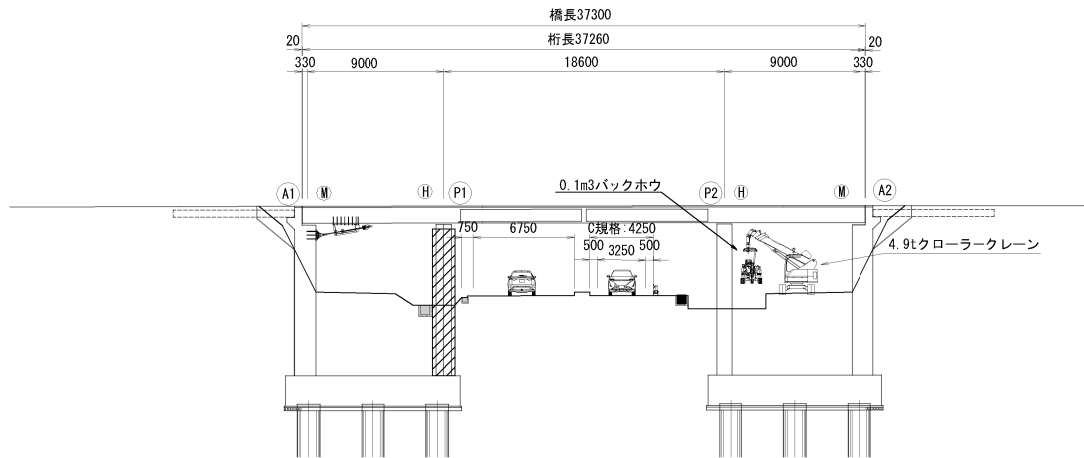
- 注記)
1. 施工前に既設形状で法を確認すること。
 2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
 3. 切土補強工はA1橋台と同等の施工とする。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P2橋脚 施工要領図（その14） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

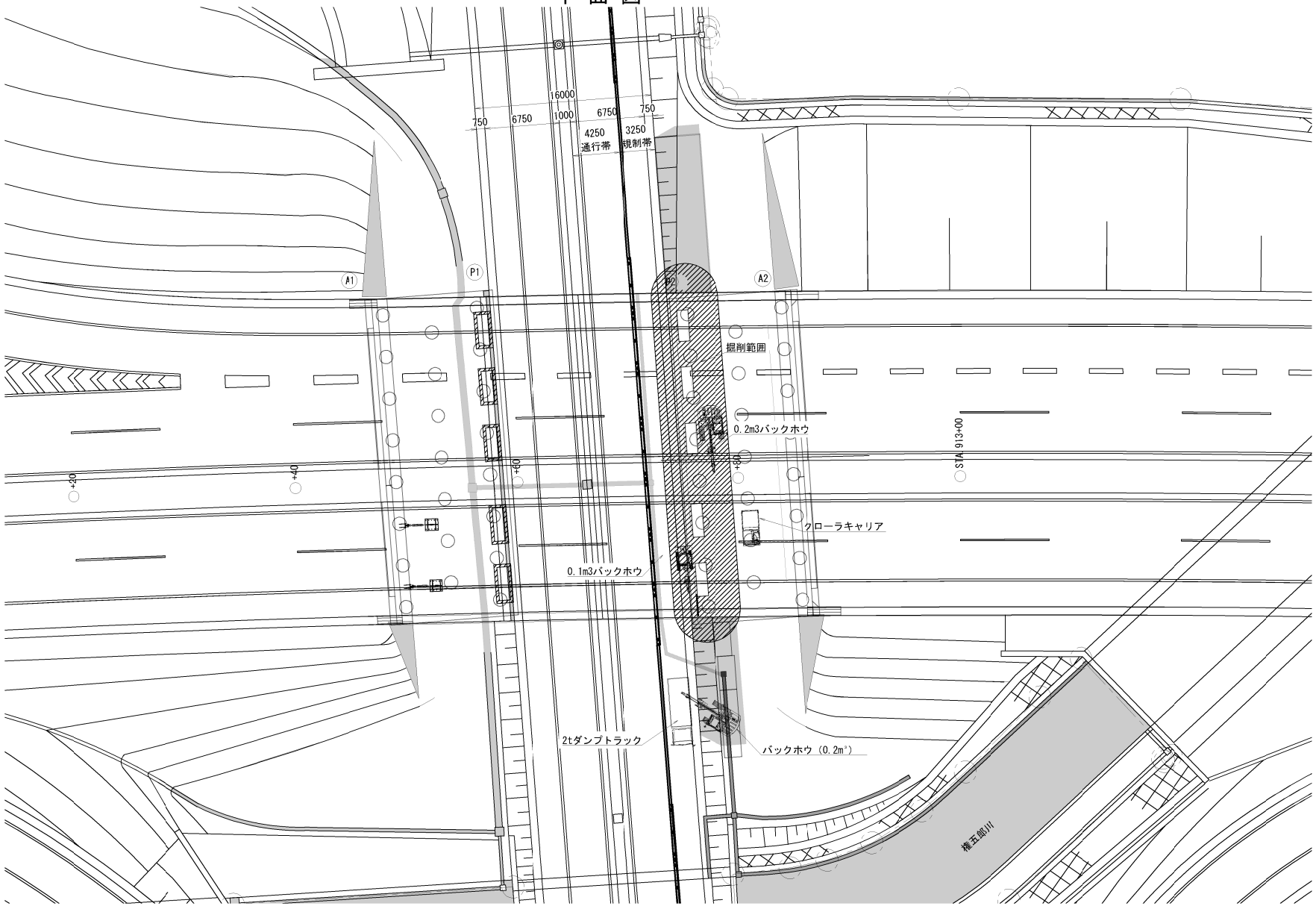
須坂橋（上下線） 施工要領図（その１５）（参考図）
構造物掘削工（特殊部A－O２） P２橋脚

S=1:500

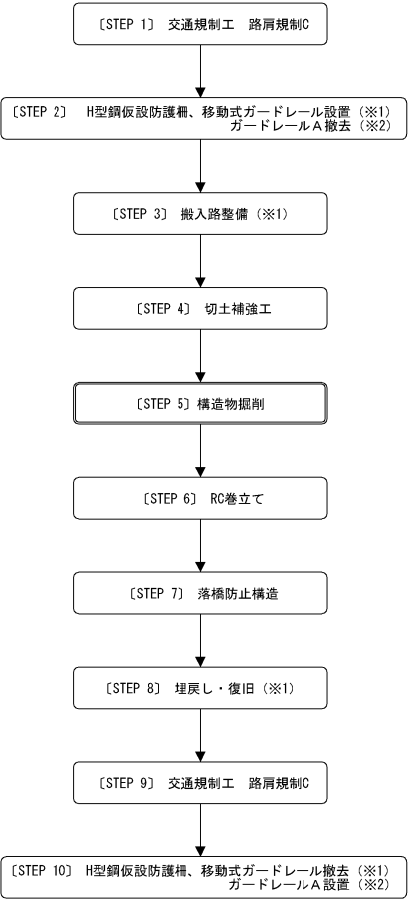
側面図



平面図



施工フロー



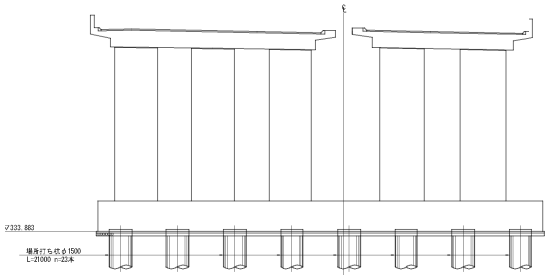
※1) は、割掛項目を示す。
※2) は、率計上を示す。

断面図

P2橋脚

下り線

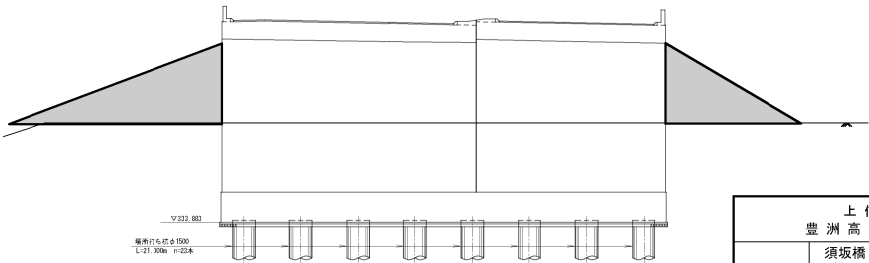
上り線



A2橋台

下り線

上り線



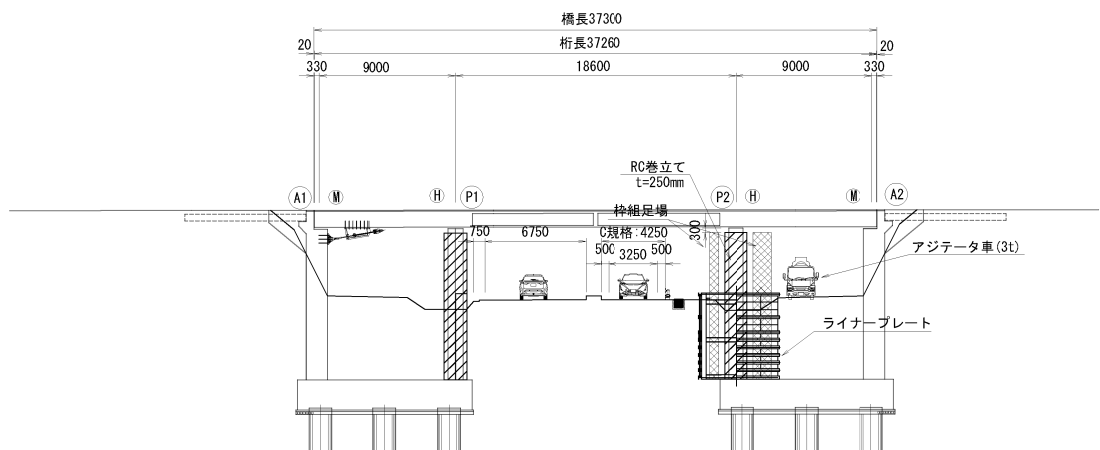
注記

- 1 施工前に既設形状寸法を確認すること。
- 2 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

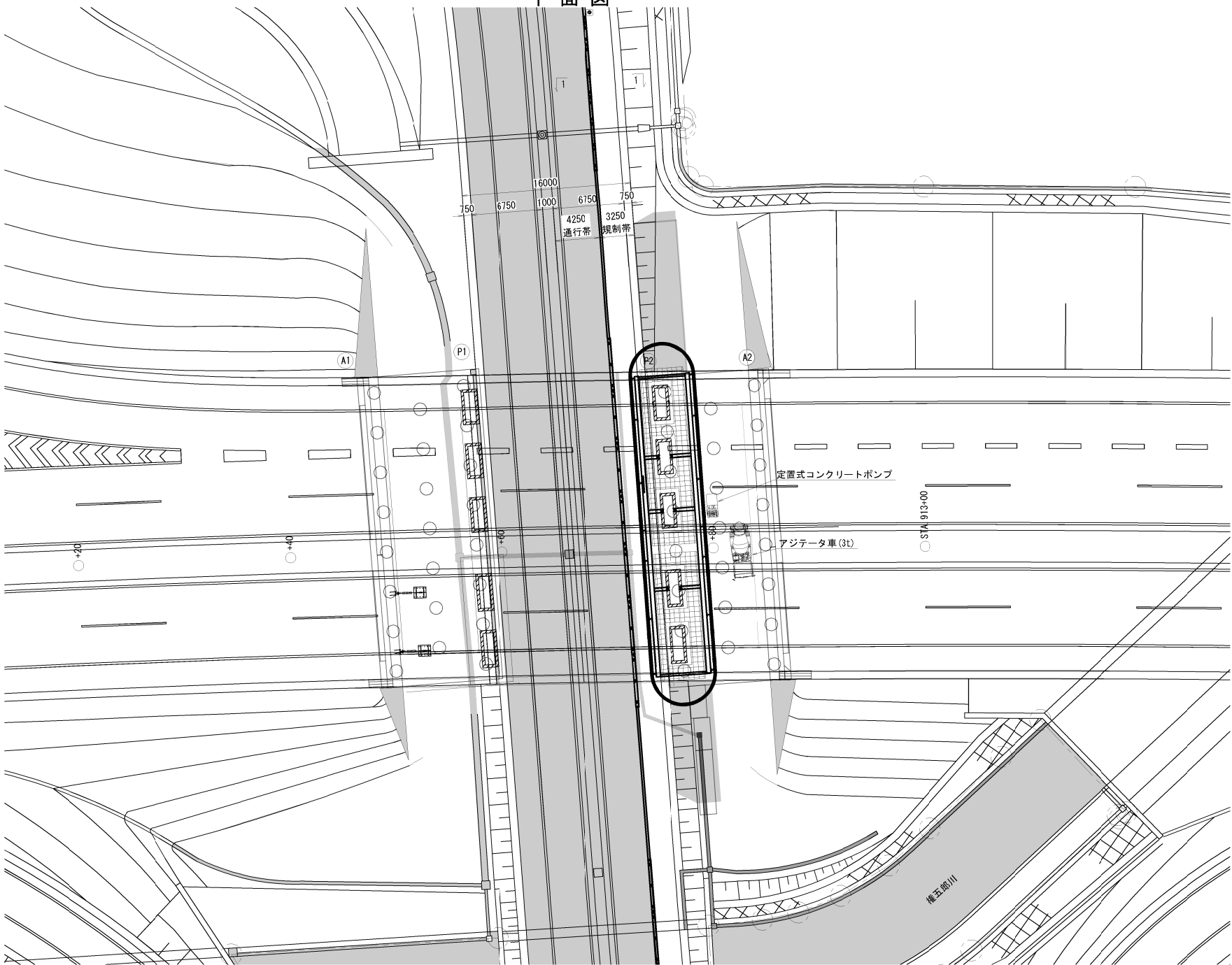
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P2橋脚		
	施工要領図（その１５） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線） 施工要領図（その１６）（参考図） S=1:500
R C巻立て P 2橋脚

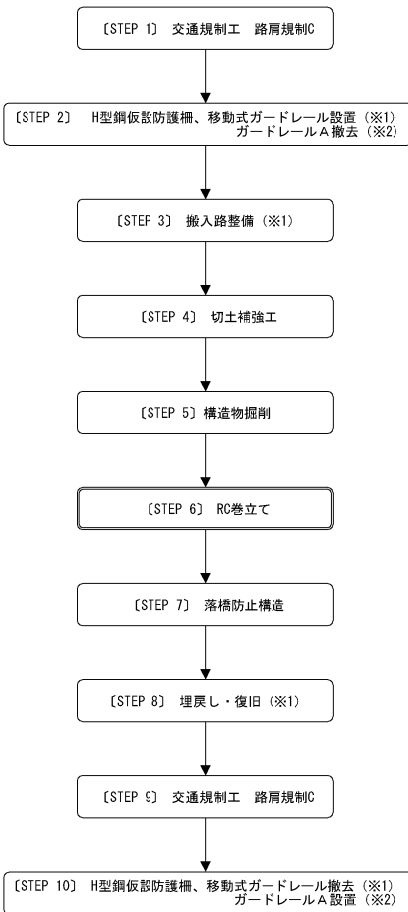
側面図



平面図



施工フロー



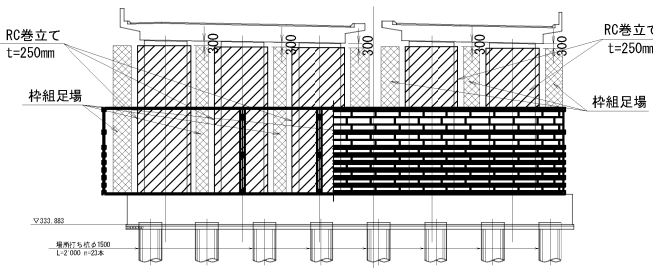
(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

P2橋脚

下り線

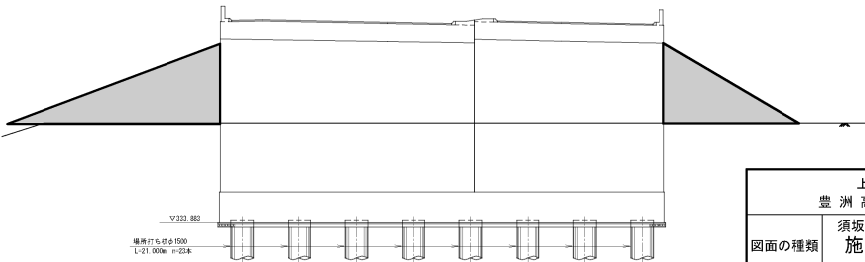
上り線



A2橋台

下り線

上り線



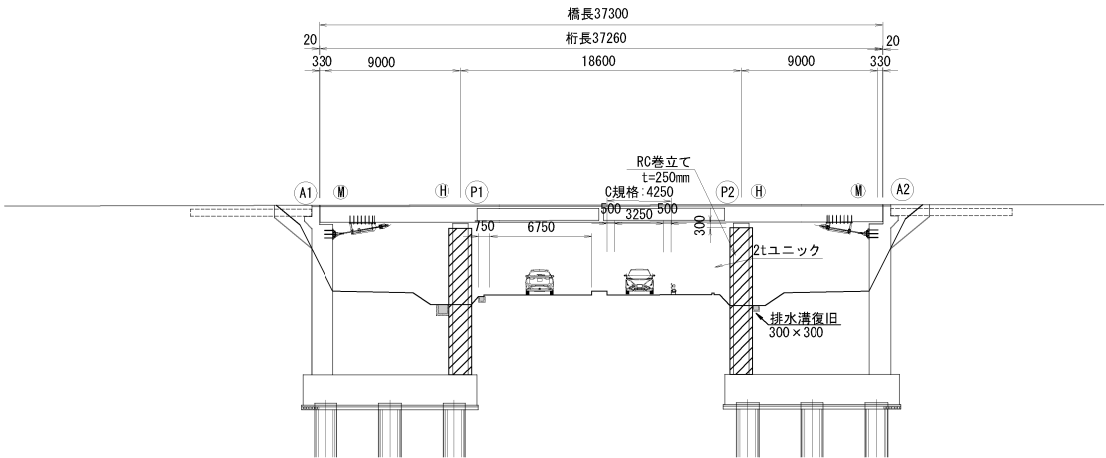
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P2橋脚 施工要領図（その16） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

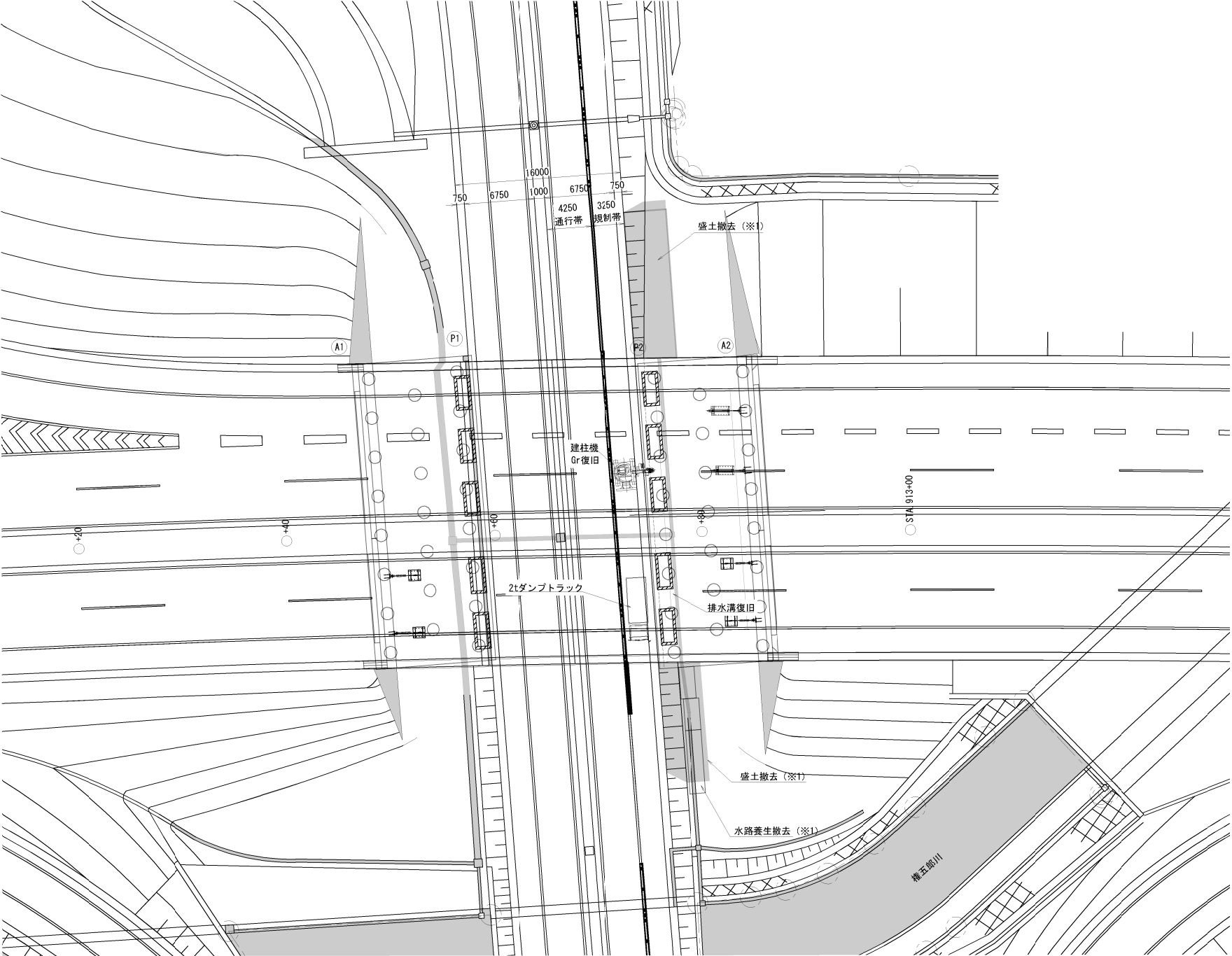
須坂橋（上下線） 施工要領図（その１８）（参考図）
埋戻し・復旧 P 2 橋脚

S=1:500

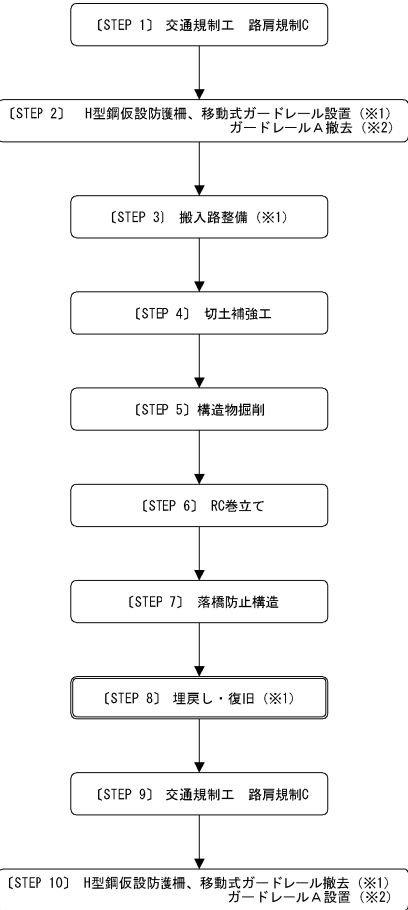
側面図



平面図



施工フロー

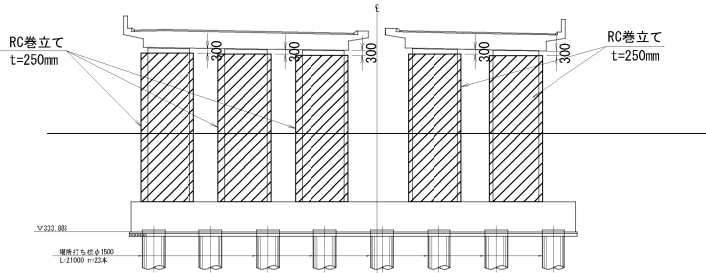


(※1) は、割掛項目を示す。
(※2) は、率計上を示す。

断面図

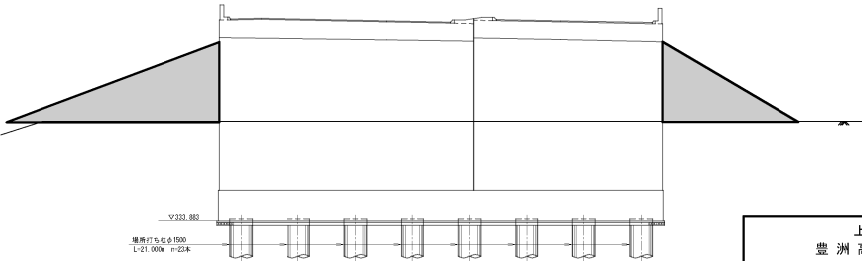
P2橋脚

下り線 上り線



A2橋台

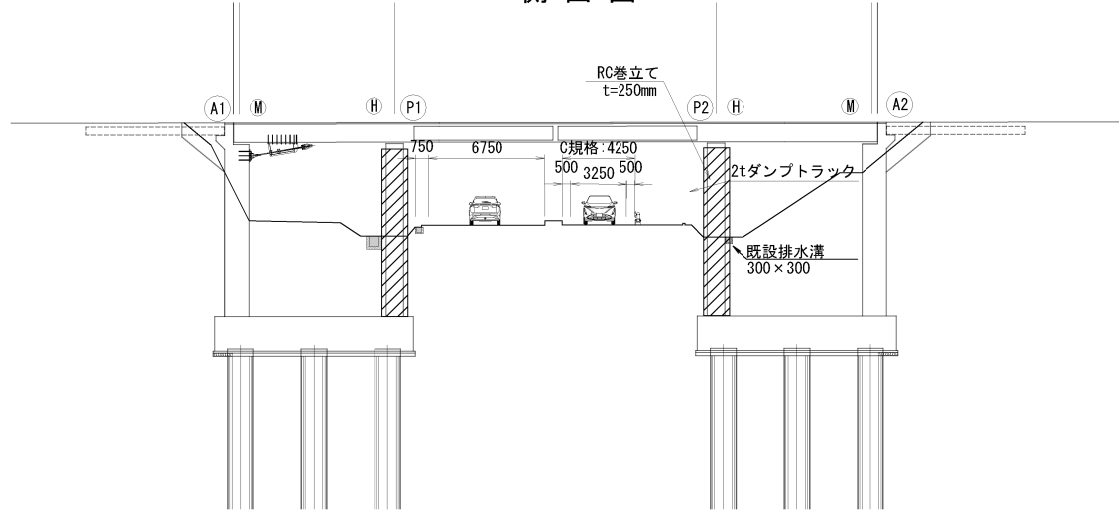
下り線 上り線



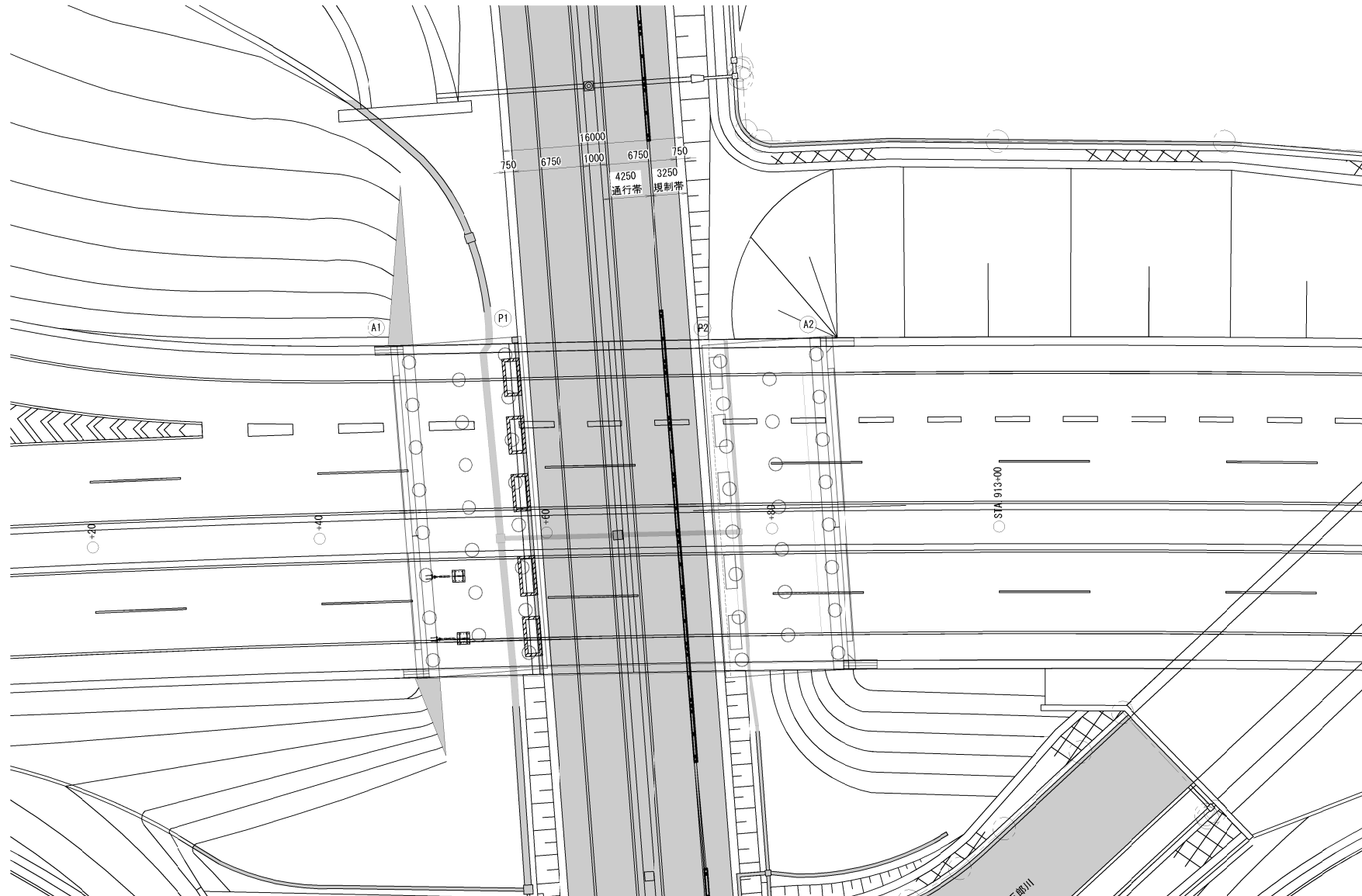
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） P 2 橋脚 施工要領図（その１８） （参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

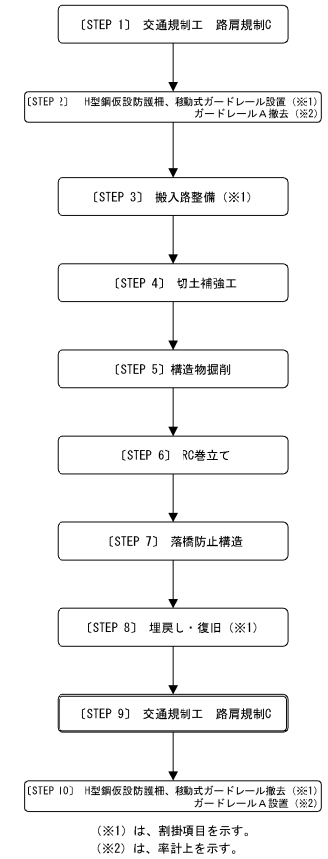
側面図



平面図



施工フロー

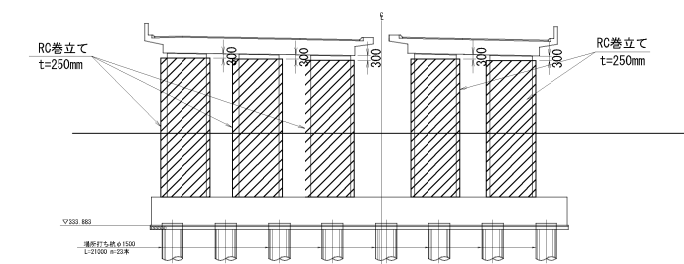


断面図

P2橋脚

下り線

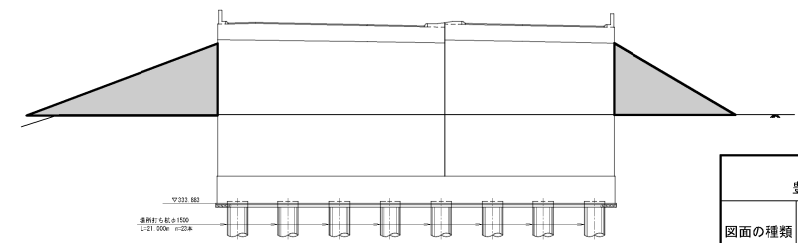
上り線



A2橋台

下り線

上り線

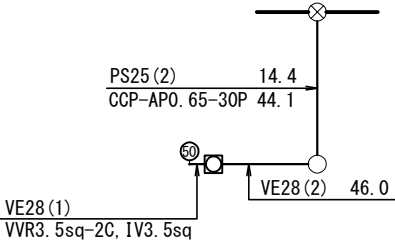
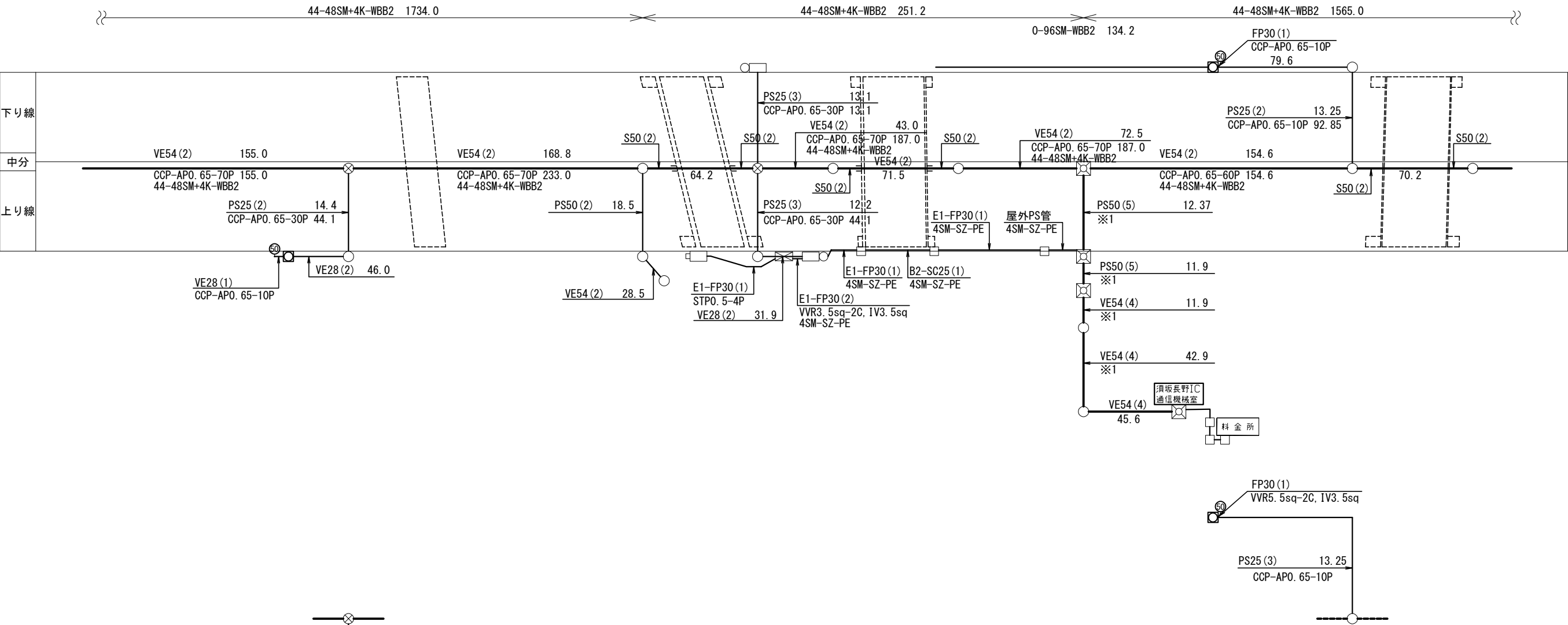


注記)

1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 州 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（架下橋） P2橋脚		（参考図）
	施工要領図（その19）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

須坂橋（上下線）配線系統図（その2）（参考図）



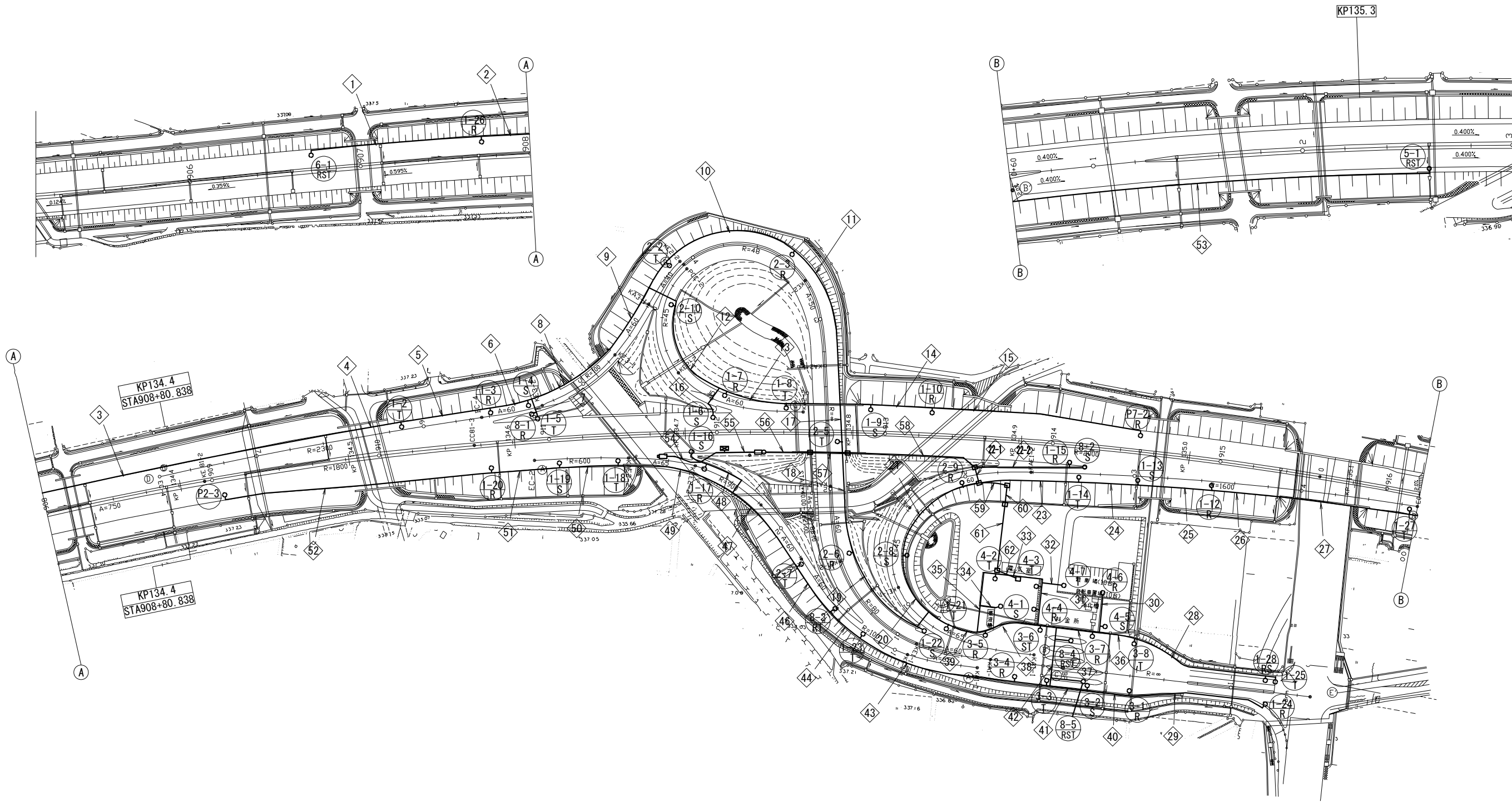
凡 例

	: 電気用ハンド・ネール		: 広域情報板		: 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W x 3)
	: 非常電話標示灯		: 交通量計測設備		: 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W)
	: 非常電話		: 路車間情報設備		: 道路照明 (P-13.5-V-HF700W)
	: 可変式速度規制標識		: 気象観測設備		: 道路照明 (Pb-12-V-NH360W)
	: A型情報板		: ハイウェイサイン設備		: 道路照明 (Pb-12-V-NH220W)
	: B型情報板		: CCTV設備		: 道路照明 (P-12-V-NH360W)
	: J型情報板		: C型情報板		: 道路照明 (P-12-V-NH220W)
	: 内照標識		: D型情報板		: 道路照明 (Pb-10-IV-LED)
	: 分岐点減灯		: 高圧引込柱		: 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W)
	: 通信用ハンド・ネール		: 降雪深計		: 道路照明 (P-10-IV-NH220W)
	: 電話BOX		: 外照標識		: 庭園灯
	: 信号機		: ETC予告無線装置		: トンネル非常電話設備

注) ※1: CCP-AP0. 65-70P
CCP-AP0. 65-60P
0-96SM-WBB2

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	須坂橋（上下線）		
	配線系統図（その2）（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

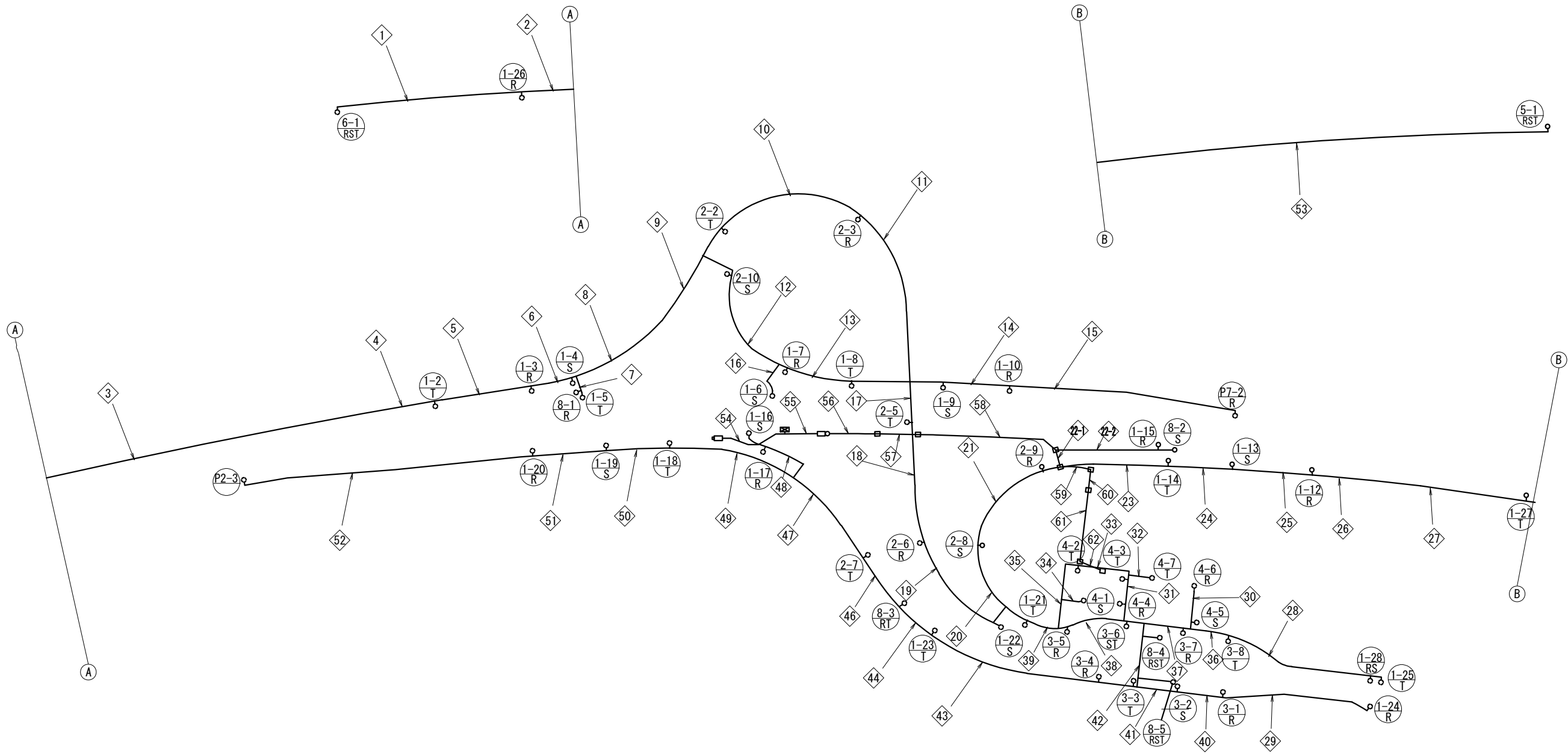
須坂橋（上下線）配線系統図（その3）（参考図）



上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線）		
	配線系統図（その3）（参考図）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線）配線系統図（その4）（参考図）

電気配線図



上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 配線系統図（その4）（参考図）		
	縮尺	—	図面番号
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

須坂橋（上下線）配線系統図（その5）（参考図）

須坂長野東IC配管・配線表

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
1	直埋	6	SC-VVR14sq-3C		
2	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C, A3. 5sq		
		6	SC-VVR14sq-3C		
3	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C, A3. 5sq		
		6	SC-VVR14sq-3C		
4	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-3C+1C, A3. 5sq		
		6	SC-VVR14sq-3C		
5	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		6	SC-VVR14sq-3C		
6	不明		不明		
7	E2S-PS50 (3)	PS50	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		PS50	7 VVR5. 5sq-3C		
		PS50	8 VVR3. 5sq-2C		
		PS50	---C---		
8	E1-VE54 (3)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54	8 VVR3. 5sq-2C		
		VE54	6 VVR14sq-3C		
9	B1-VE54 (3)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54	8 VVR3. 5sq-2C		
		VE54	6 VVR14sq-3C		
10	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR5. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
11	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-2C+1C		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR5. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
12	不明		不明		
13	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
14	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
15	不明		不明		
16	E2S-PS50 (2)	PS50	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		PS50	---C---		
17	E1-VE28 (1)	VE28	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		VE28	1 SC-VVR5. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		VE28	2 SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE28	6 SC-VVR14sq-3C		
		VE28	7 SC-VVR5. 5sq-3C		
		VE28	8 SC-VVR3. 5sq-2C		
18	直埋	1	SC-VVR5. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR5. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
19	直埋	1	SC-VVR5. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR5. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
20	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-2C+1C		
		5	SC-VVR8sq-3C		
		7	SC-VVR3. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
21	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		5	SC-VVR8sq-3C		
		7	SC-VVR3. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
22	E2S-PS50 (2)	PS50	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		PS50	7 VVR3. 5sq-3C		
		PS50	8 VVR3. 5sq-2C		
		PS50	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
23	E1-VE28 (3)	VE28	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		VE28	7 VVR3. 5sq-3C, IV3. 5sq		
		VE28	8 VVR3. 5sq-2C, IV3. 5sq		
24	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		5	SC-VVR8sq-3C		
25	不明		不明		
26	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		5	SC-VVR8sq-3C		
27	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C, A3. 5sq		
		5	SC-VVR8sq-3C		
28	B1-VE54 (3)	VE54	1 VVR3. 5sq-2C, IV3. 5sq		
		VE54	5 VVR8sq-3C		
		VE54	---C---		
29	直埋	1	VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE28	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		直埋	1 SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
		直埋	1 SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
		VE28	4 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
30	E1A-28 (1)	VE28	1 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE54	2 VVR3. 5sq-2C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-4C		
		VE28	4 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE28	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE28	C型可変標示板電源		
31	E1A-VE54 (1) 28 (3)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE54	2 VVR3. 5sq-2C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-4C		
		VE28	4 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE28	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE28	C型可変標示板電源		
32	E1A-VE54 (1) 7 28 (4)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	2 VVR3. 5sq-2C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-4C		
		VE28	4 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE28	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54 (15)	---C---		
		VE28	C型可変標示板電源		
		VE54	---C---		
33	E1A-28 (1)	VE28	4 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
34	E1A-VE54 (1) 7 28 (3)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	2 VVR3. 5sq-2C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-4C		
		VE28	4 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE28	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54 (15)	---C---		
		VE28	C型可変標示板電源		
35	E1A-VE54 (7) 28 (1)	VE54	1 VVR5. 5sq-4C+1C		
		VE54	2 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-2C		
		VE28	4 VVR3. 5sq-3C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	5 VVR8sq-3C		
		VE54	6 VVR14sq-3C		
		VE54	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54	8 VVR3. 5sq-2C		
		VE54 (2)	---C---		
		VE54 (2)	---C---		
36	E1A-28 (1)	VE28	4 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
37	E1A-VE54 (4)	VE54	1 VVR5. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	2 VVR3. 5sq-4C+1C		
		VE54	3 VVR3. 5sq-2C		
		VE54	5 VVR8sq-3C		
		VE54	6 VVR14sq-3C		
		VE54	7 VVR5. 5sq-3C		
		VE54	8 VVR3. 5sq-2C		
		VE54	---C---		
38	E2S-PS50 (2)	PS50	1 VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
		PS50	3 VVR3. 5sq-2C		

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
39	E1A-VE54 (1) 28 (1)	VE54	1 VVR3. 5sq-2C+1C		
		VE54	4 VVR3. 5sq-3C+1C		
		VE28	3 VVR3. 5sq-3C, IV3. 5sq		
40	不明		不明		
41	直埋	1	SC-VVR5. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		5	SC-VVR8sq-3C		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR3. 5sq-3C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
42	直埋	1	SC-VVR5. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		5	SC-VVR8sq-3C		
		6	SC-VVR14sq-3C		
		7	SC-VVR5. 5sq-2C		
		8	SC-VVR3. 5sq-2C		
43	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
		3	SC-VVR3. 5sq-2C		
44	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-2C+1C		
		7	SC-VVR3. 5sq-3C		
45	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
		3	SC-VVR3. 5sq-3C		
46	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		2	SC-VVR3. 5sq-2C+1C		
47	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
48	E1-VE28 (1)	VE28	1 VVR3. 5sq-3C+1C, IV3. 5sq		
49	E2S-PS50 (2)	PS50	1 VVR3. 5sq-3C+1C, IV3. 5sq		
		PS50	---C---		
50	B1-VE54 (2)	VE54	1 VVR3. 5sq-4C+1C, IV3. 5sq		
		VE54	---C---		
51	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-3C+1C, A3. 5sq		
52	直埋	1	SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
53	不明		不明		
54	直埋	5	SC-VVR8sq-3C		
55	E1-FP30 (1)	FP30	STP0. 5-4P	カメラ映像ケーブル	
		FP30	VVR3. 5sq-2C, IV3. 5sq	カメラ電源ケーブル	
56	E1-FP30 (2)	FP30	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
		FP30	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
57	E1-FP30 (1)	FP30	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
58	B2-SC25 (1)	SC25	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
59	E1-FP30 (1)	FP30	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
60	E1-FP30 (1)	FP30	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
61	屋外FP管	屋外FP管内	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
62	屋外PS管	屋外PS管内	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	
	屋外FP管	屋外FP管内	4SM-SZ-PE	カメラ映像ケーブル	

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	須坂橋（上下線） 配線系統図（その5）（参考図）		
	縮 尺	—	図面番号
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		